

381  
174

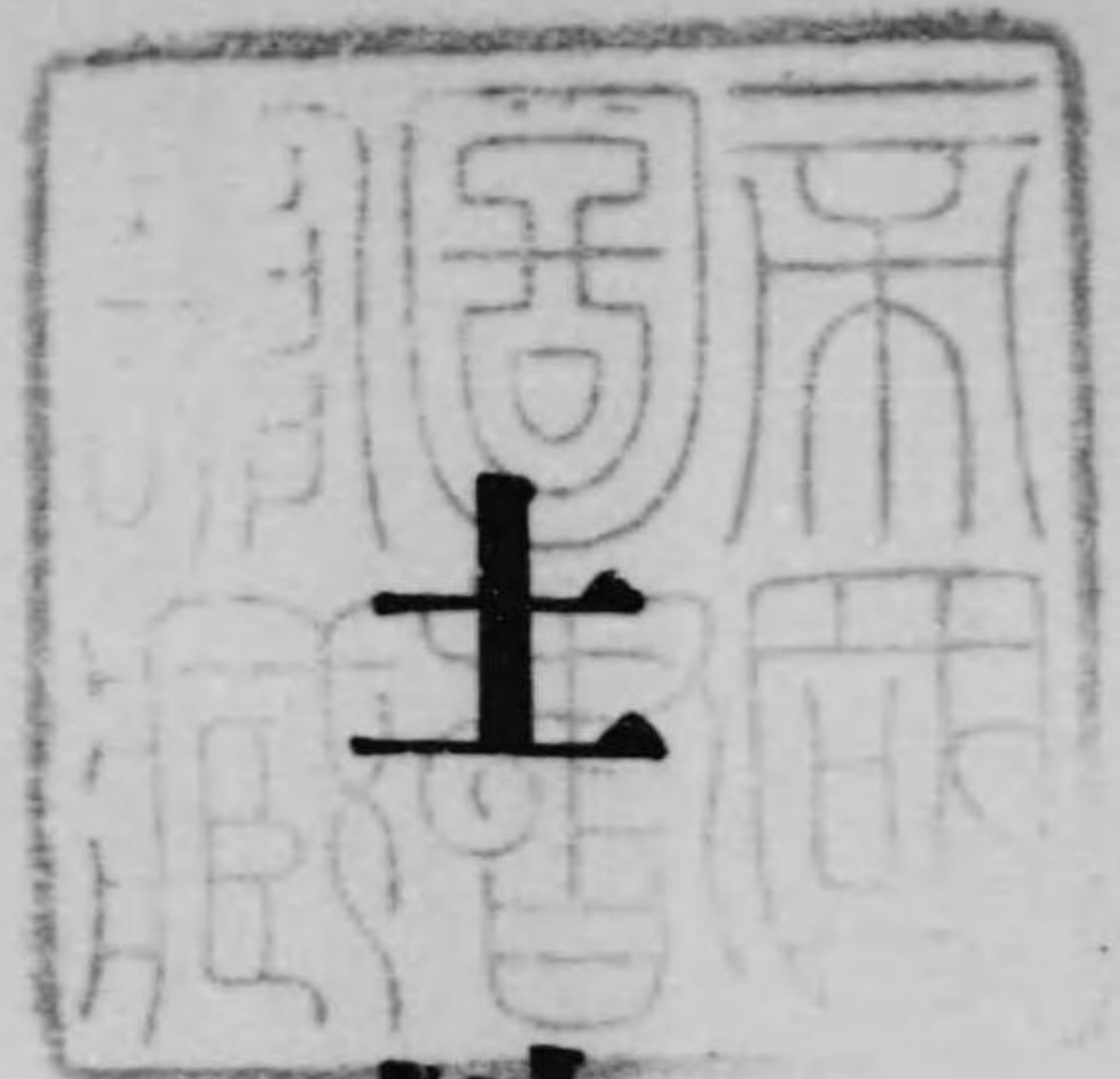
8 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

始



脱  
下  
九  
一  
八  
頁

土地測量法



381-174

381-174

土地測量法

大正  
11. 5. 18  
内交

## 序

晩近、科學ノ進歩ニ伴ヒ、測量ノ術益々精密ノ域ニ進ミツツアルハ、學界ノ爲、洵ニ慶賀ニ堪ヘサル所ナリ。然リト雖、坊間之ヲ講スルモノ、或ハ高遠ニ失シ、或ハ卑近ニ流レ、却テ實務ニ適セサルモノ多ク、世、良書ノ出現ヲ望ム早天ノ雲霓モ嘗ナラサラントスルヤ尙シ矣。蓋シ土地ノ測量ハ、地積ノ確定、徵租正否ノ根本ニシテ、若シ其ノ方法ニ愆ル所アラシカ、權利ノ得喪ニ關涉スル所尠少ナラサレハナリ。

余乏シキチ仙臺稅務監督局長ニ承ケ、土地測量法ノ未タ一般ニ普及セラレス、當局所期ノ進境ニ至ラサルモノアルヲ認メ、夙ニ當務者ノ便益ヲ圖ランコトヲ企テ、特ニ下僚ニ命シテ「土地測量法」ヲ編纂セシメ、今ヤ稿全ク成リテ將ニ剞劂ニ付セントス。

本書、載スル所總テ百八十七項、專ラ簡易ヲ主トシテ、當路ノ實務家ニ寄與センコトヲ努メタリト雖、亦必スシモ學理ヲ閑却セス且各種測量器ノ運用ヲ解説スル等、惻切丁寧、至ラサル所莫シ。本書、素ト縹タル一小冊子ニ過キスト雖、幸ニ江湖ノ指針タルコトヲ得ン乎。研學ノ士ヲ扶ケ、實務家ヲ裨益スル而已ナラス、又以テ測量法普及ノ一助タルヘキヲ疑ハス。敢テ本書ノ卷首ニ一言シテ、本官ノ所思ヲ明ニススト云爾。

大正六年五月

仙臺稅務監督局長 篠崎昇

### 例言

- 一、本會曩ニ測板式土地測量法ヲ刊行シテ測量當事者ノ參考ニ供セシカ大正四年中既ニ全部ヲ頒布シ超ヘテ大正六年本書ノ編纂ヲ爲シタルモ刊行後幾ナラスシテ全部ヲ頒布シ爾後各地ニ測量講習會開催ノ都度多數ノ購設希望者アリシモ空シク絶本トシテ之カ需ニ應スルコト能ハサリキ。
- 二、仙臺稅務監督局ニ於テハ曩ニ一部ノ稅務官吏ヲ召致シ局員廣田農學士及大槻屬ヲ講師トシテ土地測量法ノ講習會ヲ開催シタリ本會ハ同局ニ請ヒ兩講師ニ囑シ當時ノ稿本ニ就キ本書ノ編纂ヲ企テタルモノニシテ之ヲ割闕ニ付スルニ際シ土地異動ニ關スル諸般ノ手續及書式ヲ網羅シテ之ヲ附録トナシ以テ土地異動ニ關スル書類作製者ノ利便ヲ圖ラントス。
- 三、本書ハ學理ニ偏セサルヲ主眼トシテ各種測量法ニ亘リテ汎說セリ就中平板式測量法ニ就テ比較的詳述シ其他ノ測量法ハ概要ノ説述ニ止メタリト雖其ノ綱領ヲ失セサル點ニ意ヲ注キタルヲ以テ咀嚼玩味セハヨク之等測量法ヲ會得シ進ンテ之ヲ實地ニ應用シ得ヘシト信ス。
- 四、本書ノ編纂ハ公務ノ餘暇ニ成リ且ツ匆卒上梓セシ爲固ヨリ遺漏尠カラサルヘキヲ以テ江湖各位ノ叱正ヲ俟キ他日再版刊行ノ際更ニ之カ完整ヲ期セントス庶幾ハ示教ノ勞ヲ惜ミ給ハサランコトヲ。

大正十一年二月

## 凡例

一、測量術ニ關スル術語ハ、多ク外國語ノ譯語ナル爲、從來ノ著書ニ用キラレタルモノ何レモ區々ニシテ其ノ揆ヲ一ニセス、本書ニ於テハ主ニ工科大學ニテ用フルモノニ則リ、更ニ普通一般ニ使用セラル、モノヲ參酌セリ而シテ他ニ多クノ別名ヲ有スルモノハ參考ノ爲之レヲ括弧内ニ記入セリ。

一、點、線、角、圖形等ノ符合ハ主ニ次ノ如キ形式ニ依レリ。

地上ノ點 (い)(ろ)(は)(に).....

圖紙上又ハ製圖上ノ點 (イ)(ロ)(ハ)(ニ).....

線 「イロ」「ハニ」「ホヘ」.....

角 「イロハ」又ハ、「ロ」.....

圖形 「イロハニ」.....

一、數ノ書キ方ハ「二」乃至「三」ヲ「二一三」ト略記シタル箇所アリ。

一、本書ニ於テハ説明ノ便宜上略語ヲ用キタル場合アリ、斯ルトキハ、豫メ之ヲ説明シ置キタリ、例ヘハ「器械ヲ某點ニ据付ク」トハ器械ヲ載セタル三脚ノ錘球(平板測量ニテハ圖上ノ某點ヲ指ス求心器ノ錘球)ガ地上ノ某點ノ眞上ニ在ル様ニ器械ヲ水平ニ設置シタルヲ云フ。

一、水平面ト地平面(一一一)トハ普通ノ測量ニ於テハ殆ト同一ト看做サルル者ニシテ、之等ノ嚴密ナル區別ハ却テ讀者ヲ迷ハス事ヲ慮リ、特ニ區別スベキ箇所ヲ除キテハ凡テ「水平面」ト記載セリ。

一、本書ニ於テハ索引ニ代フルニ各項毎ニ番號ヲ記入シ、目次トノ對照、並ニ説明ニ於ケル參照ノ便ヲ圖レリ、而シテ目次中節ニシテ只一項ノミナルモノハ節ノ下ニ番號ヲ記セリ。

## 土地測量法目次

### 第一章 總 說

第一節 測量ノ意義 (一).....

第二節 測量術ノ分類 (二).....

### 第二章 略 測 法

第一節 畧 測 法 (三).....

第二節 距離ノ略測法.....

(四) 步數による測定 (五) 視角による測定 (六) 音響による測定 (七) 其他

第三節 角度ノ略測法.....

(八) 兩手を廣げて概測する法 (九) 繩又は紐による略測法 (一〇) 板の上に針を立て、略測する法

第四節 垂直及水平ノ略測法.....

(一一) 下げ振による法 (一二) 水準器による法

### 第三章 鏈鎖測量法

第一節 鏈鎖測量法 (一三).....

第二節 測量用器具

- (一四) 測鎖 (一五) 「ガンダー」鎖 (一六) 米突鎖 (一七) 卷尺 (一八) 竹尺 (一九) 間繩
- (二〇) 分尺 (二二) 測巾 (二三) 杓 (二四) 測桿 (二四) 光矩及角鏡 (二五) 叉桿

五

第三節 距離測量

- (二六) 平地に於ける場合 (二七) 傾斜地に於ける場合 (二八) 特別なる場合に算法に依り水平距離を求むる法

九

第四節 地形測量

檢線法 附三斜法

- (二九) 檢線證線法 (三〇) 記帳 (三一) 製圖 (三二) 三斜法

枝距法(幹支法)

- (三三) 技距法 (三四) 實測 (三五) 製圖

繫線法

- (三六) 繫線法 (三七) 實測

第五節 鏈鎖測量法ノ應用

第六節 野帳及其ノ記載方法

- (三九) 野帳 (四〇) 記載方法

第七節 製圖

- (四一) 製圖

一八

第八節 閉塞差及其ノ配分法

- (四二) 鏈鎖測量ニ於ケル繫線法 (四三) 閉塞差配分法

一九

第九節 鏈鎖測量上ノ誤差ト精度

- (四四) 鏈鎖測量 (四五) 測鎖の精度 (四六) 距離較差極限 (四七) 閉塞差許容範圍(公差)

二〇

第十節 平面積算法

- (四八) 四角 (四九) 面積積算法

二二

第四章 平板測量法

第一節 平板測量ニ要スル器械

- (五〇) 平板 (五一) 三脚 (五二) 方筐羅針 (五三) 求心器及錘球 (五四) 照準儀 (五五) 標桿
- (五六) 測量針 (五七) 縮尺用尺度 (五八) 測鎖 (五九) 檢定尺 (六〇) 三角定規 (六一) 繩製三角定規

第二節 距離測量

- (六二乃至六四) 傾斜距離を測りて水平距離に換算する法 (六五) 傾斜距離換算の乘率表

三一

第三節 平板測量法

- (六六) 平板測量 (六七) 縮尺 (六八) 圖上點の表示 (六九) 測量方法の分類 (七〇) 射出法 (七一) 射出法點檢

三三

進測法

- (七三) 單規法 (七四) 複規法 (七五、七六) 測量上の注意 (七七) 閉塞差及其配分法

三六



交會法(七八).....四〇

(七九、八〇) 前方交會法 (八一) 示誤三角形 (八二乃至八四) 後方交會法 (八三、八四) 示誤三角形の消除

(八五) 測方交會法

第四節 應用問題.....四七

(八六乃至九〇) 障礙物ある場合 (九一乃至九四) 傾斜地の場合

第五節 面積計算(九五).....五三

第五章 羅盤測量法.....

第一節 羅盤測量法(九六).....五四

第二節 器械ノ説明.....五四

(九七) 磁針 (九八) 分度盤 (九九) 視飯 (一〇〇) 水準装置 (一〇一) 球窩接合

第三節 器械ノ検査及整正法.....五六

(一〇二) 水準器 (一〇三) 磁針 (一〇四) 照準装置 (一〇五) 器械の金質

第四節 子午線.....五八

(一〇六) 真子午線と磁氣子午線 (一〇七) 磁針の偏差

第五節 真子午線ノ測定法.....五九

(一〇八) 太陽の投影に依る法 (一〇九) 北極星による法

第六節 實測.....六一

(一一〇) 實測法 (一一一) 方位の表示法 (一一二) 射出法 (一一三) 進測法 (一一四) 交會法

第七節 野帳記載法(一二五).....六四

第八節 緯距及經距.....六五

(一二六) 經距、緯距 (一二七) 經緯距の算出法 (一二八) 子午線距及倍子午線距 (一二九) 經緯距に依

つて實測の精粗検査

第九節 製圖.....六七

分度器ニ依ル方法.....六七

(一二〇) 射出法の場合 (一二一) 進測法の場合 (一二二) 交會法の場合

經緯距ニ依ル法(一二三).....六八

第十節 面積算出法(一二四).....七〇

第十一節 羅盤測量ノ誤差及精度.....七二

(一二五) 閉差及閉比 (一二六) 羅盤測量の精限

第六章 轉鏡儀測量法及經緯儀測量法.....七三

第一節 測量經緯儀及轉鏡儀測量(一二七).....七三

第二節 器械ノ説明及使用方法.....七三

器械ノ説明.....七三

(二二八) 望遠鏡 (二二九) 十字線 (一三〇) 分度圖 (一三一) 副尺使用法遊標 (一三二) 器械の摺付 (一三三) 水平角の測量 (一三四) 傾斜角の測定 (一三五) 直線の決定及延長.....七七

第三節 器械ノ検査ト整正.....七七

(一三六) 視差 (一三七) 十字線 (一三八) 支脚.....七八

第四節 實測.....七八

(一三九) 角度法 (一四〇) 方位角法(象限法) (一四一) 経緯測法.....八〇

第五節 記帳及製圖(一四二).....八〇

第六節 「トランシット」測量ノ誤差及精度.....八〇

(一四三) 誤差の起原 (一四四) 測量の精度.....八〇

**第七章 「スタヂア」測量法.....八一**

第一節 「スタヂア」測量法(一四五).....八一

第二節 「スタヂア」測量法ノ理論.....八二

(一四六) 「スタヂア」測量の原理 (一四七) 器械恒数の測定法 (一四八) 視線の傾斜せる時距離及高さを見出す法 (一四九) 「スタヂア」表の使用法 (一四〇) 兩尺の目盛.....八二

第三節 器械ノ検査整正並ニ使用法.....八七

(一五一) 器械の使用法 (一五二) 器械の検査及整正.....八八

第四節 「スタヂア」測量ノ實測方法.....八八

(一五三) 野業 (一五四) 野帳記載法.....八九

第五節 内業.....八九

(一五五) 計算 (一五六) 製圖方法.....八九

第六節 「スタヂア」測量ノ誤差並ニ精限(一五七).....九〇

**第八章 水準儀測量法.....九一**

第一節 水準儀測量法(一五八).....九一

第二節 水準儀測量ノ理論.....九一

(一五九) 用語 (一六〇) 水平地平兩水準面の差.....九二

第三節 器械ノ説明及使用方法.....九三

機械ノ説明.....九三

(一六一) 水準器 (一六二) 移心裝置其他 (一六三) 望遠鏡 (一六四) 十字線 (一六五) 氣泡管 (一六六) 兩尺.....九三

水準器ノ主用(一六七).....九五

第四節 Y形水準儀ノ検査及整正.....九五

(一六八) 視準線と鏡軸線との一致 (一六九) 鏡軸線と氣泡軸との平行 (一七〇) 器械軸と泡管の接線  
 第五節 實測..... 九六

(一七一) 高差測量 (一七二) 縱断面測量 (一七三) 同高線測量  
 第六節 水準測量ノ誤差及精度..... 九九  
 (一七四) 誤差 (一七五) 水準測量の精限

第九章 六分儀測量法(一七六)..... 一〇〇

第十章 字圖及町村圖ノ作製..... 一〇一

第一節 三角測量法..... 一〇一  
 (一七七) 三角測量の理論 (一七八) 實測方法 (一七九) 圖根圖調製

第二節 字圖町村圖ノ實測及調製..... 一〇四  
 (一八〇) 細部圖根圖の作製 (一八一) 測板上の圖紙に圖根點の展開並に一筆地原圖の測量

第三節 字圖又ハ一筆地原圖ノ著墨及註記..... 一〇五  
 (一八二) 著墨すべき主なるもの (一八三) 地圖に使用する線の種類 (一八四) 地圖に使用する境界線の種類  
 (一八五) 圖根點の圖示 (一八六) 彩色 (一八七) 註記

附 「スタヂア」表..... 一〇八

附錄 土地異動願届便覽

土地測量法

第一章 總說

第一節 測量ノ意義

(一) 測量トハ之ヲ廣義ニ解セバ單ニ地球上ノ測量ニ止マラズシテ宇宙間ニ在ル總テノ物休例ヘバ天休ノ測定等ヲモ包含スト雖最モ普通ナル意味ニ於テハ次ノ如ク解スルヲ至當トス。

測量學トハ地球ニ於ケル諸點ノ位置ヲ測定シ、距離、面積、體積並ニ諸般ノ變移等ヲ知ルニ必要ナル方法及理論ヲ研究スル學術ヲ云フ。

第二節 測量術ノ分類

(一) 測量術ノ分類ハ其ノ標準ニ依リ區々ナレドモ大別シテ平面測量術(地平測量術)ト測地術(大地測量術)トノ二ツニ區分セラル、前者ニアリテハ地表ヲ一ノ平面ト考ヘテ測量スルモノニシテ、凡十哩平方即チ約四里四方以内ノ地域ゾ、ヲ限リテ應用セラル、モ後者ニ於テハ地表ヲ一種ノ球面ト考ヘ地球ノ曲率ヲ算入スル測量法ニシテ廣大ナル地域ニ應用セラル、モノナリ。

之ヲ器械ニ依リ分類スレバ(一)鏈鎖測量(チェーン測量)、(二)平板(測板)測量(プレートンテール測量)、(三)羅盤

測量(コンパス測量)、(四)経緯儀測量(セオドライト測量)、(五)轉鏡儀測量(トランシット測量)、(六)「スタヂア」測量(テレメーター測量)、(七)水準儀測量(レベル測量)、(八)六分儀測量(セキスタント測量)等ノ別アリ。  
又測量スル物ニツキ分類スレバ陸地測量、水上測量、地下測量、水底測量トナリ。更ニ又施業ノ目的、方法等ニヨリ分類スレバ平面測量、高低測量、地形測量、三角測量、鐵道測量、鑛山測量、市街測量、田畑測量、海洋測量、河川測量、水路測量、流量測量等ノ別アリテ其ノ分類ノ據所ニヨリ名稱區々ニシテ一々列擧シガタキ程多數アリ。

## 第二章 略測法

### 第一節 略測法

(三) 或ル地域ヲ測量スルニ當リ最初ニ踏査ヲ行ヒ豫メ其ノ概略ヲ會得シ置クコト必要ナリ其他精密ナル器械ヲ有セズシテ測定セザルベカラザル必要屢起ルモノナリ今左ニ此等ノ場合ニ於ケル二三ノ方法ヲ述ベン。

### 第二節 距離ノ略測法

(四) 歩數ニヨリ測定 最も簡單ナル方法ハ歩數ニ依ル方法ニシテ、前方ニ相重ナリテ見ユル様ニ二ツノ目標ヲ定メ一様ノ步調ヲ以テ進行スル時ハ其ノ歩數ヲ以テ距離ヲ略測セラル、尤モ人各其ノ步長ヲ異ニスル故數回各自ノ步長ヲ測リ置クベキモノナリ。歩數ヲ計ル爲メニ歩數計ト稱シテ時計ノ如キモノニテ之レヲ胸間ニ懸ケテ歩行スル時ハ指針ニヨリ歩數ヲ示スモノアリ主ニ踏査ノ場合ニ用キラル。

(五) 視角ニヨリ測定 腕ヲ延シテ少サキ尺度ヲ垂直ニ持チ、遠方ニアル高サノ知ラレタル物体又ハ人等ヲ見テ、



視線ニテ挾ミタル尺度ノ長サト、腕長、即チ目ヨリ尺度マデノ長サトヲ知ル時ハ視角ハ定マル故ニ次ノ式ニテ其ノ距離ヲ略知スルコトヲ得。

「イロ」……腕長、「ロハ」……尺度、「ニホ」……遠方ノ人ノ高サ、「イニ」……求ムル距離トセバ

「ロハ」:「イロ」::「イニ」:「ニホ」  

$$\frac{1.7}{0.04} = \frac{x}{0.04}$$

$$0.04 : 1.7 = 5.3 : x$$

$$x = \frac{1.7 \times 5.3}{0.04} = 225.25$$

$$= 225 \text{ 尺 } 2.5 \text{ 寸}$$

$$204.119 = 5.51x$$

$$x = \frac{204.119}{5.51} = 37.045$$

(六) 音響ニヨリ測定 音ハ攝氏零度(華氏三十二度)ノ空氣中ニテ一秒間ニ三三一米突、攝氏一五度(華氏五九度)ノ空氣中ニテ三四〇米突、即チ約三町十間五尺位ノ速度ヲ有ス故ニ樵夫等ガ木ヲ切ル斧ヲ打チテ口スヲ見テヨリ其ノ響ノ聞ユルマデノ時間ヲ測リテ距離ヲ略知スルヲ得ベシ。

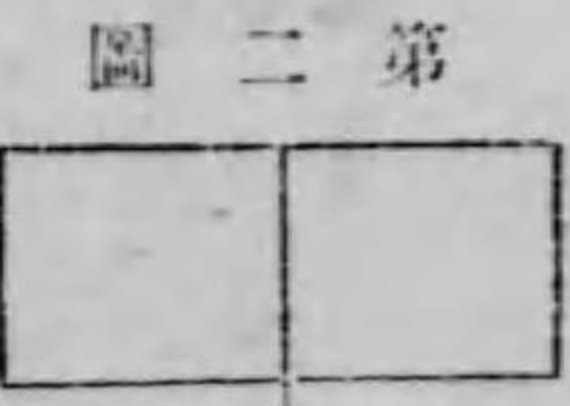
其他輪時計、輪程計等ヲ有スル車輪ヲ推進シテ距離ヲ畧測スル法アリ。

### 第三節 角度ノ畧測法

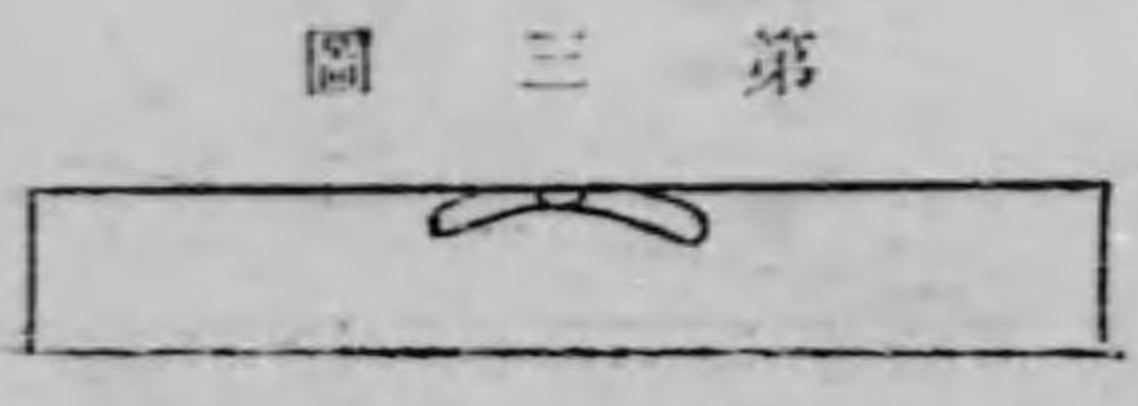
- (八) 兩手ヲ廣ゲテ概測スル法 測ラントスル二方向ニ向ケ兩手ヲ廣ゲテ其ノ間ニ挾ミタル角度ヲ畧知ス。
- (九) 繩又ハ紐ニヨリ略測法 一點ヨリ測ラントスル方向ニ四一五尺ノ繩ヲ張リテ其ノ間ニ挾ミタル角ヲ知ル。
- (一〇) 板ノ上ニ針ヲ立テ、畧測スル法 板ノ上ノ一點ニ針ヲ立テ此ノ針ヨリ他ノ測ラントスル方向ヲ視ツテ夫々

針ヲ立テ之ニ定規ヲアテ、線ヲ引ク時ハ其ノ間ノ角ヲ測ルコトヲ得ベシ。

### 第四節 垂直及水平ノ畧測法



(一) 下ゲ振ニヨル法 基點ニ立テタル旗竿等ガ垂直ナルカ否カヲ檢スル場  
合ニ最モ簡單ナル方法トシテハ石ヲ糸ニテ吊シ「下ゲ振」ヲ作り之ニテ竿ヲ正ス  
ニアリ、又板ノ一邊ヲ平ニ削リ之ト直角ニ一線ヲ畫キ「下ゲ振」ガ恰モ此ノ縦線  
ニ重ナル時ハ其ノ削リタル邊ハ水平ヲナス。



(二) 水準器ニヨル法 之レ普通大工ノ用キル水準器ニテ事足ル、即チ一樣ナル大サノ圓形硝子  
管ヲ曲ゲテ圓弧狀ヲナサシメ中ニ酒精ノ類ヲ滿シ、僅カニ氣泡ヲ存スル泡管ヲ木ノ中ニ埋メ上部ノ  
表ハル、様ニ眞鍮鍍等ニテ留メタルモノニシテ、其ノ臺木ノ下面ガ水平ニ据エラレタル時ハ氣泡ハ  
中央ニ止マル様ニ作ラレタルモノナリ、之ヲ用キテ測ラントスル面ノ上ニ置キ、其ノ水平ナルカ否  
カヲ測定ス。

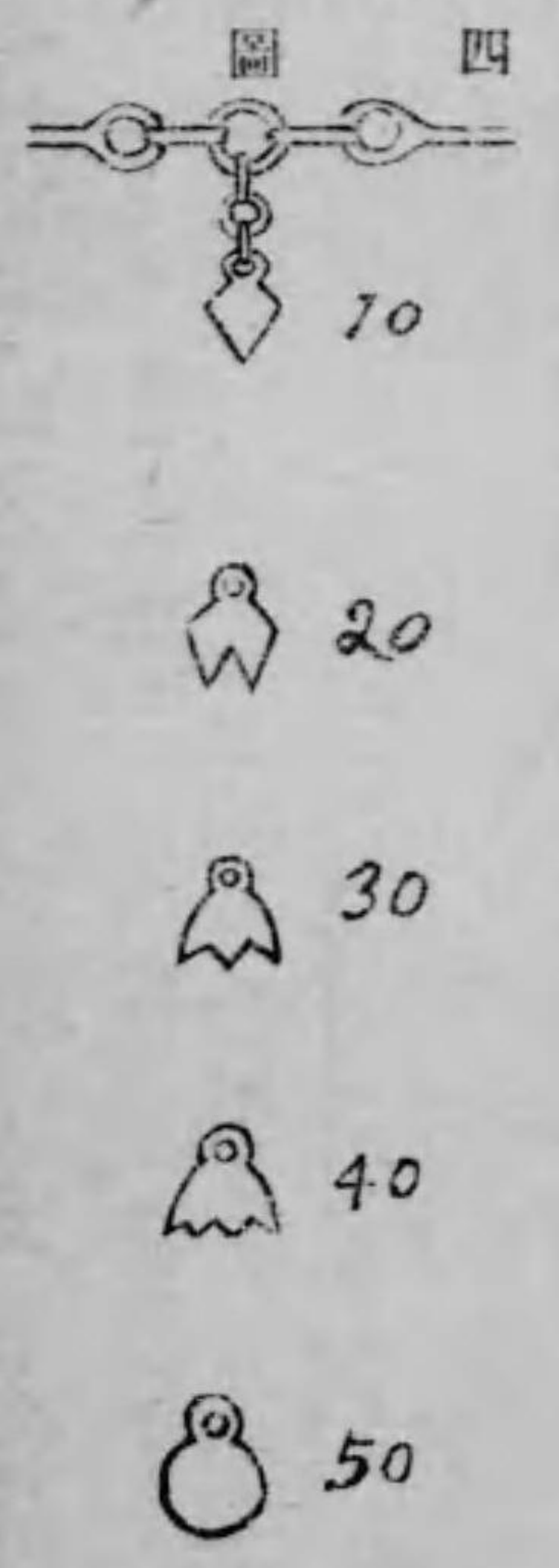
## 第三章 鏈鎖測量法

### 第一節 鏈鎖測量法

(一三) 鏈鎖測量法ハ測鎖又ハ卷尺ト方向ヲ定ムル簡單ナル器トヲ以テ單ニ距離ト方向トヲ測リ、諸點ノ位置ヲ定  
ムル方法ニシテ測量術ノ基礎トナルベキ作業ナリ。

### 第二節 測量用器具

(一四) 測鎖 測量用ノ鏈鎖ハ直徑一分内外ノ鍛鐵又ハ鋼鐵ノ線ヲ以テ作りタルモノニシテ、約八―九寸ノ針金ノ  
兩端ヲ環狀トナシ之ヲ一  
乃至三個ノ小環ヲ以テ互  
ニ連結シテ一定ノ長サト  
ナス、其ノ三個ノ小環ノ



中央ノモノ、中心ヨリ次ノ同位ニアル小環ノ  
中心マデノ長サヲ一節トシ百節ヲ以テ一鎖ト  
ナス、其ノ一〇、二〇、三〇、四〇、ノ各節  
毎ニ圖ノ如キ齒形ノ符號ヲ有スル眞鍮製小札  
ヲ附シ、五節、即チ鎖ノ中央ニハ齒形ヲ有セ

ザル圓形ノモノヲ附シテ一見他ノ小札ト識別シヤスクス、而シテ六〇ヨリ九〇マデハ齒形ノ符號ヲ逆順ニ附シタルモノナリ、猶、測鎖ノ兩端ニハ眞鍮製ノ把柄ヲ附シ螺旋ニ依リテ、溫度ノ變化等ヨリ來ル測鎖ノ伸縮ヲ調節スベキ裝置ヲ備フルモノアリ、而シテ一鎖ノ長サハ此ノ把手ノ内側又ハ外側ニアル刻ミニ測出ヲ立テ、測ルモノナリ。

(一五)「ガントー」鎖ハ英國ノ天文學者エ、ガントー氏ガ作りタルモノニシテ、全長六十六呎(約十間餘)一節七、九二吋ノ長サヲ有ス、之ヲ「リンク」トナス、英國ニテハ專ラ此ノ測鎖ヲ用キ、我が國ノ鐵道測量モ亦之ヲ用フ從ツテ鐵道ノ里程ハ總テ之ヲ以テ表ハス。今英國度量衡單位ト「ガントー」鎖ニヨル單位トヲ比較スレバ次ノ如シ。

英國度量衡

|   |       |     |       |                    |       |                    |
|---|-------|-----|-------|--------------------|-------|--------------------|
| 1 | =     | 760 | =     | 5280               | ..... | 0,410 <sup>m</sup> |
| 1 | =     | 3   |       |                    |       |                    |
| 1 | =     | 12  | ..... | 1,006 <sup>r</sup> |       |                    |
| 1 | ..... |     |       |                    |       | 0,828 <sup>r</sup> |

測量上ノ單位

|   |   |    |   |     |       |                 |       |                    |
|---|---|----|---|-----|-------|-----------------|-------|--------------------|
| 1 | = | 80 | = | 320 | =     | 800             | ..... | 0,410 <sup>m</sup> |
| 1 | = | 4  | = | 100 | ..... | 52 <sup>r</sup> | =     | 792 <sup>r</sup>   |
| 1 | = | 25 |   |     |       |                 |       | 7,92 <sup>r</sup>  |

(一六)米突鎖ハ陸軍ニテ多く使用ス、長サ普通二〇「メートル」トス、十間鎖ハ我が國ニ於テ廣ク一般ニ用キラル、モノニシテ長サ六〇尺ナル故一節ハ其ノ百分ノ一即チ六寸ニシテ一〇節毎ノ各符號ハ恰モ一間毎ニ附ケラレタルモノナリ。

(一七)卷尺 携帶及取扱ニ便ナラシメンガ爲メ革、金屬又ハ木製ノ鞘ノ中ニ自在ニ卷込マル、様ニ作ラレ、布卷尺ハ幅凡ソ五分ノ麻布ニ防水ノ塗料ヲ塗り目盛ヲ施シ織込卷尺ハ眞鍮線等ヲ縱トシテ經ニ布ヲ織込ミタルモノニシテ鋼製卷尺ハ鋼鐵ノ薄板ヲ用キテ時計ノ「ゼンマイ」ノ如ク作りタルモノナリ。

卷尺ハ兩面ニ目盛サレ一面ニハ

測鎖ニ用フル節、他面ニハ尺ヲ單位トシテ五分迄目盛ヲ施シアリテ長サ八十間ヨリ三十間マデ種々アリ。

(一八)竹尺 竹ヲ幅三、四分位ニ割リテ内部ヲ去リ眞鍮等ニテ繫キ伸バシ内部ノ面ニ必要ナル目盛ヲ施シタルモノナリ。

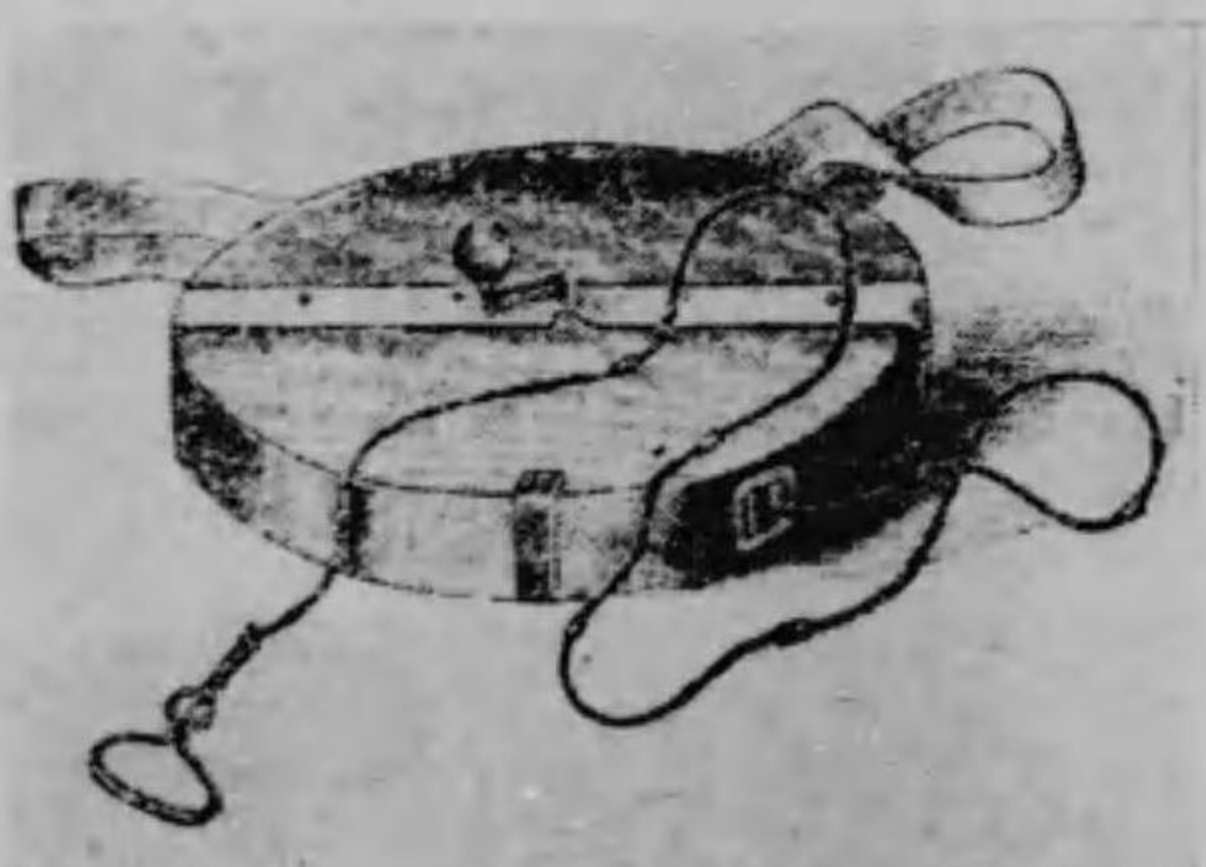
鎖ノ小鉄ヲ卷キテ目盛ヲ施シアリ。

(二〇)分尺 分尺ハ一間以内ノ端距離ヲ測ルトキニ使用スルモノニシテ卷込製ト棒製トノ二種アリ、前者ハ普通ノ懐中用卷尺ニシテ後者ハ長サ三尺餘、直徑八分内外ノ圓棒又ハ角棒ニ間ヲ單位トシテ厘位マデ目盛ヲ施シタルモノ

第五圖



第六圖



(一九)間繩 麻繩ノミヲ以テ作りタルモノト細キ金屬線ヲ心トシタルモノトアリテ何レモ澁ノ如キ單環實ノ塗料ヲ施シ一間或ハ一分毎ニ眞

ノナリ。

(二二) 測串 測串ハ長サ一尺内外ノ鋼線ノ頭部ヲ環狀トナシ下部ヲ尖ラシ、測鏡ノ端ヲ地上ニ印シ傍ラ數取リト

ナスモノニシテ十本ヲ以テ一組トナシ、外ニ落串ト名ツケ下端ニ錘ヲ備フ  
ルモノ一本アリ糸ヲ結ビテ「下ゲ振」ニ用キ、又ハ落下セシメテ鉛直方向ヲ  
定ムルノ際使用スルモノナリ、串ハ凡テ頭部ノ環ニ紅白ノ布片ヲ結ビツケ  
置ク時ハ叢等ニテ見失フ憂ナク且ツ携帶ニモ便ナリ。

(二三) 杓 杓ハ一ニ寸四方ノ木又ハ適宜ノモノヲ用フ。

(二四) 測桿 「ボール」標桿又ハ梵天ト稱シ境界其他ノ點ノ方向ヲ定ムル爲メノ目標トナス竿ニシテ太サ一寸内外

第八圖

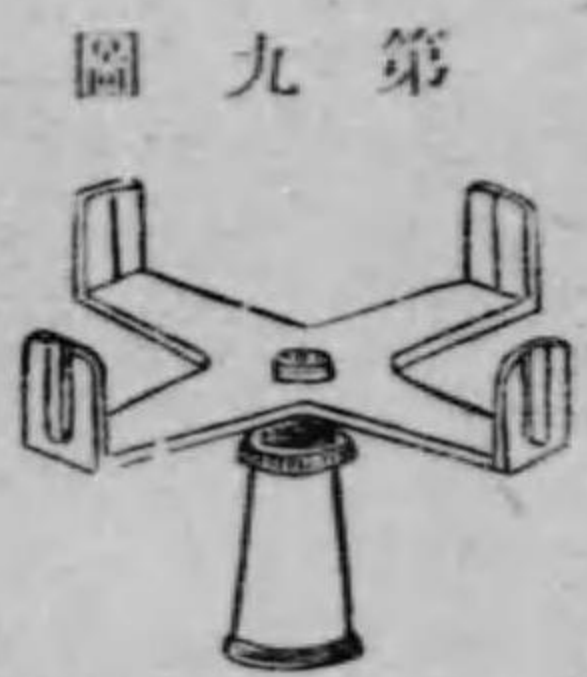


ノ檜、或ハ桂、等ノ圓棒ヲ紅白二  
様ニ塗り別ケ、鐵ノ石突ヲ嵌メタ  
ルモノニシテ其長サ六尺乃至一丈

ノモノ普通ナリ。

(二五) 光鏡、角鏡 二者何レモ互ニ四十五度ヲナセル二ツノ鏡ノ反射ニ依リテ直角ニアルニ物体ヲ同時ニ見得ル

器械ニシテ、鏡線ト直角ノ方向ニ枝距ヲ出ス時ニ用キラル、コトアリ。



(二五) 叉桿 叉桿モ亦枝距線ヲ出スニ用キラル、モノニシテ鏡線上ニ垂直ニ小桿ヲ立  
テ其ノ上ニ叉桿頭ヲ挿入セルモノナリ、第九圖ニ示セルハ其ノ簡單ナルモノニシテ、相  
對スル二ツノ細孔ヲ鏡線ノ方向ニ合セ他ノ一對ノ細孔ヲ見透ストキハ枝距線ノ方向ヲ見  
出スコトヲ得。

欠

# 欠

シ「ろ」角ヲ挟ム繫線ヲ記シアルヲ以テ「ろ」ヨリ「い」ノ方向ニ二間五分ノ縮尺ヲハカリ其ノ點ヲ中心トシテ三間五分ニ相當スル長サヲ以テ左方ニ圓弧ヲ作り「ろ」點ヲ中心トシテ三間七分五厘ニ相當スル長サヲ以テ左方ニ圓弧ヲ畫キ其ノ交點ト「ろ」點ヲ結ブ線ヲ延長スレバ「ろ」ノ方向定マル、此ノ線上ニ「ろ」ヨリ七間五分ニ相當スル長サヲハカリ「ロ1」トナシ之ヨリ左ニ垂線ヲ出シ二間二分五厘ニ相當スル長サヲ計レバ之ハ立木ノ位置トナル、「ロ1」ヨリ七間ニ相當スル長サヲハカリテ「ロ2」トナシ左ニ垂線ヲ作り垂線上ニ一間七分五厘ノ相當縮尺ヲハカレバ家屋ノ第三ノ角ヲ得ベシ、次ニ「ロ3」點ヨリ「ろ」は「線上ニ二間二分五厘ノ縮尺ヲハカリ「ロ3」トナシ更ニ左ニ枝距ノ縮尺二間二分ヲ作レバ物置ノ第一角ヲ得ベク、又「ロ3」ヨリ「ろ」は「線上ニ五分ノ縮尺ヲハカレバ物置ノ第二ノ角ノ位置トナリ、「ロ4」ヨリ二間ノ相當尺ヲハカリテ「は」點ヲ決定シ得ベシ、野帳ニハ更ニ「は」點ニ於テ測線ガ左ニ曲折シテ後チ右方ニ繫線ヲ測リタル事ガ示サレアル故ニ「は」點ヲ中心トシテ二間ノ縮尺ヲ以テ右方ニ圓弧ヲ畫キ「は」點ヨリ「ろ」は「線ノ延長上ニ二間五分ノ相當尺ヲハカリ之ヲ中心トシテ三間ノ縮尺ニテ圓弧ヲ畫キ二ツノ弧ノ交點ト「は」點ヲ結ビ付クル線ヲ延長スレバ「は」線ノ方向定マル、斯クノ如ク順次前述ノ如キ方法ニテ各點及枝距ヲハカリテ「い」點ニ至リテ了ルモノナリ、猶ホ別ニ「ろ」は「線上ニ「ろ」ヨリ五間五分ヲハカリ其ノ點ト「し」點トヲ連結スル線ガ檢線ノ十三間ト一致スルカ否カヲ檢シ測量ノ正否ヲ檢スベシ、カクシテ各點ヲ連結シ樹木、道路等ヲ夫々點ヲ追フテ記入スレバ此ノ測量ノ製圖ヲ完了スルヲ得ベシ。

## 第八節 閉塞差及其ノ配分法

(四二) 鐘鎖測量ニ於ケル繫線法、平板測量法又ハ羅盤測量法ノ進測法、等ニ依ツテ測量シタル實測圖ニ於テ最後ニ第一ノ點ニ復歸シタル場合ニ合致スベキ筈ノ同一點ガ「喰違ヒ」又ハ「開キ」ヲ生ジテ閉塞セザル事アリ之ヲ閉塞差ト



云フ、之レ距離ノ誤差ト極微ナル角度ノ誤差等ガ累積シテ生ズルモノニシテ其ノ原因ハ何ゾレノ線何ゾレノ角ニアリシカハ再測セザレバ知ルヲ得ズ、故ニ普通作業ノ種類ニ依ツテ閉塞差ノ許容範圍ヲ定メテ其ノ限度以上ノ差ヲ生ジタル場合ハ再測スベキモノトス。

(四二) 閉塞差配分法 例ヘバ第十八圖ノ如キ實測圖ニ於テ起點(イ)ト終點トカ一致セズシテ生ジタル閉塞差「イ

イ」ヲ連結シ各境界點ヨリ之ニ平行ナル直線(ロロロ)(ハハハ)(ニニニ)ヲ引キ、左ノ如キ配分法ニヨリ算出セル數ヲ夫々各平行線上ニ測リテ(圖面上縮尺ヲ用フ)(ロロ)(ハハ)(ニニ)トナシ各點ヲ結び付クル圖形「イロロハハニ」ハ修正セル圖形ナリ。

各角頂ニ配分セララルル閉塞差ノ算式

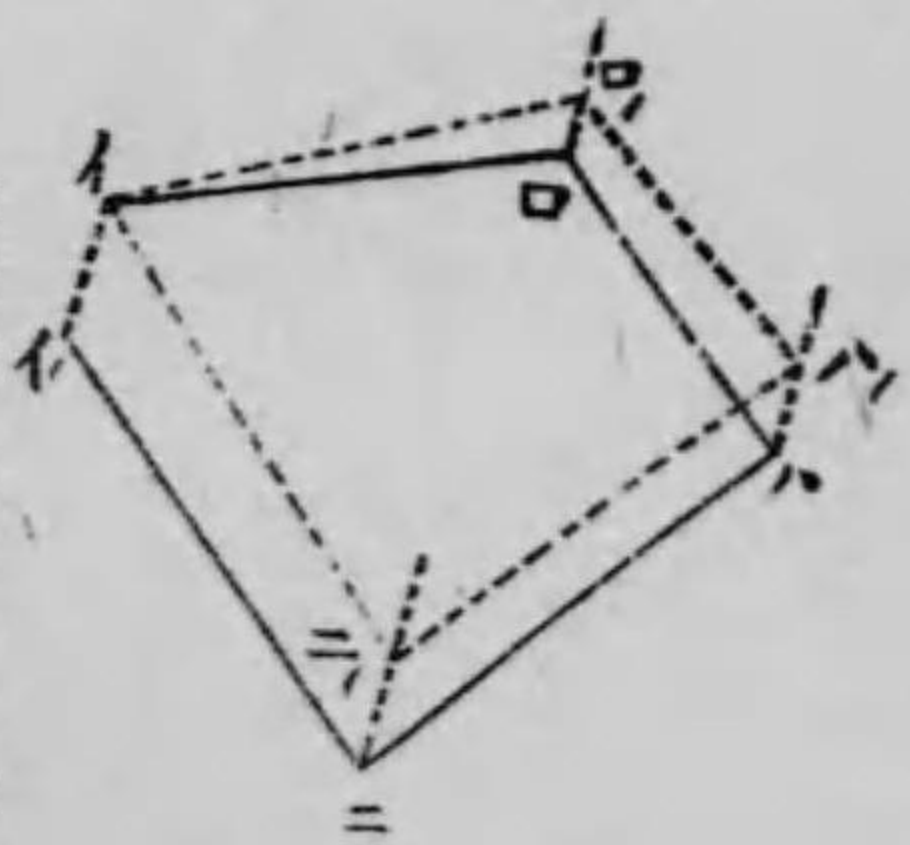
$$(1) \frac{\text{閉塞差} \times (4ロ)}{\text{測線全周ノ距離}} = (ロロロ) = \text{於ケル配分數}$$

$$(2) \frac{\text{閉塞差} \times (4ロ)}{\text{測線全周ノ距離}} = (ハハハ) = \text{於ケル配分數}$$

$$(3) \frac{\text{閉塞差} \times (4ロ)}{\text{測線全周ノ距離}} = (ニニニ) = \text{於ケル配分數}$$

$$(4) \frac{\text{閉塞差} \times (4ロ)}{\text{測線全周ノ距離}} = (イイイ) = \text{於ケル配分數即チ閉塞差ナリ}$$

第十八圖



### 第九節 鏈鎖測量上ノ誤差ト精度

(四四) 鏈鎖測量ハ以上數節ニ亘リテ既述シタリト雖歸着スル所ハ距離ノ測量ニ依リテ諸點ノ位置ヲ定ムルモノニシ

テ距離測量ハ後章ニ述アル總テノ測量法及面積算定ノ基礎ヲナシ、特ニ平板測量法ノ距離測量ハ直接本法ニ依ルベキモノニシテ、如何ニ測量ノ方法精神、高尚ナリトモ距離ノ測定ニ誤リアラバ其ノ測量ノ結果ハ徒勞ニ歸ス、然レドモ距離測量ハ如何ナル名手ト雖又如何ニ精巧ナル器械ヲ用フルト雖同一場所ヲ二回以上測量シ、又ハ異ナル人ガ測量スル場合ハ必ず同一結果ヲ得ラルベキモノト斷定シ能ハザルモノニシテ、前後二回ノ測量距離ヲ比較シテ差ヲ生ジタル場合ニ之ヲ較差ト云フ、如斯距離ノ誤差ヲ生ズル原因ハ種々アレドモ主トシテ各鎖ノ兩端ニ立ツル測串ノ位置ニ多少ノ過不足アル事アリ、又測量尺ノ目盛ヲ誤讀スル等ノ爲メニ誤ヲ生ズ、カ、ル誤差ヲ積差ト云ヒ、測鎖自身ノ長サ標準尺ニ比シ誤リアルトキハ一鎖毎ニ此ノ誤ハ累積ス之レヲ累差ト云フ測鎖ノ斜レ、直線ノ曲撓、水平ノ不正等皆累差ヲ生ズ、其他温度ノ變化ニ依リ起ル測鎖ノ伸縮、大氣ノ乾濕ノ爲メニ生ズル卷尺ノ伸縮等亦累差ナリ。

(四五) 測鎖ノ精度 普通ノ鏈鎖測量ニ於テハ相當ノ注意ヲ用フレバ三千分ノ一乃至四千分ノ一ノ精度ヲ得ルコト困難ナラズト云フ、重要ナル測量又ハ五十間以上ノ距離ナラバ二回測量シ其ノ較差ガ其ノ測量ニ於ケル許容ノ範圍内ナル時ハ前後二回ヲ平均シタル距離ヲ使用シ、其ノ範圍外ナル時ハ再測セザルベカラズ、今各局員ノ著書ニ記載セラレタル許容ノ範圍ヲ擧グレバ次ノ如シ。

#### (四六) 距離較差極限

|          |                 |                                 |
|----------|-----------------|---------------------------------|
| 大阪局      | 一、銅製尺度使用ノ場合較差極限 | $0,0025 \sqrt{\text{最初ノ測量距離}}$  |
|          | 二、右ノモノ以外尺度使用同   | 同                               |
| 東京局      |                 | $0,0095 \sqrt{\text{K}}$ (K、間數) |
| 元金澤局(測鎖) |                 | $0,032 \sqrt{\text{K}}$ (K、間數)  |

名古屋、熊本局(間繩ナルガ加シ)

$$0.024 \sqrt{\text{間 數}}$$

右ノ如ク區々ナレドモ測鎖及之ニ類スルモノヲ使用シタル場合ノ較差限度ハ  $0.016 \sqrt{\text{區數}}$  間繩其他之ニ類スルモノヲ使用シタル場合ノ較差限度ハ  $0.024 \sqrt{\text{區數}}$  トスルヲ適度トス。

(四七) 閉塞差許容範圍(公差)

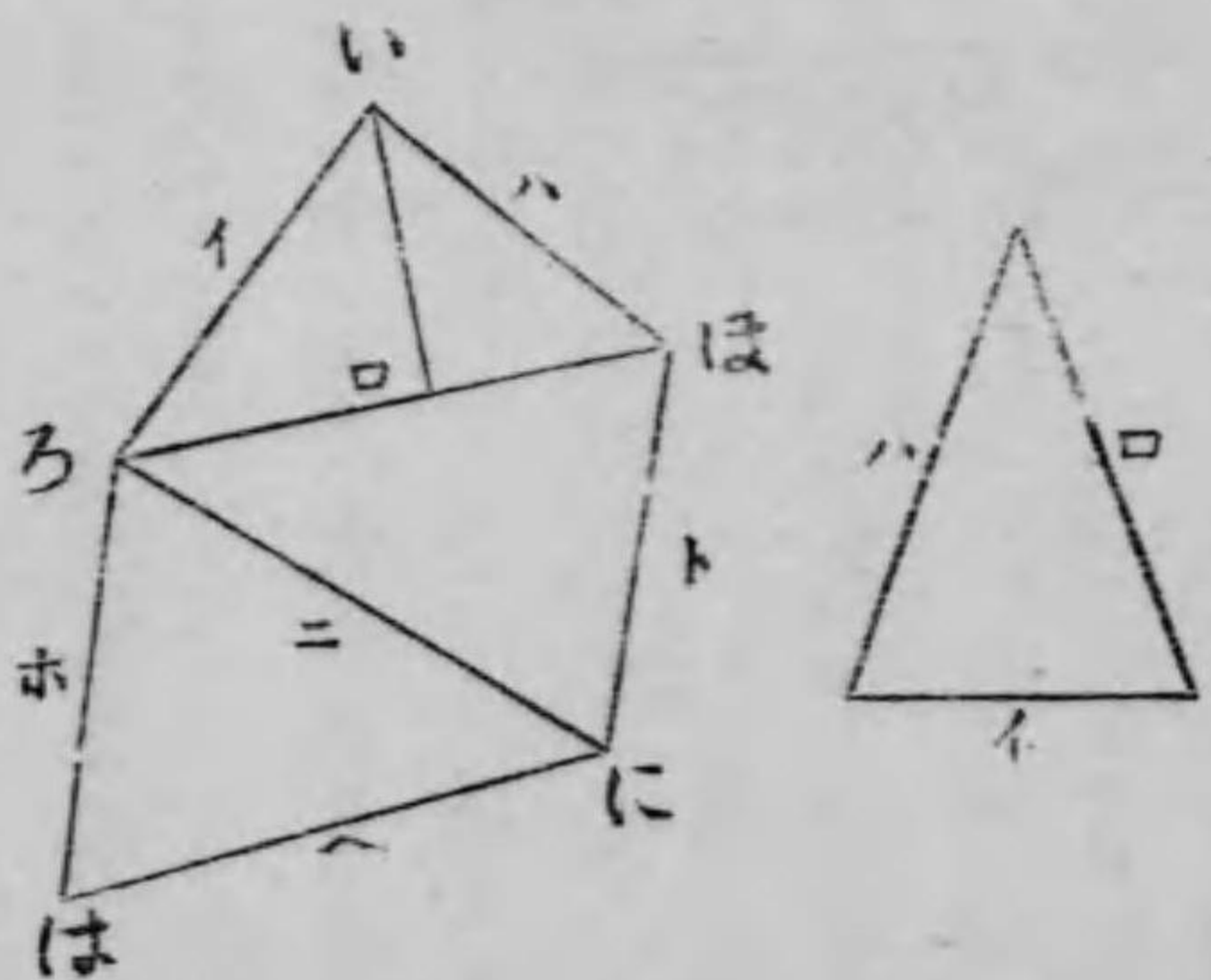
| 熊本局                         | 種規法ニ依リタル測景圖ノ場合                       | 單規法ニ依リタル測景圖ノ場合               |
|-----------------------------|--------------------------------------|------------------------------|
| 縮尺三千分の一 $(\frac{1}{3,000})$ | ノ圖ナキトキハ $0.0004 \sqrt{\text{邊數}}$ 以内 | $0.0004 \sqrt{\text{邊數}}$ 以内 |
| 千二分の一 $(\frac{1}{1,200})$   | $0.0008 \sqrt{\text{邊數}}$            | $0.0014 \sqrt{\text{邊數}}$    |
| 六百分の一 $(\frac{1}{600})$     | $0.0010 \sqrt{\text{邊數}}$            | $0.0014 \sqrt{\text{邊數}}$    |
| 三分の一 $(\frac{1}{300})$      | $0.0015 \sqrt{\text{邊數}}$            | $0.0018 \sqrt{\text{邊數}}$    |
| 東京局、名古屋局                    | $0.0001 \sqrt{\text{邊數}}$            |                              |
| 大阪局閉塞差ノ極限                   | 第一類地 全線ノ六百分の一                        |                              |
|                             | 第二類地 全線ノ三分の一                         |                              |

右ノ如クナルガ大体ニ於テ熊本局員ノ著書ニ載セラレタル許容範圍ノ程度ニテ可ナリ。

第十節 平面積算出法

(四八) 平面積(地積) ノ算出法ハ種々アリト雖モ今其ノ簡單ナルモノ二種ヲ記ス。第一ノ方法ハ圖面ヲ數個ノ三

圖九十第



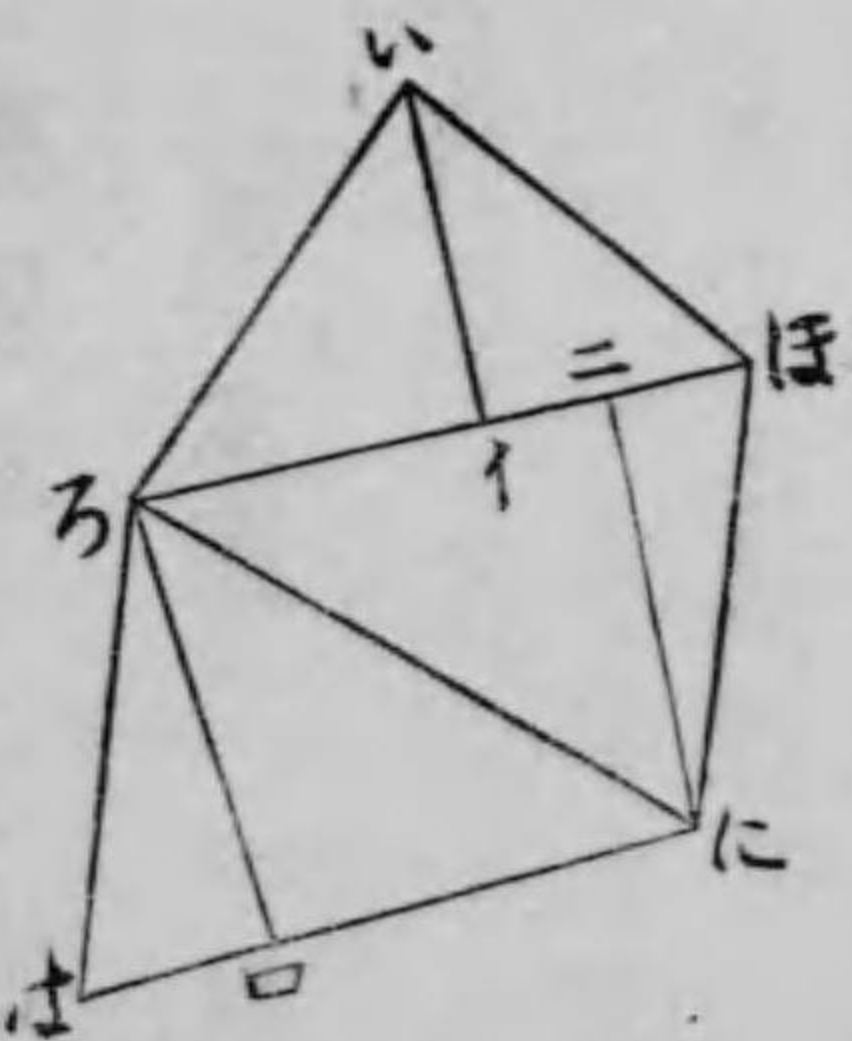
角形ニ區分シ其ノ各邊ノ長サヲ知リテ左ノ公式ニヨリ面積ヲ算出ス。

$$\text{面積} = \frac{1}{2} \times \text{半周} \times (\text{半周} - \text{イ}) \times (\text{半周} - \text{ロ}) \times (\text{半周} - \text{ハ})$$

此所ニ半周トハ三角形ノ全周ノ半分ノ事ニテ半周  $= \frac{\text{イ} + \text{ロ} + \text{ハ}}{2}$

トイロハハ三角形ノ各邊ノ長サトス。

圖十二第



(四九) 第二ノ方法モ亦圖面ヲ數個ノ三角形ニ區分シテ其ノ各三角形ノ一ツノ頂點ヨリ底邊ニ垂線ヲ下シ底邊及垂線ノ長サニヨリ面積ヲ算出ス。

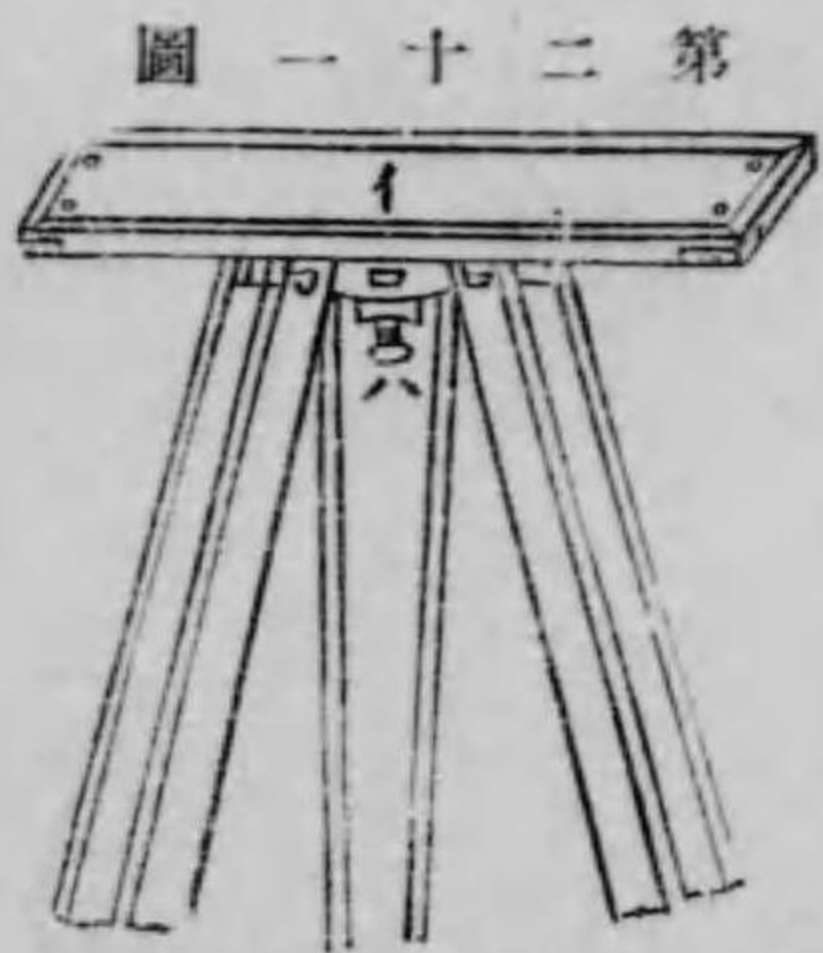
$$\text{面積} = \frac{\text{底邊} \times \text{垂線}}{2}$$

何レノ法ニヨリテモ全地形ガ數個ノ三角形ニ區分セラレタル時ハ其ノ各三角形ノ面積ヲ算出シテ其ノ合計ヲ以テ全面積トス。(三三) 参照)

## 第四章 平板測量法

### 第一節 平板測量ニ要スル器械

凡テ器械ハ使用ニ先ダテ要部ノ整正ナルヤ否ヲ點檢シ整正ナラザル部分ハ之レヲ改正シテ齊正ヲ認メタル後ニアラザレバ使用スベカラズ、若シ不正ナル器械ニ依リテ測量シタリトセンカ、其ノ結果ハ不正ナルヲ以テ測量後ニ於テ非常ナル手数ヲ爲シテ改正ヲ施サザルベカラズ然モ改正ヲ爲シ得ル場合ハ單ニ手数ノ問題ノミナルヲ以テ尙可ナリトスルモ、改正ヲ施スヲ得ザル場合多ク遂ニ測量ヲ再行セザルベカラザルニ至ルコトアリ、故ニ器械ノ點檢ハ測量ニ最モ必要ナルコトヲ覺悟シ測量ニ着手前點檢ヲ爲スベキハ勿論丈量繩ノ如キ不正ニ陥リ易キモノハ使用中ト雖時々點檢ヲ試ムルノ要アリト知ルベシ、而シテ器械ノ齊正ナルヤ否ヲ點檢セントスレバ其ノ用途及構造等ヲ知ラザルベカラザルヲ以テ構造ヲ記シテ點檢方法ヲ述ベントス。



(五〇) 平板(測板又ハ圖板トモ云フ)ハ圖紙ヲ貼付スルノ板ニシテ第二十一圖ノ(イ)即チ是レナリ、其ノ構造ハ檜ノ厚サ約二分ノ板ヲ木理ヲ縱横トシテ三枚ヲ重ネ合セテ膠著シ檜又ハ櫻ノ如キ堅キ木質ノモノヲ用キテ周圍ヲ卷キ隅角ニハ眞鍮ノ隅金ヲ螺著シテ狂ヒヲ生ゼザル様作りタルモノニシテ測量ノトキ方筥羅針ヲ適宜ノ隅ニ螺著シ得ル様四隅ニ小孔ヲ穿チアリ、又平板ノ裏面ニハ飯匙形ノ金具ヲ付シテ三脚ノ(ハ)螺子ノ頭部ヲ嵌メ込ミ平板ハ任意ノ方向ニ旋回シ(ハ)螺子ヲ緊メルトキハ三脚ニ緊著シテ固定スル様装置シアリ。平板ノ大サハ一尺四方、

一尺二寸四方、一尺五寸四方ノモノ、或ハ一尺二寸ノ長方形ノモノ等種々アリ、如何ナル大サノモノヲ使用スルモ測量上差支ナキヲ以テ測量ノ目的並ニ測地ノ大小ニ依リ測量ニ便宜ナルモノヲ選ムヲ宜シトス、而シテ地形測量ニ於テハ正方形ノモノハ使用上便宜ニシテ且ツ普通使用セラル。

平板測量ハ一ニ平板上ニ於テ行ハル、モノニシテ板面ハ正シク平ラカナラザルベカラズ、板面ガ平ラカナリヤ否ヲ點檢センハ平板面上ニ正シキ長定規ノ縁ヲ添ヘ除カニ縱横ニ滑動セシメツ、板面ト定規トノ接觸面ヲ檢スルニ板面ト定規トガ間隙ナク接スルトキハ其ノ平板ハ正シキ證左ナルヲ以テ使用スルニ足ルベシ、若シ間隙アルトキハ製造者ノ手ニ依リ削リ改ムルノ外ナシ。平板裏面ノ金具ハ平板ヲ三脚ニ取り付ケ(ハ)螺子ヲ緩ムルトキハ任意ノ方向ニ旋回シ緊ムルトキハ平板ガ緊著シテ固定スレバ完全ナリ。

平板面ハ正シク平ラカナラザルベカラズ故ニ板面ヲ毀損セザル様注意シ測量ノ際平板上ニ植立スル針孔ノ如キモ可成大ナラシメザルコト、及圖紙ヲ平板ニ貼付スルトキハ周圍ヲ卷キタル縁ノ部分ニノミ糊シ表面ニ糊著スルガ如キコトナキ様注意セザルベカラズ、又作業終ルカ、他ノ點ニ平板ヲ移サントスルトキハ三脚ト平板トノ接合螺子(ハ)ヲ緩ムルコトヲ忘ルベカラズ。

(五一) 三脚 第二十一圖(ロ)ハ三脚ニシテ平板ヲ安定スベキ臺ナリ其ノ構造ハ三脚板ヲ撐板ニ螺著シ撐板ノ中央ニ眞直ナル孔ヲ貫穿シ下字形螺子ヲ自由ニ上下シ得ル様嵌メタルモノニシテ下字形螺子ノ額部ヲ平板裏面ノ座金ニ付シアル孔ニ嵌メテ平板ニ接合セシム而シテ下字形螺子ノ螺旋ヲ緊ムレバ平板ハ固定シ緩ムレバ平板ハ自由ノ方向ニ滑動セシムルヲ得ベシ。

(五二) 方筥羅針 方筥羅針ハ螺旋ニ依リ平板ノ隅ニ固著セシメ方位ヲ定ムルニ要スルモノニシテ第二十二圖ハ即チ之レニシテ長方形ノ小箱ノ中ニ磁針ヲ備ヘ箱ノ底部中央ニ鐵ノ心柱アリテ羅針ノ兩端ヲ水平ニシ筥内左右ニ振動



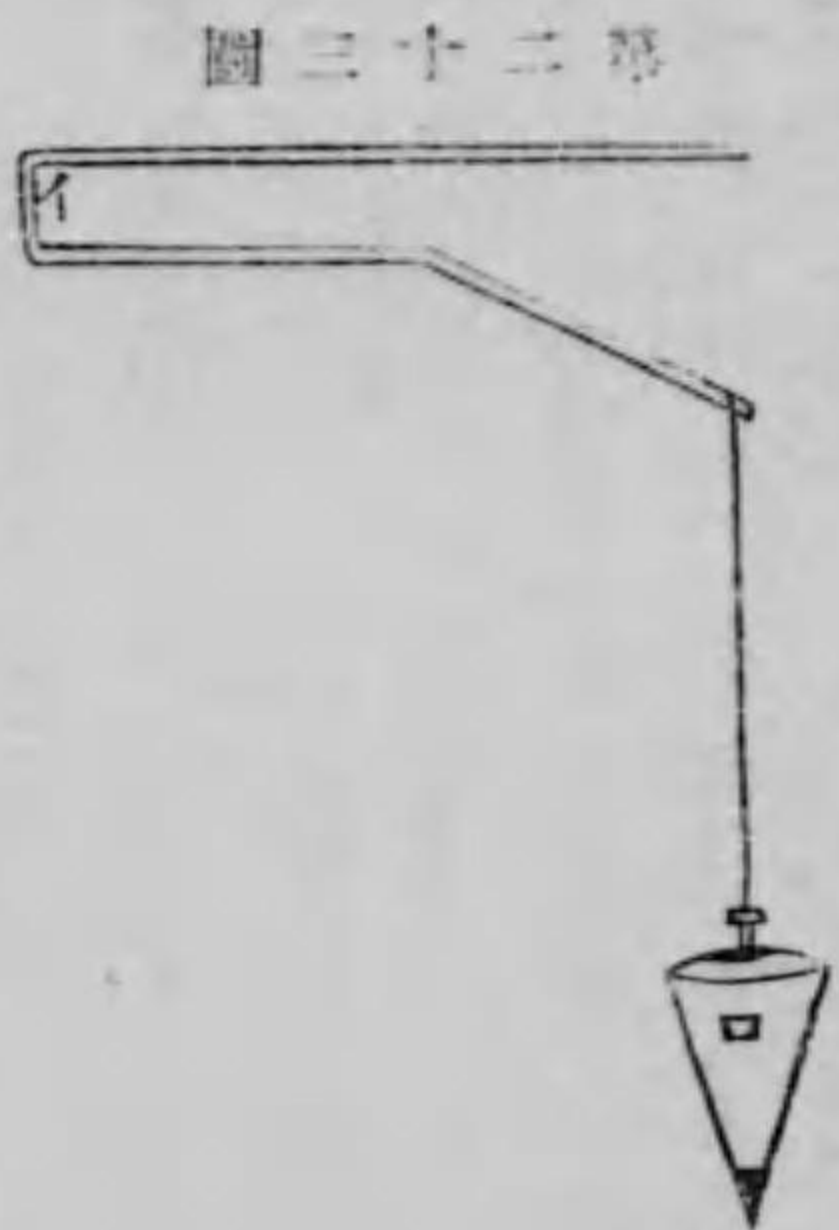
圖二十二第

シ得ル如クシ上面ヲ玻璃板ニテ覆ヒ風塵ノ入ルヲ防ギアリ、羅針ノ一方ハ瑠璃色トナシ北方ヲ示シ他方ハ白色トナシ南方ヲ示スヲ普通トス、羅針ハ短キモノヨリモ長キモノヲ良トス然レドモ長サ約四寸以上ノモノハ却テ振動敏捷ヲ缺クト云フヲ以テ、平板ノ大サニ依リ適宜ノモノヲ使用スルヲ宜シトス。

羅針ハ水平ノ場所ニ置キタル場合ニ水平ナラザレバ南北ヲ指示セントシテ振動スルヲ得ザルベシ故ニ水平ナラザル場合ニハ水平ヲ保ツマデ其ノ輕キ方ノ裏ニ少量ノ封蠟ヲ熱シテ著クベシ。

羅針ハ感應力充分ナラザルベカラズ、方筐羅針ヲ水平ノ場所ニ据エ之レニ振動ヲ與ヘタル場合ニ羅針ハ舊位置ニ復セントシテ上下ニ二三回左右ニ七八回振動シテ靜止スルトキハ感應力充分ニシテ良好ナルノ證左ナリ、若シ其ノ振動一二回ニシテ靜止スルモノ、如キハ磁力弱キカ、又ハ磁針ヲ支フル心柱ノ尖頭銳ナラザルニ依ルモノナリ、故ニ前者ナルトキハ馬蹄形磁石又ハ磁氣棒ニ依リ數回除カニ摩スルトキハ磁力増加スベシ然レドモ是等ノ器械ナキトキハ製造者ノ手ニ依リ修理スルノ外ナシ、若シ心柱ノ磨滅ニ依ルモノナルトキハ心柱ヲ筐ノ裏面ヨリ取出シ質ノ緻密ナル砥石ヲ以テ尖頭ヲ輕ク研クトキハ改良シ得ベシ。

作業終ルカ又ハ他ノ點ニ移ラントスルトキハ筐ノ縁ニアル(ハ)留螺子ヲ締メテ羅針ノ振動ヲ停止セシメ、又測量中ト雖可成激震ヲ與ヘザル様注意シ藏置スル場合ニハ近邊ニ鐵器類ヲ避クベキハ勿論東西ニ平行ニ置クヲ宜シトス。



圖三十二第

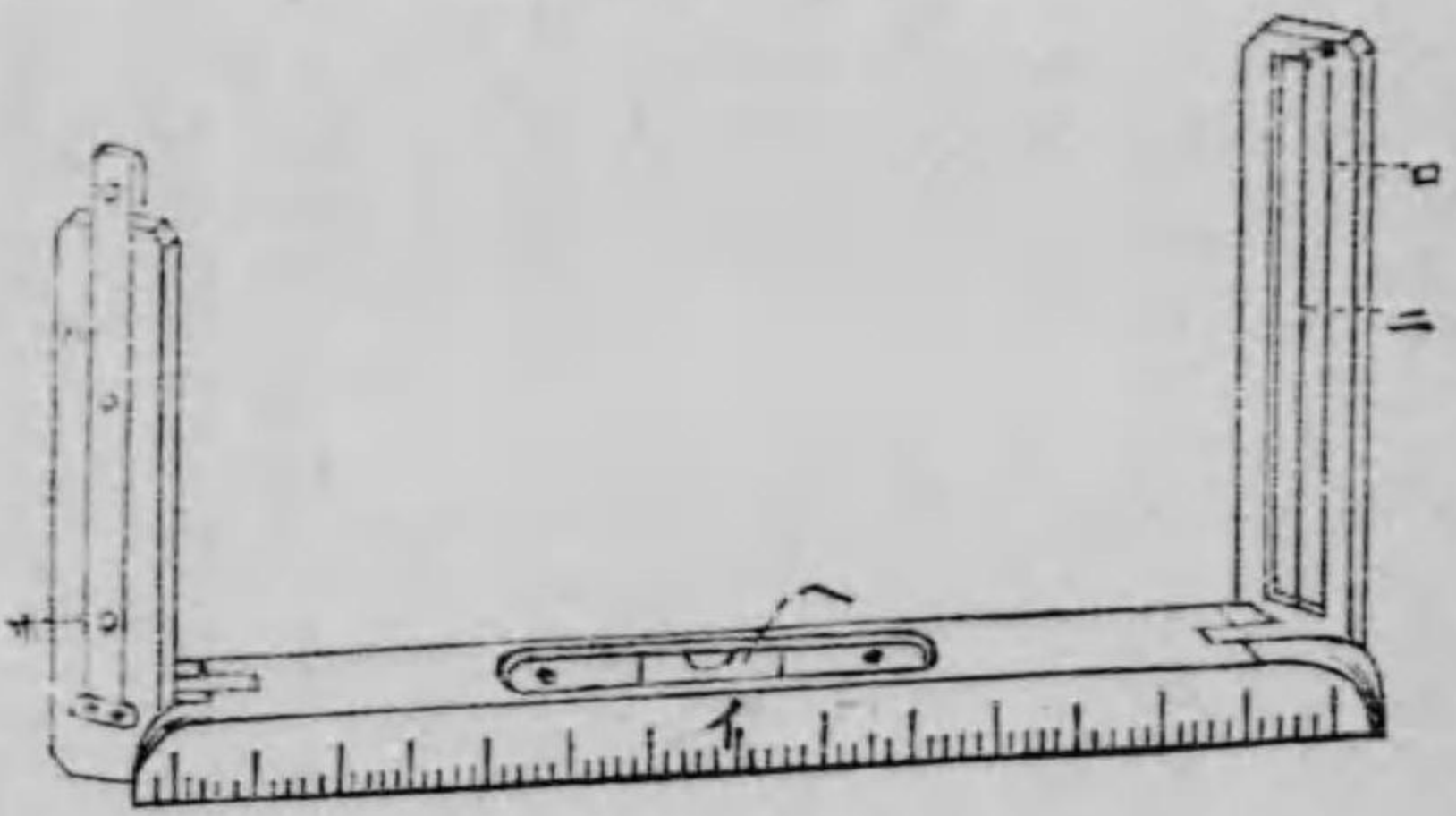
(五三) 求心器及錘球 求心器ハ金屬製ノモノ木製ノモノ等種々アル

モ其ノ構造ハ第二十三圖ノ如ク鉤形ノ一端ニ錘球ヲ垂下シ得ル様製シタルモノニシテ、地上ノ點ト平板上ノ點トヲ鉛線中ニ在ラシムル様、即チ圖上點ヲシテ地上點ノ眞上ニ在ラシムル様平板ヲ据エルトキ又ハ圖上點ヲ地上ニ現ハサントスルトキニ使用セラル、モノナレバ垂下シタル錘球ト求心器トノ兩端ヲ結び付タルトキハ一直線ヲ爲サルベカラズ。

(五四) 照準儀 照準儀ノ構造ハ種々アルモ最モ普通ナルモノハ第二十四圖ノ如キモノニシテ、黃楊製ノ定規ノ兩端ニ直平鏡ヲ付シ定規ニハ水準器ヲ裝置シアリテ、直平鏡ノ一方ニハ椀形ノ長窓ヲ穿チ中央ニハ垂直ニ馬ノ尾ヲ張り、他方ノ直平鏡ニハ中央ト夫レヨリ上下ニ各一個都合三個ノ小孔ヲ穿チタルモノニシテ、馬ノ尾ヲ張りタル方ノ直平鏡ヲ前直平鏡ト云ヒ、馬ノ毛ヲ照準絲ト云フ小孔ヲ穿チタル方ノ直平鏡ハ之レヲ後直平鏡ト云ヒ、小孔ヲ規孔ト云フ。

照準儀ハ方向線ノ測定及平板ヲ水平ニ据ウルニ使用セラル、モノニシテ、定規ニ裝置シアル水準器ニ依リ平板ヲ水平ニ据エ、規孔ヨリ測點ニ樹テタル標桿ヲ規視シテ照準絲ニ一致セシメ、定規ニ添フテ方向線ヲ描クモノナリ、照準儀ノ大サハ七寸、九寸、一尺等種々アリテ何レヲ使用スルモ同一ナリ、只使用上ノ便宜ヨリ平板ノ大サニ依リテ適宜ノモノヲ選ブヲ宜シトス普通尺二寸ノ平板ニハ七寸、尺五寸ノ平板ニハ九寸ノモノ使用セラル。定規ニ依リ描ク線ハ直線ナラザルベカラズ、定規ノ縁ニ依リ直線ヲ描キ得ルヤ否ヲ檢スルニハ、定規ノ縁ニ添フテ圖紙上ニ一線ヲ描キテ照準儀ヲ反對ニ置換ヘ其ノ線ニ一致セシメ、再ビ縁ニ添フテ一線ヲ描クトキハ、兩線ハ全ク

圖 四 十 二 第



- イ 定規部
- ロ 前直平板
- ハ 後直平板
- ニ 照準絲
- ホ 視孔
- ヘ 水準器

重ナリ合フベシ、之レ定規ノ正シキ證左ナリ、若シ一  
致セザルトキハ定規ノ縁ハ直線ヲ描キ得ザルモノナレ  
バ、平ラカナル板ノ上ニ紙鶴ヲ置キ輕ク定規ノ縁ヲ磨  
シテ再三點檢ヲ行ヒ二線ガ全ク重ナリ合フマデ改正ス  
ベシ。

水準器ハ定規ノ底面ニ平行ニ裝置セラレザルベカラズ  
平板ヲ三脚ニ固定シ平板上ニ照準儀ヲ三脚ノ一ツノ脚  
ト丁字形ヲ爲ス様ニ置キ、其ノ脚ヲ左右ニ動カシテ水  
準器ノ氣泡ヲ中央ニ導キ、次ニ照準儀ヲ反對ノ方向ニ  
置換フベシ、此ノトキ氣泡ガ依然中央ニアルトキハ水  
準儀ハ定規ノ底面ニ平行ニ裝置セラレアルモノニシテ  
水準器ノ裝置ガ正シキモノトス、若シ照準儀ヲ反對ニ

置換ヘタル際氣泡ガ中央ニアラザルトキハ、水準器ノ一方ガ高キ證左ナルヲ以テ改正螺旋ニ依リ高キ方ヲ低クメテ  
改正スベシ、然レドモ此ノ改正ハ一回ニテハ容易ニ改正シ得ラレザルニ依リ再三點檢ヲ爲シツ、齊正スベキナリ。  
直平板ト定規トハ直角ヲ爲サザルベカラズ、照準儀ヲ平板上ニ置キ照準儀ノ定規ノ厚キ方ニ正シキ三角定規ヲ沿ハ  
セ、其ノ三角定規ヲ滑ラシテ定規ノ一邊ト直平板ト正シク接スルヤ否ヲ見ルベシ、若シ正シカラザルトキハ直平板  
ノ螺旋ヲ拔キ取り、直平板カ接合スル定規部ヲ少シク削リテ改正シ、再ビ點檢ヲ行フベシ。  
視線平面ハ垂直ナラザルベカラズ、視線平面(三ツノ視孔ヨリ視タル視線ト照準絲トノ爲ス平面)ハ垂直面ナリヤ

否ヲ檢スルニハ水平ニ据エタル平板上ニ照準儀ヲ置キ、數十間隔リタル眞直ナル樹木又ハ避雷針ノ如キモノ、若シ  
適當ノモノナキトキハ絲ニ錘ヲ付シテ吊リ下ゲ、最初ニ上視孔ヨリ覗キテ照準絲ヲ合セ、次ニ照準儀ヲ動かサズ其  
儘中ノ視孔及下ノ視孔ヨリ覗キ視ルニ最初ト同様照準絲ガ視シタルモノニ正シク合致スルトキハ其ノ視線平面ハ  
垂直ニシテ正シキヲ證ス、若シ合致セザルトキハ視線平面ハ垂直ナラザルモノナレバ、何レノ部分ガ不正ナルヤ次  
ノ如キ點檢ヲ爲シテ不正部分ヲ探リ改正スベキナリ、(一)照準儀ヲ乗セタル平板ガ水平ナルヤ否ヲ檢スベシ、照準  
儀ノ水準器ハ既ニ規正セラレタルヲ以テ水準器ニ依リテ檢セバ平板ガ水平ナリヤ否ハ直チニ知ルコトヲ得ベシ、  
(二)直平板ハ垂直ナルヤ否ヲ檢スベシ之レヲ檢スルニハ照準儀ノ定規ノ縁ノ厚キ方ヲ平板上ニ倒ストキハ兩直平板  
ハ板面ニ平等ニ接スベシ、若シ平等ニ接セザルトキハ前後何レカノ直平板ガ垂直ナラザルモノナレバ、直平板ガ接  
合スル定規ノ部分ヲ少シク削リ、兩直平板ガ平等ニ接スルニ至ルマデ改正スベシ、以上ノ改正ヲ爲スモ尙視線平面  
ガ不正ナルトキハ、三ツノ視孔ヲ結び付クル直線ガ垂直ナラザルカ、又ハ照準絲ガ垂直ナラザルニ依ルモノナレバ  
此ノ改正ハ製造者ノ手ニ依ルノ外ナシ。(一〇四)参照

(五五) 標桿 測桿ト同一ニ付キ(二三)ヲ参照スベシ。

(五六) 測量針 測量針ハ最モ細キ針ニシテ、照準儀ニ依リ方向視視ノトキ平板上ニ植立シ、又ハ圖上ニ點ヲ表示  
スルトキ針孔ヲ穿ツノ用ニ供スルモノナリ。

(五七) 縮尺用尺度 尺度ハ實測距離ヲ圖紙上ニ定ムルトキ、又ハ圖紙上ノ線長ヲ測リテ實距離ヲ知ラントスルト  
キノ用ニ供スルモノニシテ普通ノ尺度ト異ナラズ、唯目盛ヲ細緻ニシタルモノナリ、其ノ長サハ六寸、一尺二寸等  
種々アリ目盛モ亦五厘目ト二厘五毛目ト盛リタルモノ、又ハ五厘目ト二厘目ト盛リタルモノ等アリ、長サハ測  
圖ノ大小ニ依リ適宜ノモノヲ選ミ、目盛ハ縮尺割合ニ依リ定ムルヲ可トス、而シテ六百分一ノ縮尺ニ依ルトキハ、

一厘目盛ノモノハ使用上便宜ナラン。

(五八) 測鎖 (一四)乃至(一九)ヲ参照スベシ。

(五九) 檢定尺 檢定尺ハ長サ三尺幅一寸厚サ五分ノ樫製ノ尺度ニシテ丈量繩等ノ點檢ニ使用セラレ。

(六〇) 三角定規 三角定規ハ、垂直線及平行線ノ描畫又ハ器械ノ點檢等ニ使用セラレ、測量上缺クベカラザルモノニシテ、二等邊三角定規(四十五度ノ三角定規)ト直角三角定規(六十度ノ三角定規)トノ二枚ヲ以テ一組トス、而シテ三角定規ノ直角部分ハ最モ正確ナラザルベカラザルヲ以テ時々之レガ點檢ヲ爲サバカラス、三角定規ノ直角部方正確ナリヤ否ヲ檢センニハ、圖紙上一ツノ直線ヲ描キテ三角定規ノ直角ヲ挟ム一邊ヲ此ノ線ニ合セ、他ノ一邊ニ沿フテ一線ヲ描クベシ、次ニハ其ノ儘定規ヲ折返シ先ニ描ケル線ニ定規ノ一邊ヲ正シク合致セシメ、他ノ邊ニ沿フテ一線ヲ描クトキハ其ノ線ハ先ニ描キタル線ト重ナリテ一直線トナルカ、又ハ角ヲ爲スベシ、一直線トナリタルトキハ直角部方正確ナリ、若シ角ヲ爲シタルトキハ其ノ角ノ二分ノ一文改正ヲ要スルモノナレバ、平ラカナル板上ニ紙鏝ヲ置キ、定規ノ一邊ヲ輕ク磨シテ正シクナルマデ削リ改ムベシ。

(六一) 繩製三角定規 實測ノ場合ニ於テ、直角ヲ測ル爲メ直角定規ヲ使用スルトキ、普通ノ三角定規ニテハ小ニ過ギ誤差ヲ生ズル虞アリ、故ニ、カ、ル場合ニハ、繩製ノ大ナル直角定規ヲ使用スルヲ可トス、繩製ノ直角定規ハ



圖五十二第

最モ簡單ニ製作スルヲ得ベシ、即チ、第二十五圖ニ示ス如ク「イロ」ノ長サヲ三、「ロハ」ノ長サヲ四、「イハ」ノ長サヲ五ナル割合トシテ三ツノ絲ヲ結び付ケ結目ニハ握絲ヲ附スベシ、使用スルトキ其ノ握絲ヲ三方ニ引キ張レバ「ロ」ハ直角トナルベシ、而シテ各邊ノ長サハ三、四、五ノ比ヲ爲ストキハ長サノ單位ハ尺、間、米突等何單位ニテモ同様ナリ。

### 第二節 距離測量

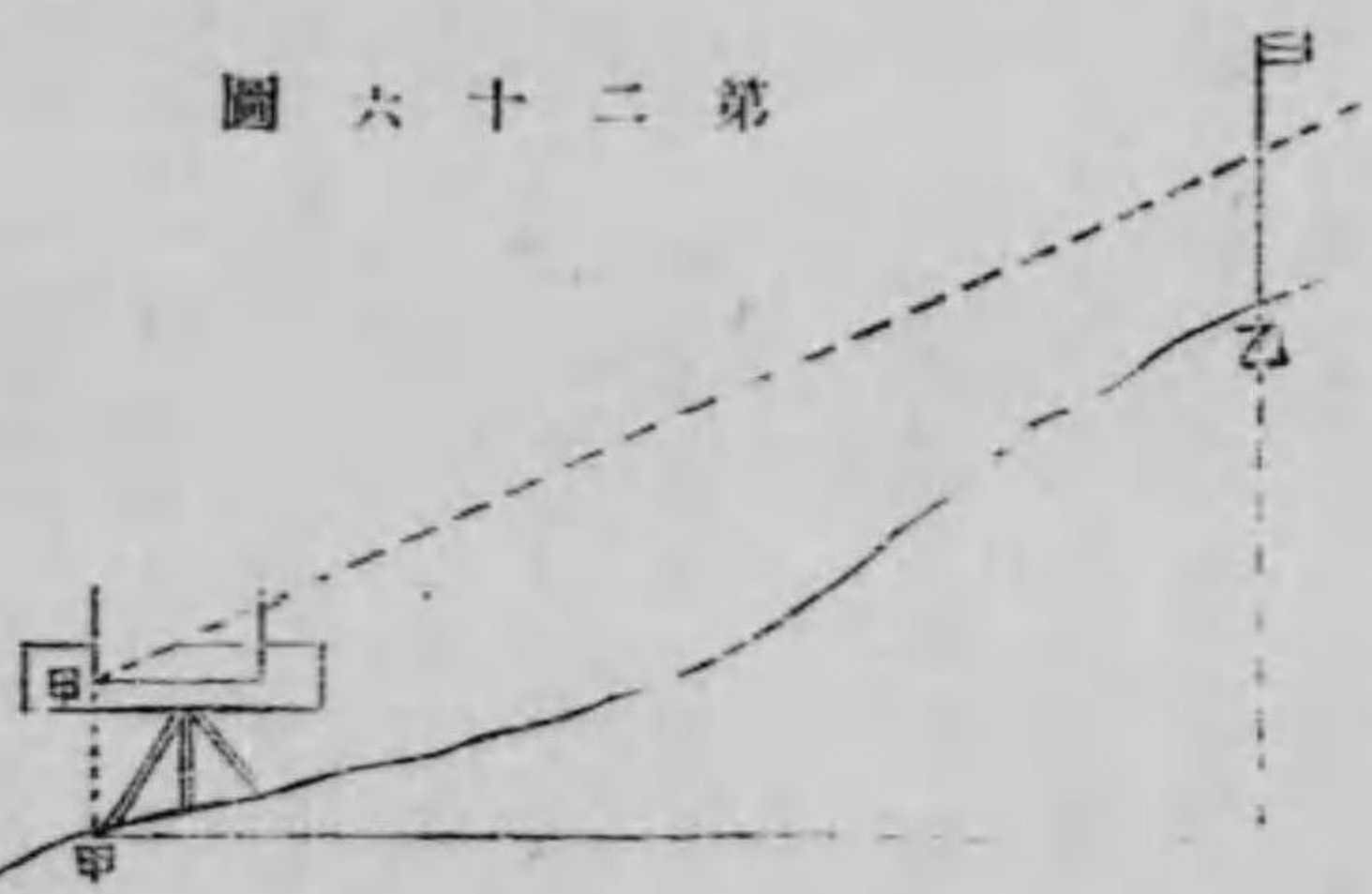
距離ノ測量ハ第三章第三節ノ距離測量ト同一ナルヲ以テ(二六乃至二八)ヲ参照セラレベシ唯此處ニハ平板測量ニ特別ナル傾斜距離ヲ測リテ水平距離ニ換算スルノ方法ニ付キテ説明セントス。

傾斜地ニ於テ傾斜ノ角度ヲ知ルトキハ、傾斜距離ニ傾斜角度ノ餘弦ヲ乘ジテ水平距離ヲ求ムルヲ得ベシ、故ニ、平板測量ニ在リテモ照準儀ノ直平板ニ目盛スルトキハ傾斜ノ角度ヲ知り得ベキニ依リ、傾斜距離ヲ測リテ水平距離ニ換算スルヲ得ベシ、而シテ照準儀ノ目盛ハ前後兩直平板ノ間隔ヲ百等分シタルモノ(九寸ノ照準儀ナレバ一ツノ目盛ハ一ツノ日盛七厘トナルヘシ)ヲ前直平板ニ視孔ト同ジ高サヨリ目盛セルモノニシテ登傾斜ハ最下部ノ視孔ト同一高サヲ零トシ、降傾斜ハ最上部ノ視孔ト同一高サヲ零トシテ目盛スベキモノニシテ、登リハ右側ニ、降リハ左側ニ目盛スルヲ普通トス。

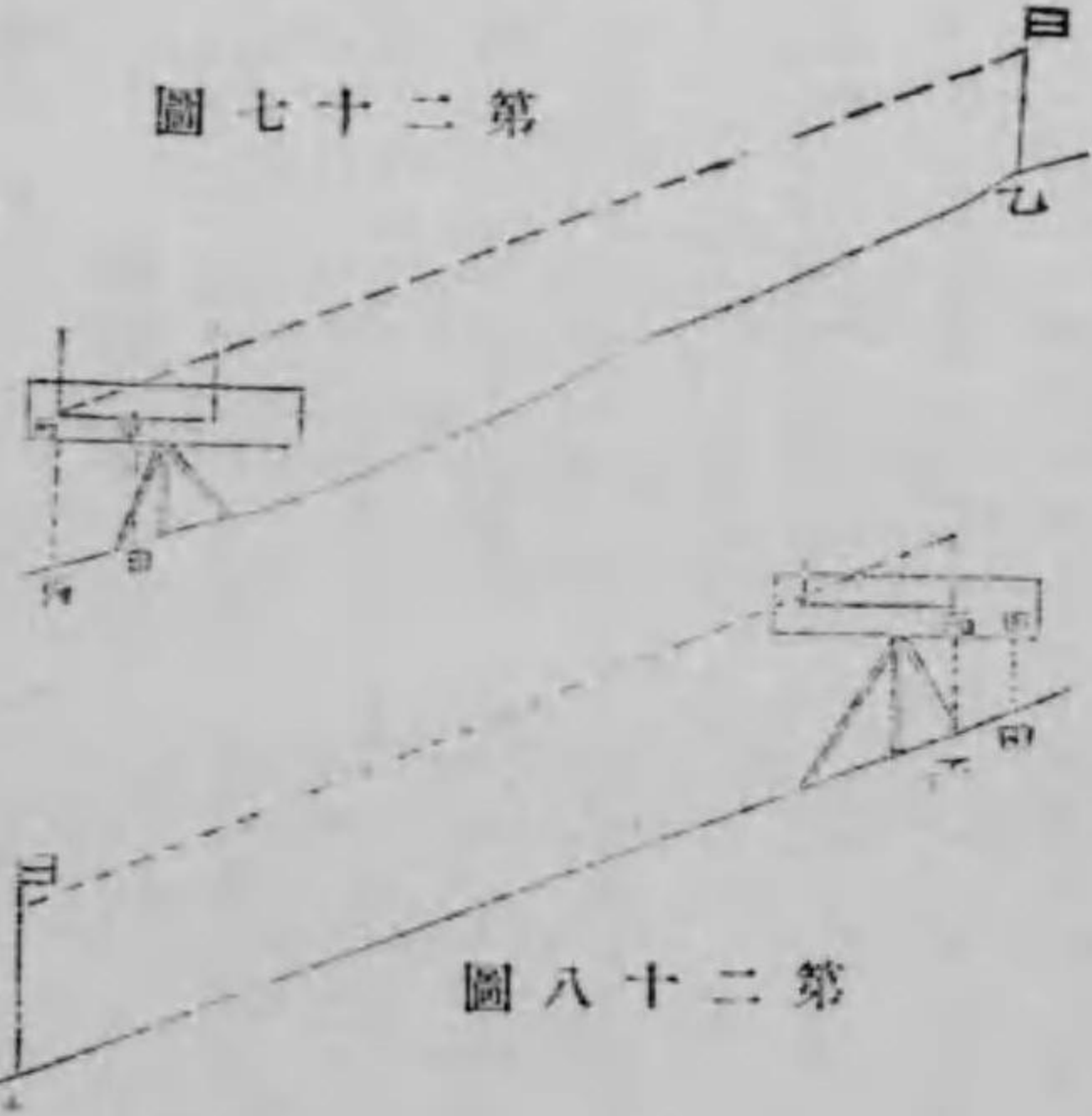
(六一) 傾斜距離ヲ測リテ水平距離ニ換算スル法 第二十六圖ノ如ク(甲)(乙)ニ點間ノ距離ヲ低キ方ヨリ測ラントスルトキハ、先ヅ(甲)點ニ平板ヲ据エ(乙)點ニ標桿ヲ立ツベシ、次ニ地上ノ(甲)點ヨリ平板上ニ乗セタル照準儀ノ最下部視孔マデノ高サヲ測リテ、(乙)點ノ標桿ニ其ノ高サニ等シキ標桿ヲ付スベシ、然ル後照準儀ノ最下部ノ視孔ヨリ視視シテ(乙)點ノ標桿ニ印サレタル點ヲ視テ登リノ目盛ヲ讀算スベシ、次ニ(甲)(乙)ニ點間ノ傾斜距離ヲ正シク實測シ、其ノ距離ニ先ニ讀算シタル分刻ノ乘率ヲ(六五)ノ乘率表ニ依リテ求メ之レヲ乘ズルトキハ水平距離ヲ得ベシ、例ヘバ讀算シタル分刻ガ三十二ニシテ傾斜距離五十間ナリトスレバ三十ノ乘率〇、九五七八ヲ五十間ニ乘ジテ次ノ如ク水平距離四十七間八分九厘ヲ得ベシ。

$50 \times 0.9578 = 47.89$

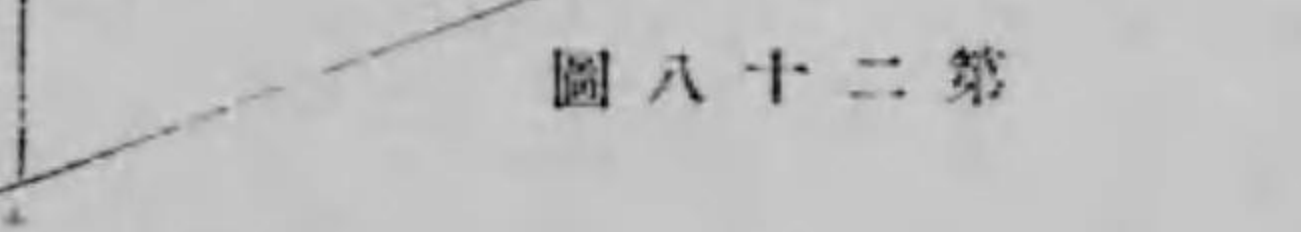
高キ方ニ平板ヲ据エタル場合ニ於テハ、標桿ニ印スベキ高サハ、地上點ヨリ照準儀ノ最上部ノ視孔マデノ高サニシテ測ルベキ方法等ハ前同様ナリ、而シテ何ゾレノ場合ニ於テモ標桿ニ印サレタル點ヲ視視シタル際、視線ガ正シク分刻ニ恰當セザルトキハ、其ノ視線ニ近キ分刻ヲ讀算スベキナリ、又分刻ヲ讀算スル場合ニハ照準儀ノ視孔ヲ地上點ノ眞上ニ置カザルベカラズ（此少ノ差異ハ差支ナシ）然レドモ視孔ヲ地上點ノ眞上ニ置クガ爲メ標桿ノ印サレタル部分ガ平板ノ端ニ妨ゲラレ視視シ得ザル場合アリ、此ノ場合ハ次ノ如ク爲スベシ。



圖六十二第



圖七十二第



圖八十二第

(六四) 第二十八圖ノ如ク高キ方ヨリ低キ方ヲ視視スル場合ニハ(甲)點ト(乙)トノ見通線ニ沿フテ(乙)點ノ標桿ガ都合ヨク視得ルマデ反對ニ照準儀ヲ前方ニ突出シ(視孔ノアル位置ヲ求心器ニ依リ地上ニ表示シ假ニ之レヲ(丙)點ト名付)前同様ノ方法ニ依リ(乙)(丙)二點間ノ水平距離ヲ求メ、之レニ(甲)(丙)二點間ノ水平距離ヲ加算スレバ

(六二) 第二十七圖ノ如ク低キ方ヨリ高キ方ヲ視視スル場合ニハ(甲)點ト(乙)點トノ見通線ニ沿フテ(乙)點ノ標桿ガ都合ヨク視得ルマデ照準儀ヲ後方ニ引寄せ(視孔ノアル位置ヲ求心器ニ依リ地上ニ表示シ假ニ之レヲ(丙)點ト名付)前同様ノ方法ニ依リテ(乙)(丙)二點間ノ水平距離ヲ求メ之レヨリ(甲)(丙)二點間ノ水平距離ヲ減ズルトキハ(甲)(乙)二點間ノ水平距離ヲ得ベシ。

(甲)(乙)二點間ノ水平距離ヲ得ベシ。

(六五) 傾斜距離換算ノ乗率表

傾斜距離換算ノ乗率表

| 一分<br>十<br>分<br>刻 | 0      | 1      | 2      | 3      | 4      | 5      | 6      | 7      | 8      | 9      |
|-------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 0                 | 1.0000 | 1.0000 | 0.9998 | 0.9996 | 0.9992 | 0.9988 | 0.9982 | 0.9976 | 0.9968 | 0.9960 |
| 10                | 0.9950 | 0.9940 | 0.9929 | 0.9917 | 0.9903 | 0.9889 | 0.9874 | 0.9859 | 0.9842 | 0.9824 |
| 20                | 0.9806 | 0.9787 | 0.9766 | 0.9746 | 0.9724 | 0.9701 | 0.9678 | 0.9654 | 0.9630 | 0.9604 |
| 30                | 0.9578 | 0.9552 | 0.9524 | 0.9496 | 0.9468 | 0.9439 | 0.9409 | 0.9379 | 0.9348 | 0.9317 |
| 40                | 0.9285 | 0.9253 | 0.9220 | 0.9187 | 0.9153 | 0.9119 | 0.9085 | 0.9050 | 0.9015 | 0.8980 |
| 50                | 0.8944 | 0.8908 | 0.8872 | 0.8836 | 0.8799 | 0.8762 | 0.8725 | 0.8688 | 0.8650 | 0.8613 |
| 60                | 0.8575 | 0.8537 | 0.8499 | 0.8461 | 0.8423 | 0.8384 | 0.8346 | 0.8308 | 0.8269 | 0.8231 |
| 70                | 0.8192 | 0.8154 | 0.8115 | 0.8077 | 0.8038 | 0.8000 |        |        |        |        |

凡例 本表ニ依リ今三十五ノ乗率ヲ求メトスレバ十分刻ノ欄ヲ三十マデ下リ一分刻ノ欄ヲ五マデ進ミテ縦横ノ切合ナル 0.9439 ヲ求ムベシ其他之ニ倣フ。

第三節 平板測量法

(六六) 平板測量(測板式測量) 平板測量ハ實地ノ形狀ヲ圖紙上ニ縮畫スルノ方法ナリ、而シテ之レガ面積ヲ計算

スル場合ニハ數多ノ三角形ニ區分シ、底邊長、垂線長、ヲ尺度ニテ測リ求積スルガ故ニ一名圖解法測量ノ稱アリ。  
 (六七) 縮尺 實地ノ形狀ヲ圖紙上ニ縮畫スルハ、任意ノ縮尺割合ニ依ルヲ得ベク、即チ實測距離ヲ圖紙上ニ現ハ  
 ストキ一間ヲ一分トシテ計算スレバ六百分ノ一、一間ヲ五厘トスレバ千二百分ノ一、一間ヲ二分トスレバ三百分ノ  
 一ノ測量圖ヲ得ベシ而シテ一筆地測量ニ於テハ主トシテ六百分ノ一ノ縮尺割合ニ依リ、面積狹少ナル耕地墓地及市街  
 地ノ如キハ三百分一、面積廣大ナル山林原野等ハ適宜ノ縮尺割合ニ依ルヲ普通トス。

(六八) 圖上點ノ表示 圖紙上ニ點ヲ表示スルニハ、測量針ニテ針孔ヲ穿チテ之レヲ圖紙上ノ點トス、尙作業ノ際  
 其ノ點ヲ視易カラシムル爲メ、針孔ニ徑約五厘ノ小圈ヲ描クベシ、而シテ實測ノ際太キ縫針又ハ「ピン」等ヲ使用  
 シテ針孔ヲ穿ツトキハ、其ノ針孔ハ徑一厘以上トナルベシ、從テ六百分一ノ縮圖ニアリテハ距離一分以上(實地ノ  
 距離六寸以上)ノ誤差ヲ生ズル虞アリ故ニ實測ノ場合ニハ針孔ヲ大ナラシメザル様注意スベク又圖上ノ點ニ依リ方  
 向ヲ視視スルトキ照準儀ノ定規ノ縁方圖上點ニ植立シタル針ヲ離レ、又ハ針ノ曲リタルニ氣付カザルコトアルヲ以  
 テ、照準儀ニ依リ方向ヲ視視スル場合ニハ右手ノ指頭ヲ以テ輕ク測量針ノ頭ヲ抑ヘテ眞直ナラシメ、照準儀ハ其ノ  
 針ヲ機軸トシテ除カニ其ノ方向ニ廻轉セシムベシ。

(六九) 測量方法ノ分類 平板測量ハ作業ノ方法ニ依リ之レヲ分類スルトキハ左ノ三種ニ區別セラル。

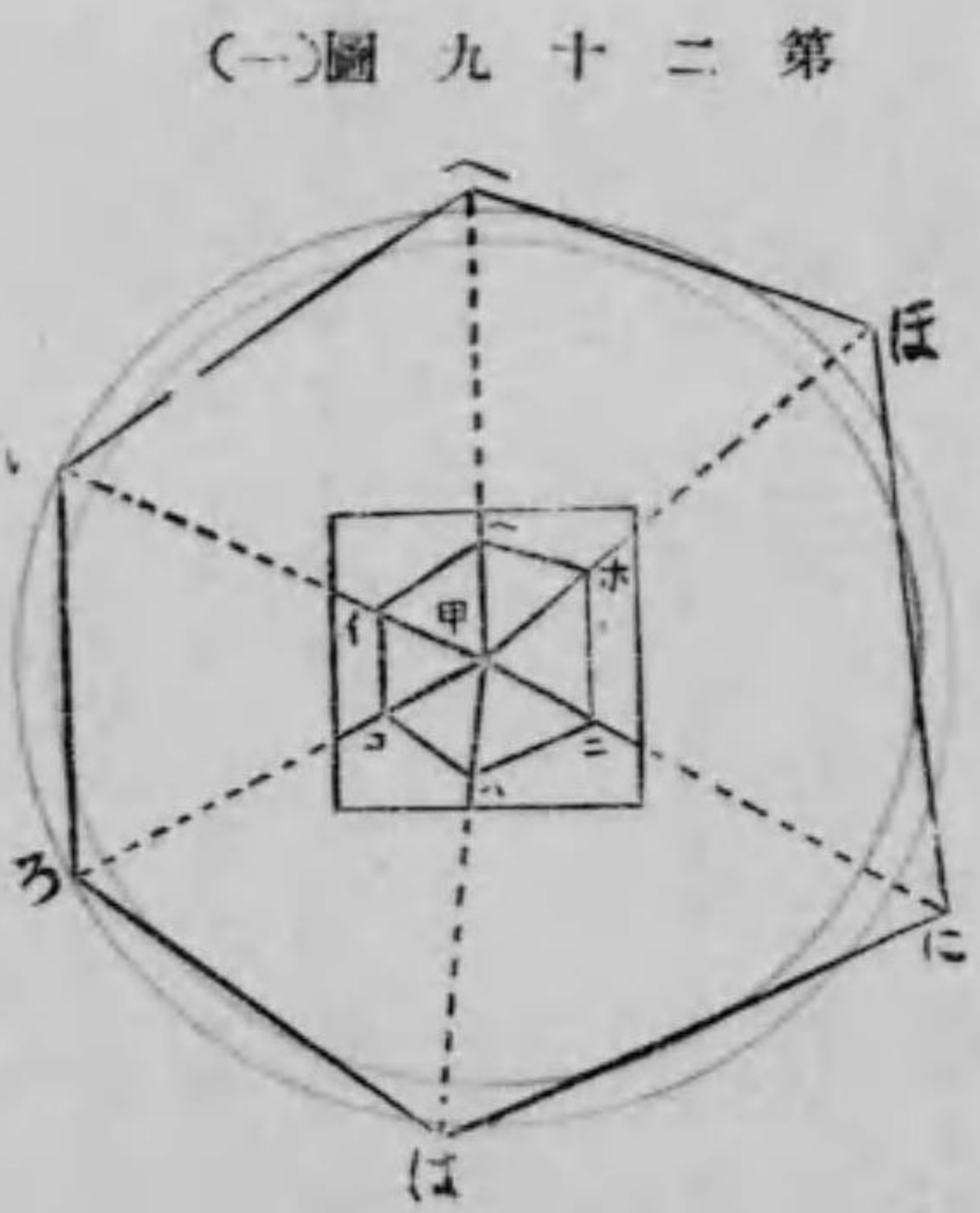
- 一、射出法(光線法、放散法トモ云フ)
- 二、進測法(前進法、道線法トモ云フ)
- 三、交會法(交切法、交叉法トモ云フ)

以上三種ノ區別ハ、作業ノ方法ニ依ル分類即チ圖紙上ニ縮畫スル方法ノ異ナルニ從フテ區別セルモノナルモ、圖紙  
 上ニ縮畫スルノ方法ハ尙能ク吟味スルトキハ、距離ヲ測定スルコト、竝ニ方向線ヲ測畫スルコトノ二ツニ歸着スベ

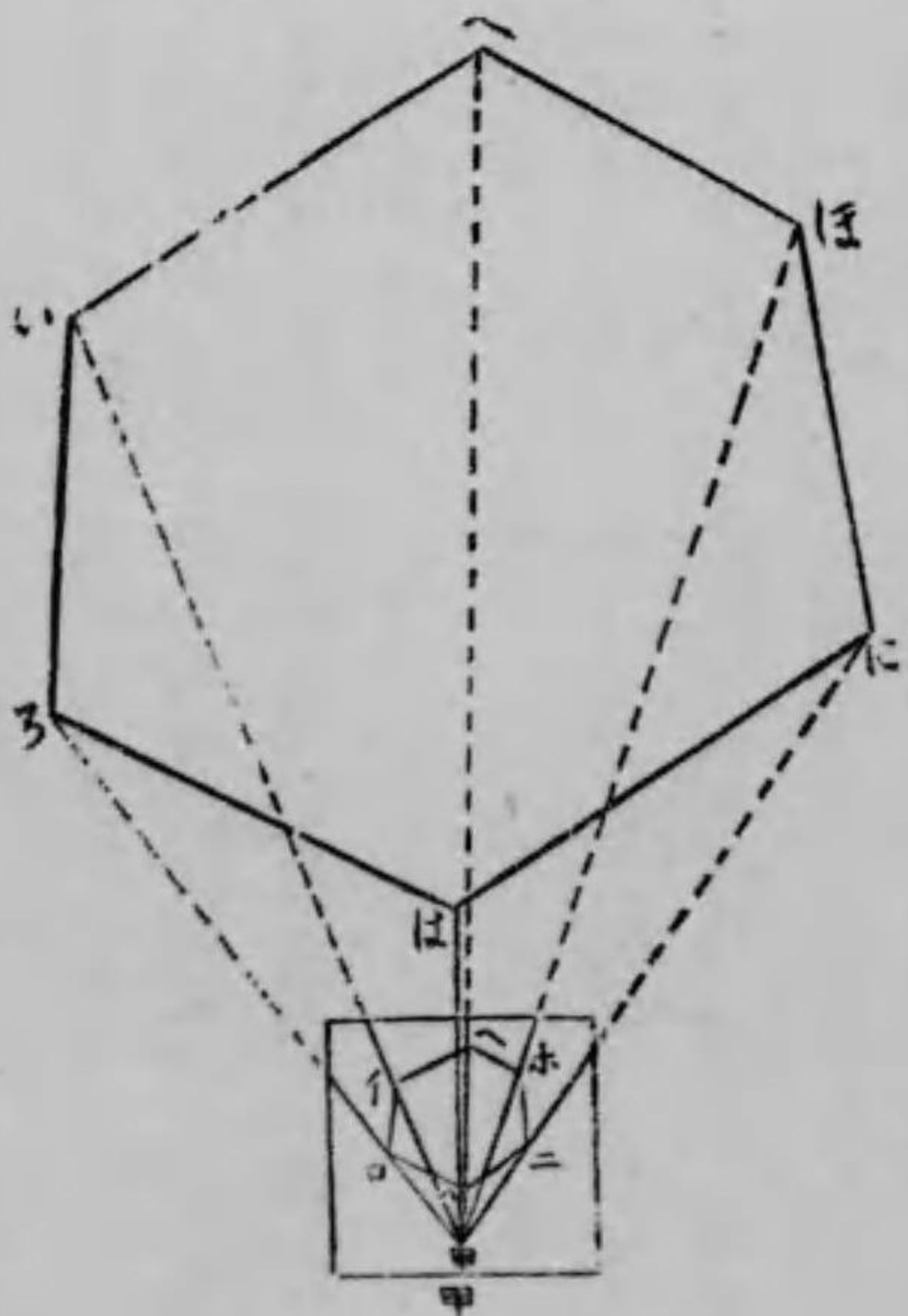
シ、而シテ距離ノ測量ハ第二節ニ述ベタルヲ以テ以下測量方法ニ付キテ説明セントス。

射出法

(七〇) 射出法 射出法ハ平板測量中最モ簡單ニ測量シ得ル方法ニシテ、第二十九圖ニ示スガ如キ土地ヲ測量セン



(一)圖九十二第



(二)圖九十二第

トスルトキハ、既知點アルトキハ其ノ既知點ニ平板ヲ据エベキモ、既知點ナキトキハ測地ノ内外ヲ問ハズ任意ノ場  
 所ニ平板ヲ据付クベシ、即チ地上(甲)點ノ如キ場所ニ平板ヲ据エ圖紙上任意ノ場所ニ甲點ヲ定メ、求心器ニ依リテ  
 圖上ノ(甲)點ト地上ノ(甲)點トヲ一致セシメテ平板ノ据付ヲ終ルベシ、次ニハ羅針ガ正シク南北準線ヲ指スマデ平  
 板ヲ廻轉セシメテ方位ヲ合せ、然ル後、圖紙上ノ(甲)點ニ測量針ヲ立テ、照準儀ノ定規ノ縁ヲ針ニ觸レシメツ、  
 (い)點ノ標桿ヲ視視シ標桿ト照準絲トヲ一致セシメテ、照準儀ノ定規ノ縁ニ沿フテ一ツノ方向線ヲ描キ、次ニ地上



(甲)(イ)二點間ノ距離ヲ實測シ、其ノ距離ヲ縮尺ニ化シ圖上ノ甲點ヨリ計算シテ其長サ丈先ニ描キタル方向線上ニ探ルトキハ、圖紙上ニ(イ)點ヲ得ベシ、他ノ諸點モ同一作業ニ依リ測定シ、圖紙上ニ現ハシテ、各點ヲ結ヒ付クンバ「イロハニホヘ」ノ測圖ヲ得ベシ。

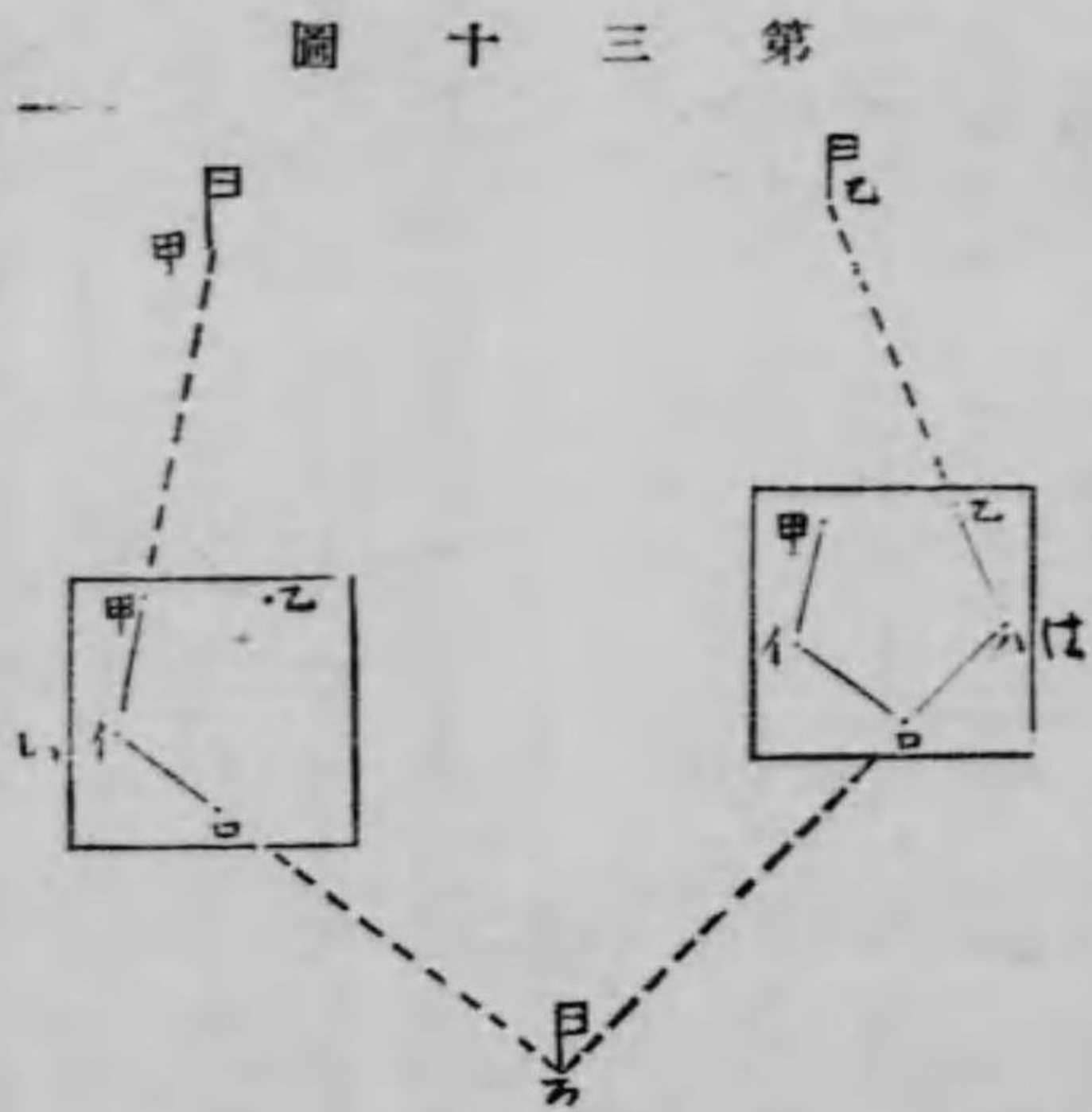
(七一) 射出法ハ作業最モ簡單ナル丈、他ノ方法ノ如ク測量ノ結果ガ自然ニ點檢セララル、コトナシ從ツテ作業ノ一部即チ方向線ノ描畫、距離ノ實測、又ハ縮尺等ヲ誤ルトキハ誤謬ノ儘實測ヲ終ルニ至ル、而シテ以上ノ内最モ誤リ易キハ縮尺ナルガ如シ、故ニ、實測距離ハ之レヲ方向線上ニ記載シ置キ、再ビ縮尺ノ點檢ヲ行ヒ、又實測ヲ終リタルトキハ現場ニ於テ實地ト測圖トヲ對照シ測圖ガ實地ノ形狀ト符合スルヤ、及測點ノ誤脱等ナキヤニ注意スルトキハ大體ノ誤リハ防グヲ得ベシ、尙精密ナル點檢ヲ爲サントスルトキハ、實地ニ於ケル周邊「いろ」ろは「はに」「には」「はへ」「いへ」ヲ實測シテ圖上ノ距離ト對照シ符合ヲ認ムルカ、又ハ檢線「いほ」「ろに」「へは」ヲ實測シ、圖上ノ距離ト對照シテ符合ヲ認ムルトキハ、各點ハ誤リナク測量セラレタルモノニシテ、測圖ノ正確ナルヲ知ルベシ。

進測法

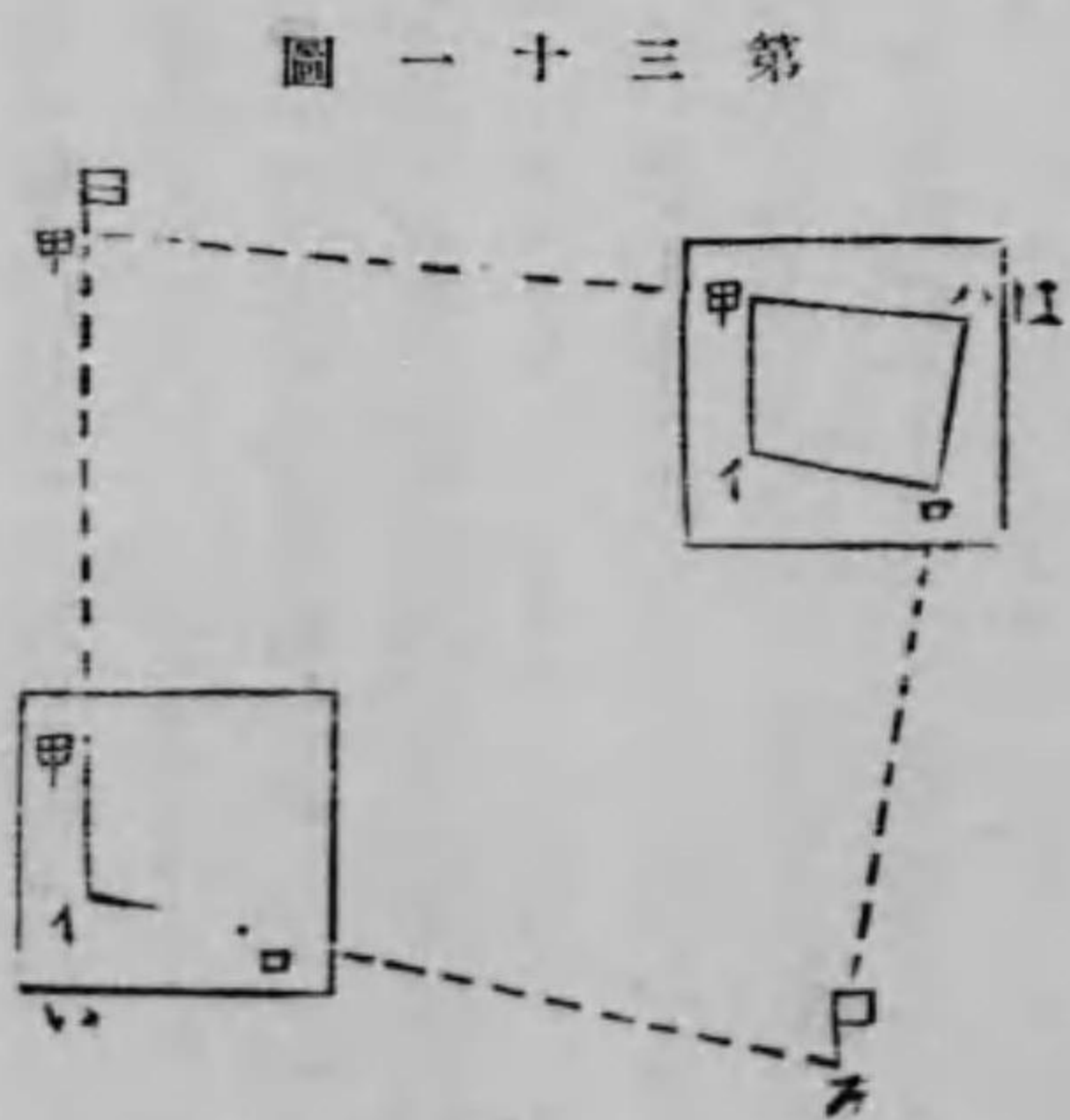
(七二) 進測法ハ連續諸點ノ距離ヲ實測シ測點ノ位置ヲ決定スル方法ニシテ、或ル既知點ヨリ出發シテ他ノ既知點ニ閉塞セシムルカ、又ハ出發點ニ閉塞セシムルモノナリ、而シテ此ノ方法ニハ單規法、複規法ノ區別アリ

(七三) 單規法 單規法ハ平板ヲ隔一點毎ニ据付クル方法ニシテ、既知點(甲)ヨリ出行シテ未知點(イ)(ろ)(は)ヲ測リ既知點(乙)ニ閉塞セシメントスルカ(既知點ヨリ出行シテ他ノ既知點ニ)又ハ(甲)點ヨリ出行シテ未知點(イ)(ろ)(は)ヲ測リ既知點ニ閉塞セシメントスルカ(既知點ヨリ出行シテ其ノ點ニ)又ハ(甲)點ヨリ出行シテ未知點(イ)(ろ)(は)ヲ測リ同點ニ閉塞セシメントスルトキハ(既知點ヨリ出行シテ其ノ點ニ)先ヅ(イ)點ニ至リ平板ヲ据付ベシ(イ)點ニ平板ヲ据ウル場合ニ、(イ)點ハ未知點ナレバ平板上ニ現レ居ラズ故ニ此ノ場合ニハ地上ノ(甲)點ト平板上ノ甲點トヲ對比シテ(イ)點ガ平板上ニ相當スル大體位置ヲ推想シ、其ノ推想シタル圖紙上ノ位置ト地上ノ(イ)點トヲ

求心器ニ依リ一致セシメテ平板ノ据付ヲ終ルモノトス、次ニハ方位ヲ羅針ニ依リ定メ、然ル後平板上ノ(甲)點ニ測量針ヲ立テ、照準儀ノ定規ノ縁ヲ沿ハセ、(甲)點ノ標桿ヲ視シテ(甲)點ヨリ手前ノ方ニ一ツノ方向線ヲ描キ、次ニハ(甲)(イ)二點間ノ距離ヲ實測シ(實測距離ハ方向線ニ沿ハセ記載シ置クヲ可トス)其ノ距離ヲ縮尺シテ、先ニ



第三十圖



第三十一圖

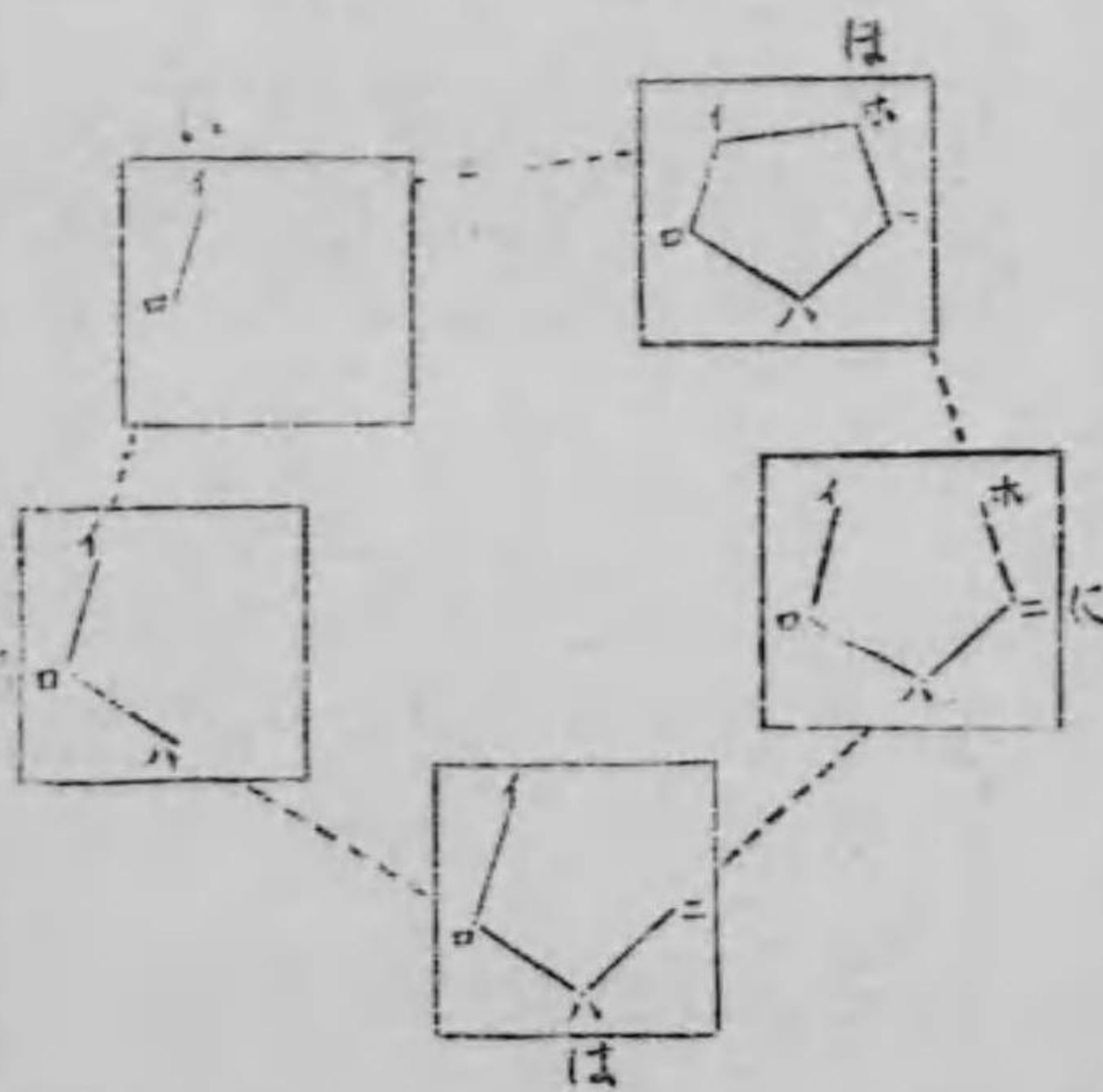
描キタル方向線上ニ其ノ長サ丈探ルトキハ(イ)點ヲ得ベシ、次ニハ(イ)點ニ測量針ヲ立テ(ろ)點ノ標桿ヲ視シテ方向線ヲ描キ、前同様(イ)(ろ)二點間ノ距離ヲ實測シ其ノ距離ヲ縮尺シテ方向線上ニ探ルトキハ(ロ)點ヲ得ベシ、之レニテ(イ)點ニ於ケル作業ヲ終リタルモノナリ。他ノ諸點ハ、隔一點毎ニ平板ヲ据エ同操作ヲ繰返シテ測量スルニ過ギズ、即チ(は)點ニ移リ、(い)點ニ平板ヲ据付タルト同様ニシテ平板ヲ据エ、方位ハ同様羅針ニ依リテ定ムベ

シ、次ニハ(ロ)點ニ測量針ヲ立テ、(ろ)點ノ標桿ヲ視シテ方向線ヲ描キ、(ろ)(は)ニ點間ノ距離ヲ實測シ、方向線上ニ其ノ縮尺長ヲ採リテ(ハ)點ヲ求メ、次ニハ(ハ)點ニ測量針ヲ立テ(乙)點(第三十圖)又(ハ)甲點(第三十一圖)ノ標桿ヲ視シテ方向線ヲ描キ、(ハ)(乙)(第三十圖)ニ點間又(ハ)(甲)(第三十一圖)ニ點間ノ距離ヲ實測シ、其ノ縮尺長ヲ方向線上ニ採ルトキハ夫レム、(乙)點又(甲)點ニ閉塞スベシ。

(七四) 複視法 複視法ハ每點ニ平板ヲ据付ケ測量スル方法ニシテ第三十二圖ノ如キ土地ヲ測量セントスルトキハ

(い)點ニ至リ平板ヲ据付ベシ、此ノ場合ニ於テ、(い)點ガ既知點ナルトキハ直チニ平板上ノ(イ)點ト地上ノ(い)點トヲ求心器ニ依リテ一致セシメ得ルモ既知點ナラザルトキハ平板上ニ任意ニ一ツノ點ヲ設ケ、之レヲ平板上ノ(イ)點ト定メテ地上ノ(い)點ト求心器ニ依リ一致セシムルモノトス、次ニハ羅針ニ依リ方位ヲ定メ、然後(イ)點ニ測量針ヲ立テ、(ろ)點ノ標桿ヲ視シテ方向線ヲ描キ、次ニ(い)(ろ)ニ點間ノ距離ヲ實測シテ、其ノ縮尺長ヲ方向線上ニ採ルトキハ(ロ)點ヲ得ベシ、之レニテ(い)點ノ作業終リタルモノナレバ器械ヲ(ろ)點ニ移シテ正シク平板ヲ据エ、方位ハ「い」邊ニ依リテ定ムベシ、即チ平板上ノ「イ」線ニ正シク照準儀ノ定規ノ線ヲ沿ハセ、(い)點ノ標桿ヲ視通シ、標桿ト照準儀ガ一致スルマデ平板ヲ旋回スレバ方位ハ定マルモノナリ、故ニ羅針ノ止螺旋ヲ緩メテ之レヲ檢スレバ、磁針ハ正シク南北準線ヲ指示シテ静止スルニ至ルベシ、次ニ(ロ)點ニ測量針ヲ立テ、(ハ)點ノ標桿ヲ視

第三十二圖



シテ方向線ヲ描キ、(ろ)(は)ニ點間ノ距離ヲ實測シ其ノ方向線上ニ縮尺距離ヲ採リテ(ハ)點ヲ求メ、(ろ)點ノ作業ヲ終ルモノトス、(ハ)(に)(は)ノ諸點ニ於テモ順次(ろ)點ニ於ケルト同操作ヲ繰返シテ、各點ノ測量ヲ終リ、(い)點ニ閉塞セシムルモノトス。

(七五) 進測法ハ何レノ點ヨリ出發シテ何レノ方向ニ進ムモ、同一ナル結果ヲ得ルヲ以テ差支ナキモ、操作ノ便宜上測地ヲ左方ニ見テ右方ニ進ムヲ普通トス。

(七六) 單規法ハ隅點毎ニ平板ヲ据エ、且ツ平板ヲ据ウルトキニハ地上點ト圖上ノ大體位置トヲ求心器ニ依リ一致セシメ、又方位ハ、羅針ニ依リ定ムル結果不精密ナルヲ免レズ、故ニ、進測法ハ複視法ニ依ルヲ可ナリトス、若シ單規法ニ依リタル場合ニハ圖上ノ方向線長(即チニ點間ノ縮尺距離)ヲシテ羅針ノ長サノ半ヲ超過セシメザル様注意スベシ、斯クスルニ於テハ羅針ニ依リ方位ヲ定ムル爲メ生ズル誤差ヲシテ尠カラシムルヲ得ベシ。

(七七) 閉塞差及其配分法 進測法ニ依リ測量シタル場合ニ於テ、閉塞差(四二)参照)ヲ生ジタルトキハ、閉塞差ノ配分ヲ爲サルベカラズ、其ノ配分方法並ニ閉塞差許容ノ範圍ハ第三章第八節ニ説明シアルヲ以テ(四二一四四)ヲ参照シテ改正スベシ、而シテ同章ニ説明セル配分方法ハ距離ニ比例シテ配分スル方法ナルモ、平板測量ノ如キ簡易測量ニ於テハ、必ズシモ距離ニ比例スルヲ要セズ、各點間同一誤差ヲ生ジタルモノト看做シテ、各點ニ配分スベキ量ヲ、左記ノ式ニ依リ計算シテ配分スルモノ可ナリトス。

$$\frac{\text{閉塞差}}{\text{邊數}} \times 1 = \text{第一點配分數}$$

$$\frac{\text{閉塞差}}{\text{邊數}} \times 2 = \text{第二點配分數}$$

閉塞差  $\times 3 =$  第三點配分數  
邊數

閉塞差  $\times 4 =$  第四點配分數  
邊數

閉塞差  $\times$  邊數 = 最終配分數 即チ閉塞點ニ配分セラルベキ數ニ閉塞差  
邊數

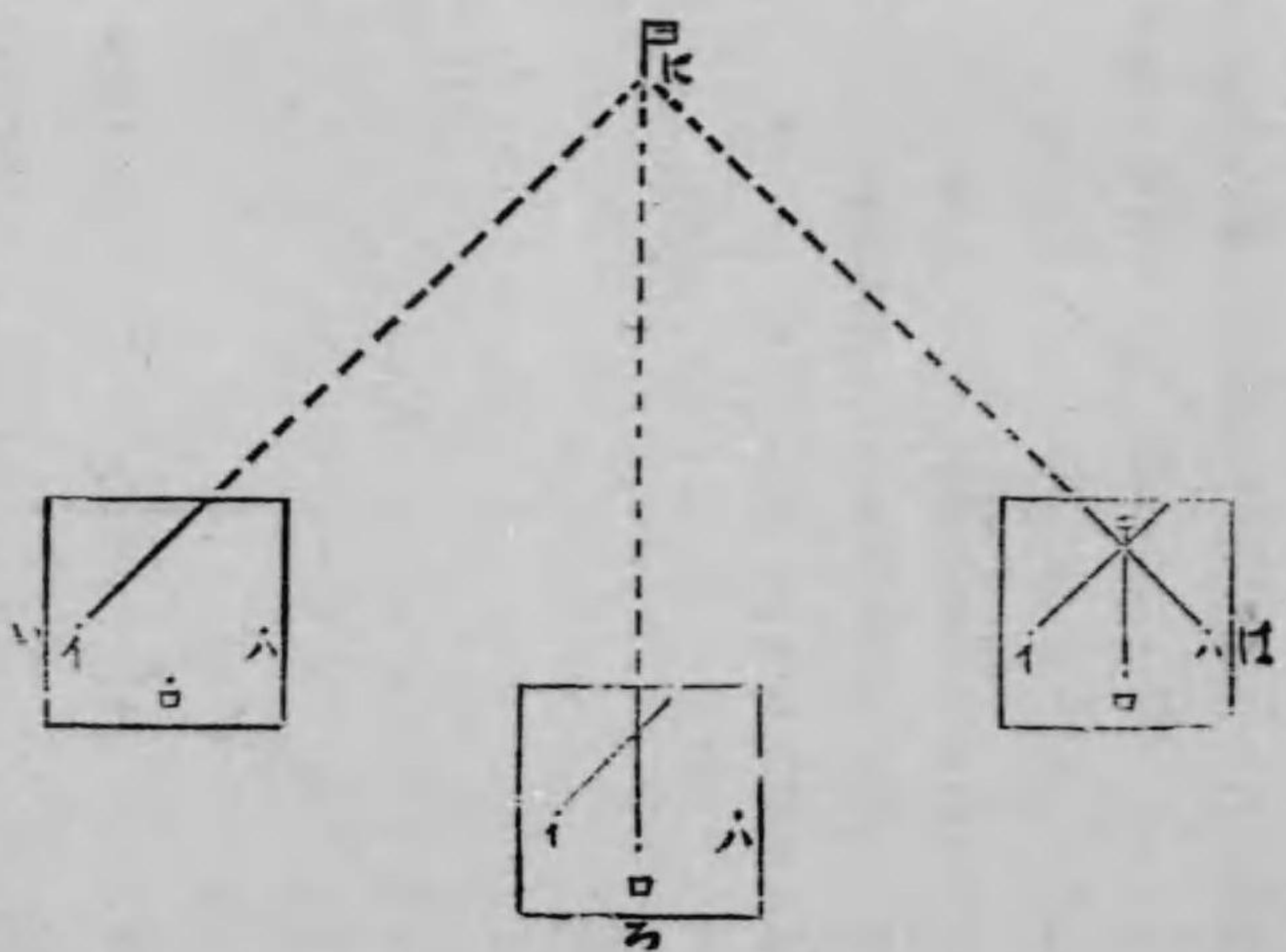
但シ第一點トハ出行點ノ次ノ點ニシテ順次第二點第三點ト云フ

交會法

(七八) 交會法 ハ視視線ノ交會ニ依リ點ノ位置ヲ測定スル方法ナリ。而シテ交會法ハ、二視視線ノ交會ニ依リ測定スルヲ得ルモ、二直線ハ平行ナラザル限り何レカニテ交會スルヲ以テ、誤測ヲ發見セズシテ終局スルコトアリ、故ニ、交會法ハ三視視線ノ交會ニ依リテ可ナリトス、而シテ三視視線ノ交會角度ハ相互ニ三十度以上百五十度以下ノ角ニテ交會セシメ、誤差ヲ渺カラシムベシ、交會法ハ亦作業方法ノ差異ニ依リ細分スルトキハ前方交會法、後方交會法、側方交會法ノ三ツニ區別セラル。

(七九) 前方交會法 第三十三圖ノ如ク(イ)(ろ)(は)ノ既知點ニ依リ前方交會法ヲ行フテ、未知點(ニ)ヲ測ラントスルトキハ、先以テ總テノ點ニ標桿ヲ立テ、地上ノ(イ)點ニ至リ平板ヲ据エテ方位ヲ定ムベシ、方位ヲ定ムルニハ平板上ノ(イ)點及(ロ)點ニ測量針ヲ立テ、之レニ照準儀ノ定規ノ線ヲ沿ヘ地上ノ(ろ)點ノ標桿ヲ視視シテ(ろ)點ノ標桿が照準儀ニ重ナリ合フマデ平板ヲ旋回シテ固定スレバ方位ハ定マルベシ、(平板上ニ二ツ以上ノ既知點アルトキハ必ズ方位ハ、羅針ニ依ラズ既知點ニ依リ定ムベキナリ)、次ニ平板上ノ(イ)點ニ測量針ヲ立テ、照準儀ヲ沿ヘ、地上(ニ)點ノ標桿ヲ視視シテ方向線ヲ描クベシ、之レニテ(イ)點ノ作業ヲ終リタルモノナレバ、平板ヲ(ろ)點ニ移シテ

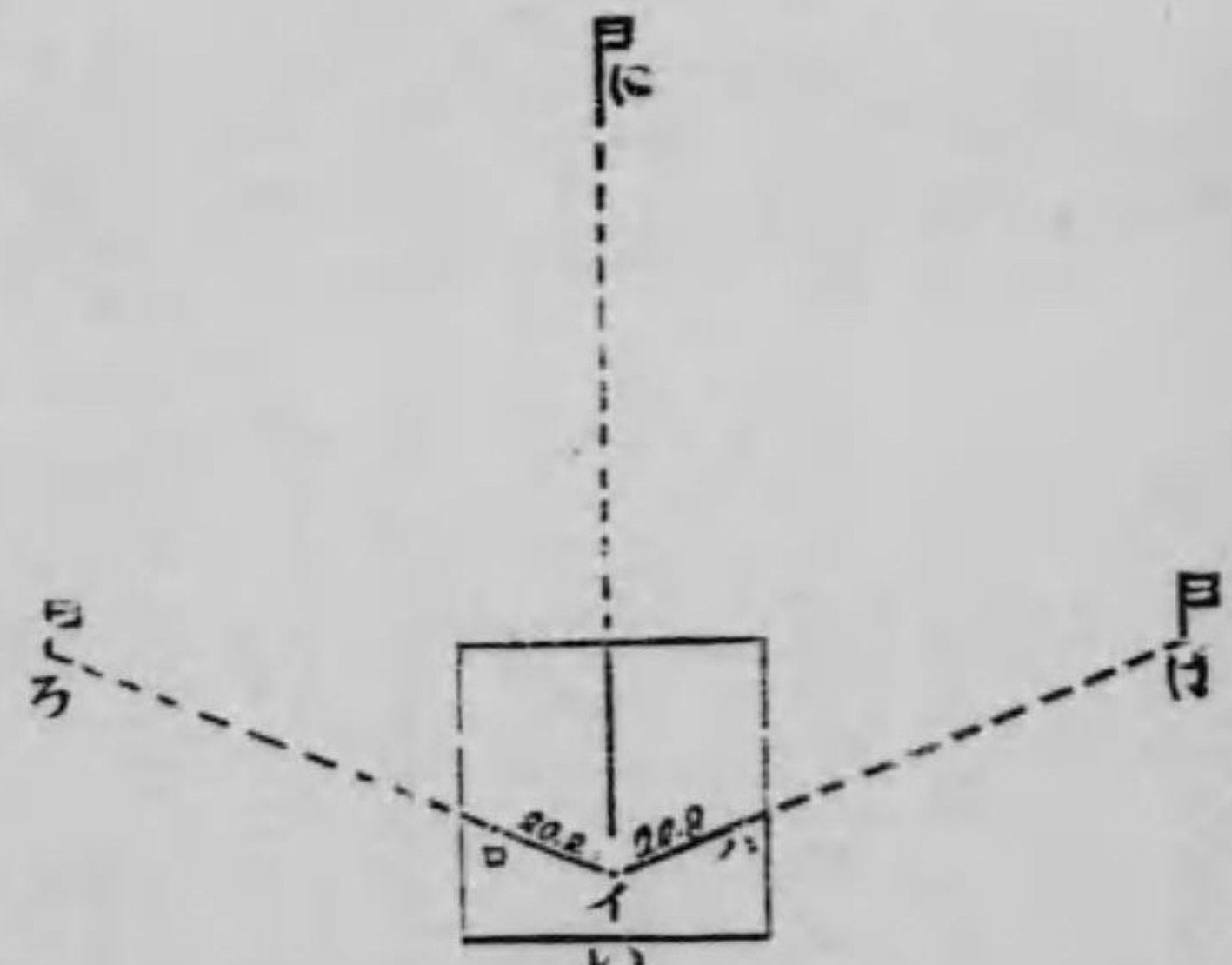
第三十三圖



(イ)點ニ於ケルト同一作業ヲ行フベシ、即チ、正シク平板ヲ据エ、方位ハ(イ)(ろ)或ハ(ろ)(は)ノ既知點ニ依リテ定メ、然後(ロ)點ニ測量針ヲ立テ、(ニ)點ノ標桿ヲ視視シテ方向線ヲ描キ、(イ)點ニテ描キタル方向線ト交會セシメテ(ろ)點ノ作業ヲ終リ、次ニ(は)點ニ移リテ平板ヲ据エ、(ろ)點ニ於ケル作業ト同一操作ヲ行フテ方向線ヲ描ケバ、三ツノ方向線ハ一點ニ於テ交會スベシ、此ノ交叉點ハ即チ地上ノ(ニ)點ニ相當スルモノナレバ、測量針ニテ穴ヲ穿チ小圈ヲ繞ラシテ(ニ)ノ符號ヲ付スベシ。

(八〇) 既知點アルトキハ直チニ前述ノ如クシテ測量スルヲ得ルモ、既知點ナキトキハ先以テ三ツノ點ヲ定メテ後前述ノ作業ヲ爲スベキナリ、即チ第三十四圖ノ(ニ)點ヲ測ラントスルニ既知點ナキトキハ地上任意ノ場所ニシテ(ニ)點ノ交會角度宜シキ所ニ(イ)(ろ)(は)ノ三點ヲ設ケテ標桿ヲ立テ後任意ノ一點(イ)ニ至リ平板ヲ据エ、方位ハ羅針ニ依リ定ムベシ、次ニ平板上ノ任意ノ場所ニ一ツノ點ヲ定メテ(イ)點トシ、地上ノ(イ)點ト求心器ニ依リ正シク一致セシムベシ、次ニ(イ)點ニ測量針ヲ立テ(イ)點ノ標桿ヲ視視シテ方向線ヲ描キ、地上ノ(イ)(ろ)(は)ノ三點間ノ距離ヲ實測シ方向線上ニ其ノ縮尺長ヲ探レバ(ロ)點ヲ得ベシ(は)點ハ(ろ)點ト同様操作ニ依リ測ルトキハ(イ)(ろ)(は)ノ三點ハ平板上ニ(イ)(ロ)(ハ)トナリテ現レ既知點トナル、然ルト

第三十四圖



圖ヲ舉ゲレバ次ノ如シ。

- 熊 本 局 示誤三角形ニ内接スル圓ノ直徑一厘以下
- 名古屋局及元長野局 示誤三角形ニ内接スル圓ノ半徑一厘以下
- 元 金 澤 局 示誤三角形ニ内接スル圓ノ半徑一厘以下
- 東 京 局 示誤三角形ノ高サ一厘以下

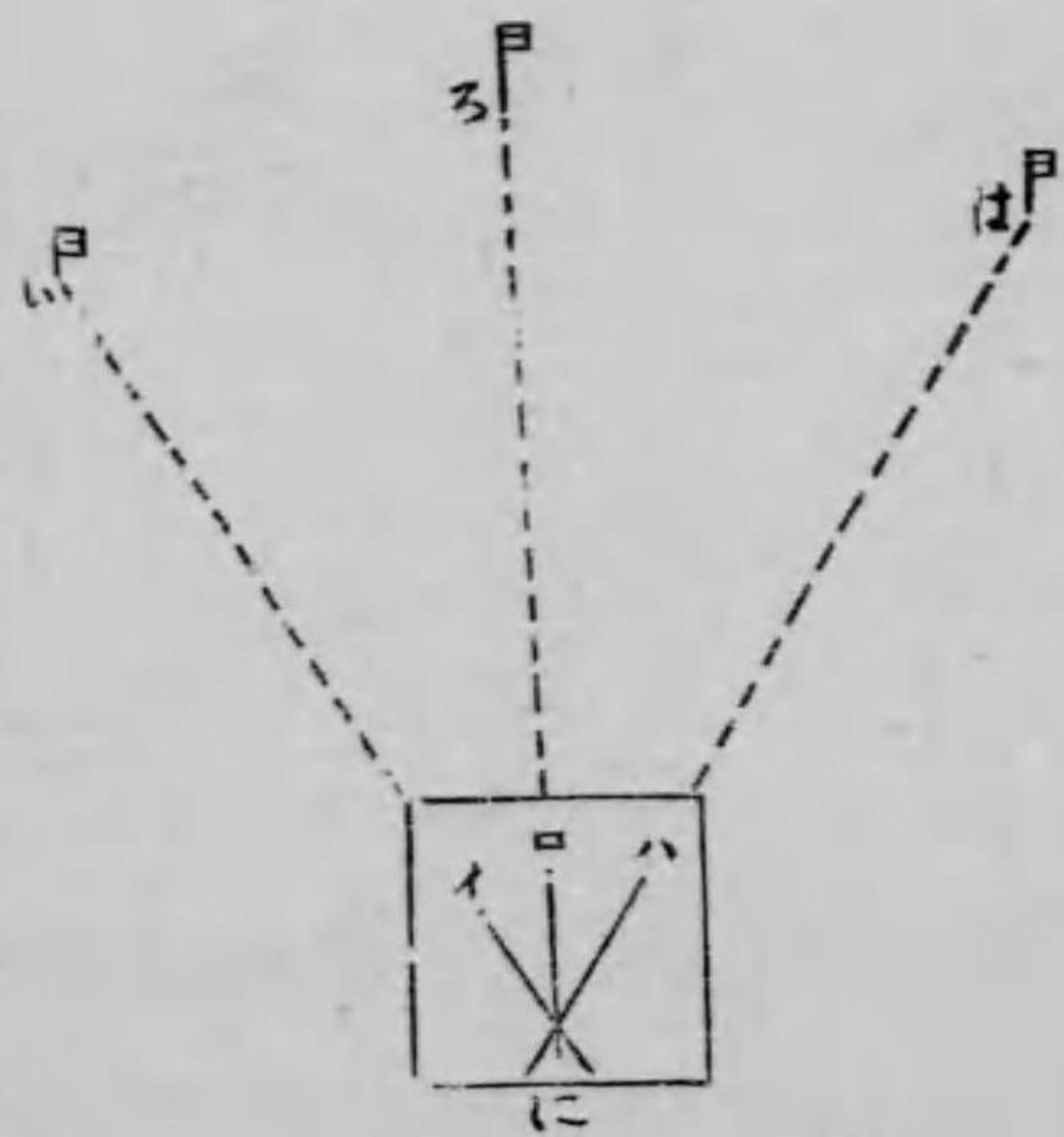
示誤三角形ノ許容セラル、範圍ハ右ノ如クニシテ多少差異アルモ示誤三角形ニ内接スル圓ノ半徑一厘以下ヲ限度トシテ可ナラン、而シテ示誤三角形ガ許サレタル範圍内ナルトキハ其ノ點ノ眞位置ハ示誤三角形ノ中心ニアルモノト

キハ此ノ三點ニヨリ(ニ)點ヲ測量スルコトハ前ニ述べタル作業ト同様ナリ、後方交會法又ハ測方交會法ニ於テモ、既知點ナキトキハ右ノ操作ニ依リテ三ツノ點ヲ平板上ニ現ハスベキナリ。

(八一) 示誤三角形 交會法ニ依リ未知點ヲ測量スルトキ、三ツノ視視線ガ一點ニ交會セズシテ小ナル三角形ヲ成スコトアリ、此ノ三角形ヲ示誤三角形ト名ヅク、示誤三角形ハ測量上ノ誤差ニシテ、進測法ニ於ケル閉塞差ト同様或ル程度マデノ誤差ハ免レザルモノナレバ許容スベキ誤差ノ極限ヲ定メテ之レヲ許スモ、若シ許容スベキ範圍ヲ超ストキハ其ノ誤ヲ探リ、誤謬ノ點不明ナルトキハ再測セザルベカラズ、而シテ幾何ノ誤差マデヲ許スベキカハ測量ヲ要スル精密ノ程度ニ依リ定ムベキモ今各局員ノ著書ニ記載セラレタル許容ノ範

看做シテ其ノ中心ヲ探ルベシ、然レドモ野外ノ實測作業ニ於テ一々其ノ示誤三角形ガ正確ニ公差ノ範圍内ナリヤ否ヲ檢シ、又ハ正シク示誤三角形ノ中心ヲ求ムルガ如キハ事實容易ナラザルノミナラズ、許サル、示誤三角形ハ極メテ小ナルモノナレバ、其ノ示誤三角形内ニ漸ク測量針ヲ立テ得ベキ程ノモノナラバ、公差ノ範圍内ト看做シテ大体其ノ中心ヲ探リ、其ノ點ノ眞位置ト決定スルヲ以テ足ルベシ。

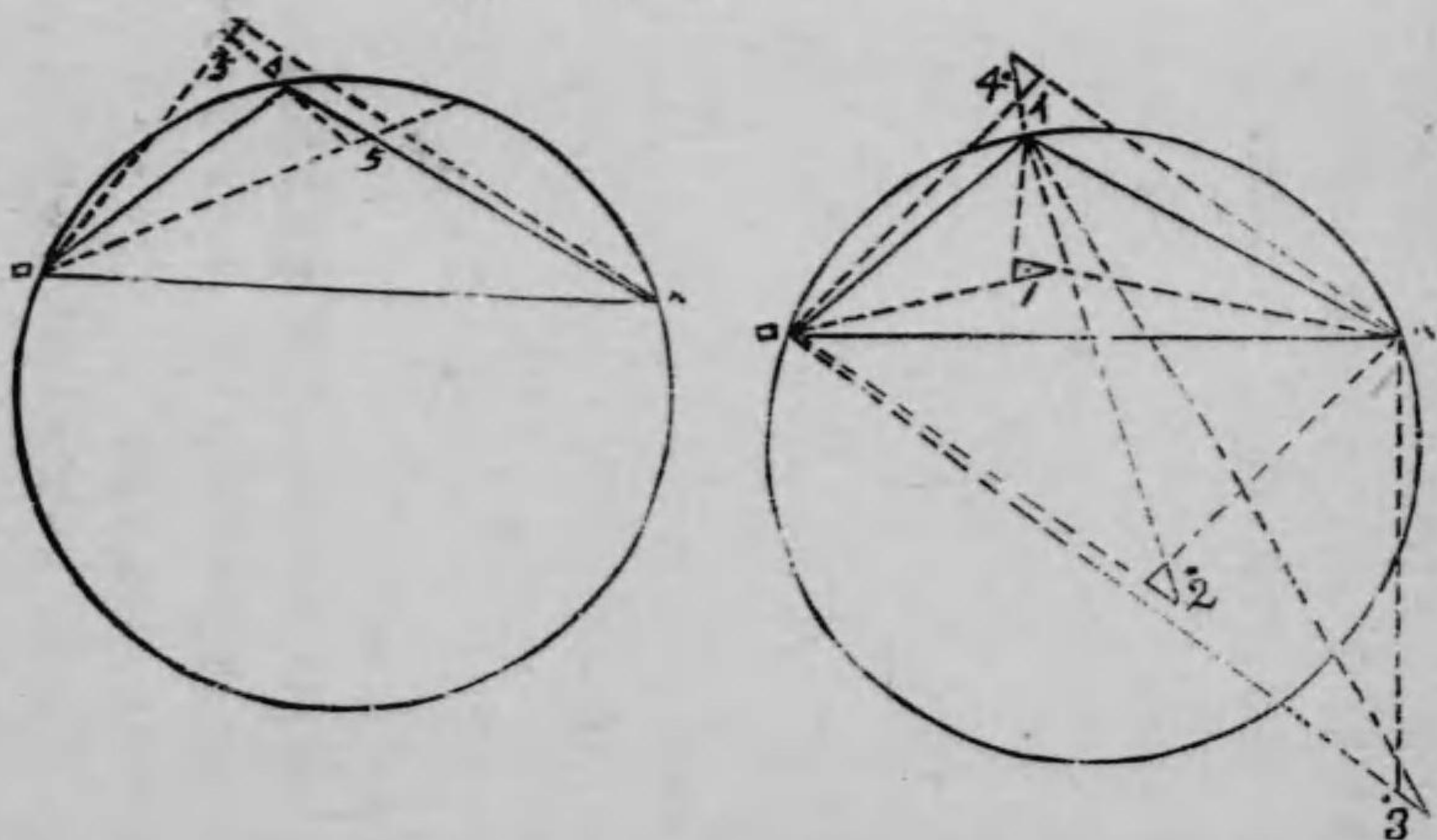
(八二) 後方交會法 後方交會法ハ前方交會法ト反對ニ作業スルノ方法ナリ、即チ第三十五圖ノ如ク(イ)(ろ)(は)



第三十五圖

(ロ)點ニ測量針ヲ移シテ(ろ)點ノ標桿ヲ視視シ後方ニ方向線ヲ描キ、(ハ)點ヨリモ同操作ヲ施シテ方向線ヲ描クトキハ、三視視線ハ一點ニ交會スベシ、此ノ交會點ハ即チ地上ノ(ニ)點ニ相當スルモノナレバ針ヲ以テ穴ヲ穿チ(ニ)ノ符號ヲ付シテ測量ヲ終ルモノトス。

圖 六 十 三 第



(八三) 後方交會法ニ於テモ三視視線ガ一點ニ交會セズシテ示誤三角形ヲ現ハス事アリ、而テ此ノ示誤三角形ノ生ズル原因ハ、未知點ニ平板ヲ据エタル際方位ガ正方位ヨリ少シク偏倚シテ平板ガ据付ラレタル結果ナレバ、平板ヲ少シク旋回シテ方位ヲ正シクセバ示誤三角形ハ消除スルヲ得ベシ、而テ何レノ方向ニ幾何平板ヲ旋回シテ可ナリヤヲ知ラントスレバ、其ノ點ノ眞位置ガ大体何處ニアリヤヲ知ルヲ便ナリトス、故ニ今之等ノ關係ヲ吟味セントス、第三十六圖(イ)(ロ)(ハ)點ヨリ描カレタル三視視線ガ一點ニ交會セズシテ示誤三角形ヲ現ハシタリトセバ、(イ)(ロ)(ハ)ノ三點ヲ連結シテ三角形ヲ作り、更ニ之レニ外接スル圓ヲ描クモノトスレバ、(イ)(ロ)(ハ)ノ既知三點ト、示誤三角形及測點ノ眞位置(眞位置ハ圖中・印ヲ以テ表示ス)トハ、次ノ如キ關係アリ、故ニ略々其ノ眞位置ヲ推測シ、其ノ推測點ニ照準儀ノ定規ノ線ヲ沿ハセ既知點(イ)(ロ)(ハ)ノ何レカヲ視視シテ、標桿ト照準絲ガ一致スルマデ平板ヲ旋回スレバ方位ハ正シウセラル、ナリ、從テ再ビ後方交會法ヲ行ヘバ、示誤三角形ハ消除セラレテ三視視線ハ一點ニ交會スベシ、但シ此ノ操作ハ一回ニテハ充分

其ノ目的ヲ達セザルコトアルヲ以テ示誤三角形ガ消除セラル、マデ再三同操作ヲ繰返スベキナリ。

示誤三角形又ハ平板ノ位置ガ

- 一、三角形ノ内部ナルトキ。
- 二、三角形ノ内部ナルモ、圓ノ外部ナルトキ。
- 三、三角形及圓ノ外部ニシテ、三角形ノ一邊ニ相對スルトキ。
- 四、三角形、及圓ノ外測ニシテ三角形ノ角頂ニ相對スルトキ。
- 五、三角形ノ一邊上、又ハ其ノ延長線上ナルトキ(此場合ニハ圖ノ如ク個ノ視視線ハ平行シテ他ノ視視線ニ交リ示誤三角形ヲ成サザルベシ。)
- 六、圓周上ナルトキ(此ノ場合ニハ示誤三角形ヲ成スコトナシ。)

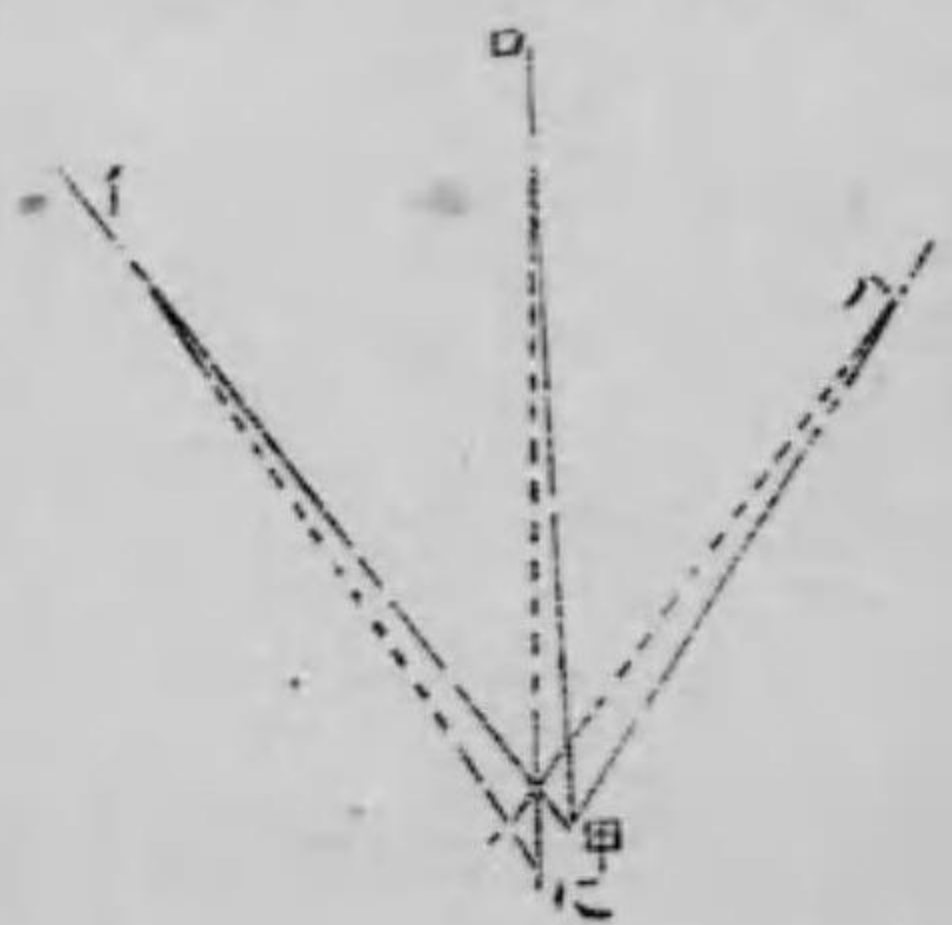
測點ノ眞位置ハ

- 一、示誤三角形ノ内部ニアリ。
- 二、示誤三角形ノ外部ニシテ、内側ノ視視線ニ相對スル位置ニアリ。
- 三、示誤三角形ノ外部ニシテ、外側ノ視視線ガ成ス角ニ相對スル位置ニアリ。
- 四、二ノ場合ト同様ナリ。
- 五、三角形ノ一邊上ナルトキハ平行セル二視視線ノ中間ニアリ、三角形ノ一邊ノ延長上ナル時ハ二視視線ノ内短キモノ、外方ニアリ。
- 六、圓周上ナルトキハ示誤三角形ヲ成スコトナシ故ニ其ノ交會點ハ必ズシモ正シキモノトノミ速斷スルヲ得ズ、從テカ、ル位置ハ可成避クルヲ宜シトス。

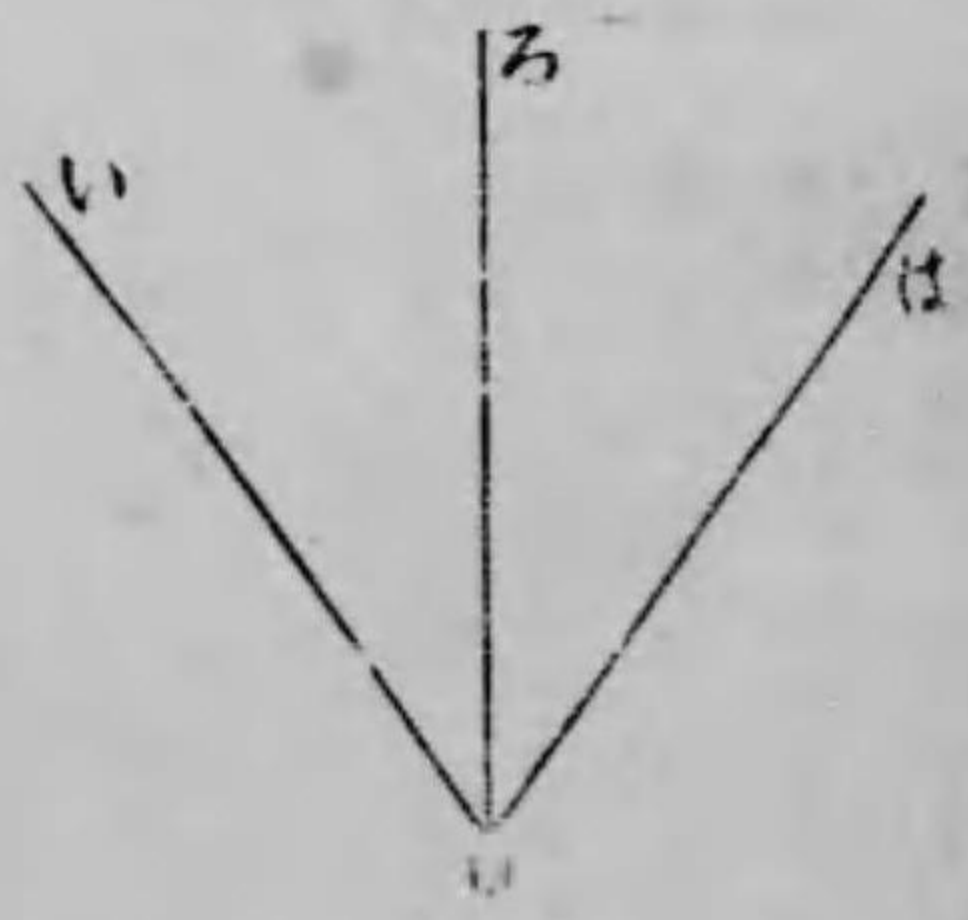
(八四) 後方交會法ノ示誤三角形ハ(八三)ノ方法ニ依リ消除シテ眞位置ヲ求ムベキモ亦次ノ如キ方法ニ依リ直チニ眞位置ヲ求ムルヲ得ベシ今第三十七圖甲ノ點線ニテ示セルガ如ク、(イ)(ロ)(ハ)點ヨリ描ケル三視視線ガ一點ニ交會セズシテ示誤三角形ヲ生ジタリトセバ、別ニ薄紙ヲ平板上ニ乗セ、其ノ薄紙ニ任意ノ一點ヲ設ケ(假リニ此ノ薄紙上ノ點ヲ(甲)ト名付)(甲)點ヲシテ地上(乙)點ノ眞上ニアル様求心器ニテ合せ、然ル後(甲)點ニ測量針ヲ立テ、順次地上(イ)(ロ)(ハ)ノ三點ヲ視視シテ、乙圖ノ如ク甲點ヨリ成ス三ツノ方向線ヲ描クベシ、次ニ薄紙ノ方向線ヲ

土地測量法 第四章 平板測量法

(甲)圖七十三第



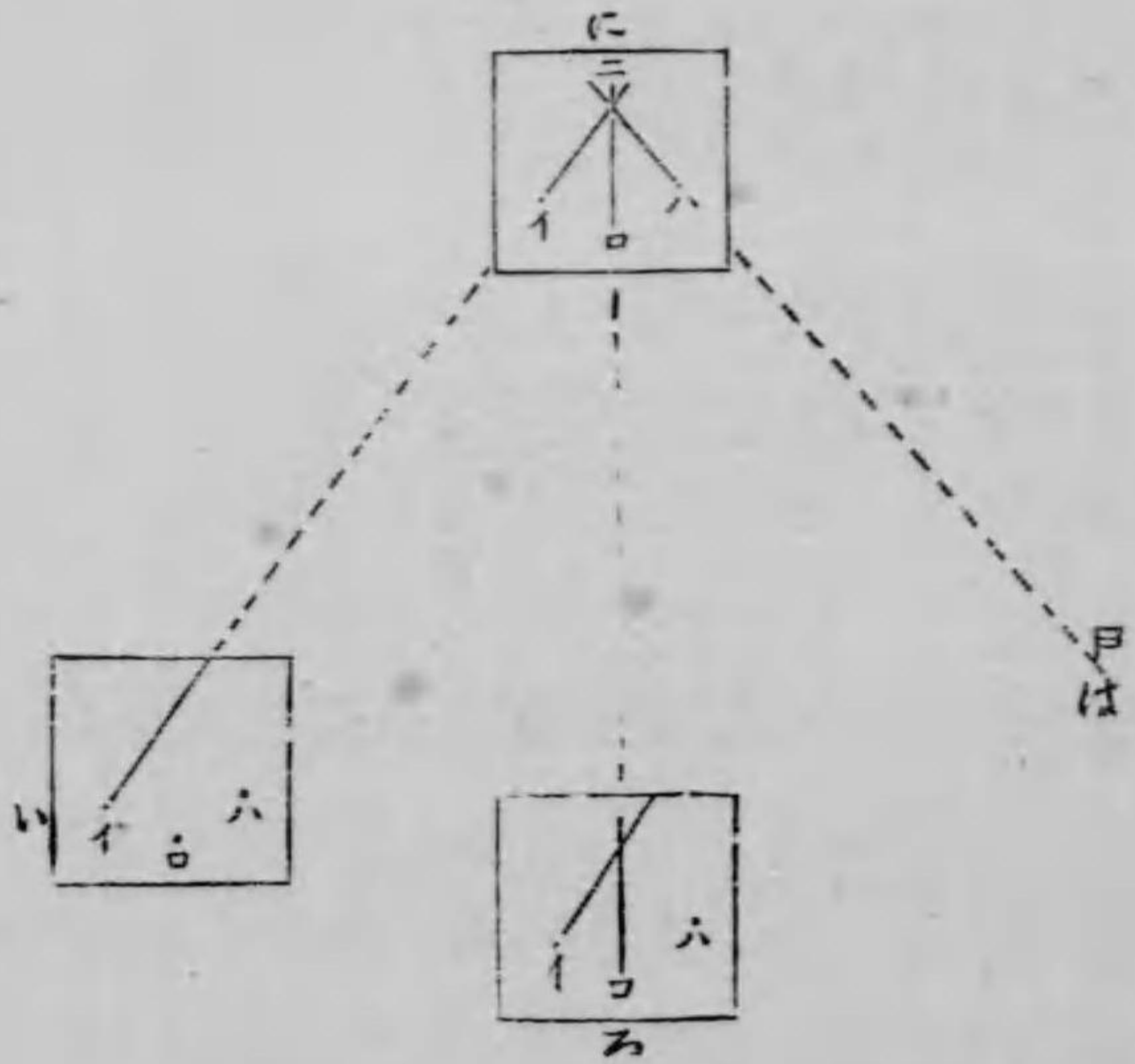
(乙)圖七十三第



シテ圖紙上ノ既知點(イ)(ロ)(ハ)ニ夫レノ合致スル様薄紙ヲ正シク重ね合せ(甲圖ノ實線ハ乙圖ノ重ね合せヲ示ス)(甲)點ニ針ヲ立ツルトキハ圖紙上ニモ其ノ針孔ヲ得ベシ其ノ針孔ハ即チ(ニ)點ノ眞位置ナリ。

(八五) 側方交會法 側方交會法ハ前方交會法ト後方交會法トヲ混用シテ測量スル方法ニ過ギズ、例ヘバ第三十八圖(イ)(ろ)(は)ノ既知點ニ依リ(ニ)點ヲ測ラントスルニ前方交會法ニ依レバ(イ)(ろ)(は)ノ三點ニ順次平板ヲ据エテ(ニ)點ヲ視セザルベカラズ、然ルニ、(ハ)點ヨリハ(ニ)點ヲ視スルヲ得ザルカ、又ハ平板ヲ据付ケ得ズ、又後方交會法ニ依ラントシテ(ニ)點ニ平板ヲ据ユレバ(イ)(ろ)(は)點ハ視スルヲ得ルモ、(ろ)點ハ視スルヲ得ザル場合ニ、(イ)(は)點ヨリ前方交會法ヲ行ヒ、(ニ)點ニ移リ(ハ)點ヲ視シテ後方交會法ヲ行ヒ、以テ測量ヲ終ル方法ナリ、即チ先ヅ地上(イ)點ニ至リテ平板ヲ据エ既知點(イ)(ろ)又ハ(イ)(は)ニ依リテ方位ヲ定メ、次ニ(イ)點ニ測量針ヲ立テ、(ニ)點ノ標桿ヲ視シテ、方向線ヲ描キテ(ろ)點ニ移リ、同操作ヲ行フトキハ、二ツノ方向線ハ一點ニ於テ交會スベシ、此ノ交叉點ハ即チ地上(ニ)點ニ相當スルモ、三線ノ交會ニアラザレバ(ニ)點ニ移リテ平板ヲ据

圖八十三第

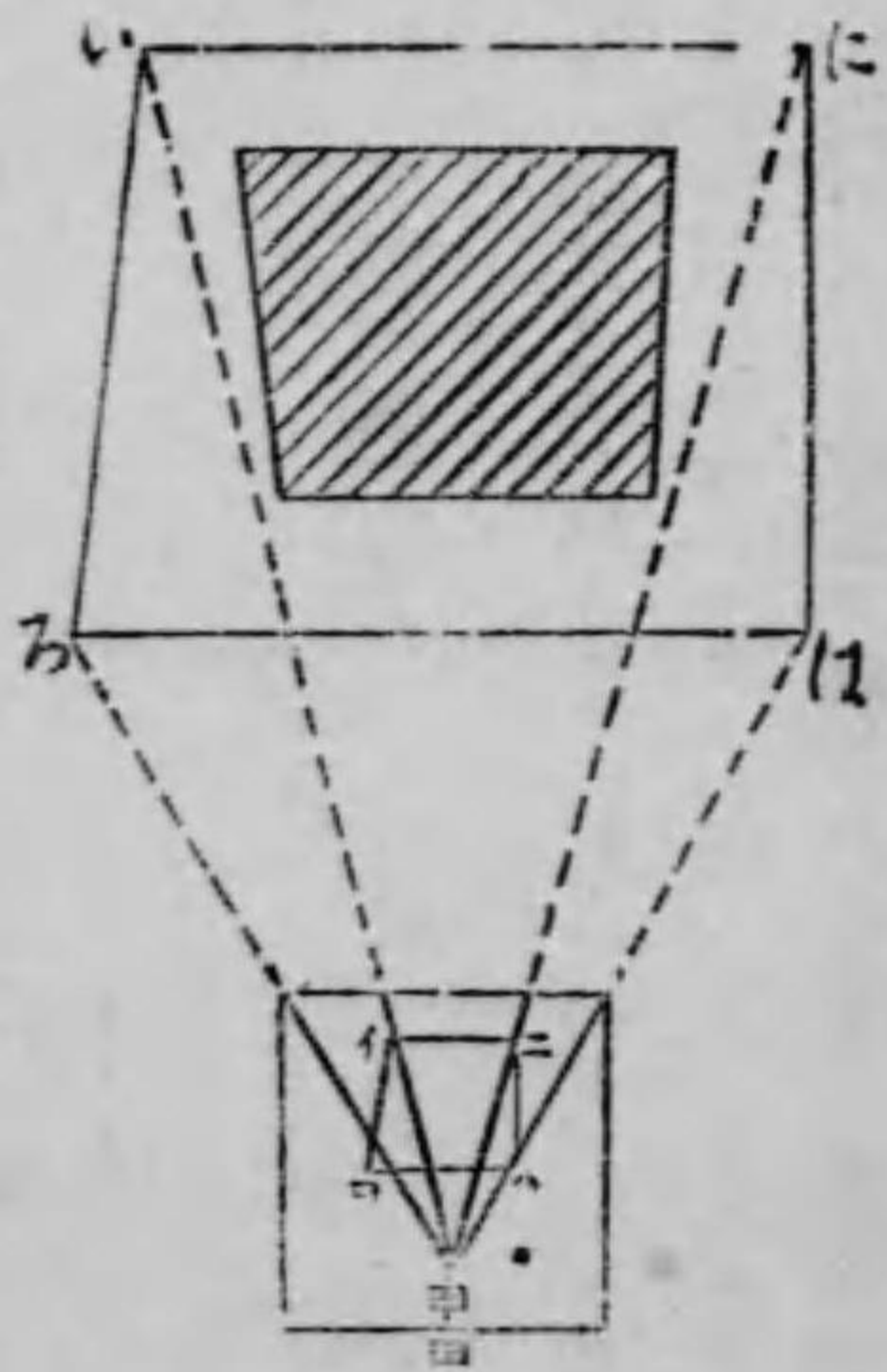


エ、「イニ」又ハ「ロニ」ノ方向線ニ照準儀ノ定規ノ線ヲ沿ハセ、(イ)又ハ(ろ)ノ標桿ヲ視シテ平板ヲ旋回シテ方位ヲ定メ、次ニ(ハ)點ニ測量針ヲ立テ、後方交會法ニ依リ一ツノ方向線ヲ描ケバ、既ニ描カレタル二線ト一點ニ於テ交會スベシ、此ノ交叉點ハ即チ(ニ)點ナリ、若シ示誤三角形ヲ生ジタルトキハ、前方交會法ニ於ケルト同様ニ處置スベキモノト知ルベシ。

第四節 應用問題

平板測量ノ測量方法ハ以上ニテ説明ヲ終リタルモ實地ノ測量ニ方リテハ測地ノ廣狹障礙物ノ有無其他種々ナル關係ヨリシテ難問題ニ遭遇スルコトアルベシ、カ、ル場合ニ於テハ實地ノ踏査ニ充分ナル注意ヲ拂ヒテ適當ナル方法ヲ選定シ、或ハ二三ノ方法ヲ混用シテ測量ノ正確ト簡便トヲ期セザルベカラズ今其ノ應用ニ關シ普通遭遇スル二三ノ

圖九十三第



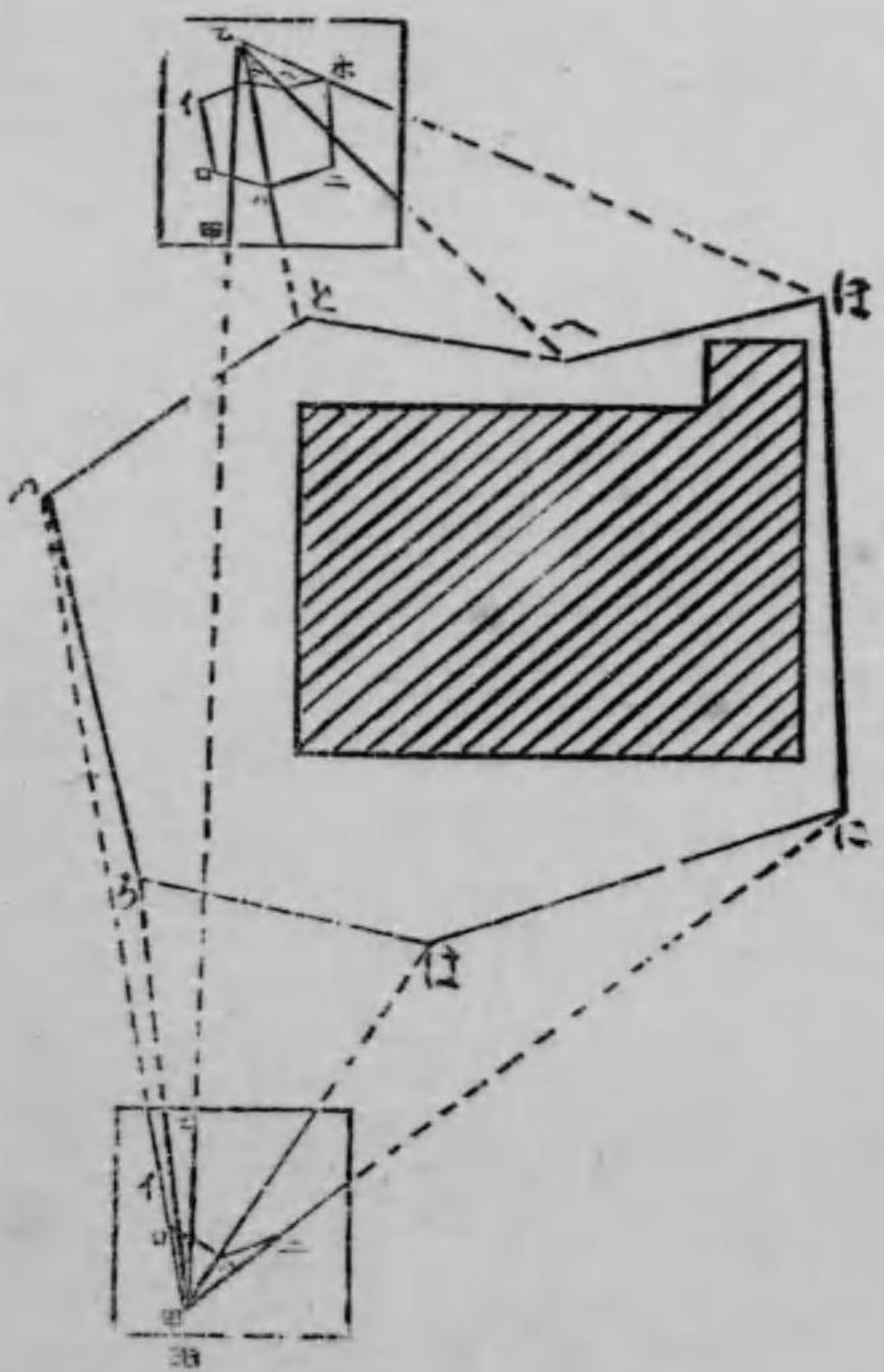
(八七)

障碍物アル場合ノ二

第四十圖

いはほへと』ノ如キ土地ニシテ射出法ニ依ラントスルニ何レノ場所ニ  
場合ニ付説明セン。  
(八六) 障碍物アル場合ノ一 第三十九圖ノ如キ『いろ  
はに』ノ土地ニシテ、中ニ建物又ハ竹木ノ如キ障碍物  
リテ、射出法ニ依ラントスルモ其ノ土地内ノ或ル一點ヨ  
リハ、全點ヲ規視シ得ザルトキハ、其ノ障碍物ヲ避ケ各  
點ヲ一點ヨリ規視シ得ベキ(甲)點ノ如キ場所ニ平板ヲ据  
エテ、圖ノ如ク射出法ヲ行フベシ、

圖十四第



障碍物アル場合ノ二 第四十圖  
平板ヲ据ウルモ、一點ヨリハ各點ヲ規  
視シ得ザルトキハ、數回平板ヲ移シテ  
測量スルモノトス、即チ先以テ(イ)  
(ろ)(は)(に)ヲ規視シ得ベキ(甲)點ノ  
如キ場所ニ平板ヲ据エ、射出法ヲ行フ  
テ之レヲ測リ、次ニ残りノ諸點ヲ規視  
シ得ベキ乙點ノ如キ場所ニ標桿ヲ立テ  
之レヲ規視シテ方向線ヲ描キ距離ヲ實  
測シテ其ノ方向線上ニ(乙)點ヲ求メ、  
然ル後(乙)點ニ移リテ平板ヲ据エ、

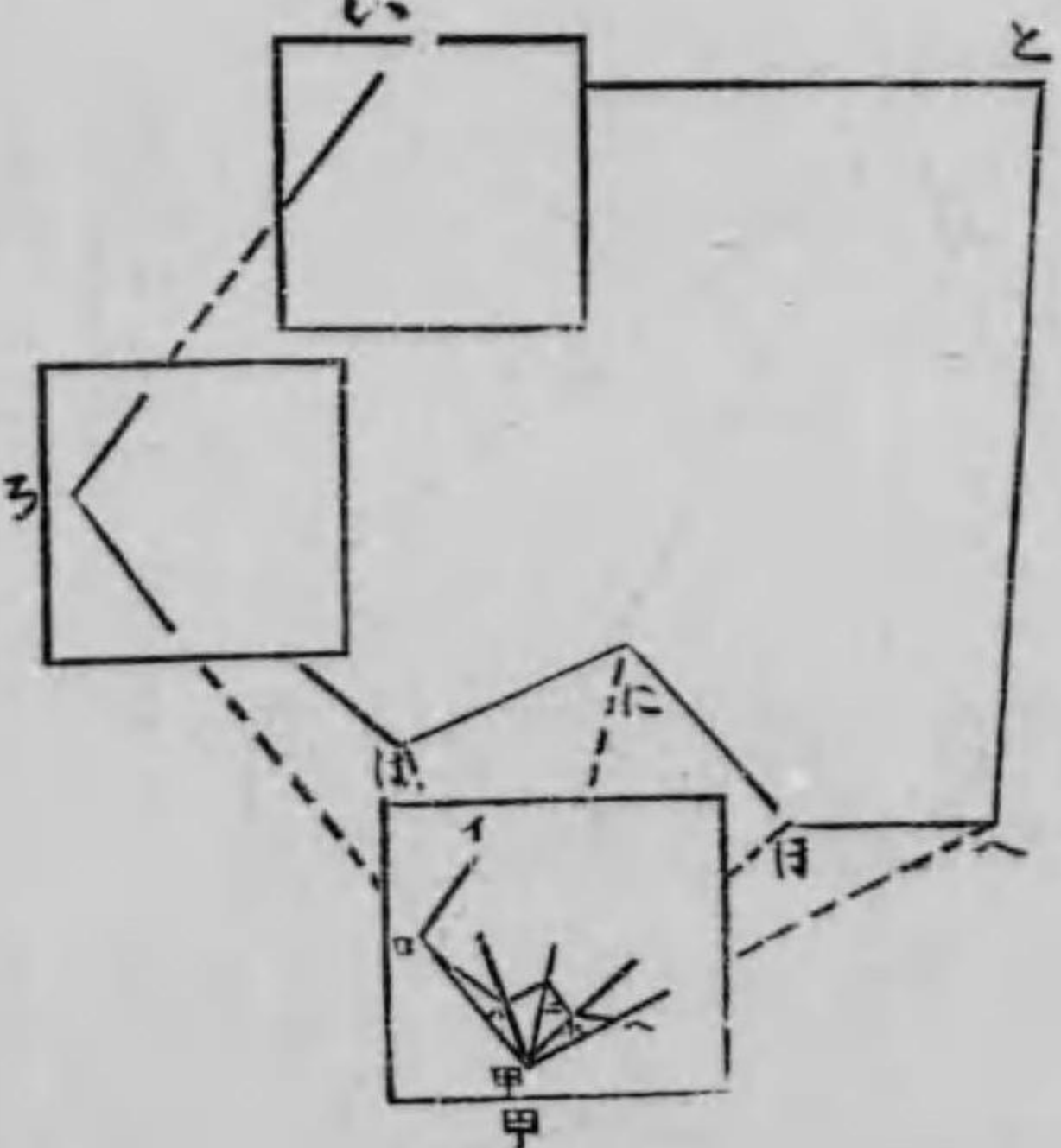
(甲)點ノ標桿ヲ見返シテ方位ヲ定メ、(乙)點ヨリ射出法ヲ行フテ(ほ)(へ)(と)ヲ測定スルトキハ測圖『イロハニホヘ  
ト』ヲ得。境界點(ろ)ガ平板ヲ据付ケ得ル土地ニシテ、且ツ(い)(は)(に)ノ諸點ヲ規視シ得ルトキハ特ニ(甲)點ヲ  
設ケズシテ(ろ)點ニ平板ヲ据エテ之レヨリ射出法ヲ行フモ可ナリ、又境界點(い)ガ平板ヲ据付ケ得ル土地ニシテ、  
且ツ(ほ)(へ)(と)ノ諸點ヲ規視シ得ルトキハ、特ニ(乙)點ヲ設ケズシテ、(い)點ニ移リテ平板ヲ据エテ之レヨリ射出  
法ヲ行フベキハ前同様ナリ。

(八八) 障碍物アル場合ノ三

第四十五圖

いはほへと』ノ如キ土地ニシテ中ニ木竹ノ如キ障碍物アル土地、即  
チ山林原野ノ如キ地ハ(八七)ニ依リ射出法ヲ行ハントスレバ、  
種々ナル場所ニ平板ヲ移サザルベカラズ、故ニカ、ル土地ハ進  
測法ニ依ルヲ可トスル場合多シ、而シテ今(い)點ヨリ出行シテ  
進測法ニ依ラントスルニ(ろ)(は)(に)點間ハ距離ヲ實測スルヲ得  
ザルカ、又ハ(は)點ハ平板ヲ据付ケ得ザル土地ナリトスレバ、  
(甲)點ノ如キ假點ヲ設ケテ進測スベキナリ、即チ(い)點ニ平板  
ヲ据エテ(ろ)點ヲ測リ、(ろ)點ニ移リテ平板ヲ据エテ(甲)點ヲ測  
リ、次ニ(甲)點ニ移リテ平板ヲ据エ、甲點ヨリ射出法ニ依リテ  
(は)(に)(ほ)ノ三點ヲ測リ、然ル後再ビ(甲)點ヨリ進測法ヲ繼  
續シテ(へ)點ヲ測リ順次進行シテ出行點(い)ニ閉塞セシムベキ

圖五十四第



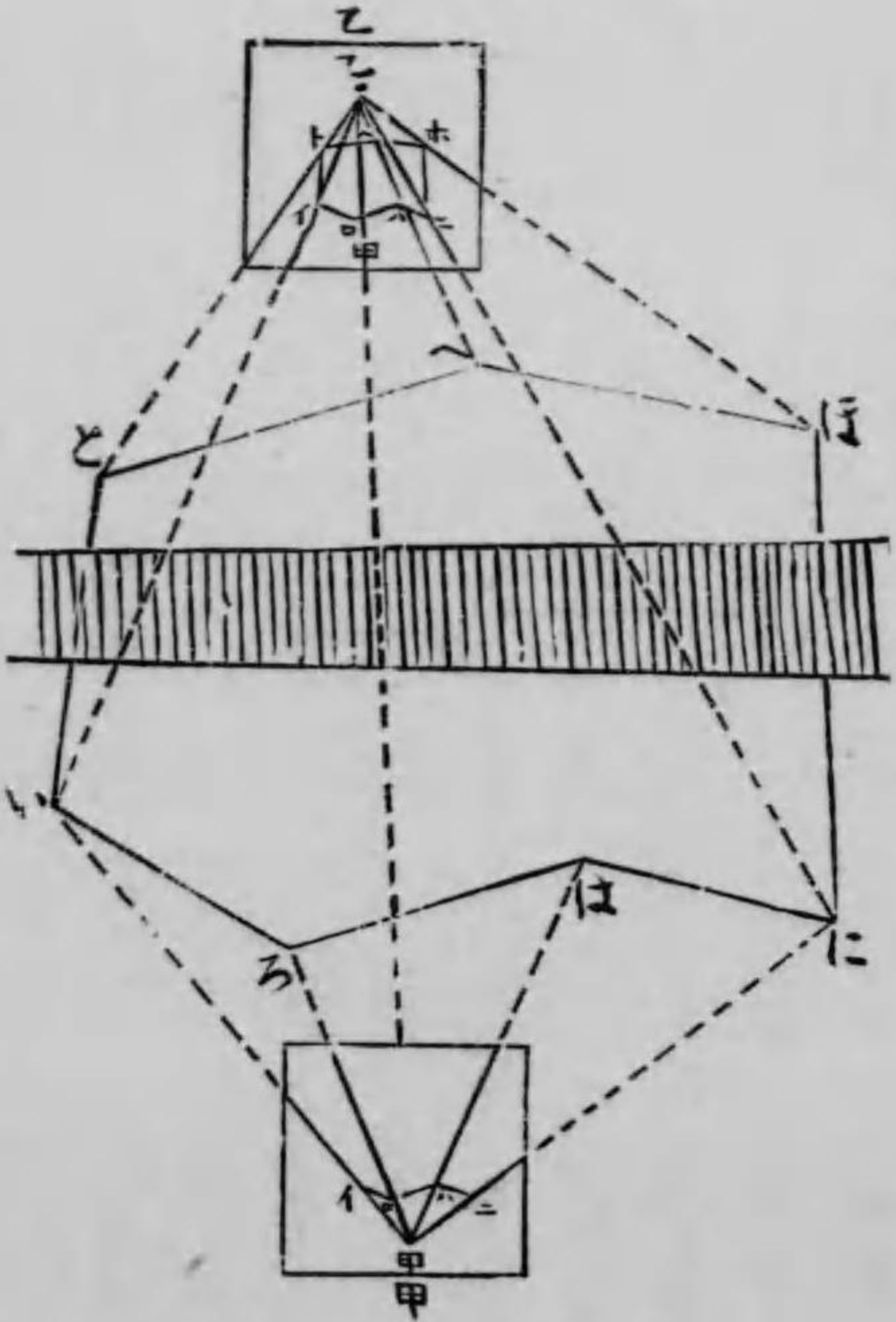
ナリ。

進測法ニ依ラントスル場合ニ於テ、總テノ境界點ガ進測法ヲ行ヒ得ルトキト雖隣接境界點間ノ距離短カキ數點アル

トキ、即ち第四十五圖ノ(は)(に)(ほ)ノ如キ點アルトキハ、(甲)點ノ如キ假點ヲ設ケテ測量シ、可成平板ヲ少ナク据エテ出行點ニ閉塞セシムル様努ムベキナリ、之レ即ち時間ヲ節約シ、且ツ閉塞差ヲシテ少カラシメンガ爲メナリ而シテ必要上設クル假點ハ、測地ノ内外ヲ問ハズ便宜ナル場所ニ設クルヲ得ベシ。

(八九) 障碍地アル場合ノ四 第四十六圖『いろはにほへ』ノ如キ土地ニシテ、其ノ土地内ニ河川ノ如キ障碍物アリテ對岸ニ至ル距離ヲ實測シ得ザルモ、總テノ點ガ視視シ得ル場合ニハ、先以テ(甲)點ノ如キ場所ニ平板ヲ据エ、射出法ニ依リテ(い)(ろ)(は)(に)ノ諸點ヲ測リ、次に(ほ)(へ)(と)ノ諸點ヲ視視シ得ベキ(乙)點ニ移リテ平板ヲ据エ既知點ノ内交會角度ノ宜シキ(い)(に)(甲)ノ三點ヲ利用シ、後方交會法ニ依リテ(乙)點ヲ測定シ、然ル後(乙)點ヨリ再ビ射出法ニ依リテ、(ほ)(へ)(と)ノ諸點ヲ測定スレバ測圖(イロハニホヘト)ヲ得ベシ。

圖六十四第

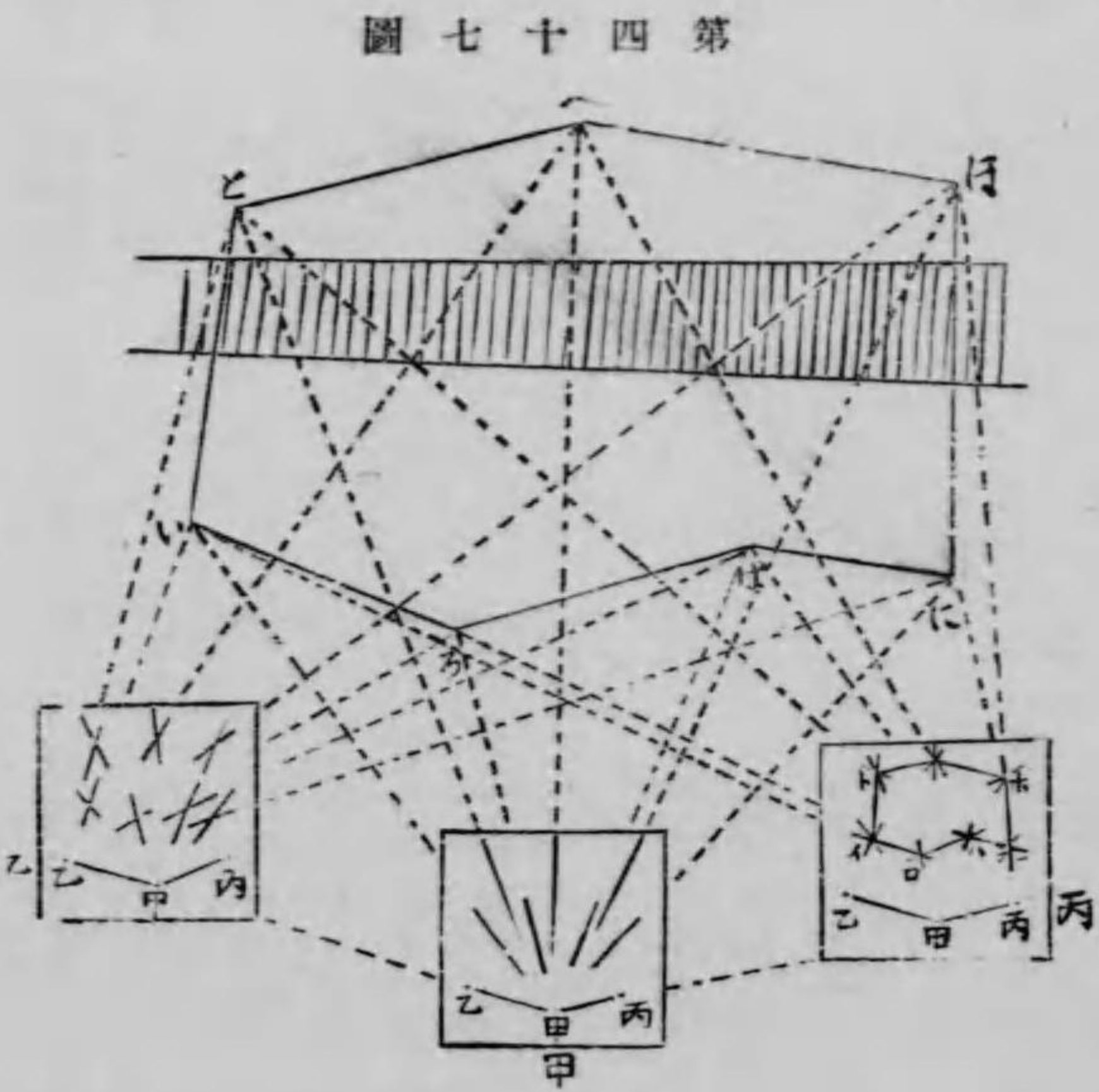


ヲ得ベシ。

境界點(い)(ろ)(は)(に)ノ諸點中平板ヲ据付ケ得ル點アルトキハ、特ニ(甲)點ヲ設ケズシテ其ノ點ニ平板ヲ据付ケベキハ、既ニ述ベタルガ如シ、又(ほ)(へ)(と)ノ諸點中平板ヲ据付ケ得ル場所ニシテ、且ツ既知點ヨリノ交會角度ガ宜シキ點アルトキハ、特ニ(乙)點ヲ設ケズ、其ノ境界點ニ平板ヲ据エテ、後方交會法ニ依リ其ノ點ヲ測リ、残り

ノ諸點ヲ射出法ニ依リ測定スルモ亦可ナリ。

(九〇) 第四十六圖ノ如キ土地ハ又前方交會法ニ依リ測定スルヲ利益トスル場合多シ第四十七圖ハ即ち此ノ方法ニ



圖七十四第

依リタルモノニシテ、最初平板ヲ据ウベキ(甲)(乙)(丙)ノ三點ヲ定ムベシ、而シテ(甲)(乙)(丙)ノ三點ヲ定ムルニハ各境界點ガ此ノ三點ニ對シテ成ス交會角度ガ宜シキ場所ニ選定スベク充分注意ヲ拂フベキナリ、三點ノ選定終ラバ任意ノ一點(甲)ニ至リテ平板ヲ据エ平板上ニ(甲)點ヲ任意ニ定メ、此ノ(甲)點ヨリ先以テ(乙)(丙)ノ二點ヲ測定シ、次に各境界點ヲ視視シテ圖ノ如ク方向線ヲ描クベシ、順次(乙)(丙)點ニ移リテ各境界點ヲ視視シ方向線ヲ描クトキハ各境界點ハ夫々三ツノ方向線ノ交會ニ依リ測定セラレ、測圖(イロハニホヘト)ヲ得ベシ。

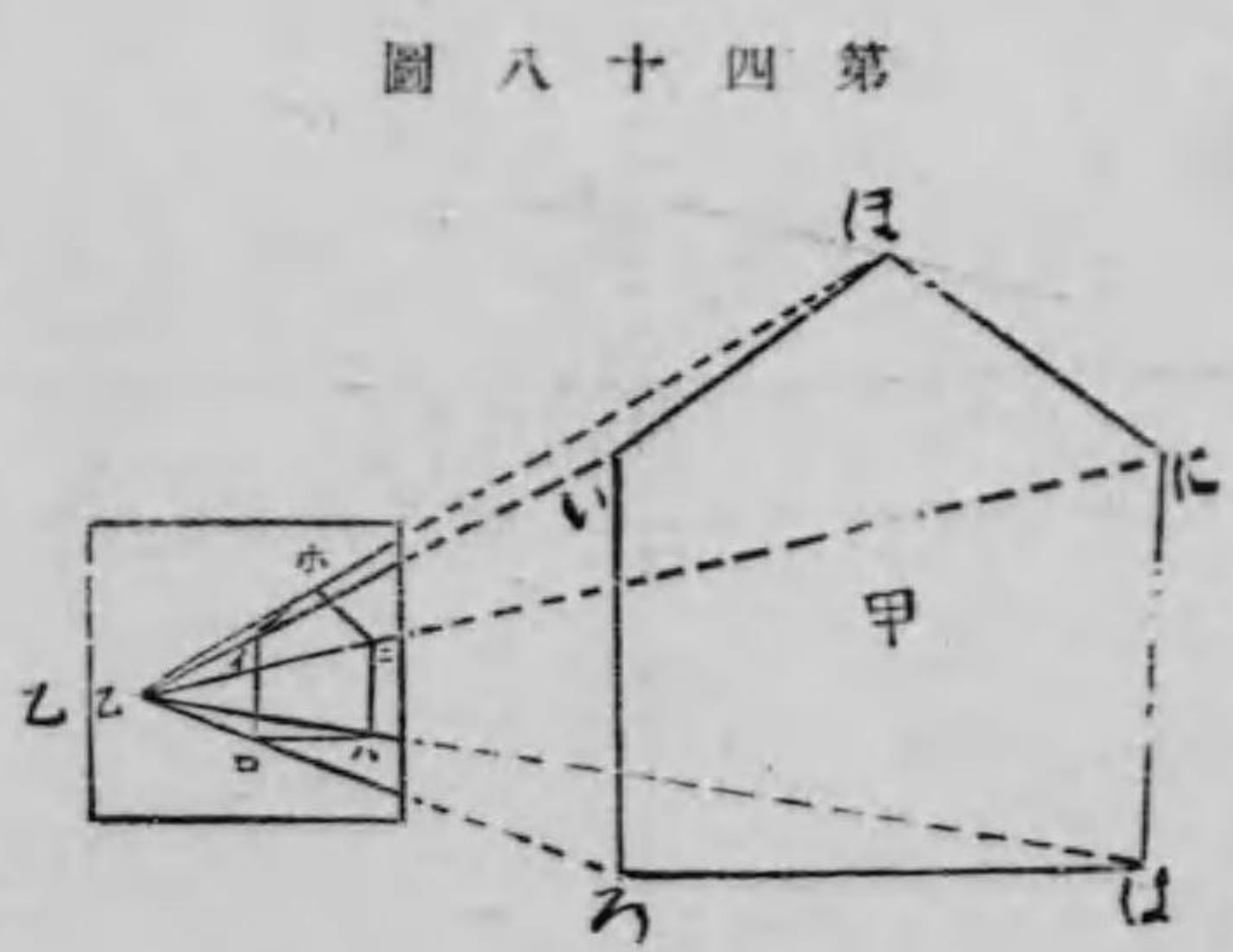
境界點ノ總テガ(甲)(乙)(丙)ノ三點ニ對シテ成ス交會角度ガ宜シキ様ニ(甲)(乙)(丙)ノ三點ヲ定ムベキモ、若シ或ル二二三ノ點ニシテ交會角度ガ惡シキトキハ、其ノ點ノミハ(甲)(乙)(丙)中便宜ノ點ニ至リタルトキ射出法ニ依リ測定スルモ可ナリ。

境界點(い)(ろ)(は)(に)ノ諸點中平板ヲ据付ケ得ル三點アリ、且ツ其ノ三點ヨリシテ残りノ諸點ガ成ス交會角度ガ



宜シキトキハ、特ニ(甲)(乙)(丙)ノ三點ヲ設ケズシテ其ノ境界點ヲ(甲)(乙)(丙)ニ利用シ之レニ依リテ前方交會法ヲ行フモ可ナリ、又場合ニ依リテハ、境界點中一點或ハ二點ヲ利用シテ他ノ場所ニ二點或ハ一點ヲ設クルモ差支ナシ。

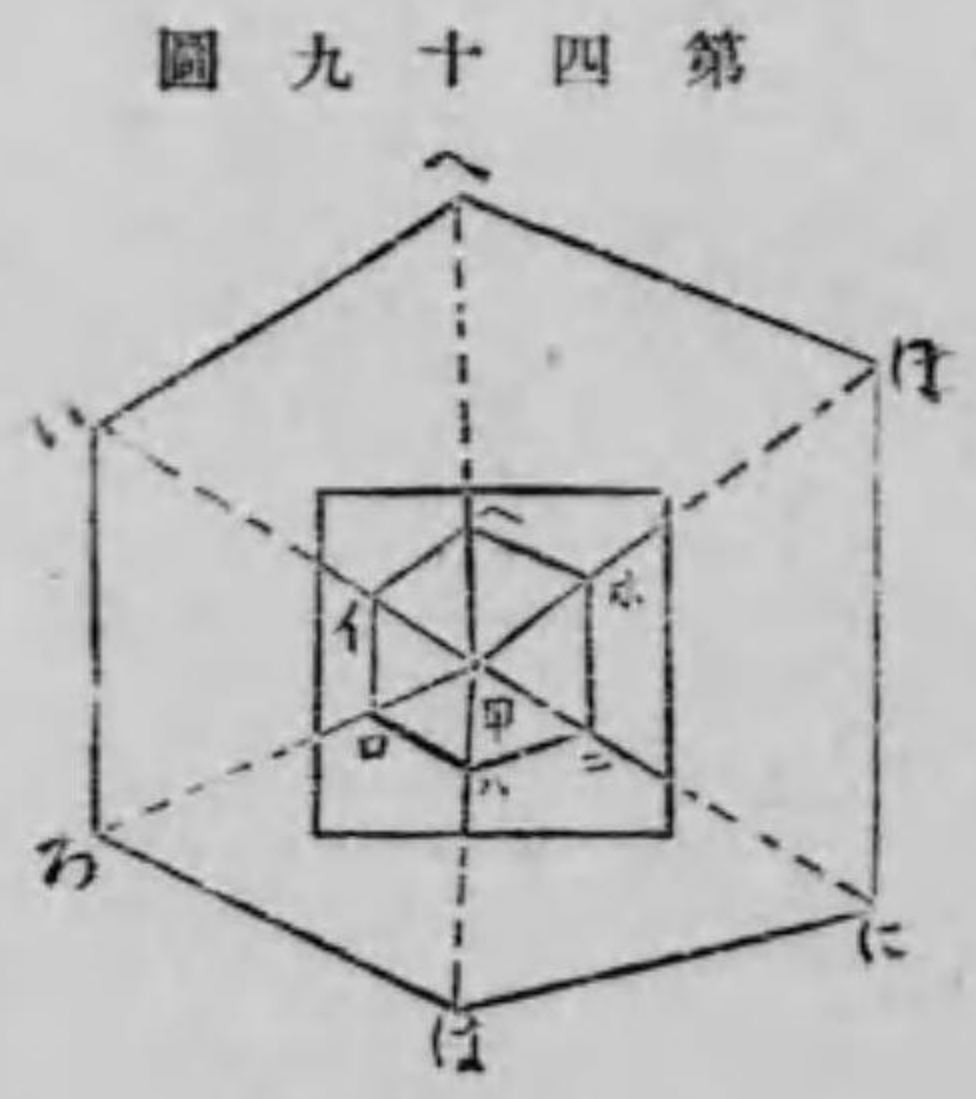
(九一) 傾斜地ノ場合ノ一 第四十八圖(いろはにほ)ノ如キ土地ニシテ(い)ヨリ(ろ)ノ方向ニ傾斜甚シク、高キ方ニ平板ヲ据ウルモ、低キ方ニ据ウルモ、全境界點ヲ一點ヨリ視視スルヲ得ザルトキハ、中程ノ(甲)點ノ如キ場所ニ平板ヲ据付ベシ、若シ其ノ點ヨリモ視點シ得ザルトキハ傾斜ノ方向ト反對ナル方向ニ去ルベシ、然ルトキハ傾斜ハ次第二緩カニ見ユルヲ以テ、各點ヲ一點ヨリ視視シ得ベシ即チ乙點ノ如キ場所マデ去リテ平板ヲ据付ルトキハ、之レヨリ射出法ニ依リテ測量スルヲ得ベシ。



圖八十四第

(九二) 第四十八圖ノ如キ土地ハ又前方交會法ニ依リテ測量スルヲ利益トスル場合尠カラザルベシ、例ヘバ山腹ノ開墾地ニシテ竹木等ノ障碍物ナキ場合ニ依リテハ殊ニ妙ナリトス、此ノ場合ニ於テハ山麓ノ平地又ハ道路等ニ三點ヲ選ミ之レニ依リテ前方交會法ヲ行フトキハ時間ハ節約セラレ、且ツ測圖ハ誤差少ナルカルベシ、(第四十七圖)ノ土地ガ傾斜シタルモノト假想シテ之レヲ參照セラレベシ。

(九三) 傾斜地ノ場合ノ二 第四十九圖(いろはにほ)ノ如キ土地ニシテ其ノ傾斜ガ中高ニテ恰モ摺鉢ヲ倒サマニシタルガ如キ土地ナルトキハ、中高ノ場所ニ平板ヲ据ウレバ、圖ノ如ク射出法ニ依リテ測量スルヲ得ベシ、然レド

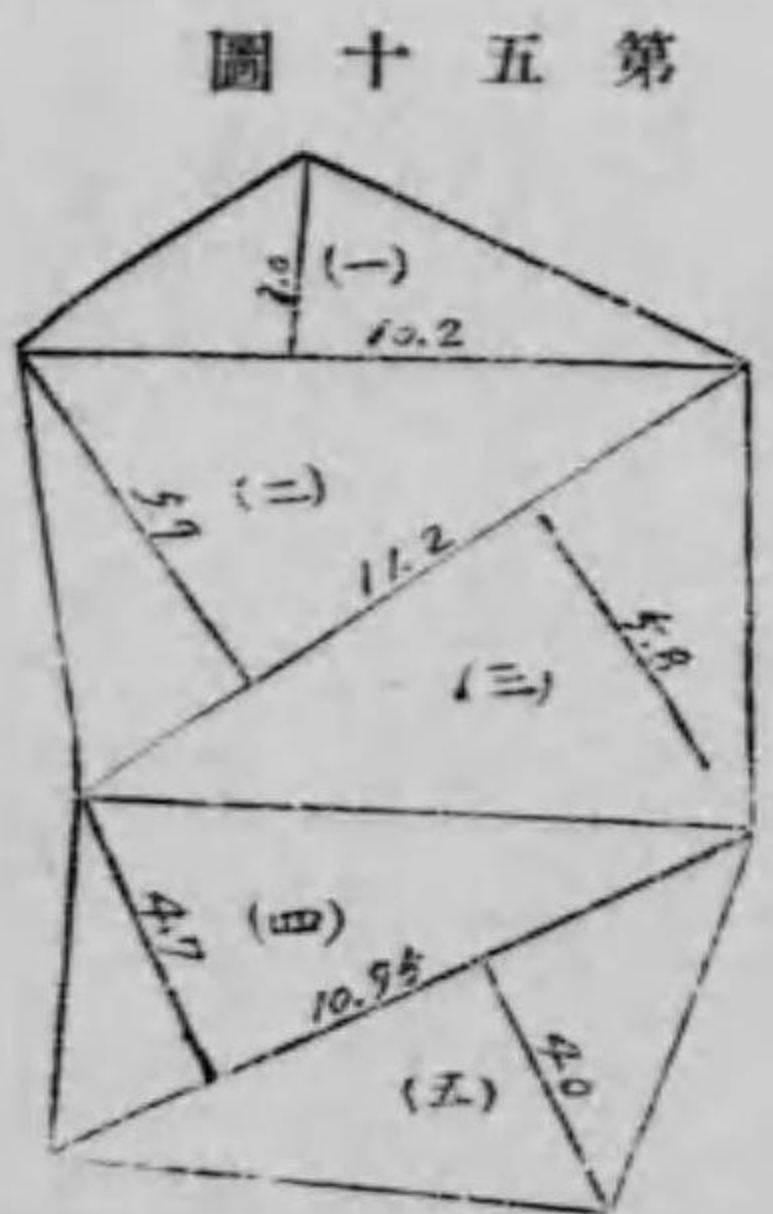


圖九十四第

モ此ノ場合ニハ、各點ニ至ル距離ハ總テ傾斜シタル場所ナルヲ以テ距離ノ測定ニ十分ノ注意ヲ拂ハザレバ、誤差多キ測圖トナルベシ。  
(九四) 第四十九圖ノ土地ニシテ、周圍或ハ周圍附近ノ通過容易ナルトキハ、進測法ニ依リ測量スルヲ利益トスル場合多カルベシ、此ノ方法ニ依ルトキハ平板ヲ据ウル回数多キモ、距離ノ測定容易ナルヲ以テ比較的精密ナル測圖ヲ得ベシ、要スルニ本問ノ如キ土地ハ實地ノ狀況ニ依リ利益ナル方法ヲ採ルノ外ナシ。

第五節 面積計算

坪數百貳拾八坪四合五勺

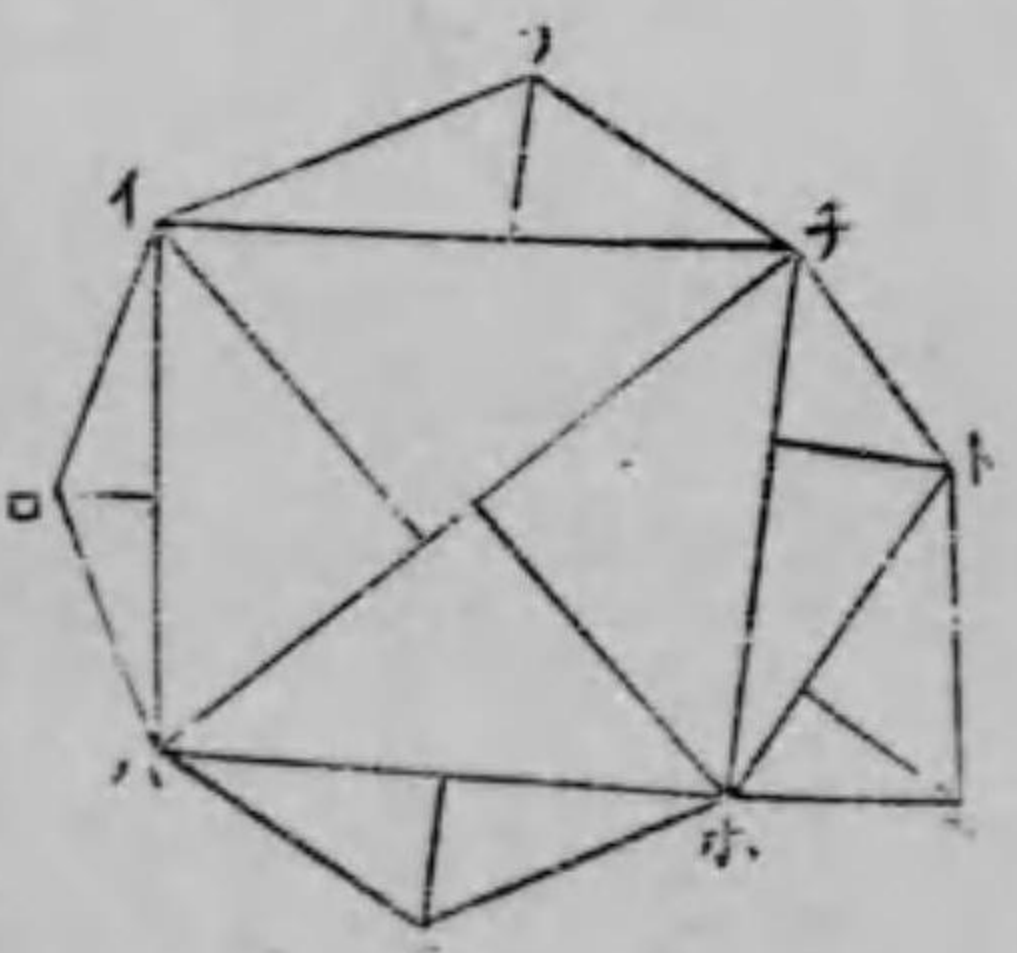


圖十五第

|     |         |
|-----|---------|
| (一) | 30.60   |
| (二) | 66.08   |
| (三) | 64.96   |
| (四) | 51.465  |
| (五) | 43.80   |
| 計   | 256.905 |
| 二除  | 128.45  |

土地測量法 第四章 平板測量法

圖一十五第



五三

(九五) 平板測量ニ依リ縮畫セラレタル測圖ハ、數多ノ三角形ニ區分シテ面積計算ヲ爲スベキモノニシテ、第三章第十節ニ記載セル計算方法ト同一ナリ故ニ第五十圖ハ(四八)ヲ參照シテ之ヲ見ルベシ。

測圖ヲ數多ノ三角形ニ區分スルニハ、三角形ノ各邊ノ長サガ可成等邊ニ近キ様ニ區分シテ面積計算上ノ誤差ヲ防グベキナリ、從テ第五十一圖ノ如キ測圖ハ先以テ中央ニ大ナル四角形ヲ作り、然後三角形ニ區分シテ三角形ノ各邊ノ長サヲシテ等邊ニ近カラシムベシ。

## 第五章 羅盤測量法

### 第一節 羅盤測量法 (羅針儀測量法)(コンパス測量法)

(九六) 羅盤(コンパス)ハ圓形磁針器ノ周圍ニ度盛ヲ刻ミ其ノ外部ニ南北相對シテ照準裝置(視測裝置)ヲ附シタルモノニテ之ヲ三脚ノ上ニ据付ケテ測量ス、其ノ種類ハ普通羅盤(第五十二圖)、副尺羅盤(バーニアコンパス)、稜鏡羅盤(プリスマチックコンパス)、懷中羅盤(ポケットコンパス)等アリ。

### 第二節 器械ノ説明

(九七) 磁針 磁針ハ鋼鐵ニテ作り兩端ヲ尖ラシ強ク附磁シ、羅盤ノ中心ニアル鋼鐵ノ尖軸上ニ裝置ス、磁針ノ長サ長ケレバ其ノ指ス度盛ノ割合ハ大ニナル故便利ナレドモ其全長ガ五吋乃至六吋ヲ超ユル時ハ針中ニ第二ノ磁極ノ生ズルコトアルヲ以テ其ノ長サハ一般ニ六吋以下ニシテ羅盤ノ大サハ磁針ノ長サヲ以テ呼ブ、例ヘバ三吋羅盤、六

吋羅盤ト云フガ如シ、北半球ニ於テハ磁針ノ南側ニ眞鍮線ヲ挿付ケテ針ノ兩端ヲ同高ナラシム、磁針ハ之ヲ使用セザル間ハ其ノ振動ヲ止メテ軸ノ尖端ノ磨損ヲ

少ナカラシメンガ爲メ揚針裝置ニヨリテ磁針ヲ尖軸ヨリ持テ上ゲ上部ノ硝子蓋ニ推シ付ケ置クガ普通ナリ。

(九八) 分度盤 分度盤ニハ東西南北ノ二線ニヨリ四ツノ象限ニ分チ、南北線ヨリ始マリ左右ニ東西線ニ終ル0°ヨリ90°マデヅ、ノ分度ヲ刻ミ且ツ東西ノ符號ハ普通ノ土地ノ方位ト正反對ニ記シ、N(北)、S(南)、E(東)、W(西)ノ四ツノ符號ヲ記入セリ。

(九九) 視鉤

第五十二圖視

鉤(イ)(ロ)ハ

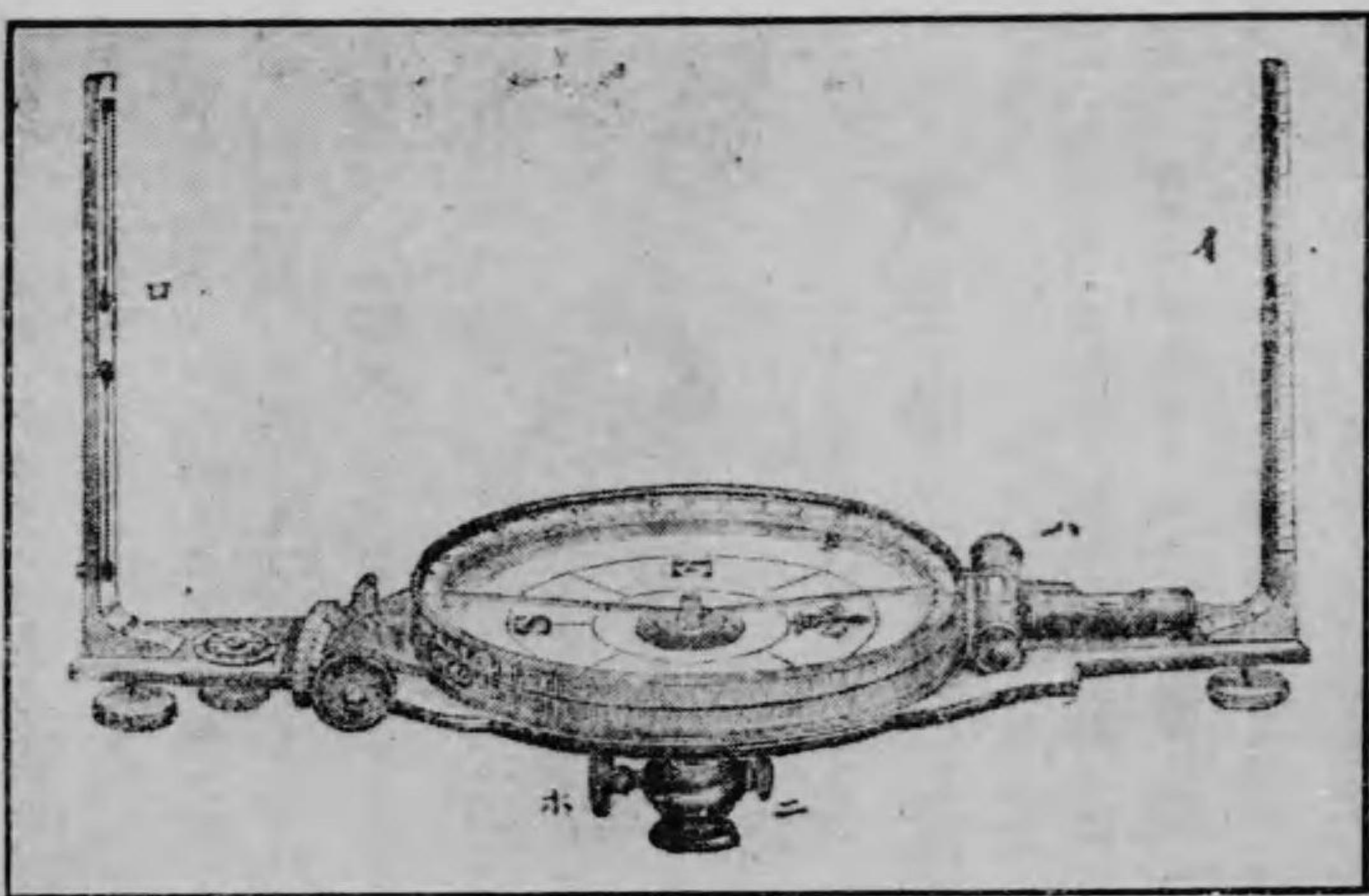
細長キ眞鍮鉤

ニシテ細キ縱

隙ヲ有シ細隙

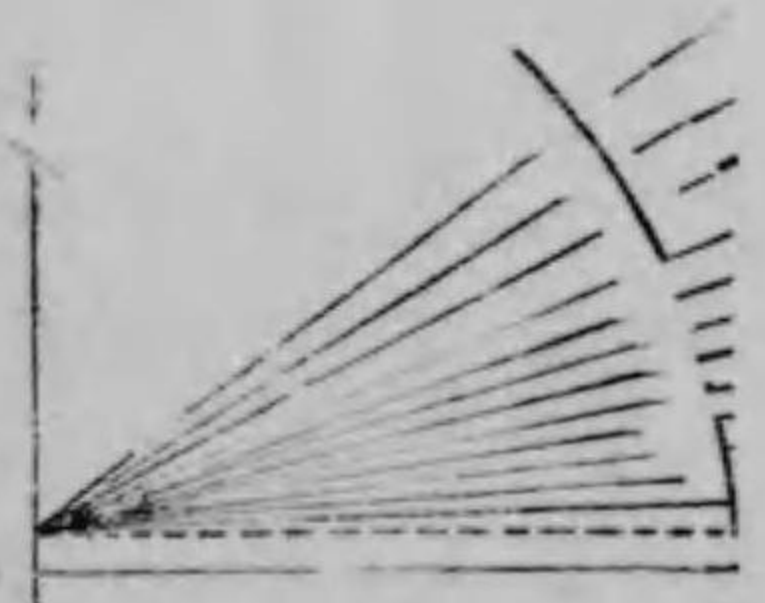
ノ兩端及ビ中

圖二十五第



イ、前 視 鉤  
ロ、後 視 鉤  
ハ、水 準 裝 置  
ニ、球 窩 接 合 部  
ホ、緊 迫 螺 旋

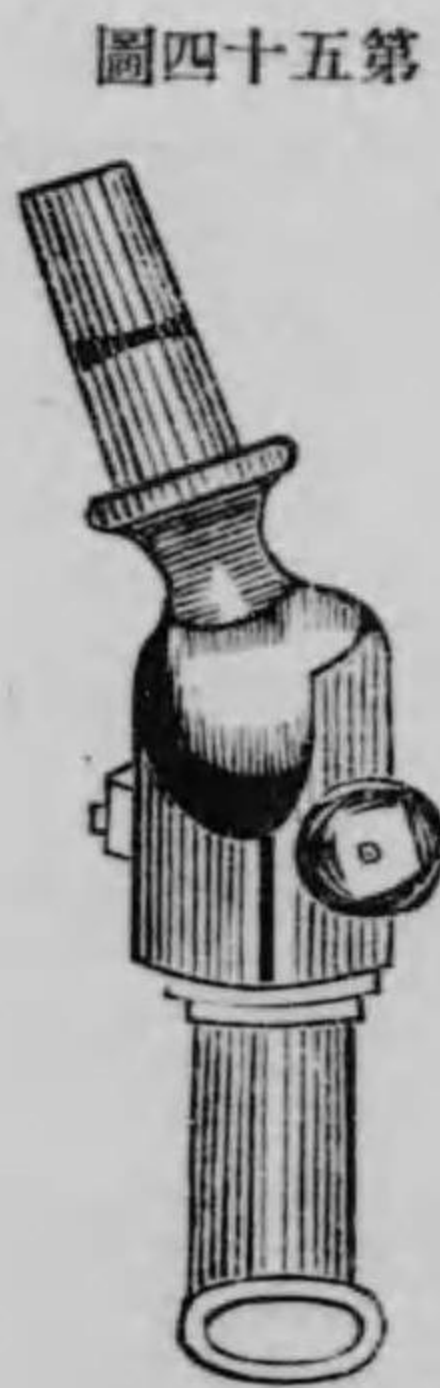
圖三十五第



五五

間ニ若干ノ小圓孔ヲ有ス、此ノ縱隙ニハ更ニ細毛又ハ針金ノ類ヲ張リテ縱ニ等分セルモノアリ、其ノ北側ニアルモノヲ前視鏡(イ)、南側ニアルモノヲ後視鏡(ロ)ト云ヒ、前視鏡ノ右側ニハ後視鏡ノ最下ノ孔ヲ中心トシテ同一水平點ヨリ上方ニ二十度餘ノ仰角ヲ刻ミ、又左側ニハ後視鏡ノ最上孔ト同一水平點ヨリ下方ニ度盛セリ、從テ右側ノモノハ上ニ從ツテ割合大ニ左側ノモノハ下方ニ從ツテ度盛大ナリ之ヲ接線尺ト云フ。(第五十三圖參照)

(一〇〇) 水準裝置 水準裝置ハ第五十二圖(ハ)ニシテ氣泡管(一一)(參照)ヲ挿置セル眞鍮管二個ヲ互ニ直角ニ備ヘ、其兩端下側ニハ螺旋ヲ有シ自由ニ上下セシムルヲ得之レヲ整正螺旋ト云フ。



圖四十五第  
球窩接合第五十二圖(ニ)ハ球窩接合部ニシテ「コンパス」ヲ三脚上ニ保チ水平ニ調節スル爲メノ裝置ニシテ第五十四圖ノ如ク球軸ト球窩トヨリナリ螺旋(ホ)ヲ以テ緊迫ス其他鎖數示指器、三脚、下錘、等ニツキテハ説明ヲ省ク。

### 第三節 器械ノ檢查及整正法

(一〇二) 水準器 水準器ノ水平面ト羅盤ノ面トハ器械ノ支軸ニ直角ナルヲ要ス、之ヲ檢スルニハ先ヅ器械ヲ三脚ノ上ニ乗セ、水準器ガ水平ヲ示ス(氣泡ガ真中ニ來ル)様ニ球軸(ホ)ヲ動カシテ之ヲ固定シ、次ニ緊迫螺旋ヲ弛メテ羅盤ヲ百八十度丈ケ軸ノ周圍ニ廻シ、氣泡ガ猶中央ニアレバ可ナルモ、若シ水準器ノ氣泡ガ中央ニアラザレバ其ノ狂ヒノ半分ハ水準器ノ一端ニアル整正螺旋ヲ以テ正シ殘リノ半分ハ球軸ヲ動カシテ改正シ、更ニ百八十度丈廻轉シテ氣泡ガ管ノ中央ニ在ルマデ數回之ヲ繰返シテ整正ス、斯クシテ後更ニ他ノ泡管ニツキテ此ノ位置ニテ氣泡ヲ中

央ニ正シ、更ニ百八十度丈ケ盤ヲ廻轉シテ前ノ整正ヲ行フベシ。斯ノ如ク互ニ全ク反對ナル狀態ニテ相互ノ關係ヲ比較整正スル法ヲ名ヅケテ反轉法ト云フ。

(一〇三) 磁針 「第一」磁針ノ兩端ハ同一水平面ニアルヲ要ス、先ヅ器械ヲ水平ニ据エ兩針端ガ分度面ニ同ジ様ナ高サニアルヤ否ヤヲ檢スベシ、若シ同高ナラザレバ針ノ南側(南半球ナレバ北側)ニ卷付ケタル眞鍮線ヲ動カシテ平ニ直スベシ。

「第二」磁針ノ南北兩端ノ示度ハ同一ナルヲ要ス、圓盤ヲ何レニ廻轉スルトモ其ノ南北ノ示度ガ常ニ同一ナレバ可ナルモ然ラザルトキハ之ガ原因ハ三アリテ、(一)分度盤ノ度盛ノ不齊、(二)磁針支軸ノ中心ノ偏リ、(三)磁針ノ曲リ是ナリ、但シ現今ノ分度盤ハ目盛精巧ナル故其ノ不齊ハ殆ド認メラズ多クハ他ノ二ツニ原因ス、若シ器械ヲ廻轉シテ針ノ兩端ニ於ケル示度ノ差常ニ同一ナラバ支軸ハ分度盤ノ中心ニ在レドモ磁針ガ彎曲セルヲ證ス、此ノ場合ニハ磁針ノ北極ヲ正シクニ合セ其ノ南極ガニ在ル様ニ磁針ノ撓ミヲ直スベシ、若シ器械ノ廻轉ニ際シ磁針ノ南北兩端ノ指度所ニヨリ變差アル時ハ磁針ハ眞直ナル場合モアリ、又彎曲セル場合モアリト雖磁針ノ支軸ガ分度圓ノ中心ヲ外レ居ル事ハ明カニテ、此ヲ直スニハ器械ヲ徐々ニ廻轉シツ、兩極示度ノ差最モ大ナル位置ヲ見出シ其時ノ磁針ト直角ノ方向ニ心軸ヲ移ス、但シ其ノ移動ノ量ハ丁度示度ノ差ノ二分ノ一丈トス、後更ニ前記ノ場合ヲ參酌シテ數回繰返シ整正ノ目的ヲ達スルモノナリ。

(一〇四) 照準裝置 「第一」視面即チ前後視鏡ノ見通シ面ハ羅盤ノ面ニ垂直ナルヲ要ス、之ヲ檢スルニハ器械ヲ水平ニ据付ケ長キ糸ヲ有スル「下ゲ振」ヲ高所ヨリ吊シ此ノ線ニ照準シテ視孔ト視隙(又ハ細毛)トガ「下ゲ振」ノ糸ト一致スレバ正シキモ然ラザレバ視鏡ノ取り着ケ螺旋ニテ改正スルカ鏡ニテ視鏡ノ底部ヲ削リテ整正スベシ。

「第二」前視鏡ト後視鏡ノ視視線ハ分度盤ノ零點(即南北線)ト一致セザルベカラズ、之ヲ檢スルニハ兩視鏡ノ中央ニ

細キ糸ヲ垂直ニ張り(細毛ノ裝置シアルモノハ直ニ之ヲ利用ス)二本ノ糸ガ一致スル様ニ規ヒ同時ニ分度盤ヲ見テ此ノ糸ガ其ノ南北兩零點ヲ掩フナラバ器械ハ正シキモ否ラザル場合ハ製作者ニ就キ修正セザルベカラズ。

(一〇五) 器械ノ金質 器械ノ金質ハ全部眞鍮又ハ黃銅等ヨリナリ決シテ鐵ヲ使用スベカラズ、然ルニ合金鑄造ニ際シ鐵分混入スルコトアリ、斯ル場合ニハ磁針ニ影響シテ方位ノ誤差ヲ生ズ、此ノ金質ノ善惡ヲ檢スルニハ初メ一點ヲ規ヒテ針端ノ示度ヲ讀ミ次ニ副尺(「トランシット」(一三)ヲ参照)ヲ一定ノ角度丈動カシテ再ヒ針ノ指度ガ之ト同一角度丈移動シタルカ否カヲ見之ヲ數回行ヒ磁針ノ示度ガ常ニ動カシタル副尺ノ度ト一致セバ金質ニ不純物ナキヲ證ス、但シ此ノ檢査ノ際ハ小刀、鉗、帽縁ノ針金等凡テ鐵分ヲ有スルモノハ決シテ近ヅケザル様注意スルヲ要ス。

### 第四節 子午線

(一〇六) 眞子午線ト磁氣子午線 子午線ニハ子午線ト磁氣子午線トノ二種アリテ眞子午線トハ地軸(地球ノ南北兩極ヲ貫ク線)ヲ含ム平面ト地球表面トノ切合線ニシテ眞北線又ハ單ニ子午線ト云フ、磁氣子午線トハ磁針ノ指示スル方向ニシテ又磁北線トモ云フ。

(一〇七) 磁針ノ偏差 眞北線ト磁北線トノ夾ム水平角ヲ磁針ノ偏差又ハ偏度ト稱ス、(N)ヲ眞北線(北)(S)ヲ磁北線(南)ト云フ。



此ノ差ハ地球ガ一大磁石ニテ此ノ磁極ハ地軸ノ兩極ト一致セズシテ北磁極ハ北緯 $80^{\circ}$ 西經 $90^{\circ}$ ニ南磁極ハ南緯 $10^{\circ}$ 東經 $90^{\circ}$ ニ在ルガ爲メ生ズル差ナリ、偏差ハ又種々ノ影響ノ爲メ地球上處ニ依リ同ジカラズ又一個處ニ於テ

モ絶エズ變化シツ、アリ之ヲ偏差ノ變化ト云フ、我國ニ於テハ磁針ハ總テ西ニ偏シ一日ノ變化(日差)ハ八一九分ノ弧ヲ畫キツ、東西ニ變移シテ午前八時頃極東ニ偏シ午後一時半頃極西ニ達ス、故ニ午前十一時半頃及午後八時頃ハ其地ノ平均偏差ヲ示ス、從テ偏差ノ觀測ハ此ノ時間ニ行フ時ハ最モ正鵠ニ近キ結果ヲ得ベシ、但シ普通羅盤ヲ用フル場合ニハ之等ノ差ハ省略スルヲ常トス、其他磁針ハ月々、歲々、偏度ヲ異ニシ一年ノ變移ヲ「年差」月々ノ變化ヲ「月不等」一週間宛ノ變化ヲ「週差」ト呼ブ之等ハ日差ニ比シ更ニ少ニシテ實測ニハ全ク顧ミルニ足ラズ。

磁針ハ以上ノ外ニ更ニ不定變化ト稱シテ一定ノ法則ニ依ラズ卒然トシテ方向ニ變化ヲ來ス事アリ、之空中電氣、地方引力(一名局所引力)北光等ト伴フ事アレドモ尙ホ多ク不明ナル原因ニ依ル事少ナカラズ。

斯クノ如ク磁針ノ方向ハ絶エズ變化スル故ニ後年同一土地ヲ測量シテ結果ニ差ヲ生ズル事アリ、之等ノ錯雜ヲ避クル爲メニハ實測當時ノ年月日ヲ記入シ置ク事肝要ニシテ之ニ依ツテ當時ノ方位ヲ搜ムル事ヲ得ベシ、更ニ確實ヲ要スル場合ハ眞子午線ヨリ計算セル方位ニ依ツテ實測スルモノトス。

### 第五節 眞子午線ノ測定法

羅盤測量ニ伴フ眞北線ノ測定ハ素ヨリ略法ニ過ギズシテ精密ナル觀測ハ天文ノ其レニ待タザルベカラズト雖モ今其ノ二三ヲ上グレバ次ノ如シ。

(一〇八) 太陽ノ投影ニ依ル法 第五十六圖ニ示スガ如ク平坦ナル地上ニ一點(甲)ヲ設ケ之ヲ中心トシテ北方ニ二二三ノ同心圓弧ヲ畫キ(甲)點ニ長サ二二三間ノ眞直ナル竿ヲ立テ、本曆ニ依ツテ其ノ日ノ南中時ヲ求メ其ノ午前ト午後ニ同一時間ヲ隔テ、竿ノ日影ガ弧ト交ル點ヲ記シ、之ヲ若干回行ツテ此ノ午前ト午後ノ桿影ヲ連絡シテ出來ル



ス、斯クシテ一線ト他線ノ方位ヲ知ル時ハ其ノ間ノ角度ヲモ定ムルコトヲ得、又測點間ノ直線距離ハ前ニ鏈鎖測量法ニ述ベタル方法ニヨリ定メラル家屋、道路、其他地上ニ在ル諸點ノ位置ハ必要ニ應ジ皆枝距法ニ依リテ測定ス、而シテ偏差ヲ知リ居レバ各線ノ方位ハ眞北ヨリノ角度トナスヲ得ベク然ラザルトキハ磁北ニ據ル。

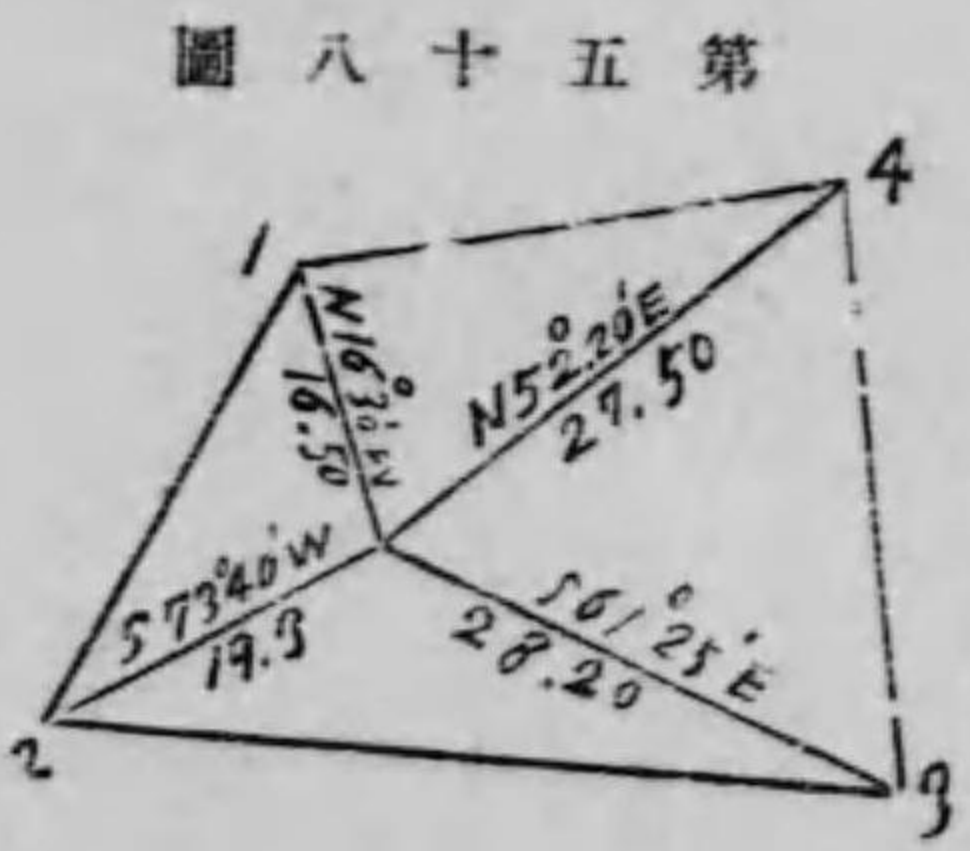
(一一一) 方位ノ表示法 ハN(北)、S(南)、E(東)、W(西)、ノ四文字ニ依リ四ツノ象限ニ分チN或ハSナル文字ヲ基トシテN...E N...W S...E S...Wヲ以テ各象限ヲ表シ磁針ノ北端ガ指ス度盛ヲ其ノ象限ニ應ジテ此ノ間ニ記入シ方位ヲ表示ス例ヘバ N50°E N120°W S10°E S70°Wト云フガ如シ。

實測ノ方法ハ次ノ三トナス。

一、射出法(平板測量ノ射出法ト同一)

二、進測法(同上進測法)

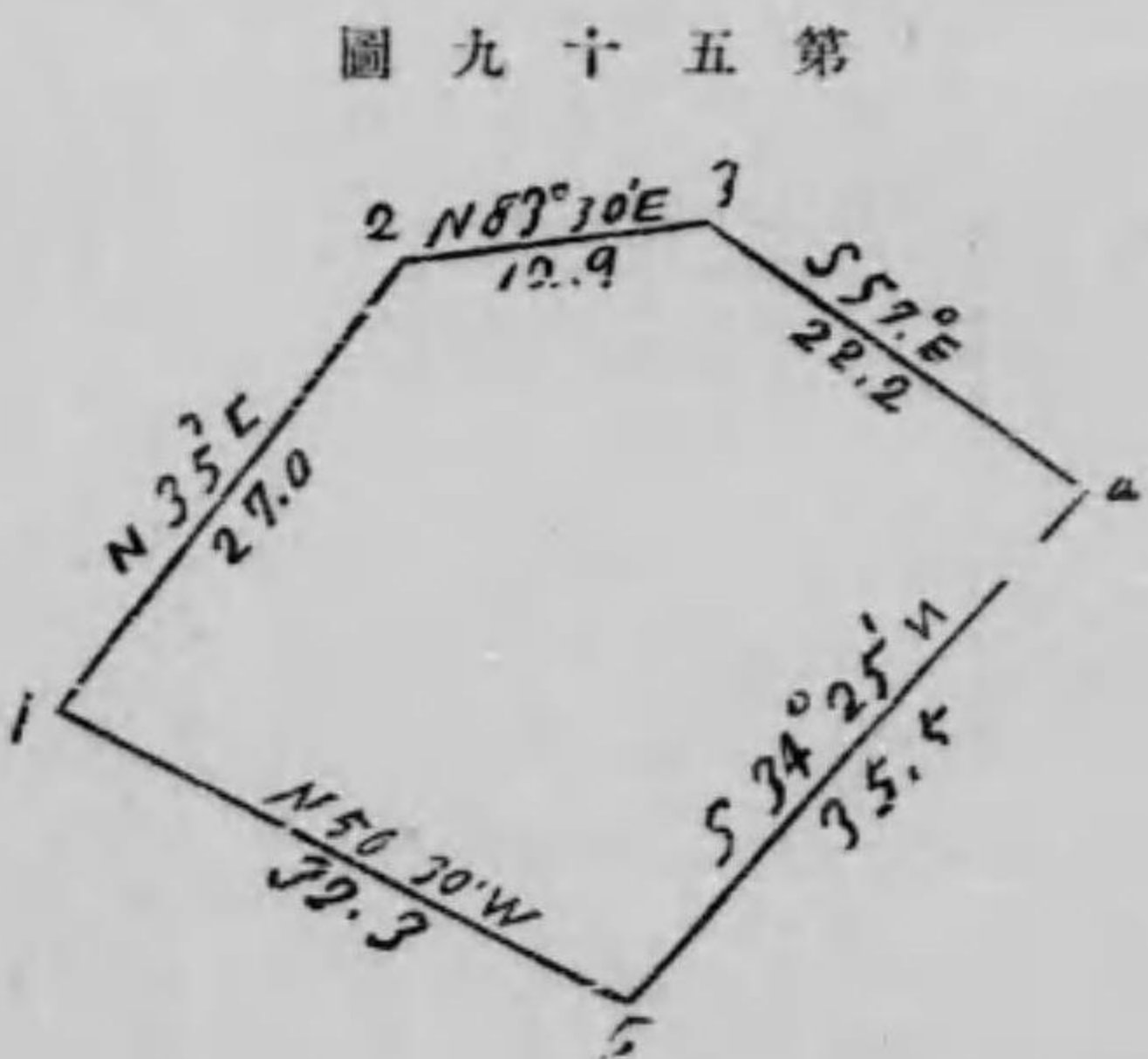
三、交會法(同上前方交會法ニ相當ス)



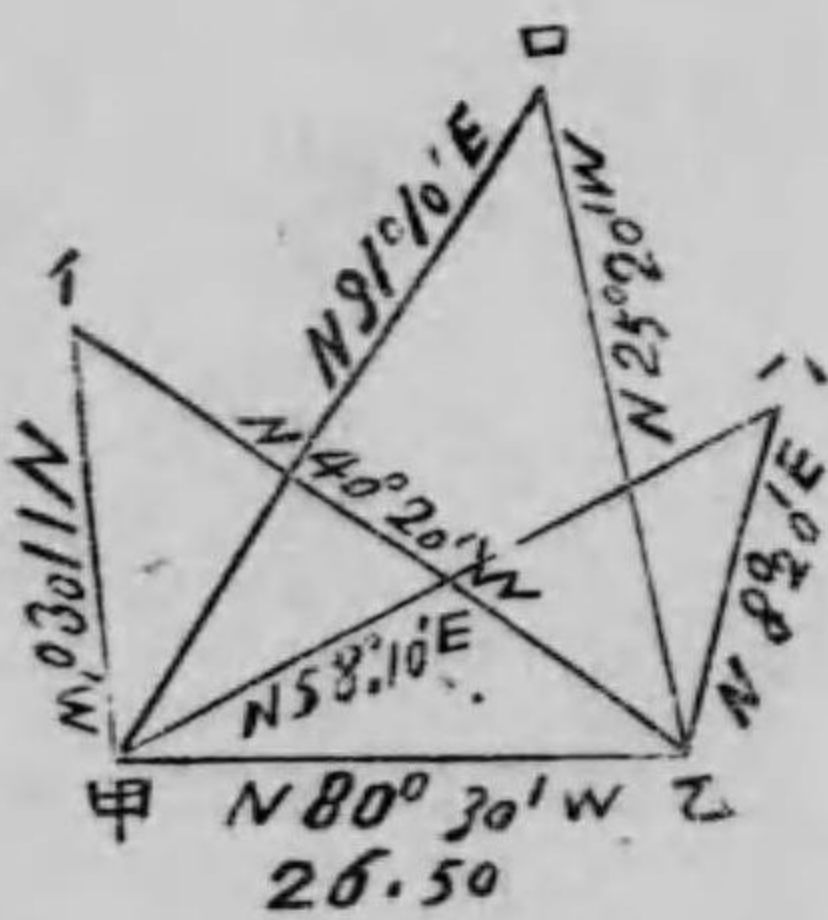
圖八十五第

(一一二) 射出法 此ノ方法ハ平板測量法ノ射出法ト同様ニ目的地ノ内外何レヲ問ハズ適宜ノ點ニ器械ヲ据付ケ錘球ヲ吊シテ其眞下ニ設テ打チ羅盤ノ中心ヲ地上ニ表シ、各境界點ニ測桿ヲ立テ、後視鏡ヨリ前視鏡ノ視隙ヲ通ジテ各點ヲ順次ニ視ヒ、各線ノ方位ト距離トヲ測ル、此ノ方法ハ羅盤測量中最モ簡易ニシテ各境界點ノ見通シト距離ノ實測トニ障礙ナキ時ハ器械ノ位置ヲ換ヘズシテ多クノ點ヲ測リ得ル便アレドモ實測ニ誤謬アリタル場合ニ之ヲ發見スル事不可能ナル缺點アリ。

(一一三) 進測法 羅盤測量中最モ普通ナル且ツ精密ナル方法ニシテ、目的地ノ面積廣大ナルカ、又ハ地内ニ建物其他ノ障礙物アリテ射出法等ニ依ルコト能ハザル場



圖九十五第



圖十六第

合ニ、其ノ周圍ヲ廻リ又ハ必要ニ應ジテ内外何レヲ問ハズ順次器械ヲ移轉シテ作業スル方法ニシテ今第五十九圖ノ如キ五邊形ノ地面ニテ(1)點ヨリ作業ヲ始ムルトセバ、先ヅ(1)ニ羅盤ヲ据エ(5)點ノ方位ヲ測リ器械ヲ廻轉シテ(2)點ヲ視ヒ其ノ方位ト距離トヲ測リ、次ニ(2)點ニ羅盤ヲ移シテ(3)ヨリ(1)點ヘノ方位ノ見返シヲ測リテ後(2)ヨリ(3)點ヘノ方位ト距離トヲ測リ、次デ器械ヲ(4)ノ點ニ移ス斯クシテ方位丈ハ一々見返シヲナシテ順次ニ測量ヲ進ム。

故ニ方位ノ誤讀ハ直ニ發見セラルベク、又地方引力ノ爲メ見返シガ一致セザル時ハ適當ノ方位ヲ以テ方位ニ改正ヲ行フヲ得ベク從ツテ正確ナル結果ヲ得ルモノナリ、而シテ(1)ヨリ(2)ヲ測リタル方位ヲ前視ト云ヒ(2)ヨリ(1)ヲ測リタル方位ヲ見返シ又ハ後視ト云フ、前視ト後視トハ其ノ符號ハ互ニ相反シ前視ニ「前」ナレバ後視ハ「後」トナルモ其ノ角度ハ全ク相等シカルベキモノナリ例ヘバ前視 N40°20'W ナレバ後視ハ S40°20'E ナルガ如シ。

(一一四) 交會法 羅盤測量ニ於ケル交會法ハ平板測量ノ前方交會法ト全ク同一ニシテ基線トシテ其ノ兩端ヨリ目的ノ各點ニ到ル方位ノミヲ測リテ測量ヲ完成スル方法ナリ。(第六十圖及ビ平板測量法第三十三圖參照)

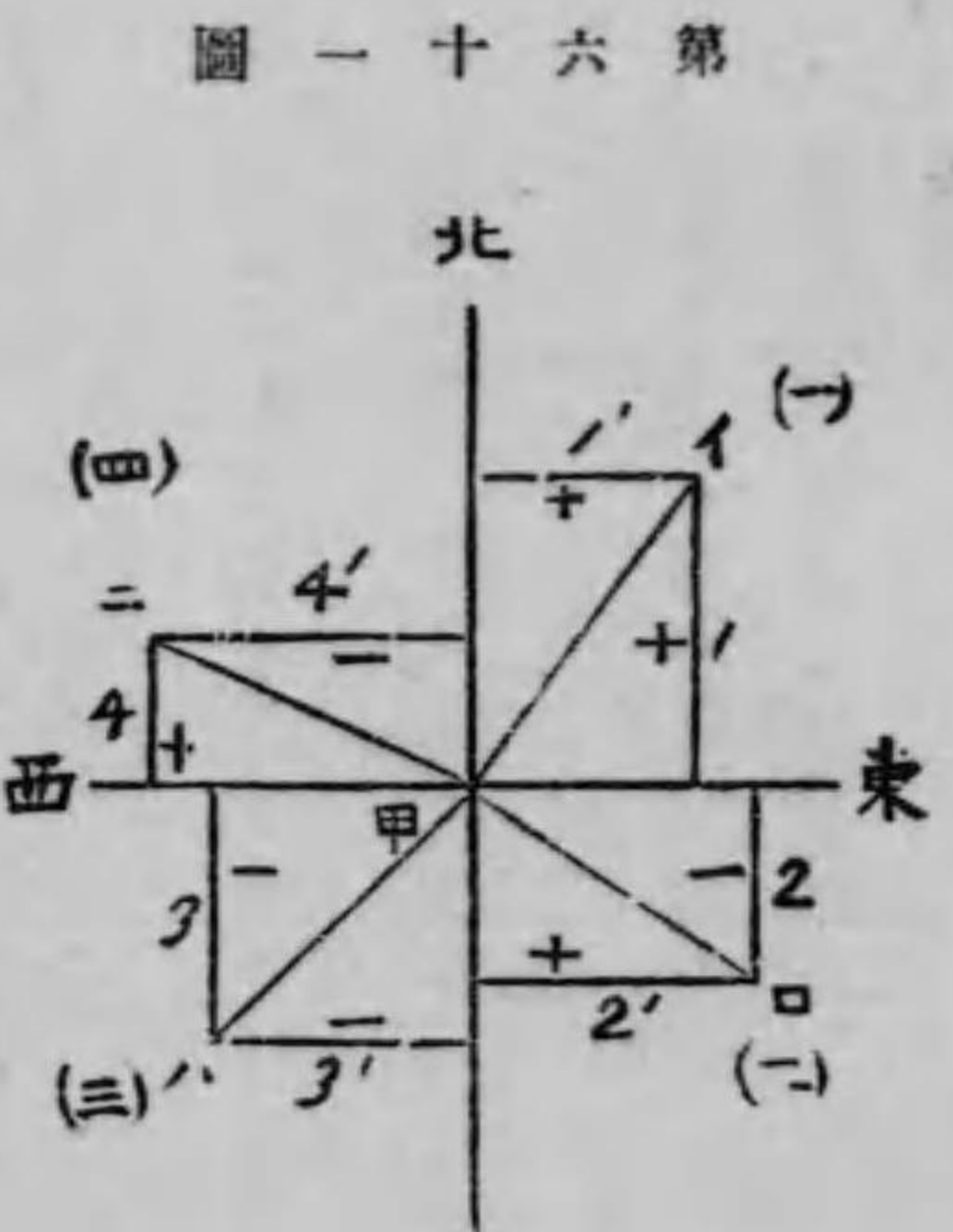
### 第七節 野帳記載法

(一一五) 記帳法ハ鏈鎖測量ト同ジク、簡單ニ見取圖ニ依リ各線ノ方位ト長サトヲ添記スル法アリ、又縦欄式ニ依リ測點、方位角(前視、後視)距離ノ外ニ内業(製圖、面積計算等)ニ必要ナル諸欄ヲ設ケタルモノニ記入スル方法トアリ、後法ハ區域廣ク測量複雑ナル場合ニ適ス、例ヘバ第五十八圖第五十九圖第六十圖等ハ見取圖式ニシテ左表ハ第五十九圖ノ如キ測量ヲ縦欄式ニヨリ野業ノ分文記入シタルモノナリ。

| 測點 | 方位角      |          | 距離   | 三角函數 |    | 緯距 |    | 經距 |    | 差引合計 |
|----|----------|----------|------|------|----|----|----|----|----|------|
|    | 前視       | 後視       |      | 餘弦   | 正弦 | 十N | 一S | 一E | 一W |      |
| 1  | N35°0'E  | S56°30'E | 27.0 |      |    |    |    |    |    |      |
| 2  | N83°30'E | S35°0'W  | 12.9 |      |    |    |    |    |    |      |
| 3  | S57°0'E  | S83°30'W | 22.2 |      |    |    |    |    |    |      |
| 4  | S34°25'W | N57°0'W  | 35.5 |      |    |    |    |    |    |      |
| 5  | N56°30'W | N34°25'E | 32.3 |      |    |    |    |    |    |      |

何々羅盤測量簿 年月日實測者氏名

### 第八節 緯距及經距



圖一十六第

間ヲ第三象限、北西間ヲ第四象限トシテ其ノ方位ノ屬スル象限ニヨリテ符號ヲ異ニスル事次表ノ如シ。

| 線    | 方位角ノ間      | 象限 | 緯距 | 經距  |
|------|------------|----|----|-----|
| 「甲イ」 | 第一象限 (北東間) |    | +  | (N) |
| 「甲ロ」 | 第二象限 (南東間) |    | -  | (S) |
| 「甲ハ」 | 第三象限 (南西間) |    | -  | (S) |
| 「甲ニ」 | 第四象限 (北西間) |    | +  | (N) |

(一一六) 經距、緯距 一測線ノ一端ヨリ他端ヲ通過スル東西線

ニ到ル垂直距離ヲ緯距ト云ヒ南北線ニ到ル垂直距離ヲ經距ト名ツク、例ヘバ第六十一圖ニ於テ「甲イ」線ノ緯距ハ「1」ニシテ經距ハ「1'」、 「甲ハ」線ノ緯距ハ「3」ニシテ經距ハ「3」ナルガ如シ、而シテ緯距ハ東西線ヲ基礎トシテ之ヨリ北ニアレバ正號(+)ヲ付シ南ニアレバ負號(-)ヲ用キ、經距ハ南北線ヲ基礎トシテ之ヨリ東ニアレバ(+ )ヲ西ニアレバ(-)ヲ付ス、即チ東西線ト南北線トニヨリ四ツノ象限ニ分チ北東ノ間ヲ第一象限南東間ヲ第二象限、南西

(一一七) 經緯距ノ算出法 今第六十二圖ニ於テ「甲乙」線ノ方位角ヲ「イ甲乙」トセバ「甲イ」ハ其ノ緯距ニシテ「乙イ」ハ其ノ經距ナリ、從ツテ經緯距ヲ求ムルコト次ノ如シ。



經距即チ「乙イ」 $\times$ 「甲乙」 $\times$ (方位角ノ正弦ノ眞數)  
緯距即チ「甲イ」 $\times$ 「甲乙」 $\times$ (方位角ノ餘弦ノ眞數)  
即チ一ツノ線ノ經距ハ其ノ線ノ長サニ方位角ノ正弦ノ眞數ヲ乘ジテ得ベク、  
又緯距ハ其ノ線ノ長サニ方位角ノ餘弦ノ眞數ヲ乘シテ得ラル。

(一一八) 子午線距及倍子午線距 一點ノ子午線距離トハ其ノ點ヨリアル子午線(南北線)ヘノ垂直距離ヲ云ヒ、一線ノ子午線距離トハ其ノ直線



ノ中央點ノ子午線距離ヲ云フ、又一線ノ倍子午線距離(即チ子午線距離ノ二倍)ハ其ノ兩端ノ子午線距離ノ和ニ等シ、例ヘバ第六十三圖ニ於テ「甲乙」線ノ「NS」子午線ニ對スル子午線距離ハ「ハニ」ニシ

テ倍子午線距離トハ「(ニト)×2」又ハ「(甲イ)+(乙ロ)」ナリ。

經距、緯距ノ主ナル用途ハ次ノ如シ。

- 一、實測ノ精粗検査、及脱漏補足、
- 二、製圖、
- 三、面積計算、

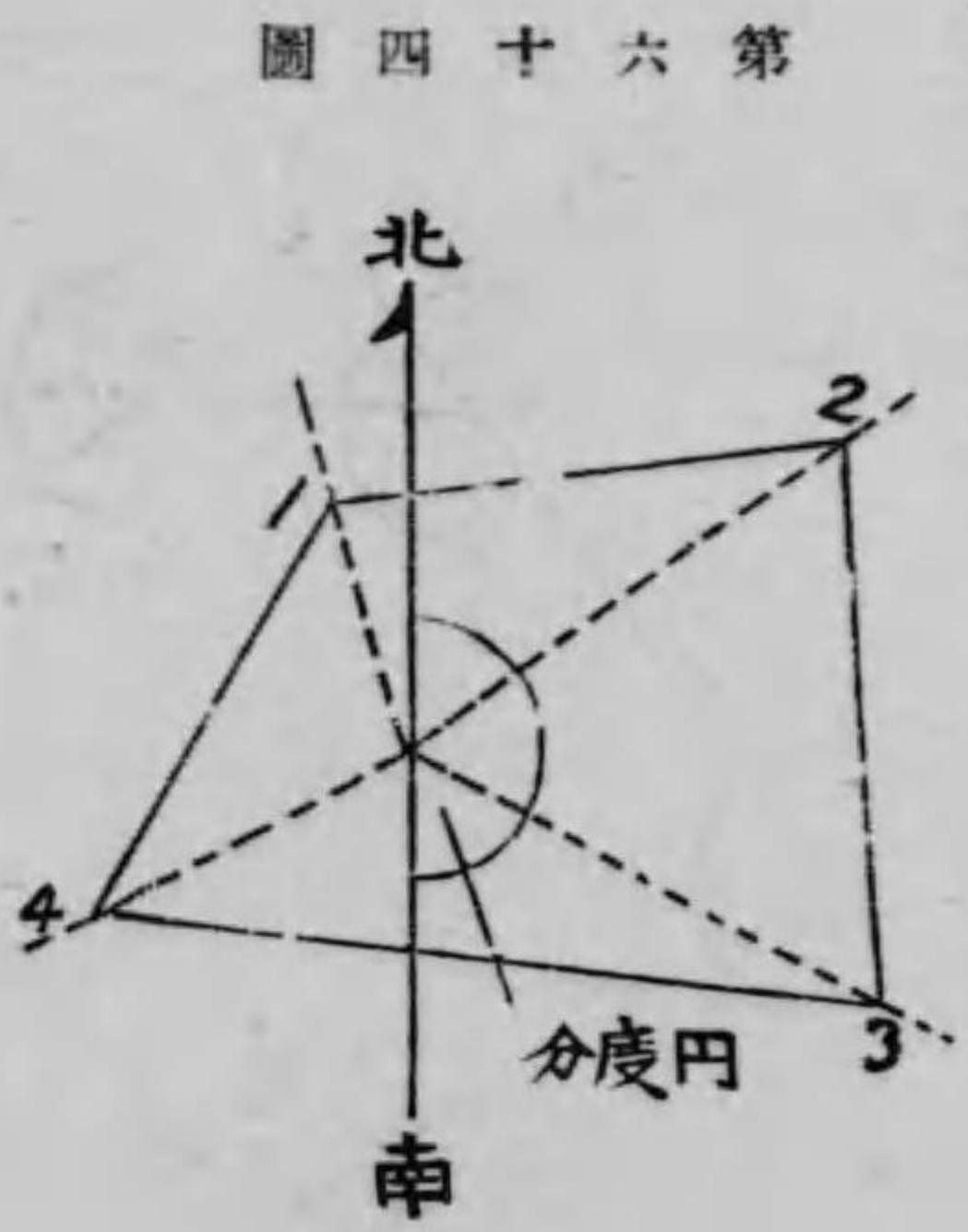
(一一九) 經距緯距ニ依ツテ實測ノ精粗検査 數線ヲ以テ閉合スル土地ヲ一周シテ出發點ニ復歸シタル實測ニ於テ

ハ經緯距ノ合計ハ共ニ差引零ナルベキ筈ナリ、故ニ若シ此等ノ差引合計ガ零トナラザル場合ハ實測ニ誤謬ノアリシヲ證スルモノナリ、例ヘバ(一一五)ニ於ケル表ノ緯距ニ於テ「N」ト「S」ト等シク經距ニ於テ「E」ト「W」ト等シケレバ此ノ測量ハ正シ。

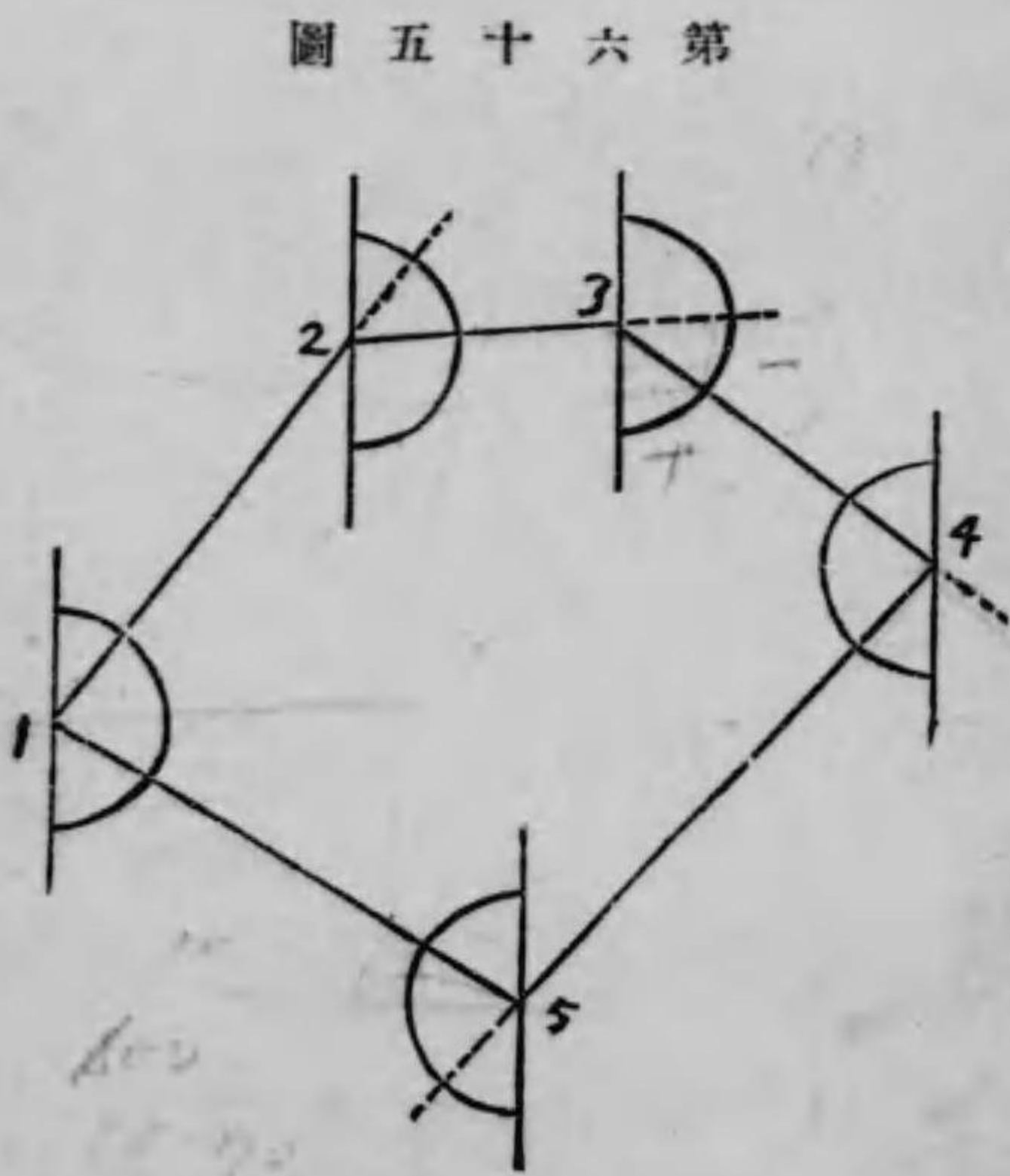
### 第九節 製圖

羅盤測量ニヨル製圖ハ分度器ヲ使用スル法ト經緯距ニ依ル方法トアリ。

(一二〇) 射出法ノ場合(一一二)参照) 製圖紙ノ上ニ縦ニ一直線ヲ作り之ヲ南北線トナシ其中間ニ一ツノ原點ヲ設ケ之レニ分度器ノ中心ヲ重ネ分度器ノ零ト一八〇度トノ線ヲ南北線ト一致セシメ、原點ヨリ各點ニ至ル方位ニ相當スル角度ヲ南北線ヨリ適宜ニ測リテ原點ヨリノ方向線ヲ畫キ、其ノ線上ニ原點ヨリ夫々縮尺セル距離ヲ探リテ其ノ各點ヲ順次連絡セバ可ナリ。







圖五十六第

ノ長サニ相當スル縮尺ヲ測リ(乙)點ヲ定メ(甲)(乙)二點ヨリ各點ヘノ方向線ヲ作りテ其ノ線上ニ(甲)點ヨリ基線依ツテ(甲)點ヨリ其線ノ方向ヲ表シ其線上ニ(甲)點ヨリ基線依ツテ(甲)點ヨリ各點ヘノ方向線ヲ作りテ其ノ交點ヲ夫々結合シテ平板測量ニ於ケル交會法ト同様ニ製圖スルヲ得ベシ。

(一三三) 此ノ方法ハ迅速且ツ精確ニシテ最モ便ナリ、今第五十九圖ノ如キ測量ニ於テ先ヅ經緯距算出法(一一七)ニヨリテ、各點ノ餘弦、正弦ヲ求メ之ト距離トニヨリ各點ノ經距、緯距ヲ計算スベシ、(測量簿ノ七、八、九、一〇行目)、次ニ測點ノ一ツヲ製圖ノ基點トシ此ノ點ニ對スル各點ノ關係上ノ經緯距ヲ計算ス之ヲ合經緯距ト云フ。(同十一、十二行目)

(一一一) 進測法ノ場合(一一三)參照) 製圖紙上ニ一點ヲ設ケ之ヲ(1)點トシ之ヲ通シテ南北線ヲ作り、此ノ點ト線トニヨリ前述ノ如ク分度器ヲ以テ(2)點ヘノ方位角ヲ定メテ方向線ヲ作り、其ノ線上ニ(1)ノ點ヨリ縮尺ノ距離ヲ測リテ之ヲ(2)點トス、(2)ニ於テハ此ノ點ヲ過リテ(1)ノ點ノ南北線ニ平行ナル線ヲ作り(1)ニ於ケルト同様ニシテ(3)ノ點ヲ作ル順次如斯シテ全部ノ製圖ヲ了ルモノトス。

(一二二) 交會法ノ場合(一一四)參照) 製圖紙上ニ一點ヲ設ケ之ヲ(甲)點トシ(甲)點ヲ通シテ南北線ヲ作り、分度器ニ依ツテ(甲)點ヨリ其線ノ方向ヲ表シ其線上ニ(甲)點ヨリ基線

何々地羅盤測量簿

| 測點 | 方位角      |          | 距離   | 餘弦數   | 正弦數   | 緯距     |        | 經距     |        | 合計緯距 | 合計經距 |
|----|----------|----------|------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|------|------|
|    | 前        | 後        |      |       |       | +      | -      | E      | W      |      |      |
| 1  | N35°0'E  | S56°5'E  | 27.0 | 8.192 | 5.738 | 22.1   |        | 15.5   |        | 00.0 | 00.0 |
| 2  | N88°30'E | S35°0'W  | 12.9 | 1.32  | 9.936 | 1.5    |        | 12.8   |        | 22.1 | 15.5 |
| 3  | S57°0'E  | S83°30'W | 22.2 | 5.446 | 8.387 |        | 12.1   | 18.6   |        | 23.6 | 28.3 |
| 4  | S34°25'W | N57°0'W  | 35.5 | 8.241 | 5.664 |        | 29.3   |        | 20.0   | 11.5 | 46.9 |
| 5  | N53°30'W | N34°30'E | 32.3 | 5.519 | 8.339 | 17.8   |        |        | 26.9   | 17.8 | 26.9 |
| 計  |          |          |      |       |       | + 41.4 | - 41.4 | + 46.9 | - 46.9 |      |      |

例ヘバ第五十九圖ノ如キ測量ニ於テ(1)點ヲ基點トシテ製圖ヲ初ムルトセバ此ノ點ノ經緯距ハ零ナリ之ヨリ次ノ各點ノ合經緯距ハ順次其ノ前點ノ經緯距ノ代數的和ナリ即チ

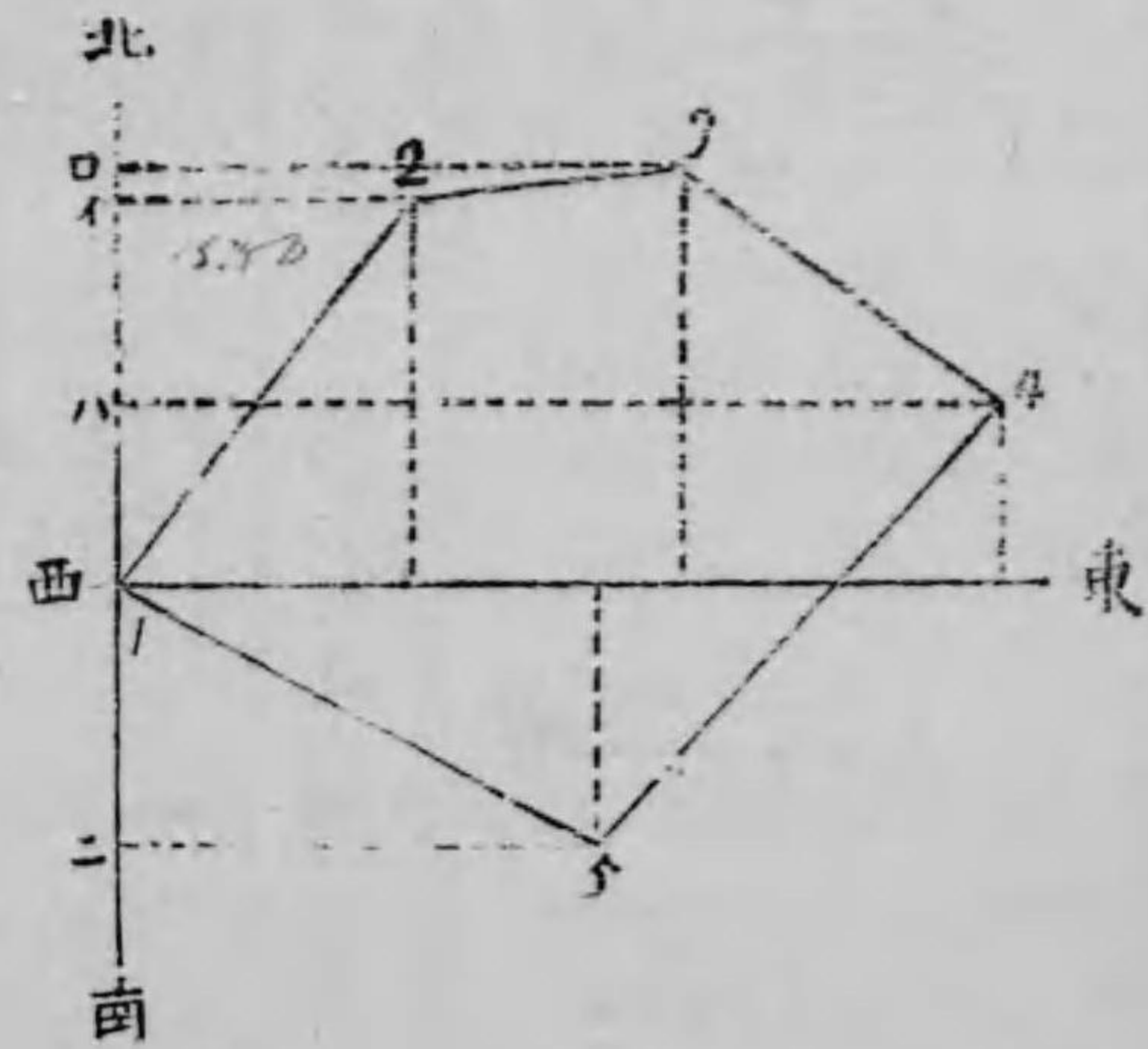
| 點   | 合             | 緯      | 距 |
|-----|---------------|--------|---|
| (1) | 0.00          |        |   |
| (2) | 0. + 22.1 =   | 22.1   |   |
| (3) | 22.1 + 1.5 =  | 23.6   |   |
| (4) | 23.6 - 12.1 = | 11.5   |   |
| (5) | 11.5 - 21.9 = | - 17.8 |   |

| 點   | 合             | 經    | 距 |
|-----|---------------|------|---|
| (1) | 0.00          |      |   |
| (2) | 0. + 15.5 =   | 15.5 |   |
| (3) | 15.5 + 12.8 = | 28.3 |   |
| (4) | 28.3 + 18.6 = | 46.9 |   |
| (5) | 46.9 - 20.0 = | 26.9 |   |

此ノ計算ヲ了レバ先ヅ第六十六圖ノ如ク圖紙上ノ直角ニ交ル十字線ヲ畫キ、縦ヲ南北線、横ヲ東西線ト定メ、其ノ

圖六十六第



交點ヲ基點(1)トナシ(2)ノ合緯距ハ(+)ナル故北へ二三  
間一分ヲ縮尺シタルモノヲ取リ(4)トナシ此ノ點ヨリ東へ  
垂線ヲ作り其線上ニ(2)點ノ合緯距一五間五分ノ縮尺ヲ取  
レバ此ノ點ハ圖面上ノ(2)點ナリ、(3)ノ點モ同様ニ(1)  
點ヨリ南北線上ニ其ノ合緯距ニ相當スル縮尺ヲハカリ(ロ)  
トナシ其ノ點ヨリ東ニ垂線ヲ作りテ此ノ上ニ合緯距ノ相當  
縮尺ヲ計リテ求メラル、漸次斯クノ如クニシテ各點ノ位置  
ヲ定ムベシ、但シ合緯距ニ於テ(一)ナル時ハ基線ヨリ南ニ  
又合緯距ガ(一)ナラバ西へ取ルベキモノトス斯クシテ各點  
ヲ順次ニ結合セバ實測圖トナルベシ。

第十節 面積算出法

(一七四) 羅盤測量ニ依ル平面積算出法ハ(四八)ノ如ク圖面ニツキ三斜法ヲ行ツテ算出スル事ヲ得ベク又經緯距ニ  
ヨリテモ算出スルヲ得ベシ、經緯距ニヨリ平面積ヲ求メンニハ先ヅ各線ノ倍子午線距ヲ算出セザルベカラズ倍子午  
線距ハ(一一八)ニ説明セルガ連續セル測線ノ場合ニハ其線ニ先ダツ線ノ倍子午線距及經距ト測線自身ノ經距ヲ加へ

タルモノニ等シ即チ第五十九圖ノ  
如ク測量シタル場合ニハ第一線ノ  
倍子午線距ハ即チ其經距ナリ第二  
線以下ハ表ノ如シ。

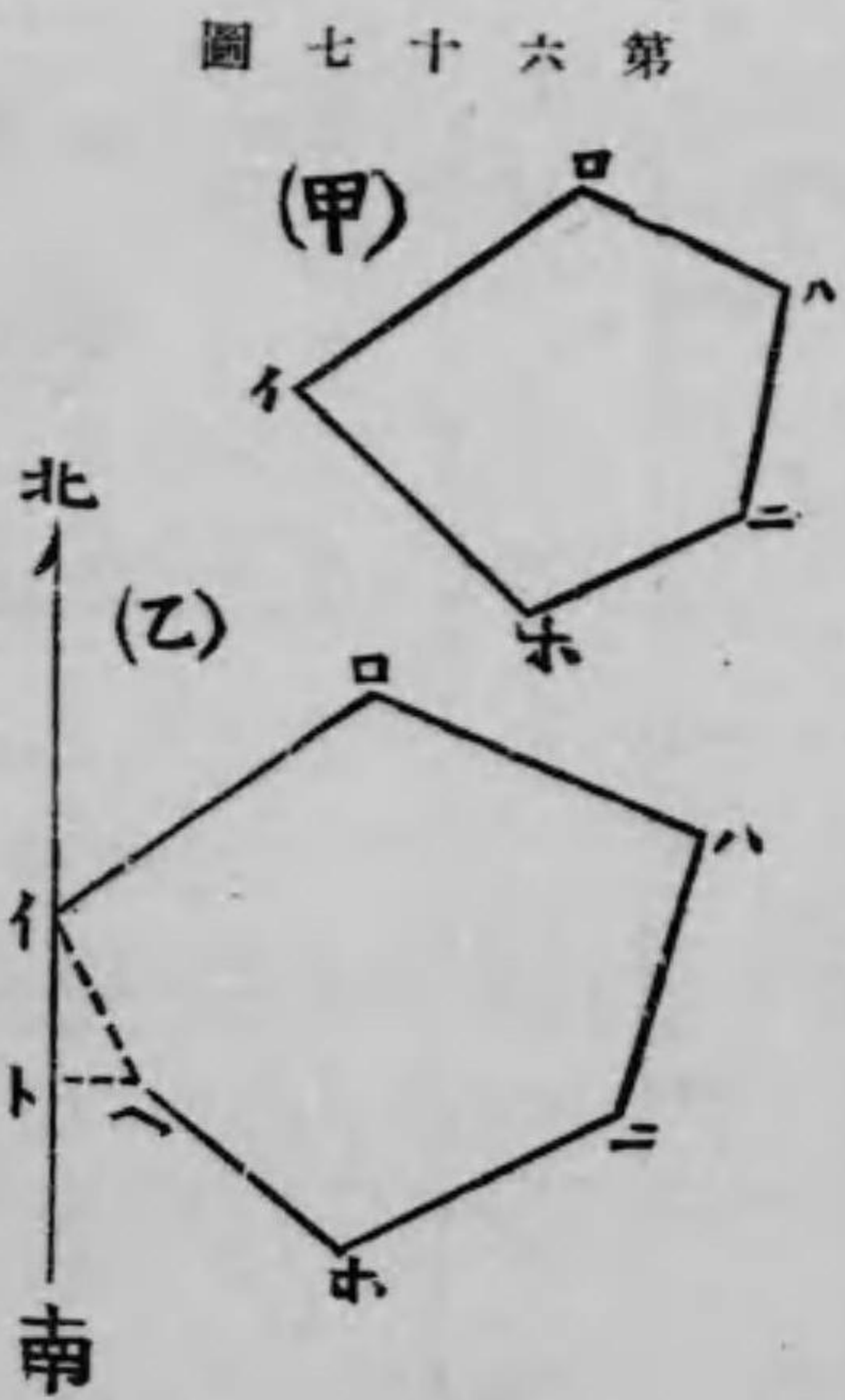
|     |         |           |
|-----|---------|-----------|
| 第一線 | + 15.50 | 第一線ノ倍子午線距 |
| 第二線 | + 15.50 | 第一線ノ經距    |
|     | + 12.80 | 自線ノ經距     |
|     | + 43.80 | 第二線ノ倍子午線距 |
| 第三線 | + 43.80 | 第二線ノ倍子午線距 |
|     | + 12.80 | 第二線ノ經距    |
|     | + 18.40 | 自線ノ經距     |
|     | + 75.20 | 第三線ノ倍子午線距 |
| 第四線 | + 75.20 | 第三線ノ倍子午線距 |
|     | + 18.60 | 第三線ノ經距    |
|     | - 20.00 | 自線ノ經距     |
|     | - 73.80 | 第四線ノ倍子午線距 |
| 第五線 | - 73.80 | 第四線ノ倍子午線距 |
|     | - 20.00 | 第四線ノ經距    |
|     | - 29.90 | 自線ノ經距     |
|     | - 26.90 | 第五線ノ倍子午線距 |

| 測點  | 緯距     | 經距     | 倍子午線距 | ±倍面積     |
|-----|--------|--------|-------|----------|
| 1-2 | + 22.1 | + 15.5 | 15.5  | + 34255  |
| 2-3 | + 1.5  | + 12.8 | 43.8  | + 6570   |
| 3-4 | - 12.1 | + 18.6 | 75.2  | - 90992  |
| 4-5 | - 29.3 | - 20.0 | 73.8  | - 216234 |
| 5-1 | + 17.8 | - 26.9 | 26.9  | + 47882  |
|     |        |        | ±合計   | + 83707  |
|     |        |        | -合計   | - 307223 |
|     |        |        |       | 2 218519 |
|     |        |        | 求ムル面積 | 1092,595 |

斯クシテ求メタル倍子午線距ニ各線ノ緯距ヲ代數的ニ  
乗ジタルモノヲ倍面積トシテ之ヲ代數的ニ加ヘ合セテ  
二分セバ經緯距ニ依ル面積計算表ニ示セル如ク一〇九  
二、五九五ガ求ムル面積ナリ、此ノ場合原點ノ取り方  
ニヨリ面積ガ負號ヲ有スル事アレドモ負號ハ此ノ場合  
考ヘニ入レズトモ可ナリ。

### 第十一節 羅盤測量ノ誤差及精度

(一一五) 閉差及閉比 (イロハニホ)ノ如キ土地ヲ測量シタル場合ニ野業及計算等ニ誤リアル時ハ製圖ニ際シ最後ニ(イ)點ニ於テ閉合セズ乙圖ノ如ク「イロハニホ」等ノ形ヲナシ喰違ヲ生ズル事鏈鎖測量ニ於ケルト同ジ、此ノ場合(イ)點ヲ過ギル南北線ヲ畫キ(ハ)點ヨリ之ニ垂線「ヘト」ヲ作ルニ「イハ」ノ長サヲ閉差(又ハ閉塞差)ト云ヒ「イア」即チ「イト」ト「ヘト」トノ比ヲ閉比ト稱ス。



閉比ハ測量ノ精度ヲ表ハスモノニシテ閉比ノ少キ程精密ナリ、閉比ガ  $\frac{1}{500}$  以内ナラバ其ノ精度ハ普通ニシテ更ニ精密ヲ望ム測量ナラバ  $\frac{1}{1000}$  以上ニ出デザラシム閉塞差ノ配分法ハ鏈差測量法ノ場合ト同様ナリ。

〔四三〕参照

(一二六) 羅盤測量ノ精限 羅盤測量ニ於ケル誤差ハ局所引力、器械ノ誤差、觀測ノ誤差、記帳ノ錯誤等ヨリ來ルモ普通羅盤ヲ用フレバ方位角略ボ14度マデ讀ムコト容易ニシテ更ニ熟練スレバ五分マデ目分量ニテ讀マル此ノ場合方向ノ誤差ハ10分ヲ超ユルコトナカルベシ殊ニ副尺羅盤ナラバ30秒マデ推讀シ得ルニヨリ一分内外ヲ誤差ノ精限トス。

## 第六章 轉鏡儀測量法及經緯儀測量法

### 第一節 經緯儀測量(セオドライト測量) 轉鏡儀測量(トランシット測量)

(一二七) 此等ノ測量術ニ用フル器械ハ一言ニ云ヘバ「コンパス」ノ照準裝置ノ代リニ望遠鏡ヲ裝置セルモノニシテ望遠鏡ガ橫軸ノ周圍ニ悉ク廻轉シ得ルモノヲ轉鏡儀(トランシット)ト稱シ、一部ノ外廻轉シ得ザルモノヲ經緯儀(セオドライト)ト呼ブ、兩者トモ方位角、廻旋角、及傾斜角ヲ測ルヲ目的トシテ其ノ測量方法モ殆ト同一ナレ共「トランシット」ノ方便益多シ、而シテ「コンパス」測量ニ比シ廻旋角ヲ測リ、遠距離ヲ測定シ、更ニ傾斜角、其他ノ諸點ニ大ナル「精確サ」ヲ有スル點ニ於テ遙ニ優レリ。

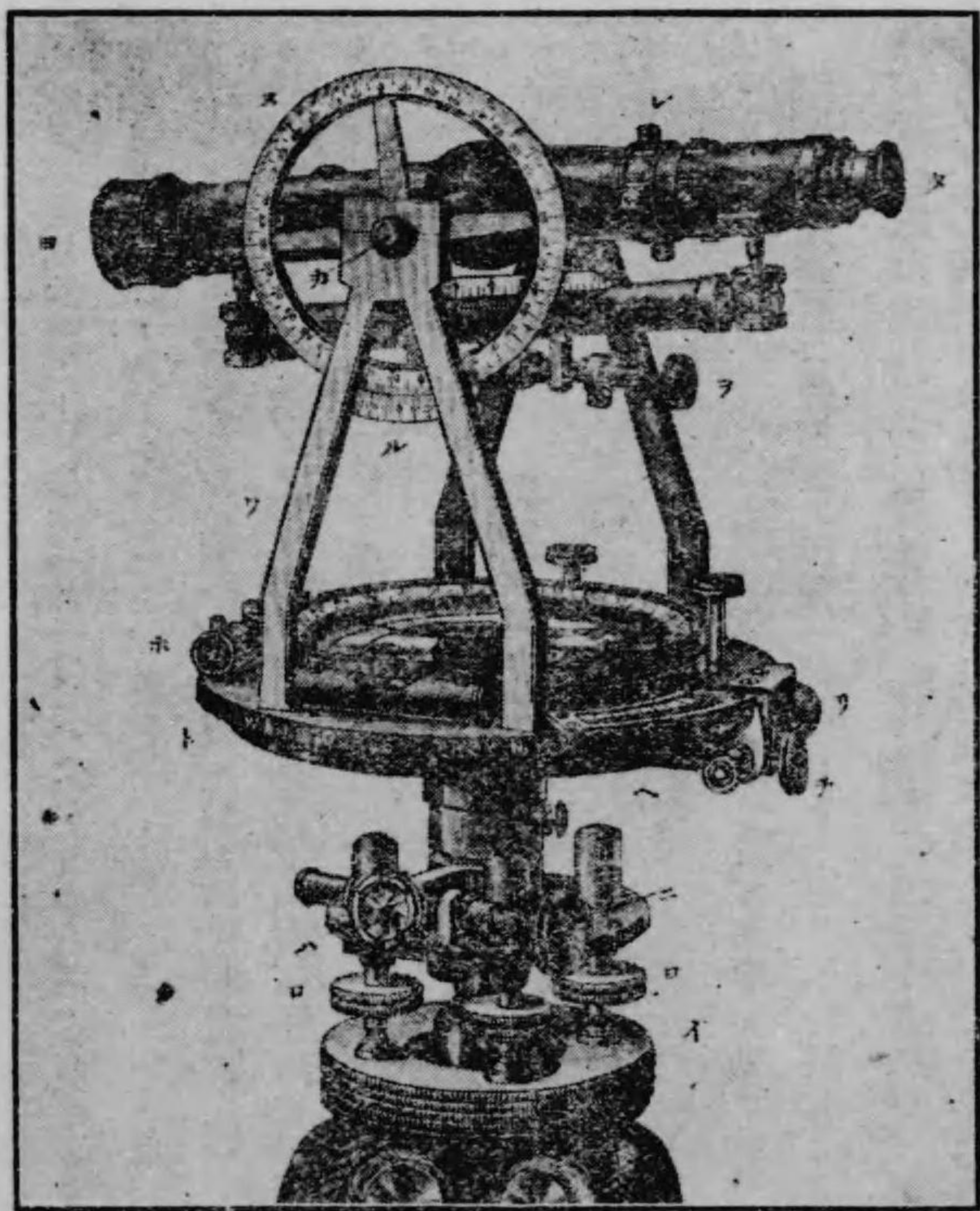
### 第二節 器械ノ説明及使用方法

#### 器械ノ説明

第六十八圖ハ測量用轉鏡儀(トランシット)ニシテ今左ニ其ノ主ナル點ヲ説明セン。

(一二八) 望遠鏡 鐘鏹又ハ黃銅製ノ鏡管ニ對物「レンズ」(ヨ)ト對眼「レンズ」(タ)トヲ裝置ス、對眼「レンズ」ハ普通二種ノ別アリテ一ツハラムステン實映對眼「レンズ」ニシテ像ハ倒ニ映ズ、他ハ立映對眼「レンズ」ニシテ像ハ正立スレドモ前者ニ比シ鏡管長ク光モ弱シ、前者ハ歐洲製ノ「トランシット」ニ多ク後者ハ米國製ノモノニ多シ。

圖八十六第



- イ、移心裝置
- ロ、水準螺旋
- ハ、器軸緊迫螺旋
- ニ、下緊微動螺旋
- ホ、氣泡管
- ヘ、水平分度圓ノ一部及ビ副尺
- ト、上盤
- チ、上盤緊迫螺旋
- リ、上盤微動螺旋
- ×、垂直分度圓
- ル、同副尺
- ナ、轉鏡微動螺旋
- ソ、支脚
- カ、望遠鏡ノ橫軸
- コ、對物レンズ
- タ、對眼レンズ
- レ、十字線保持螺旋

(一二九) 十字線 對眼鏡ノ少シク前方ニテ望遠鏡ノ像ヲ結ブ所ニ蜘蛛ノ絲或ハ白金線ヲ交叉シタル圓環ヲ裝置シ  
 水平垂直ヲ定メ測線ノ方向ヲ決定スル用ニ供ス此ノ交叉線ヲ十字線ト云フ、此ノ圓環ハ上下左右ニ四個ノ螺旋(レ)  
 ニテ鏡管ニ保持セラレ之ニヨリ圓環ヲ隨ラシテ十字線ノ中心ニアル様視準線ヲ整正ス。  
 羅針儀、及羅針分度圓ニ就テハ「コンパス」ノ場合ト同一ナルヲ以テ説明ヲ省ク。

(一三〇) 分度圓 第六十八圖(ヘ)ハ水平分度圓ノ一部分ト副尺トヲ示セルモノニシテ分度圓ハ全圓ヲ三百六十度  
 迄分刻セルガ普通ニシテ方位角ニ關セズ廻旋角ヲ測ルモノナリ。

同圖ノ(ヌ)ハ垂直分度圓(轉鏡分度圓)ニシテ全圓ナルアリ或ハ四分ノ一圓ナルアリ、前者ハ〇度ヨリ三百六十度ニ  
 至リ、後者ハ九十度ニ終ル兩者トモ望遠鏡ガ水平ナル時ハ副尺(ル)ノ零ト正シク一致スルモノナリ。

(一三一) 副尺(遊標) 第六十八圖(ヘ)及(ル)ハ副尺ニシテ佛國ノ數學者ヴルネーア氏ノ發明ニ係リ原尺ノ分數部  
 ヲ精讀スルニ甚ダ必要ナル者ナリ、副尺ニハ順讀副尺ト逆讀副尺トアレドモ今順讀ノモノ  
 ニ就テ説明スルニ第六十九圖ハ原尺ノ目盛九ヲ副尺ノ十二分刻シタルモノニシテ其ノ最小  
 分刻ハ原尺ノ十分ノ九ニシテ原尺ノ度盛ヨリ十分ノ一宛短ク副尺ノ二分刻ハ十分ノ二トナ  
 リ、三分刻ハ十分ノ三トナル、故ニ副尺ヲ讀ムニハ先ヅ其ノ零ガ原尺ノ何レノ目盛ノ間ニ  
 在ルカヲ定メ、次ニ原尺ノ分度ノ進ム方向ニ於テ副尺ノ目盛ト原尺ノ目盛トガ重ル所ヲ求  
 ムル時ハ副尺ノ數ハ原尺ノ一分度以下ノ端數ヲ示ス、即チ第六十九圖ハ副尺ノ零ハ原尺ノ  
 二十二ト二十三トノ間ニアリ故ニ原尺ニテ二十二マデハ讀ミタルモ以下ノ少數ハ副尺ニテ  
 讀マザルベカラズ前記ノ方法ニ依ルモ副尺ノ三ト原尺ノ二五ト一致セル故副尺ニテ三ヲ二  
 二、三ヲ以テ此ノ場合ノ副尺ヲ示スモノトス、「トランシット」ニハ普通最少一分乃至二十  
 秒マデ讀ミ得ル副尺ヲ付シアリ。

使用法

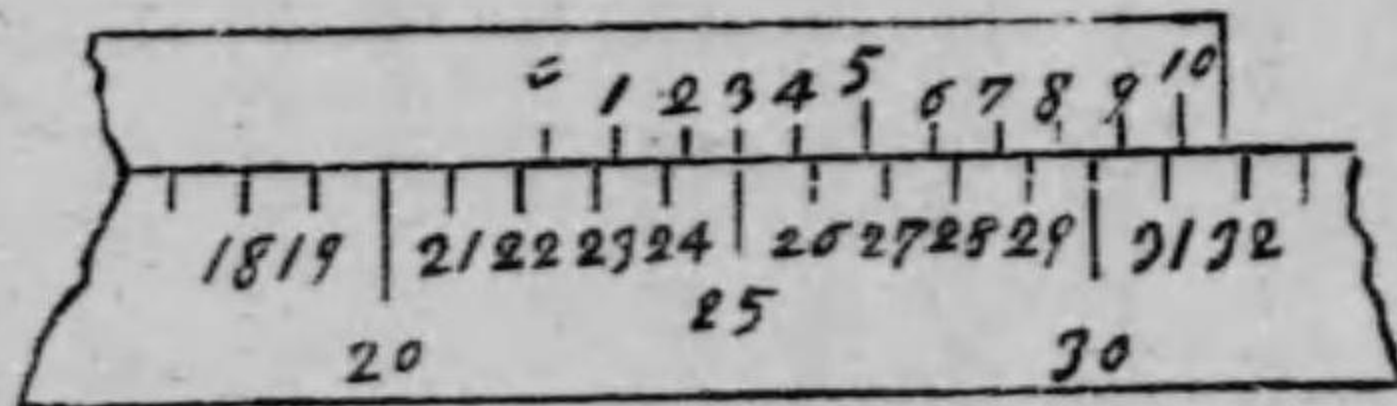
「トランシット」ノ使用ハ次ノ三ツノ場合ナリ。

一、水平角ノ測定、

土地測量法

第六章 轉鏡儀測量法及經緯儀測量法

圖九十六第



二、傾斜角ノ測定、  
三、直線ノ決定及延長、

今之等ノ場合ニ於ケル器械ノ使用方法ヲ略説セン。

(一三三) 器械ノ据付 先ヅ三脚ヲ堅ク地上ニ据エテ「下ゲ振」ノ尖端ヲ正シク測點ノ上ニ來ラシム此ノ場合「下ゲ振」ノ位置ヲ僅ニ動かスニハ移心裝置(第六十八圖(イ)ノ部)上ニテ器械ヲ随ラスヲ使トス。

盤ノ水準ヲ正スニハ一對ノ水準螺旋(ロ)ヲ兩手ニテ動かシ氣泡(ホ)ヲ中央ニ來ラシムカクシテ他ノ一對ヲモ同様ニシテ正ス(以上ノ凡テヲ了ル事ヲ器械ヲ据付ケルト云フ)

(一三三) 水平角ノ測法 器械ヲ据付ケタル點(甲)ニテ他ノ二ツノ點(乙)(丙)ヲ夾ム水平角ヲ求ムルニハ先ヅ「甲乙」ノ方向ヲ零度ト合ハス、即チ水平分度圓(ヘ)ノ零度ト副尺(ヘ)ノ零トヲ重ネテ上盤(ト)ニアル上盤緊迫螺旋(チ)(以後略シテ上緊ト云フ)ヲ緊メ其ノ微動螺旋(切螺旋)(リ)ヲ以テ精密ニ零ト零トヲ一致セシムベシ、次ニ上緊ハ其ノマ、トシテ下方ニアル器械緊迫螺旋(以後略シテ下緊ト云フ)(ハ)ヲ弛メテ(乙)點ヲ視ヒ之ヲ緊メ下緊微動螺旋(ニ)ニ依リテ正シク(乙)點ヲ十字線ノ中心ニ合致セシム(之ヲ視準スルト云フ)之ニテ「甲乙」線ハ全ク器械ノ零度ト一致セリ。

此所ニ於テ「甲丙」ノ角度ヲ測ラントスルニハ上緊ヲ弛メテ器械ヲ水平ニ廻シ(以後之ヲ廻旋スト云フ)視準線ヲ(丙)點ニ向ケテ上緊ヲ緊メ後上緊微動螺旋ニ依リテ精確ニ(丙)點ヲ視準ス。

斯クシテ副尺ノ示度ヲ讀ミテ「丙甲乙」ノ角度トナス。

(一三四) 傾斜角(仰角並ニ俯角)ノ測定 望遠鏡ガ支脚(ワ)ノ上ニ水平ナル時ニハ垂直分度圓(ヌ)ノ零ト其ノ副尺(ル)ノ零トハ一致スル者ナル故ニ器械ヲ据付タル點ヨリ他ノ測點上ノ測桿ニ器械ト同高ノ點ヲ視ヒ微動螺旋(オ)ヲ用キテ正シク視準スレバ其時ノ副尺ノ示度ハ即チ此ノ二點間ノ傾角ナリ。

(一三五) 直線ノ決定及延長 (甲)點ト(乙)點ノナス直線ヲ(乙)點ノ方ニ延長セントセバ、(乙)點ニ器械ヲ据エ(甲)點ヲ視準シテ後望遠鏡ヲ橫軸(カ)ノ上ニ廻轉シテ(斯クスル事ヲ轉鏡スル又ハトランシツト)スルト云フ) (甲)點ト反對ノ方向ニテ其ノ視準線中ニ(丙)點ヲ取レバ之ニテ「甲乙」線ハ(丙)點マデ正シク延長セラレタルナリ。

第三節 器械ノ検査ト整正

(一三六) 水準器、磁針 等ニツキテハ「コンパス」ノ場合ト同一ナリ、視差、望遠鏡ヲ窺キタル時ニ少シク眼ノ位置ヲ動かス事ニ依リ物體ト十字線トガ交々明瞭ヲ缺ク事アリ、之レ十字線ガ「レンズ」ノ焦點ニアラザル爲メナリ之ヲ視差ト云フ、之ヲ直スニハ望遠鏡ヲ天空ニ向ケテ十字線ヲ明カニ見得ル様ニ對眼「レンズ」ヲ出入セシメ次ニ物體ヲ見テ對物「レンズ」ヲ出入セシメテ焦點ヲ合ハスベシ。

(一三七) 十字線 十字線ノ堅線カ傾キ居ルヤ否ヤ之ヲ檢スルニハ前方ニ一點ヲ定メ之ニ堅線ノ最下部ヲ合セ之ヲ見ツ、望遠鏡ヲ上下スルニ此ノ點ガ堅線ノ外ニ出ル時ハ線ガ傾キ居ル故之ヲ直スベシ、又堅線ハ直立シ居ルモ其ノ位置ガ鏡ノ中央ニアラズシテ視準線ガ一方ニ偏シ居ル事アリ之ヲ檢スルニハ廣ク平坦ナル地ニ「トランシツト」ヲ据エ二〇〇一三〇尺ノ前方ニ一點ヲ取ル、次ニ望遠鏡ヲ轉鏡シテ前ト反對ノ方向ニ殆ト同一距離ニ第二點ヲ取ルベシ、次ニ器械ヲ水平ニ約一八〇度廻旋シ再ビ第一ノ點ニ合セ更ニ轉鏡シテ第二ノ點ニ合フヤ否ヤヲ見ルベシ、若シ合ハザル時ハ之ヲ第三ノ點トシ第二第三點ノ間ノ四分ノ一ダケ第三ノ點ヨリ第二ノ點ヘ十字線ヲ動カシテ整正ス。



ス) 水平ニ廻旋シテ(ハ)點ヲ見ル(然ル時ハ「ロハ」ガ 乙)トナス角トナル)次ニ器械ヲ其マ、ニシテ(ハ)點ニ移シ前ト同様ニススクノ如クシテ漸次進行スル方法ナリ。

### 第五節 記帳及製圖

(一四二) 記帳及製圖 「トランシット」測量ノ野帳ノ記載方法ハ羅盤測量ニ於ケル場合ト殆ド同様ニシテ(一三九)角度法及(一四一)經緯測量ノ下ニ示セル圖ハ見取圖式ニ依リタルモノニシテ第七十圖ノ縱欄式ノ記帳方法ハ左ノ如シ前ノ圖ト對照セバ自カラ會得セラルベシ。

| 測點 | 方位       | 角       | 距離   | 備 | 要 |
|----|----------|---------|------|---|---|
| イ  | N18°25'W |         | 14.2 |   |   |
| ロ  | S75°40'W | 85°55'  | 11.8 |   |   |
| ハ  | S78°4'E  | 144°20' | 25.5 |   |   |
| ニ  | N32°35'E | 78°45'  | 21.9 |   |   |

製圖方法モ羅盤測量ノ場合ト同ジク分度器ヲ用フル法ト子午線ヲ定メ之ヨリ各點ノ緯距、經距ヲ算出シテ之ニ依リ製圖スル法トアリ。〔羅盤測量(一四〇)及(一四三)參照〕

### 第六節 「トランシット」測量ノ誤差及精度

(一四三) 誤差ノ起原 誤差ノ生ズル主ナル原因ハ(一)中心ノ誤差、器械据付ケニ際シ其ノ中心ガ正シク測點ノ上ニ來ラザル時、又ハ見返ノ不正等ヨリ生ズルモノ、(二)視準ノ誤差、被測點ニ立テタル測桿ノ立テ方又ハ其ノ位置ノ不正或ハ十字線ニテ測桿ヲ正シク二等分セザル等ヨリ生ズルモノ、(三)整正ノ誤差中心ノ偏リ、支軸ノ高サ、十字線ノ整正等ノ不完全ニ起因スルモノ、(四)取扱及誤讀、誤記等ヨリ來ル誤リ等アル故實測者ハ常ニ之等凡テニ對シ周到ナル注意ヲ要ス。

(一四四) 測量ノ精度 測角ノ精限ハ天候、器械ノ種類、其他種々ナル影響多キ爲メ未ダ一般ニ適用スベキモノナシト雖二十秒マデ讀ミ得ル轉鏡儀ヲ用キテ五〇〇〇尺ノ距離ニ於テ測桿ノ太サ丈ノ誤差ナカラシメン事ハ容易ナラズト云フ。

## 第七章 「スタヂア」測量法

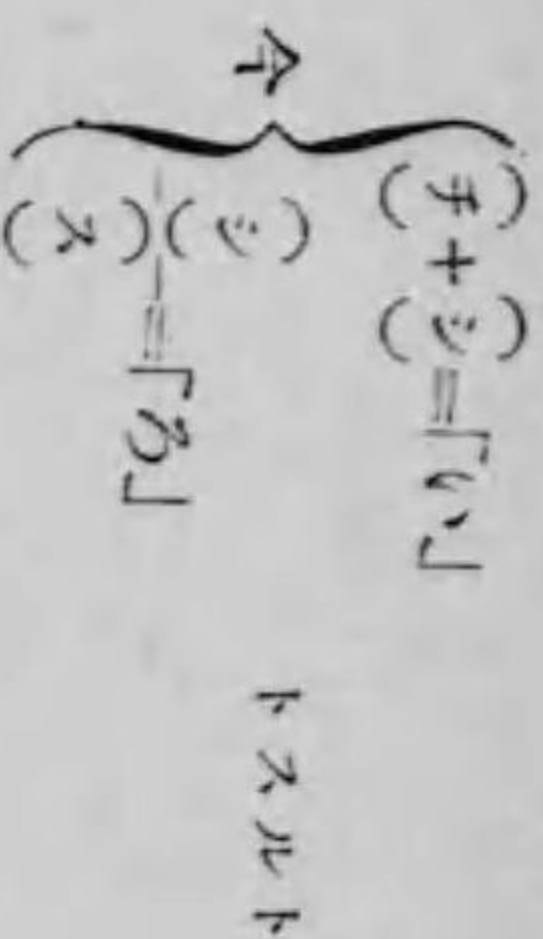
### 第一節 「スタヂア」測量法

(一四五) 諸點ノ位置ノ測定、及面積ノ測量、等ノ方法ニ就テハ前數章ニ亘リテ説述セルガ何レモ測鎖卷尺等ニテ距離ヲ實測セザルベカラザル等ノ不便多ク、地面ノ凸凹、山川溪谷ノ状態、等ヲ一目ノ下ニ瞭然タラシムル地形測量ヲ行ハントスルニハ未ダ飽キ足ラザルノ點多シ。

之等ノ諸點ヲ満足セシメテ殆ド遺憾ナカラシムルモノハ即チ現今最新式ト稱セラル、「スタヂア」測量法トス、此ノ







此ノ「い」及「ろ」ヲ器械ノ恒数ト云フ。

(一四七) 器械恒数ノ測定法 實際ノ場合(子)及(シ)ハ器械ニツキタル定数ナルヲ以テ直接ニ其ノ値ヲ測ルコトヲ得。

- (一) 機械ノ中央ヨリ對物「レンズ」ニ至ル迄ノ長サヲ測レバ之即チ(子)ノ値ナリ。
- (二) 遠キ物體(月或ハ星ヲ見ルガ正式ナレトモ一〇〇尺)ニ向テ十字線ヲ合セ十字線面ヨリ對物鏡迄ノ長サヲ測レバ之(シ)即焦點距離ナリ。

斯クシテ求メタル(子)ト(シ)ヲ加フレバ恒数「い」ヲ得、恒数(い)ハ通常焦點距離(シ)ノ一倍半ナリ而シテ普通ノ「スタヂア」ニテハ「スタヂア」線ノ間隔ハ焦點距離ノ  $\frac{1}{100}$  ニ作リアリテ恒数「ろ」ト云フ整数ニナリ居ル故ニ(ハ)ナル讀ミヲ一〇〇倍シテ之ニ(一)(二)ニヨリ求メタル數  $\frac{(x+y)}{x}$  ヲ加フレバ測量セル距離トナル、若シ(ハ)ナル割合即チ恒数「ろ」ガ不明ノ器械ナラバ前ノ(一)(二)ニヨリ求メタル  $\frac{(x+y)}{x}$  ナル長サ丈ヲ機械ヲ

据エタル點ヨリ測リ之ヲ地上ニ記シ其ノ點ヨリ適當ノ距離ヲ測リテ一基線ヲ定メ其ノ終點ニ兩尺ヲ立テ、「スタヂア」線ニヨリ夾マレタル長サヲ讀ムベシ、然ル時ハ器械ヲ据エタル點ト兩尺トノ間ノ距離ヨリ(子)ト(シ)ヲ引キタルモノヲ以テ(ハ)ト(シ)トノ積ヲ除セバ「スタヂア」線ノ間隔(ス)ヲ求メラル。

$$x = \frac{(x+y) \cdot (シ)}{(子)}$$

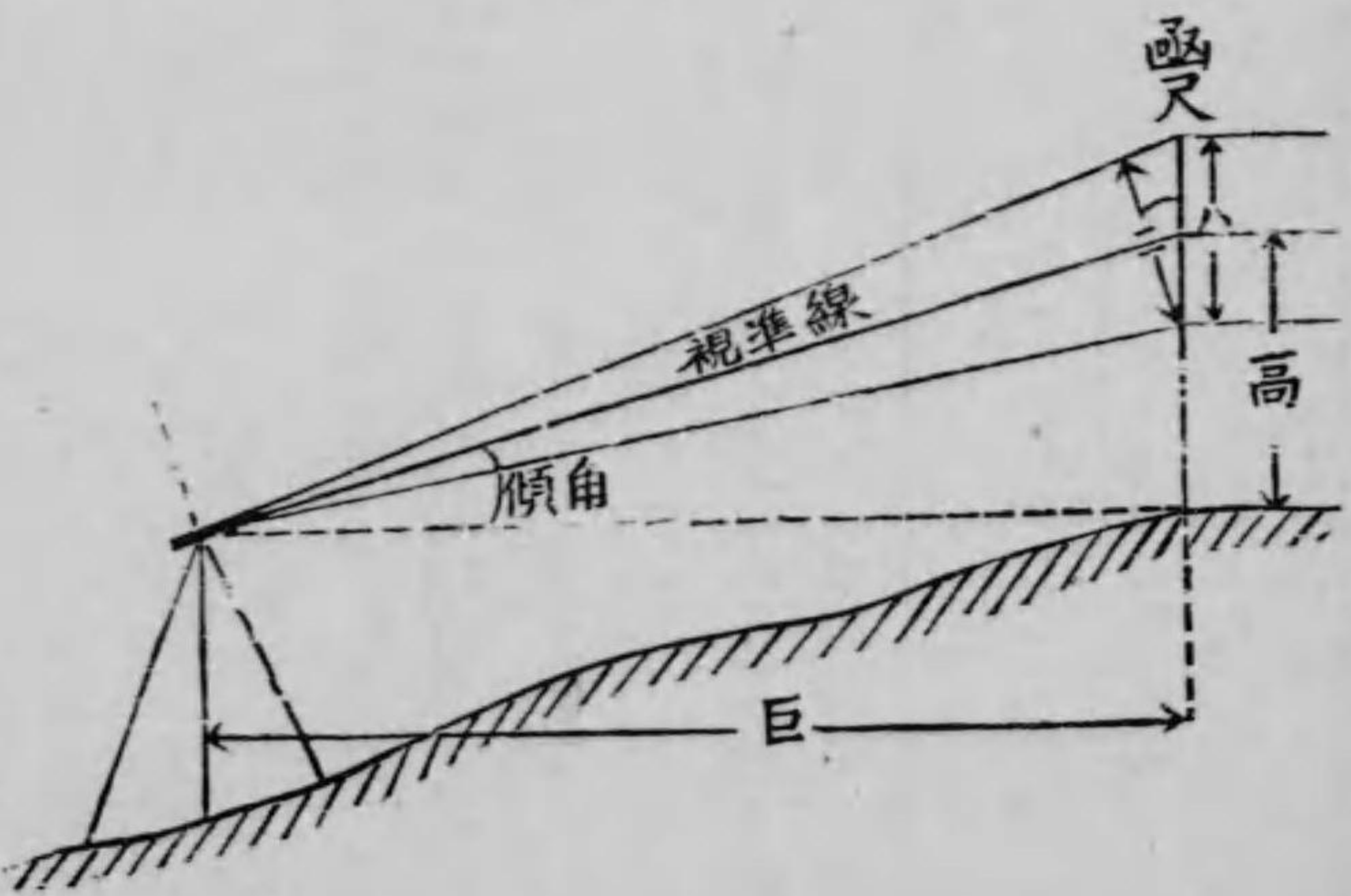
從ツテ此ノ(ス)ヲ以テ焦點距離(シ)ヲ割レバ其ノ器械ノ恒数「ろ」ヲ知ルヲ得ベシ、但シ前述ノ如ク  $\frac{(x+y)}{x} \parallel \frac{100}{ナル}$  器械ハ最モ便利ナル故「スタヂア」線ノ装置可動ナルモノハ其ノ線ノ間隔ヲ焦點距離ノ  $\frac{1}{100}$  ニ直シ置クガヨシ。

(一四八) 視準線ノ傾斜セル時距離及高サヲ見出ス法 前節ニハ視準線ノ水平ナル時ニ距離ヲ算出スル法ヲ述ベタルガ視準線ノ傾斜セル場合ニ第七十四圖ノ如ク兩尺ヲ直立セシムレバ其ノ讀ミ(ハ)ハ視準線ニ垂直ナル讀ミ(ニ)ト差アルモノナリ。

今一〇〇呎ノ距離ヲ測リタル時兩尺ノ傾度ト視準線ノ傾度トニ依ル誤差ヲ示セバ左表ノ如シ(ヨルダン)氏ニ據ル) 照尺ノ傾ケルトキ距離ニ及ス誤差

| 線傾度   | 照尺傾度  | 0° | 5°  | 10° | 20° | 30° | 45° |
|-------|-------|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1:100 | 0°34' | 0  | 0.1 | 0.2 | 0.4 | 0.5 | 1.0 |
| 1:50  | 1°9'  | 0  | 0.2 | 0.4 | 0.7 | 1.2 | 2.0 |
| 1:25  | 2°18' | 0  | 3.0 | 0.7 | 1.5 | 2.3 | 4.0 |

圖 四 十 七 第



斯クノ如ク傾斜地ノ測定ニ於テ(一四六)ニ述ベタル計算法ヲ用フレバ誤差ヲ生ズル故之ニハ特別ノ算式ヲ用キザルベカラズ、右ノ圖ノ如ク「スタヂア」ノ讀ミト傾角ヲ知レバ其ノ角ノ正弦ト餘弦トヲ用キテ距離及高サヲ算出スル式ハ次ノ如シ。「い」ろ」ハ器ノ定數ナリ前節參照)

距離計算式  $(距) = \frac{C \times (餘弦)^2 + 1 \times (餘弦)}{\sin^2 \theta}$

高サ計算式  $(高) = \frac{C \times (餘弦)}{\sin^2 \theta} + \frac{(正弦)}{2} \times \frac{C \times (正弦)}{\sin^2 \theta}$

然レドモ此ノ方法ハ極メテ手数ナル故實際ノ場合ニハ「スタヂア」表ニ依リ距離ト高サトヲ見出スモノナリ。(卷尾「スタヂア」表參照)

(一四九) 「スタヂア」表ノ使用法 卷尾ニ掲ゲタル表ハアルサ

ーウエンスロー氏ガベンシルヴニア洲地質測量ニ際シ算定セル者ニシテ「スタヂア」線距ガ焦點距離ノ百分ノ一即チ  $\frac{1}{100}$  ナ

ル器械トシテ「ろ」ヲ乗ケタル形即チ一〇〇倍シタルモノヲ載セタルモノナリ今器械ノ定數ハスデニ前項(一)(11)ニヨリ定メラレ「い」  $\frac{1}{100}$  「ろ」  $\frac{1}{1000}$  ニシテ、野業ニ於ケル兩尺ノ讀ミハ  $4.755$  傾斜角  $2.05$ 、ナル時、此ノ表ヲ用キテ距離ト高サヲ求メシニ傾斜角ノ度數及分數ノ兩欄ノ出合フ所ニテ  $70.520$ 、ニ相當スル水平距離  $96.37$ 、差高  $12.08$ 、ヲ

求メC(100)ノ列(定數)「い」トハ表ノCノ事ナル故)ニテ。ニ相當スル水平距離  $96.37$ 、高サ  $12.08$ 、ヲ求メ次式ニ依リ算出ス。

$距離 = 4.755 \times 96.37 + 0.90$

$高サ = 4.755 \times 12.08 + 0.13$

(一五〇) 兩尺ノ目盛 「スタヂア」測量ニアリテハ更ニ兩尺ヲ要ス、一般ニ望遠鏡ガ  $100$  ト云フ割合ニ作ラレタル器械、又ハ可動「スタヂア」線ヲ有シテ之ヲ適當ニ移動シ得ルモノナラバ普通ノ水準用兩尺(一六六)參照)ヲ用キ得レド然ラズシテ不動「スタヂア」線ナル時ハ器械ニ好都合ナル様目盛スルヲ便トス。

之ヲナサンニハ大氣ノ動搖ナキ靜穩ナル日、平坦ナル土地ニ器械ヲ据エテ、其ノ中心ヨリ「い」即チ  $\frac{1}{100}$  丈ケ隔リタル點ヨリ鋼製卷尺ノ如キ標準尺ヲ以テ基線(二百尺)ヲ測リ、此所ニ白地ノ兩尺ヲ立テ之ニ觀測者ノ指圖ニ從ツテ二本ノ「スタヂア」線ト一致スル二點ヲ記ス、此ノ二點間ノ長サ即チ夾距ヲ基本トシテ十進法ニ目盛セバ又「スタヂア」表ヲ適用シ得ベシ。

### 第三節 器械ノ検査整正並ニ使用法

(一五一) 器械ノ使用法 器械ノ据付ケ、地平角傾斜角ノ測定、直線ノ決定並ニ延長、等器械ノ使用法ニ就テハ「トランシット」ニ於ケルト同様ナルヲ以テ省ク(一三三)一(一三五)參照)

(一五二) 器械ノ検査及整正 器械ノ検査及整正ニ就テハ「トランシット」ニ要スル諸件ハ又凡テ之ニ必要ニシテ其他ハ「スタヂア」線及兩尺ノ検査ナルガ(一四七)(一五〇)ヲ熟讀セバ自カラ適用シ得ラルベキニヨリ此處ニ之ヲ略ス。

### 第四節 「スタヂア」測量ノ實測方法

(一五二) 野業 「スタヂア」測量ノ實測方法ハ「トランシット」ノ角度法、象限法、經緯測法、ハ勿論「コンパス」ニ於ケル諸法ニ至ルマデ前記ノ何レヲモ適用シ得ルモノナルガ、今「スタヂア」測量ニ依ル地形測量ニ際シ最モ確實ナル進測法ニ就テ述ベシ、先ヅ適當ノ一點ヲ選ビテ出發點トシ茲ニ器械ヲ据エ地面ヨリ望遠鏡ノ橫軸中心マデノ高サヲ測ル之ヲ器械高ト云フ、次ニ水平分度圓ノ副尺(水平副尺)ヲ零ニ合セ其マ、望遠鏡ヲN(或ハS)ニ定メテ以テ視線ヲ子午線ニ一致セシメ下緊シテ後上緊ヲ弛メテ第二ノ點ニ立テタル兩尺ヲ視ヒ器械高ト同ジ高サヲ十字線ノ中點ニ視準シテ「スタヂア」線ニヨル夾距ヲ讀ム、次ニ方位角、水平回旋角、傾斜角、トヲ順次ニ讀ミテ第二ノ點ニ器械ヲ移ス。

第二ノ點ニ於テハ器械ヲ据付ケテ器械高ヲ測リ水平副尺ヲ零ニ合セテ第一ノ點ヲ後視シ「スタヂア」距離即チ夾距、方位角、傾斜角、ヲ讀ミ下緊シテ後上緊ヲ弛メテ第三ノ點ヲ前視スベシ、此ノ場合ニ於テハ第一ノ點ニテ第二ノ點ヲ見タルト同様ノ觀測ヲナスベシ、器械ヲ据エタル點ニテナスベキ作業ヲ表示スレバ次ノ如シ。

器械高ヲ測ル  
 「スタヂア」距離ヲ讀ム  
 後視 方位角ヲ讀ム (大サ前視ト同大ニ) (テ符號ヲ異ニス)  
 水平回旋角ヲ零トナシ置ク  
 傾斜角ヲ讀ム (大サ前視ト同大ニ) (テ符號ヲ異ニス)  
 前視 方位角ヲ讀ム  
 「スタヂア」距離ヲ讀ム  
 水平回旋角ヲ讀ム  
 傾斜角ヲ讀ム

斯クノ如クシテ測點上ニ器械ヲ移シテ漸次進行スルモノナルガ測線外ニ家屋、道路、樹木、山川等ノ位置形狀ヲ求メンニハ適當ニ枝距ヲ出シテ之ヲ測定ス。

(一五四) 野帳記載法 野帳記載法ハ種々アレドモ次ニ記スルモノヲ以テ最モ便ナリトス而シテ野外ニ於テ記入スベキハ次表ノ一、二、三、四、五、八ノ六行ニシテ印ハ器械ヲ据付ケタル點ヲ表ハス。

「スタヂア」測量野帳記入法

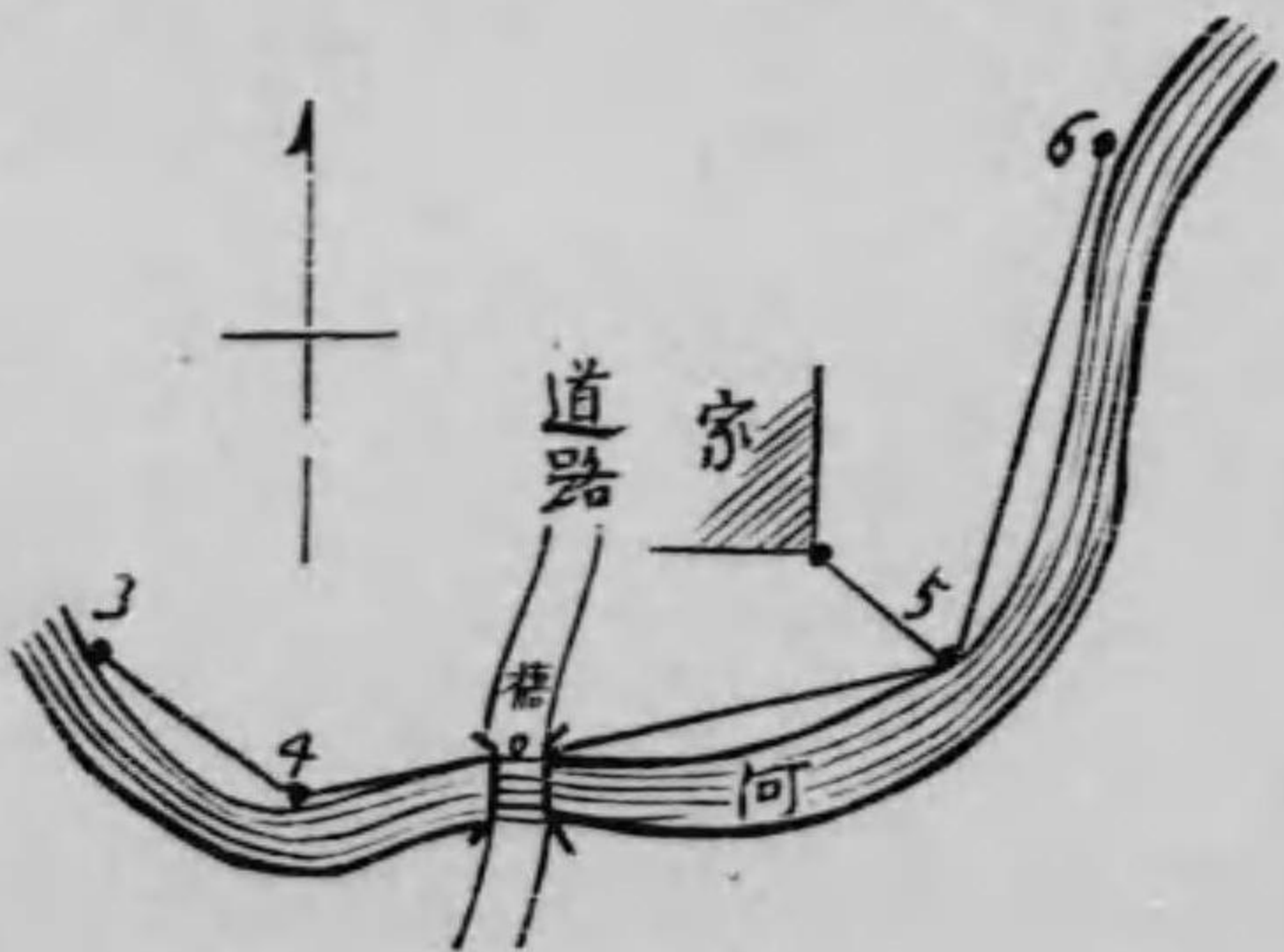
| 測點並ニ<br>物 体 | 水 平<br>方 位 角 | 角 回 旋 角 | 上 線   | 下 線  | 夾 距  | 計 算<br>讀 高  | 傾 斜 角 | 差 高   | 基 面 上 高        | 備 考   |
|-------------|--------------|---------|-------|------|------|-------------|-------|-------|----------------|-------|
| □4ニテ        |              |         |       |      |      |             |       |       | 83.00<br>器高=87 |       |
| □3(後視)      | N75°25'W     | 0       | 1.26  | 0.48 | 0.78 | 78 - 0°10'  | -     | 1.56  | 81.44          |       |
| 橋           | N74°15'E     | 127°40' | 3.50  | 2.80 | 0.70 | 70 + 0°32'  | +     | 1.90  | 84.90          |       |
| □5          | N75°08'E     | 128°33' | 10.80 | 8.64 | 2.16 | 216 + 0°55' | +     | 10.38 | 93.26          |       |
| □5ニテ        |              |         |       |      |      |             |       |       |                | 器高=87 |
| □4(後視)      | S75°08'W     | 0       | 10.76 | 8.60 | 2.16 | 216 - 0°54' | -     | 10.13 | 93.13          |       |
| 家ノ角         | N53°32'W     | 51°20'  | 4.70  | 4.12 | 0.58 | 58 + 10°57' | +     | 10.00 | 103.26         |       |
| □6          | N14°33'E     | 121°25' | 8.00  | 6.22 | 1.78 | 178 + 1°27' | +     | 8.50  | 101.76         |       |

### 第五節 内 業

(一五五) 計算 内業トシテハ野帳ノ計算、及製圖法ニシテ計算スルハ前表六、七、九、十、ノ各行ニシテ「スタヂア」讀高ノ上線下線ノ差ハ即チ夾距ニシテ(一四九)ニヨリ「スタヂア」表ヲ使用シテ水平距離及差高ヲ求メラル、基面上高ハ觀測點ノ高サガ已ニ知ラレアル故之ニ差高ヲ加減シテ得ラル。

(一五六) 製圖方法 製圖法ハ以上ノ計算ヲ了リタル後主要點ヨリ始メ次々ニ細密ノ點ヲ記入スルモノニシテ其レ等諸點ノ位置ノ定メ方ハ前ニ(一二三)ニ於テ述べタル通りナリ、今(一五五)ニ於ケル表ニ依リ製圖セルモノヲ示セバ第七十五圖ノ如シ。

第七十五圖



### 第六節 「スタヂア」測量ノ誤差並ニ精限

(一五七) 「スタヂア」測量ハ元來精密ヨリモ迅速ヲ望ム所ノモノナリ而シテ其ノ誤差ノ原因ハ「スタヂア」ニ限り特殊ノモノトシテハ傾斜視線ノ檢算ニ際シ切り棄テタル理論上ノ誤差及器械定數ノ誤差ニシテ其他ノ誤差ハ他ノモノニ比シ反ツテ少キモノニテ從ツテ此ノ種測量ノ從來ノ例ニ微スルニ其ノ許容限度ハ極メテ少ナリ即チアメリカニテミスシツビー河測量ノ際ハ千六百呎ノ距離ニ於テ五百分ノ一ヲ可許誤差トセル例アリ。

## 第八章 水準儀測量法

### 第一節 水準測量法

(一五八) 水準測量ハ又高低測量トモ稱シ地球上各點ノ比較的ノ高サヲ定ムルモノニシテ之ヲ三ツニ分類スルヲ得ベシ、(一)、ハ水準儀ニヨル測量、(二)、ハ氣壓計ニ依ル測量ニシテ大氣ノ壓力ハ上層ニ從ツテ減少スル事ヲ利用シ高山ノ高サ等ヲ測定スルニ用キ、(三)、ハ三角法ニヨル水準測量ニシテ二點間ノ距離ト傾斜角トヲ測リテ其ノ間ノ高サノ差ヲ算出スル方法ナリ而シテ此ノ場合地球ノ曲率及光線ノ屈折等ヲ考ニ入ル、モノニテ測地術ニ屬ス、本章ニハ主トシテ水準儀測量ニ就テ述ブル事トス。

### 第二節 水準儀測量ノ理論

(一五九) 用語 水平面(眞正水平面)、トハ靜水面ニ平行ナル曲面ニシテ地球ガ全體水ヲ以テ圍マンタルモノト假定セル表面ナリ。

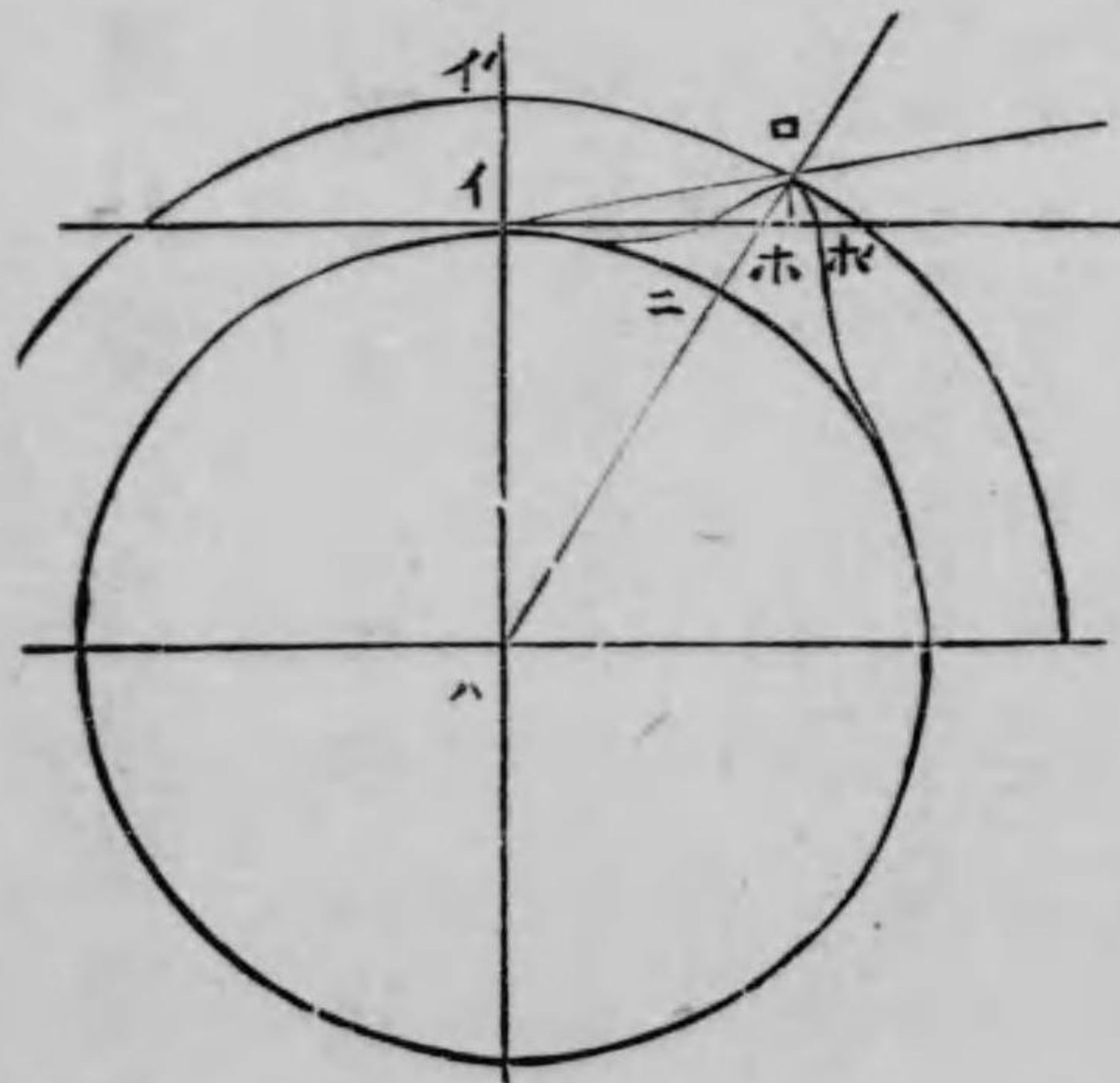
水平線(眞正水平線)、水平面ト地球ノ中心トヲ含ム平面トノ交ヨリ成ル曲線ナリ。  
地平線(類似水平線)、トハ水平線ノ一點ニ於テ之ニ接觸セル直線ヲ云フ。

●地平面(類似水平面)、水平面ノ一點ニ於テ之ニ接觸セル平面ヲ其ノ點ニ於ケル地平面ト云フ、故ニ地平面ト水平面トヲ混同スベカラズ。

●基準面、トハアル點ニ對シ高サヲ〇トセル一ノ水平面ニシテ一般ニハ平均海面ヲ用フ、英國ニ於テハリパーブルノ平均海面ヲ用キ我が國ニテハ靈岸島ノ平均海面ヲ基準面トナス。

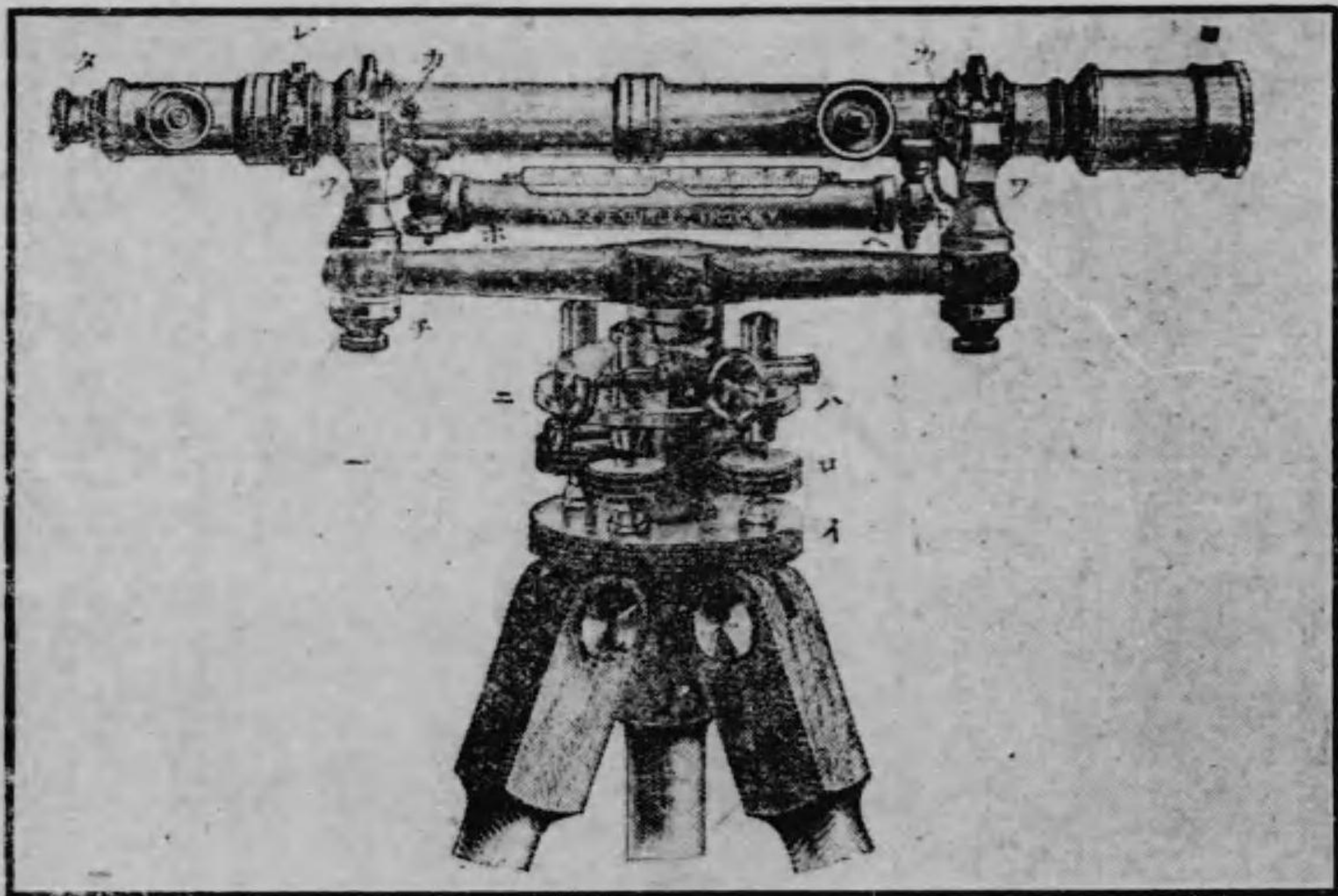
●高差、基準面ニ平行ニ二點ヲ過ギテ二ツノ水平面ヲ考フルトキハ此ノ二ノ水平面間ノ垂直距離ヲ二點間ノ高サノ差ト云フ、斯クノ如ク二點間ノ水平面ノ高サノ差ヲ見出スヲ水準測量ト云フ、或ル一點ノ基準面ヨリノ高サヲ知レバ他ノ點ノ基準面ヨリノ高サハ之ヨリ定ムル事ヲ得。

圖六十七第



(一六〇) 水平、地平兩水準面ノ差 今極メテ摸擬的ナレドモ第七十六圖ニ於テ(ハ)ヲ地球ノ中心トシ(イ)點ニ於テ「ロ」ノ山ノ高サヲ測量セントスルニ真正水平面(水平面)ニヨル水準測量ナラバ高サハ「イ」ノ水平面ト「イロ」ノ水平面トノ差「ロ」ガ山ノ高サナリ、然ルニ類似水平面(地平面)ニ據レバ(イ)ニ於ケル地平面「イホ」トナス角「ロイホ」ニヨリ算出セラル、「ロホ」ナル故(ホロトホホトノ差ハ少ナリトシテ顧ズトシテモ)真正水準差「ロ」ニヨリモ「ホ」ニ「イ」少ナリ、然レドモ之等ノ差ハ距離ノ少ナル時ハ極メテ僅少ナル故普通ノ水準測量ニテハ顧ミザルモ三角水準測量ハ其ノ點ト點トノ距離大ナル爲メ之等ノ差ヲ算入セ

圖七十七第



ザルベカラズ、真正水平面ト類似水平面トノ差ヲ知ラントセバ兩點間ノ距離ノ自乗ヲ地球ノ直徑七九一九哩ヲ以テ

除スベシ、即チ第七十六圖ニ於テ(イ)ヨリ(ニ)ヲ測リテ其ノ點ノ兩水準面ノ差「ホニ」ヲ知ラントセバ次ノ算式ニ依ル。

〔ホニ〕<sup>2</sup> / 7919

### 第三節 器械ノ說明

#### 明及使用方法

●●●●●  
器械ノ說明

- イ、移心裝置
  - ロ、水準用螺
  - ハ、螺絲緊迫
  - ニ、螺絲微動
  - ホ、氣泡管
  - ヘ、整正螺絲
  - ト、氣泡管整
  - チ、正螺絲
  - リ、Y形支脚
  - カ、楔
  - ヨ、對物レン
  - ヅ、對物レン
  - ズ、對眼レン
  - レ、十字線保
  - 持螺絲
- (一六一) 水準器 水準器ハ略測法(一二)ニ記シタル如キ簡單ナルモノヨリY形水準儀「ダンビー」水準儀、裝稜(ダンビー)水準儀、等複雑ナル測量用ノモノニ至ルマデ數種アリ、今測量用水準儀ニツキ其ノ主要部分並ニ兩尺ニ就テ說明セン。
- (一六二) 移心裝置(イ)、水準螺絲(ロ)、螺絲緊迫螺絲(ハ)等ハ凡テ(トランシット)ノ場合ト同様ノ構造ナル故此處ニ說明ヲ略

(一六三) 望遠鏡 望遠鏡内部ノ構造ハ「トランシット」ト同様ニシテ之ヲ二ツノV形支脚(W)(W)ノ上ニ取着ケ必要ニ應ジテ取り外シ逆方向ニ置換ヘル事ノ出来得ルモノヲV形水準儀ト云ヒ、置換ノ出来ザルモノニテ稍々短カク太キモノヲ「ダンビー」水準儀ト云フ。

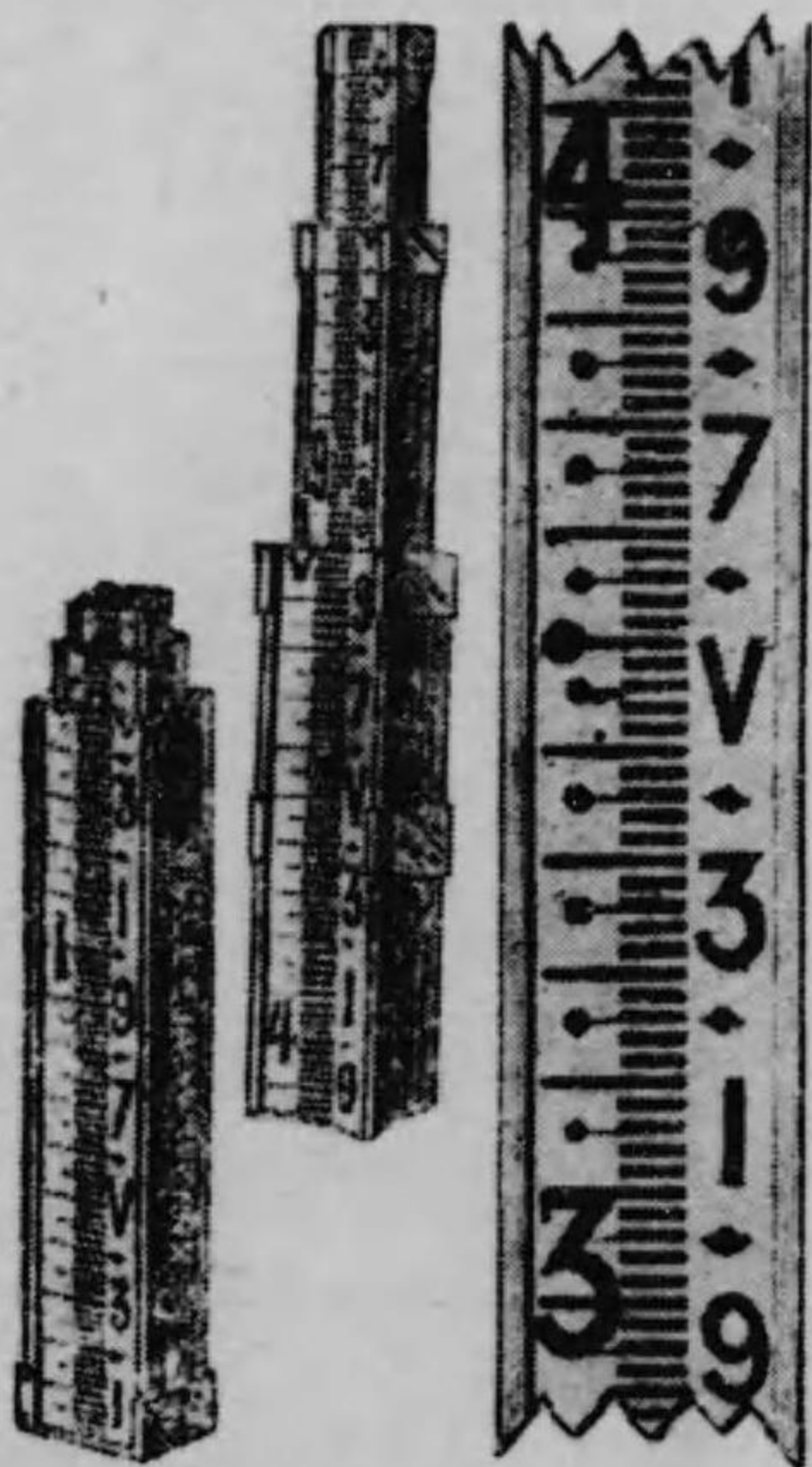
(一六四) 十字線 十字線ハ「トランシット」ノ場合ト同様ナリ。

(一六五) 氣泡管 望遠鏡鏡管ノ下部ニ裝置セラレ氣泡管中央ニ於ケル接線ト望遠鏡ノ視準線トヲ平行ナラシム、氣泡管ノ構造ニ就テハ「コンパス」(一〇〇)ヲ参照。

圖八十七第



圖九十七第



(一六六) 兩尺 兩尺ハ準尺、照尺、又ハ「ロツド」ト稱シ規標桿ト自讀桿トノ二種アリ、規標桿ハ第七十八圖ノ如ク兩尺ニ規標ヲ備ヘ之ヲ上下シテ其ノ横線ヲ視準線ニ重ネ兩尺ヲ持ツ者ニ於テ之ヲ讀ム自讀桿ハ觀測者自身ガ其ノ目盛ヲ讀ムモノニシテ第七十九圖ノ如シ。

(一六七) 水準儀ノ主用 水準儀ノ主ナル使用ハ次ノ三ツノ場合ナリ。

(一) 二點間ノ高差ヲ測ル場合

(二) 一線ノ縦斷面ヲ定ムル場合

(三) 同高線、勾配線、切り取、盛土等ノ測定

之等ノ實測ニ際シ器械ノ取扱法ニ就テハ次ノ整正法及實測方法ニ於テ述ブベシ。

### 第四節 Y形水準儀ノ検査及整正

(一六八) 視準線ト鏡軸線トノ一致 之ヲ檢スルニハ器械ヲ水平ニ据付ケ二百呎以上隔リテ十字線ノ交點ト重ナル所ニ明瞭ナル一點ヲ黒ク記ス(之ヲ)甲點(トス)、次ニ望遠鏡ヲV内ニ廻轉シテ氣泡管(ホ)ヲ望遠鏡ノ上ニ至ラシメ此ノ位置ニテ視視スルモ尙十字線ノ交點ハ黒點(甲)ト一致スル時ハ視準線ハ鏡軸ト一致シ十字線ノ位置ハ正シ若シ然ラザル場合ハ十字線ノ交點ニ更ニ他ノ一點(乙)ヲ取り前ノ(甲)點トノ間ヲ二等分シテ其ノ中點ニ十字線ノ交點ヲ一致セシムル様ニ(レ)部ノ螺旋ニテ十字線ヲ整正スベシ、次ニ望遠鏡ヲ最初ノ位置ニ戻シテ(即チ氣泡管ヲ上ニシ)尙其ノ交線ガ中點ニ重ルヤ否ヤヲ檢ス之ガ重ラザル時ハ前ノ方法ヲ繰返シ兩者相一致スルニ至リテ整正ヲ終ル。

(一六九) 鏡軸線ト氣泡管トノ平行 視準線定ラバ次ニ(ロ)(ロ)ナル水準用螺旋ニテ氣泡管ヲ中央ニ至ラシメ(カ)ノ楔ヲ弛メテ望遠鏡ヲ取外シ其方向ヲ轉換シテ之ヲV内ニ置ク時氣泡管ガ中央ニアラバ氣泡管ハ水平ニシテ鏡軸ト平行ナリ、然レドモ氣泡管ガ移動セバ平行ヲ保タザルノ證ナルニヨリ其半差ハ(ロ)(ロ)ノ螺旋ニテ直シ殘餘ノ半差ハ(ヘ)ノ整正螺旋ニテ正ス、之ニヨリ兩者ハ平行面中ニアレドモ同一垂直平面ニアルカ否カヲ檢セザルベカラズ即チ望遠

鏡ヲY軸内ニ旋回シテ氣泡ガ常ニ其中央ニアレバ可ナレドモ否ラザル時ハ(ト)ナル螺旋ニヨリ修正ス、修正(一六八)ハ修正(一六九)ノ傾度甚シキ時ハ修正シ難キヲ以テ大略(一六九)ニヨリ正シ次ニ(一六八)ヲ正シ次ニ再ビ(一六九)ニ及ブヲ可トス。

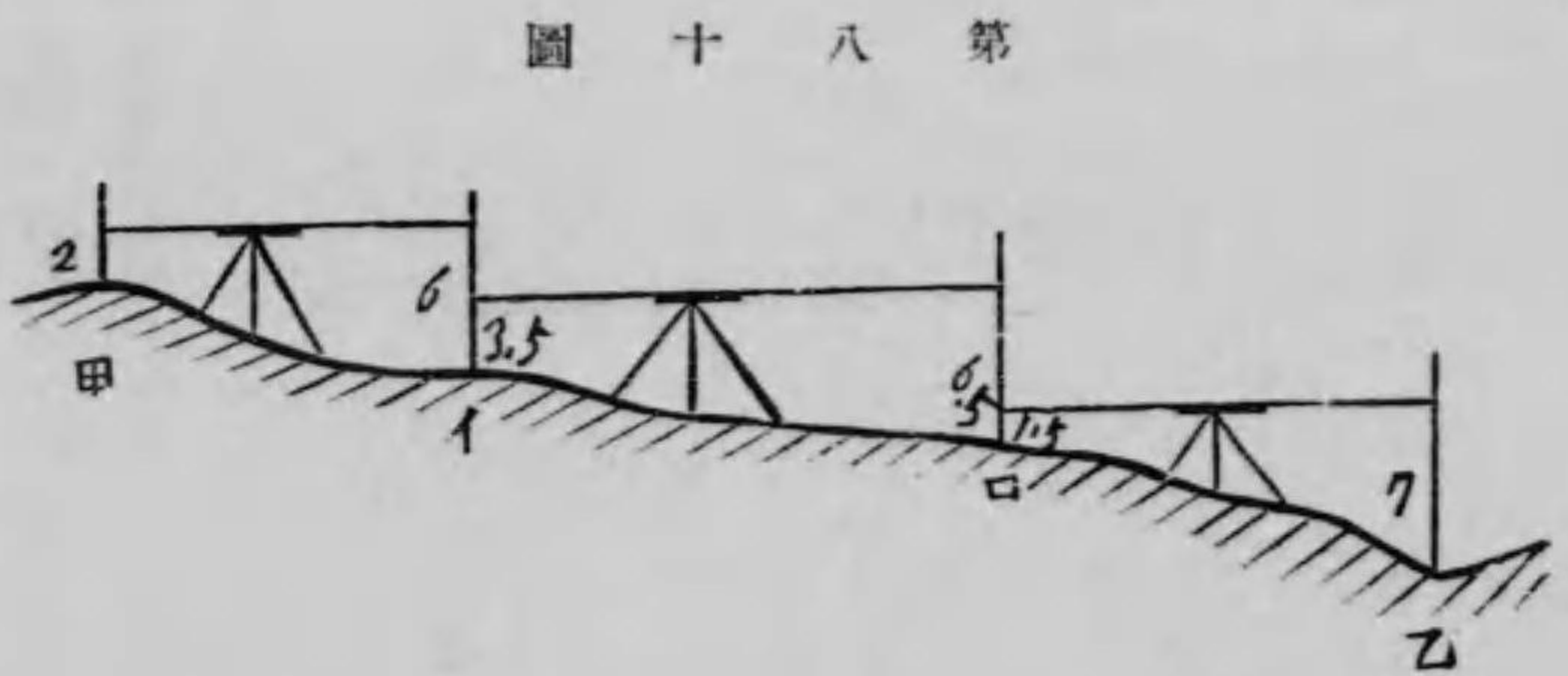
(一七〇) 器械軸ト泡管ノ接線(及視準線)トノ直交、之ヲ檢スルニハ(ハ)ナル豎軸緊迫螺旋ヲ弛メテ器械ヲ一八〇度丈廻旋シ氣泡ガ中央ニアラザレバ不正ナル故其ノ半差ハ(ロ)ノナル水準器旋ニテ正シ殘リノ半差ハ(チ)(チ)ノ横支ニアル螺旋ヲ以テY支ノ高サヲ修正ス。

### 第五節 實 測

(一七一) 高差測量 高差測量ハ二點間ノ高サノ差ヲ測定スル方法ニシテ如何ナル道筋ヲ取りテ測量スルトモ、亦其ノ間地形ノ變化ハ如何ナリトモ毫モ關係セザルモノニシテ其ノ土地ノ狀況ニ應ジ中間ニ於テ數回器械ヲ移スモ可ナリ、例ヘバ第八十圖ノ如ク(甲)(乙)二點ノ高差ヲ測量セントスルニ任意ノ檢點(イ)(ロ)(ハ)(ニ)……等ヲ取りタリトス、先ヅ(甲イ)間ノ適當ノ點ニ器械ヲ据エ(甲)點ニ兩尺ヲ立テ十字橫線ト一致スル長サヲ讀ム之ヲ後視ト云フ次ニ豎軸緊迫ヲ弛メテ(イ)點ノ方向ニ器械ヲ廻ラシ之ヲ視準シテ十字橫線マデノ高サヲ讀ム之ヲ前視トス、次ニ(イロ)ノ間ニ器械ヲ移シ(イ)ヲ後視シテ次ニ(ロ)ヲ前視ス斯ノ如クシテ漸次進行シ何レノ場合ニモ十字橫線マデノ高サヲ讀ムゲケニテ距離ヲ測ルノ要ナシ。

(甲)(乙)ノ高差ヲ求ムルニハ此ノ後視ノ合計ト前視ノ合計トノ差ヲ以テス。  
更ニ基準面ヨリノ高サヲ知ラントセバ他ノ高サ已知ノ點(BM)又ハ附近ノ鐵道線路ノ已知點等ヲ利用ス)ヨリ(甲)

(乙)何レカノ高サヲ測リ之ニ(甲)(乙)ノ高差ヲ加フレバ可ナリ。  
基準面ヨリノ高サヲ多少永久的ニ殘ス爲メニ設クル標ヲ基準標(據準標)(ベレチマーク)ト云フ、約五寸角ノ石標又ハ木標ヲ用キ之ニ「BM」ナル略語又ハ不ノ符號ヲ刻記シ他側ニ番號ヲ刻記ス。  
野帳ノ記載方法ハ次表ノ如シ。(今第八十圖ノ測量ヲ記帳ス)



第八十圖

| 年 月 日 某 所 高 差 測 量 |      | 測 點     |               | 備 考 |  |
|-------------------|------|---------|---------------|-----|--|
| 後 視               | 前 視  | 基 面 上 高 | 甲 點 之 基 面 上 高 |     |  |
| 甲                 | 2.00 | 100.00  | 100.00        |     |  |
| イ                 | 3.50 | 6.00    |               |     |  |
| ロ                 | 1.50 | 6.50    |               |     |  |
| 乙                 | 7.00 | 7.00    |               |     |  |
| 計                 | 7.00 | 19.50   | 乙 點 之 基 面 上 高 |     |  |
|                   | 7.00 | 12.50   | 12.50         |     |  |

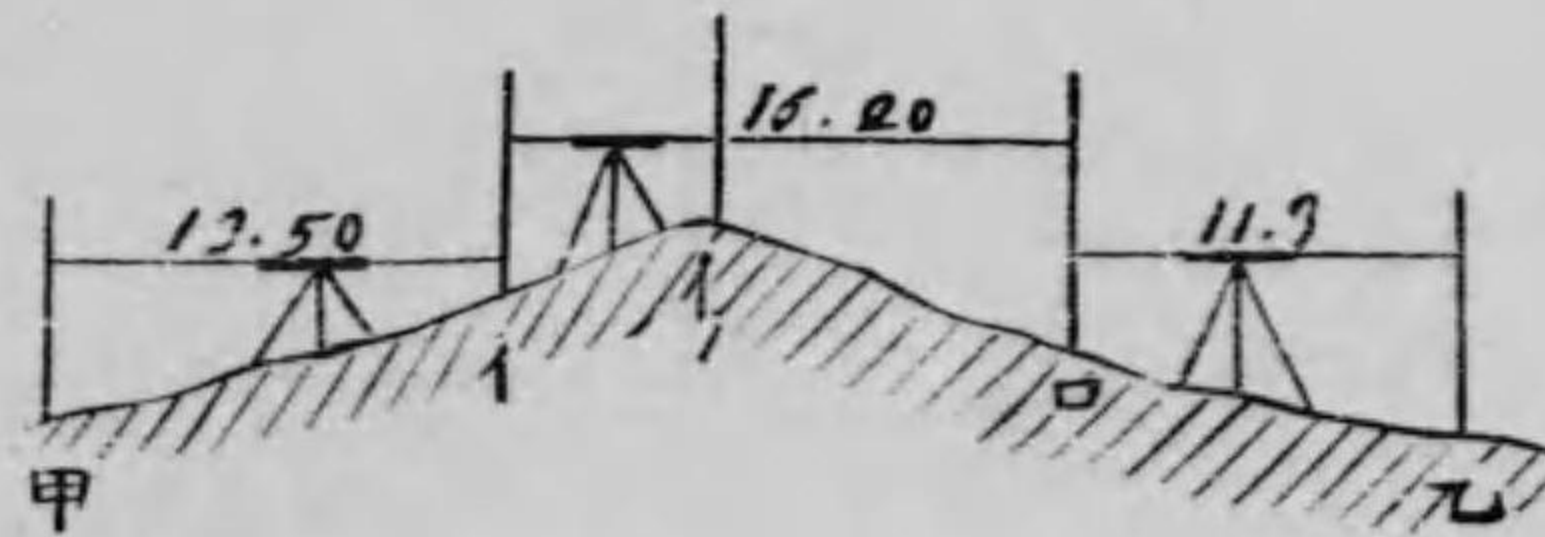
(一七二) 縱斷面測量 縱斷面測量ハ一定ノ線ニ沿ヒ地盤ノ斷面ヲ定ムルモノニシテ、距離、及高サ、ヲ測定セザルベカラズ、鐵道、道路、運河、等ノ測量ハ皆之レニ依ルモノニシテ測點ノ距離ハ一鎖宛トナスガ普通ニシテ其ノ

中間ノ點ハ特ニ(十)ノ符號ヲ付ス、而シテ檢點及器械ノ位置ハ必ズシモ測線上ニ取ルヲ要セズ各測點間ノ適宜ノ所ニ定メテ可ナリ、

記帳及計算ノ方法ニハ昇降式ト器高式トノ二種アレドモ昇降式ハ不便ニシテ煩雜ナル故今器高式ニ就テ述ブ、器高トハ器械ヲ据エタル點ニ於テ基準面ヨリ器械ノ視線線マデノ高サノ事ニテ次ノ加キニツノ關係アリ(一)器高ハ後視點ノ基準面ヨリノ高サニ後視ヲ加ヘタルモノニ等シ、(二)器高ヨリ前視ヲ減ズレバ前視點ノ基準面ヨリノ高サ即地盤高ヲ得。

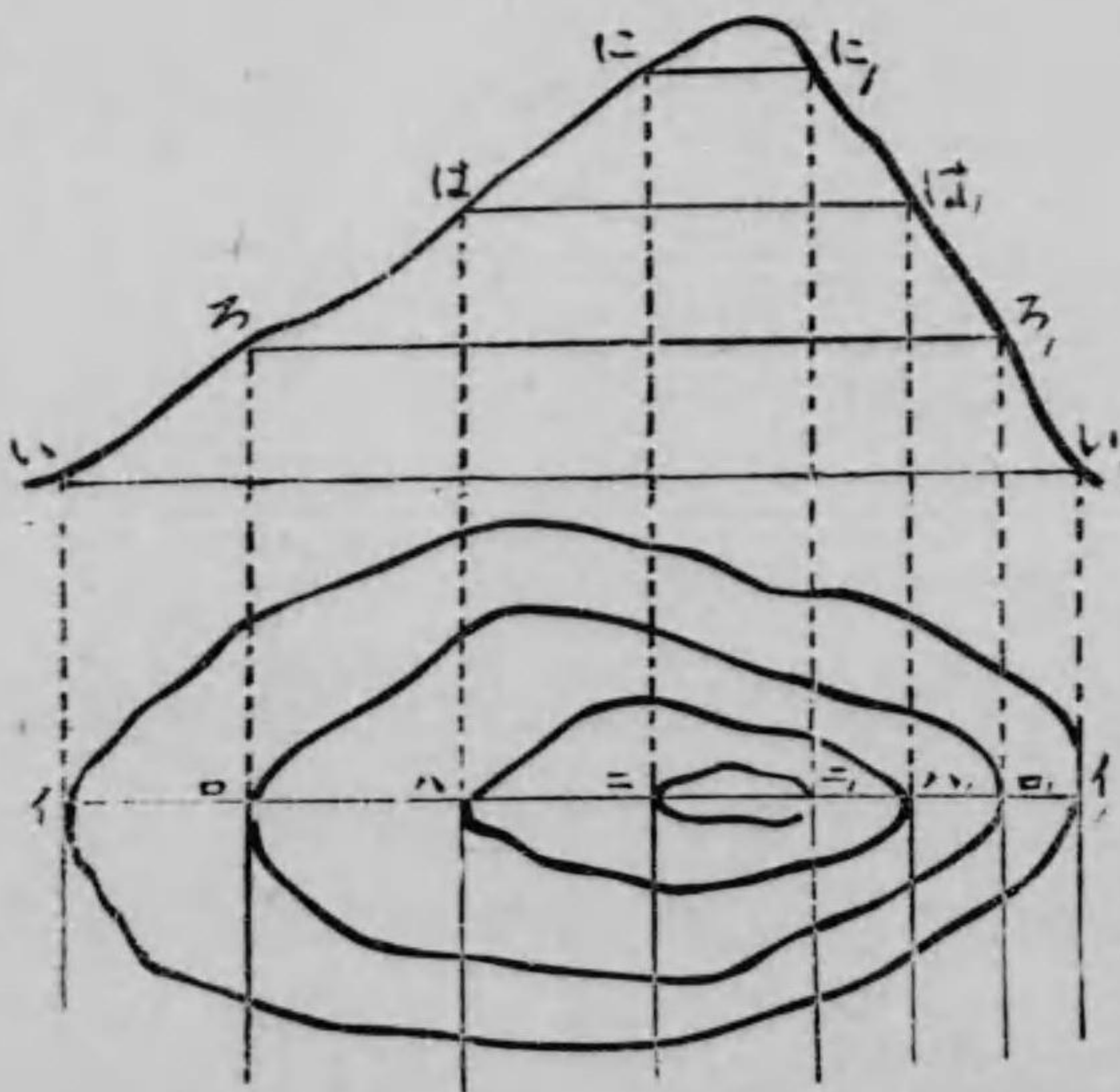
之ニ依リテ各點ノ地盤高ハ容易ニ算出スルヲ得ベシ、野帳及算法ハ次ノ表ノ如シ、

圖一十八第



| 測點 | 距離     | 視尺ノ讀   |      |      | 器高    | 基準上高  | 地盤高 |
|----|--------|--------|------|------|-------|-------|-----|
|    |        | 後視     | 中間視  | 前視   |       |       |     |
| 甲  |        | 4.35   |      | 0    | 47.67 | 43.32 |     |
| 1  | 13.50  | 3.47   |      | 0.43 | 50.71 | 47.24 |     |
| 1  | + 6.00 |        | 2.01 |      |       | 48.70 |     |
| 2  | 16.20  | 0.52   |      | 2.88 | 48.35 | 47.83 |     |
| 乙  | 11.30  |        |      | 4.56 |       | 43.79 |     |
| 計  |        | 8.34   |      | 7.87 |       |       |     |
|    |        | - 7.87 |      |      |       |       |     |
|    |        | + 0.47 |      |      |       |       |     |

圖二十八第



同高線測量ハ各點ノ高サヲ測定シテ同高ヲ有スル各點ヲ連結スレバ可ナリ。

第六節 水準測量ノ誤差及精度

(一七三) 同高線測量 同高線ハ地面ノ凹凸如何ヲ表ハスニ用フルモノニシテ或ハ基準面ヨリ同一ノ高サヲ有スル點ヲ結付ケタル線ニシテ此ノ線ノ密ナル地ハ傾斜急ニシテ粗ナル地ハ傾斜ノ緩カナルヲ示スモノナリ。第八十二圖ノ如クいろはに……ナル山アリトシ「い」「ろ」「は」「に」等ノ各平行水平面ヲ以テ切斷セリト考ヘテ各水平面ガ山ノ表面ト切合フ線ヲ平面ニ投寫スル時ハ「イ」「ロ」「ハ」「ハ」「ニ」等ノ曲線ヲナス、之レ同高線ニシテ「い」「ろ」「は」「に」ノ方面ハ傾斜緩カニシテ同高線イロハニハ粗ニ、又「い」「ろ」「は」「に」ノ方ハ傾斜ノ急ナル爲メ同高線「イ」「ロ」「ハ」「ハ」「ニ」ハ密接スル事ヲ知ルベシ。

(一七四) 誤差 水準測量ニ起ル誤差ハ器差、桿差、測差、個人誤差、記帳及計算ノ錯誤、ノ外特ニ曲率、屈折、



ニ基ク誤差アレドモ多クハ償差ニシテ、器差及曲率ノ誤差等ハ後視前視ノ中點ニ器械ヲ据付クル時ハ殆ト全ク之ヲ除ク事ヲ得ベシ、桿差ハ函尺ノ目盛ノ不正ヲ別トシ其ノ立テ方ノ正シカラザル場合、又ハ記帳計算ノ錯誤或ハ測差ニ起ル氣泡ノ位置ヲ誤リ認メタル等ハ周到ナル注意ニヨリ極メテ少ナカラシメ得ルモ個人誤差ニ至リテハ主トシテ各人獨特ノ體質及感覺ノ差異ニヨリ生ズルモノナリト云フ。

(一七五) 水準測量ノ精限 歐洲測地學會ノ所定ニ依レバ其ノ央差  $\frac{1}{2}$  乃至  $\frac{1}{3}$  範圍マデ許シ、我が國ノ河川測量ニ於テハ一里ノ間ヲ往復シテ其ノ不合ノ差ヲ  $\frac{3}{4}$  分以内ニ限ルトス之ハ殆ト  $\frac{1}{2}$  乃至  $\frac{1}{3}$  範圍ノ央差ニアタレリト云フ但シ央差ノ説明ハ稍々複雑ノ數學ニ入ル故此所ニ之ヲ略ス。

### 第九章 六分儀測量法

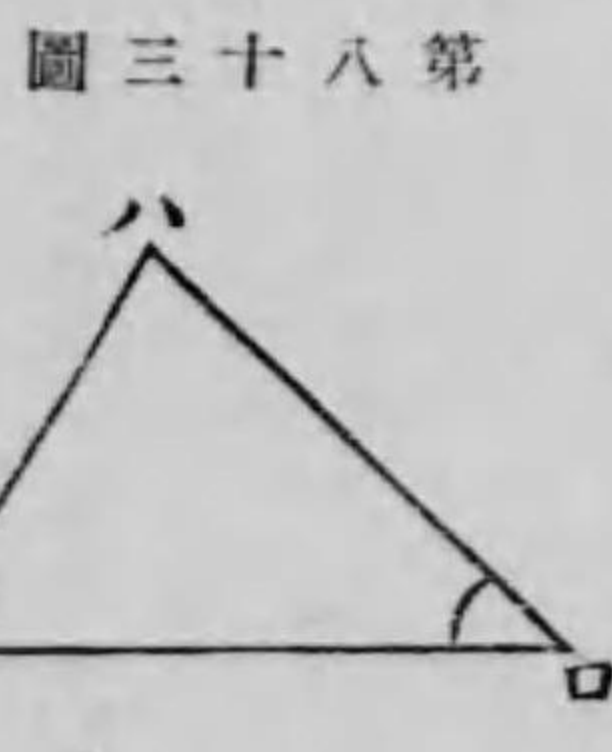
(一七六) 以上記述セル器械ハ何レモ地平角、垂直角、ノ二種ヲ測ルニ過ギザリシモ六分儀ハ此等二種ノ角ハ勿論更ニ任意ノ面斜角ヲモ測ルニ用キフル、而シテ其ノ分度線ガ六〇度ノ圓弧ヲ含メルヲ以テ六分儀ノ名アリ、然レトモ六分儀ノ示ス角度ハ觀測セル二點ノ挾ム角ノ二分ノ一ナル故ニ實際ハ器械ノ示ス角ヲ二倍シテ眞ノ角ヲナス從テ六分儀ハ一二〇度迄ノ角度ヲ測リ得ルモノナリ、六分儀ハ觀測者ノ眼ノ位置ト著シキ關係ヲ有スルヲ以テ遠距離ノ二物間ノ角ヲ測ル場合ノ外用キラズ、從ツテ大體ノ觀測、例ヘバ、大洋ノ航海ニアタリ天體ノ觀測ニヨリ其ノ船ノ位置ヲ知ラントスル場合等ニ用フルモノニシテ陸地測量トシテハ殆ト用フル事ナシ。

## 第十章 字圖及町村圖ノ作製

字圖及町村圖ノ作製ニアタリ平板測量ノ結果ノミニ據リ直ニ之ヲ續ギ合ス時ハ微細ノ誤差ハ累積シテ極メテ尠大ナル結果ヲ現ス事アリ加之其ノ那邊ニ於テ誤測セルカヲ發見スル事全ク不可能ナリ、故ニ其ノ初メニ於テ豫メ之ガ標據タルベキ諸點(圖根點)ヲ設ケ之ヲ實測シテ圖根點ヲ調製シ置カザルベカラズ、之等ノ方法ヲ説明センニハ三角測量ノ理論ニ入ルヲ要スト雖今單ニ字圖等ノ作製方法ヲ會得スルニ足ル程度ニ於テ之ヲ畧述セントス、

### 第一節 三角測量法

(一七七) 三角測量ノ理論 三角測量ハ一邊ノ長サト之ヲ夾ム角度トヲ測リテ其ノ邊長ヲ算出シ各點ノ位置ヲ定ムル方法ニシテ其ノ原理ハ次ノ如キ簡單ナル點ニアリ。



(イロ)ノ長サヲ實測シ「イ」角及「ロ」角ヲ觀測シタリトセバ「ハ」角及「イハ」「ロハ」ノ線ハ計算ニヨリ知ル事ヲ得、即チ三角形ノ内角ノ和ハ百八十度ナルガ故ニ

$$[\text{イハ}] + [\text{ロハ}] + [\text{イロ}] = 180^\circ \quad \dots\dots\dots (1)$$

ノ式ヨリ「ハ」角ハ求メラル、更ニ各邊ノ長サヲ知ラントセバ三角術ノ定理ニヨリ三角形ノ各邊ノ長サハ其ノ對角ノ正弦ト正比例スル故ニ

$$\frac{[\text{ロハ}]}{[\text{イロ}]} = \frac{[\text{イハ}] \sin [\text{イロ}]}{[\text{イロ} \sin [\text{イハ}]} \quad \text{即チ} [\text{ロハ}] = [\text{イロ}] \times \frac{[\text{イハ}] \sin [\text{イロ}]}{[\text{イロ} \sin [\text{イハ}]} \quad \dots\dots\dots (2)$$





(五) 橋梁、渡船場、其他

(六) 諸註記

(一八三) 地圖ニ使用スル線ノ種類

(一) 一號實線 太サ約一厘

(二) 二號實線 太サ約五毛

(三) 三號實線 太サ約二毛五糸

(一八四) 地圖ニ使用スル境界線ノ種類 右ノ線及點線ヲ以テ各種ノ境界線ヲ表ハス方式ハ場合ニ依リ多少ノ差異アレドモ今其ノ一例ヲ示ス。

府縣界 實一分五厘、虛一分五厘ノ一號點線ノ虛部ニ、一號線ノ長サ五厘ノモノ二個ヲ挿ム。

國界 實一分五厘、虛一分、ノ一號點線ノ虛部ニ、一號線ノ長サ五厘ノモノ一個ヲ挿ム。

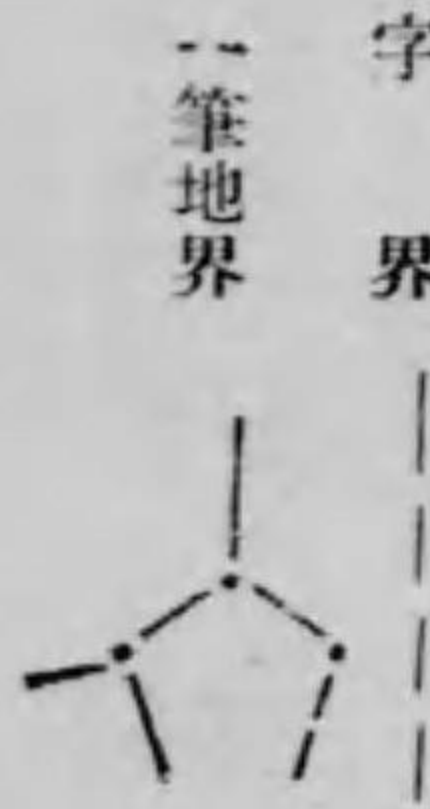
郡市界 郡一分、實一分五厘、ノ一號點線ノ虛部ニ、經一厘ノ圓點三個ヲ挿ム。

町村界 實一分、虛一分、ノ二號點線ノ虛部ニ、經五毛ノ圓點二個ヲ挿ム。

大字界 實一分、虛一分、ノ二號點線ノ虛部ニ、經五毛ノ圓點一個ヲ挿ム。

字界 實一分、虛五厘、ノ二號點線トス。

一筆地界 三號實線ヲ以テ示シ、其ノ隅角點ハ經約五毛ノ圓點ヲ以テ示シ、線ハ此ノ點ニ密接セシメザルモノトス。



其他道路、河川、海岸等ノ線ハ其ノ眞形ニ依リ三號實線ヲ以テ示ス。

(一八五) 圖根點ノ圖示

一等圖根點 中心ニ一點ヲ有スル高サ約一分ノ重複三角形ヲ二號線ニテ示ス。

二等圖根點 中心ニ一點ヲ有スル高サ約八厘ノ三角形ヲ二號線ニテ示ス。

細部圖根點 經約四厘ノ圓ヲ三號線ニテ示ス。

(一八六) 彩色 彩色ニ用フル色ハ黒、代赭、綠、藍、及洋紅ノ五種トシ普通字圖ニ於テハ道路ヲ代赭ニ海河沼湖等ヲ藍色ニ彩ルノミナレドモ之ヨリ大ナル地圖ニ於テハ官民有地、神社寺院敷地、町村共有地、河海沼湖、道路溝渠等ヲ色別スルモノアリ其他地圖ノ性質ニ依リ多少ノ別アリ、之等製圖記號、色彩等ニ就テハ陸地測量部發行ノ製圖記號其他ヲ参照スルヲ便トス。

(一八七) 註記 註記文字ハ漢字、假名、及亞利比亞數字ノ三種ニシテ漢字數字ハ地番ニ用キ、アラビア數字ハ圖根點ノ番號ニ使用ス、其他註記スベキ主ナル點ハ左ノ如シ。

(一) 縮尺、縮尺ハ圖面ノ下部中央ニ  $\frac{1}{600}$  (一分一厘) 又ハ  $\frac{1}{600}$  ト記載ス。

(二) 町、村、大字、字名及地番、地目。

(三) 製圖完成年月日及測圖者氏名。

# 土地測量法 終

「スタチア」表

| 分<br>數 | 4°     |               | 5°     |               | 6°     |               | 7°     |               |
|--------|--------|---------------|--------|---------------|--------|---------------|--------|---------------|
|        | 水<br>距 | 平<br>離 差<br>高 | 水<br>距 | 平<br>離 差<br>高 | 水<br>距 | 平<br>離 差<br>高 | 水<br>距 | 平<br>離 差<br>高 |
| 0      | 99.51  | 6.96          | 99.24  | 8.68          | 98.91  | 10.40         | 98.51  | 12.10         |
| 2      | "      | 7.02          | 99.23  | 8.74          | 98.90  | 10.45         | 98.50  | 12.15         |
| 4      | 99.50  | 7.07          | 99.22  | 8.80          | 98.88  | 10.51         | 98.48  | 12.21         |
| 6      | 99.49  | 7.13          | 99.21  | 8.85          | 98.87  | 10.57         | 98.47  | 12.26         |
| 8      | 99.48  | 7.19          | 99.20  | 8.91          | 98.86  | 10.62         | 98.46  | 12.32         |
| 10     | 99.47  | 7.25          | 99.19  | 8.97          | 98.85  | 10.68         | 98.44  | 12.38         |
| 12     | 99.46  | 7.30          | 99.18  | 9.03          | 98.83  | 10.74         | 98.43  | 12.43         |
| 14     | "      | 7.36          | 99.17  | 9.08          | 98.82  | 10.79         | 98.41  | 12.49         |
| 16     | 99.45  | 7.42          | 99.16  | 9.14          | 98.81  | 10.85         | 98.40  | 12.55         |
| 18     | 99.44  | 7.48          | 99.15  | 9.20          | 98.80  | 10.91         | 98.39  | 12.60         |
| 20     | 99.43  | 7.53          | 99.14  | 9.25          | 98.78  | 10.96         | 98.37  | 12.66         |
| 22     | 99.42  | 7.59          | 99.13  | 9.31          | 98.77  | 11.02         | 98.36  | 12.72         |
| 24     | 99.41  | 7.65          | 99.11  | 9.37          | 98.76  | 11.08         | 98.34  | 12.77         |
| 26     | 99.40  | 7.71          | 99.10  | 9.43          | 98.74  | 11.13         | 98.33  | 12.83         |
| 28     | 99.39  | 7.76          | 99.09  | 9.48          | 98.73  | 11.19         | 98.31  | 12.88         |
| 30     | 99.38  | 7.82          | 99.08  | 9.54          | 98.72  | 11.25         | 98.29  | 12.94         |
| 32     | 99.38  | 7.88          | 99.07  | 9.60          | 98.71  | 11.30         | 98.28  | 13.00         |
| 34     | 99.37  | 7.94          | 99.06  | 9.65          | 98.69  | 11.36         | 98.27  | 13.05         |
| 36     | 99.36  | 7.99          | 99.05  | 9.71          | 98.68  | 11.42         | 98.25  | 13.11         |
| 38     | 99.35  | 8.05          | 99.04  | 9.77          | 98.67  | 11.47         | 98.24  | 13.17         |
| 40     | 99.34  | 8.11          | 99.03  | 9.83          | 98.65  | 11.53         | 98.22  | 13.22         |
| 42     | 99.33  | 8.17          | 99.01  | 9.88          | 98.64  | 11.59         | 98.20  | 13.28         |
| 44     | 99.32  | 8.22          | 99.00  | 9.94          | 98.63  | 11.64         | 98.19  | 13.33         |
| 46     | 99.31  | 8.28          | 98.99  | 10.00         | 98.61  | 11.70         | 98.17  | 13.39         |
| 48     | 99.30  | 8.34          | 98.98  | 10.05         | 98.60  | 11.76         | 98.15  | 13.45         |
| 50     | 99.29  | 8.40          | 98.97  | 10.11         | 98.58  | 11.81         | 98.14  | 13.50         |
| 52     | 99.28  | 8.45          | 98.96  | 10.17         | 98.57  | 11.87         | 98.13  | 13.56         |
| 54     | 99.27  | 8.51          | 98.94  | 10.22         | 98.56  | 11.93         | 98.11  | 13.61         |
| 56     | 99.26  | 8.57          | 98.93  | 10.28         | 98.54  | 11.98         | 98.10  | 13.67         |
| 58     | 99.25  | 8.63          | 98.92  | 10.34         | 98.53  | 12.04         | 98.08  | 13.73         |
| 60     | 99.24  | 8.68          | 98.91  | 10.40         | 98.51  | 12.10         | 98.06  | 13.78         |
| c=0.75 | 0.75   | 0.06          | 0.75   | 0.07          | 0.75   | 0.08          | 0.74   | 0.19          |
| c=1.00 | 1.00   | 0.08          | 0.99   | 0.09          | 0.99   | 0.11          | 0.99   | 0.13          |
| c=1.25 | 1.25   | 0.10          | 1.24   | 0.11          | 1.24   | 0.14          | 1.24   | 0.16          |

「スタチア」表

一〇九

「スタチア」表

| 分<br>數 | 0°     |               | 1°     |               | 2°     |               | 3°     |               |
|--------|--------|---------------|--------|---------------|--------|---------------|--------|---------------|
|        | 水<br>距 | 平<br>離 差<br>高 | 水<br>距 | 平<br>離 差<br>高 | 水<br>距 | 平<br>離 差<br>高 | 水<br>距 | 平<br>離 差<br>高 |
| 0      | 100.00 | 0.00          | 99.97  | 1.74          | 99.88  | 3.49          | 99.73  | 5.23          |
| 2      | "      | 0.06          | "      | 1.80          | 99.87  | 3.55          | 99.72  | 5.28          |
| 4      | "      | 0.12          | "      | 1.86          | "      | 3.60          | 99.71  | 5.34          |
| 6      | "      | 0.17          | 99.96  | 1.92          | "      | 3.66          | "      | 5.40          |
| 8      | "      | 0.23          | "      | 1.98          | 99.86  | 3.72          | 99.70  | 5.46          |
| 10     | "      | 0.29          | "      | 2.04          | "      | 3.78          | 99.69  | 5.52          |
| 12     | "      | 0.35          | "      | 2.09          | 99.85  | 3.84          | "      | 5.57          |
| 14     | "      | 0.41          | 99.95  | 2.15          | "      | 3.90          | 99.68  | 5.63          |
| 16     | "      | 0.47          | "      | 2.21          | 99.84  | 2.95          | "      | 5.69          |
| 18     | "      | 0.52          | "      | 2.27          | "      | 4.01          | 99.67  | 5.75          |
| 20     | "      | 0.58          | "      | 2.33          | 99.83  | 4.07          | 99.66  | 5.80          |
| 22     | "      | 0.64          | 99.94  | 2.38          | "      | 4.13          | "      | 5.86          |
| 24     | "      | 0.70          | "      | 2.44          | 99.82  | 4.18          | 99.65  | 5.92          |
| 26     | 99.99  | 0.76          | "      | 2.50          | "      | 4.24          | 99.64  | 5.98          |
| 28     | "      | 0.81          | 99.93  | 2.56          | 99.81  | 4.30          | 99.63  | 6.04          |
| 30     | "      | 0.87          | "      | 2.62          | "      | 4.36          | "      | 6.09          |
| 32     | "      | 0.93          | "      | 2.67          | 99.80  | 4.42          | 99.62  | 6.15          |
| 34     | "      | 0.99          | "      | 2.73          | "      | 4.48          | "      | 6.21          |
| 36     | "      | 1.05          | 99.92  | 2.79          | 99.79  | 4.53          | 99.61  | 6.27          |
| 38     | "      | 1.11          | "      | 2.85          | "      | 4.59          | 99.60  | 6.33          |
| 40     | "      | 1.16          | "      | 2.91          | 99.78  | 4.65          | 99.59  | 6.38          |
| 42     | "      | 1.22          | 99.91  | 2.97          | "      | 4.71          | "      | 6.44          |
| 44     | 99.98  | 1.28          | "      | 3.02          | 99.77  | 4.76          | 99.58  | 6.50          |
| 46     | "      | 1.34          | 99.90  | 3.08          | "      | 4.82          | 99.57  | 6.56          |
| 48     | "      | 1.40          | "      | 3.14          | 99.76  | 4.88          | 99.56  | 6.61          |
| 50     | "      | 1.45          | "      | 3.20          | "      | 4.94          | "      | 6.67          |
| 52     | "      | 1.51          | 99.89  | 3.26          | 99.75  | 4.99          | 99.55  | 6.73          |
| 54     | "      | 1.57          | "      | 3.31          | 99.74  | 5.05          | 99.54  | 6.78          |
| 56     | 99.97  | 1.63          | "      | 3.37          | "      | 5.11          | 99.53  | 6.84          |
| 58     | "      | 1.69          | 99.88  | 3.43          | 99.73  | 5.17          | 99.52  | 6.90          |
| 60     | "      | 1.74          | "      | 3.49          | "      | 5.23          | 99.51  | 6.96          |
| c=0.75 | 0.75   | 0.01          | 0.75   | 0.02          | 0.75   | 0.03          | 0.75   | 0.05          |
| c=1.00 | 1.00   | 0.01          | 1.00   | 0.03          | 1.00   | 0.04          | 1.00   | 0.06          |
| c=1.25 | 1.25   | 0.02          | 1.25   | 0.03          | 1.25   | 0.05          | 1.25   | 0.08          |

「スタチア」表

一〇八

「スタヂア」表

| 分<br>數 | 12°        |       | 13°        |       | 14°        |       | 15°        |       |
|--------|------------|-------|------------|-------|------------|-------|------------|-------|
|        | 水 平<br>距 離 | 差 高   | 水 平<br>距 離 | 差 高   | 水 平<br>距 離 | 差 高   | 水 平<br>距 離 | 差 高   |
| 0      | 95.68      | 20.34 | 94.94      | 21.92 | 94.15      | 23.47 | 93.30      | 25.00 |
| 2      | 95.65      | 20.39 | 94.91      | 21.97 | 94.12      | 23.52 | 93.27      | 25.05 |
| 4      | 95.63      | 20.44 | 94.89      | 22.02 | 94.06      | 23.58 | 93.24      | 25.10 |
| 6      | 95.61      | 20.50 | 94.86      | 22.08 | 94.07      | 23.63 | 93.21      | 25.15 |
| 8      | 95.58      | 20.55 | 94.84      | 22.13 | 94.04      | 23.68 | 93.18      | 25.20 |
| 10     | 95.56      | 20.60 | 94.81      | 22.18 | 94.01      | 23.73 | 93.16      | 25.25 |
| 12     | 95.53      | 20.66 | 94.79      | 22.23 | 93.98      | 23.78 | 93.13      | 25.30 |
| 14     | 95.51      | 20.71 | 94.76      | 22.28 | 93.95      | 23.83 | 93.10      | 25.35 |
| 16     | 95.49      | 20.76 | 94.73      | 22.34 | 93.93      | 23.88 | 93.07      | 25.40 |
| 18     | 95.46      | 20.81 | 94.71      | 22.39 | 93.90      | 23.93 | 93.04      | 25.45 |
| 20     | 95.44      | 20.87 | 94.68      | 22.44 | 93.87      | 23.99 | 93.01      | 25.50 |
| 22     | 95.41      | 20.92 | 94.66      | 22.49 | 93.84      | 24.04 | 92.98      | 25.55 |
| 24     | 95.39      | 20.97 | 94.63      | 22.54 | 93.81      | 24.09 | 92.95      | 25.60 |
| 26     | 95.36      | 21.03 | 94.60      | 22.60 | 93.79      | 24.14 | 92.92      | 25.65 |
| 28     | 95.34      | 21.08 | 94.58      | 22.65 | 93.76      | 24.19 | 92.89      | 25.70 |
| 30     | 95.32      | 21.13 | 94.55      | 22.70 | 93.73      | 24.24 | 92.86      | 25.75 |
| 32     | 95.29      | 21.18 | 94.52      | 22.75 | 93.70      | 24.29 | 92.83      | 25.80 |
| 34     | 95.27      | 21.24 | 94.50      | 22.80 | 93.67      | 24.34 | 92.80      | 25.85 |
| 36     | 95.24      | 21.29 | 94.47      | 22.85 | 93.65      | 24.39 | 92.77      | 25.90 |
| 38     | 95.22      | 21.34 | 94.44      | 22.91 | 93.62      | 24.44 | 92.74      | 25.95 |
| 40     | 95.19      | 21.39 | 94.42      | 22.96 | 93.59      | 24.49 | 92.71      | 26.00 |
| 42     | 95.17      | 21.45 | 94.39      | 23.01 | 93.56      | 24.55 | 92.68      | 26.05 |
| 44     | 95.14      | 21.50 | 94.36      | 23.06 | 93.53      | 24.60 | 92.65      | 26.10 |
| 46     | 95.12      | 21.55 | 94.34      | 23.11 | 93.50      | 24.65 | 92.62      | 26.15 |
| 48     | 95.09      | 21.60 | 94.31      | 23.16 | 93.47      | 24.70 | 92.59      | 26.20 |
| 50     | 95.07      | 21.66 | 94.28      | 23.22 | 93.45      | 24.75 | 92.56      | 26.25 |
| 52     | 95.04      | 21.71 | 94.26      | 23.27 | 93.42      | 24.80 | 92.53      | 26.30 |
| 54     | 95.02      | 21.76 | 94.23      | 23.32 | 93.39      | 24.85 | 92.49      | 26.35 |
| 56     | 93.99      | 21.81 | 94.20      | 23.37 | 93.36      | 24.90 | 94.46      | 26.40 |
| 58     | 94.97      | 21.87 | 94.17      | 23.42 | 93.33      | 24.95 | 92.43      | 26.45 |
| 60     | 94.94      | 21.92 | 94.15      | 23.47 | 93.30      | 25.00 | 92.40      | 26.50 |
| c=0.75 | 0.73       | 0.16  | 0.73       | 0.17  | 0.73       | 0.19  | 0.72       | 0.20  |
| c=1.00 | 0.98       | 0.22  | 0.97       | 0.23  | 0.97       | 0.25  | 0.96       | 0.27  |
| c=1.25 | 1.22       | 0.27  | 1.21       | 0.29  | 1.21       | 0.31  | 1.20       | 0.34  |

「スタヂア」表

一一一

「タタヂア」表

| 分<br>數 | 8°         |       | 9°         |       | 10°        |       | 11°        |       |
|--------|------------|-------|------------|-------|------------|-------|------------|-------|
|        | 水 平<br>距 離 | 差 高   | 水 平<br>距 離 | 差 高   | 水 平<br>距 離 | 差 高   | 水 平<br>距 離 | 差 高   |
| 0      | 98.06      | 13.78 | 97.55      | 15.45 | 96.98      | 17.10 | 96.36      | 18.73 |
| 2      | 98.05      | 13.84 | 97.53      | 15.51 | 96.95      | 17.16 | 96.34      | 18.78 |
| 4      | 98.03      | 13.89 | 97.52      | 15.56 | 96.94      | 17.21 | 96.32      | 18.84 |
| 6      | 98.01      | 13.95 | 97.50      | 15.62 | 96.92      | 17.26 | 96.29      | 18.89 |
| 8      | 98.00      | 14.01 | 97.48      | 15.67 | 96.90      | 17.32 | 96.27      | 18.95 |
| 10     | 97.98      | 14.06 | 97.46      | 15.73 | 96.88      | 17.37 | 96.25      | 19.00 |
| 12     | 97.97      | 14.12 | 97.44      | 15.78 | 96.86      | 17.43 | 96.23      | 19.05 |
| 14     | 97.95      | 14.17 | 97.43      | 15.84 | 96.84      | 17.48 | 96.21      | 19.11 |
| 16     | 97.93      | 14.23 | 97.41      | 15.89 | 96.82      | 17.54 | 96.18      | 19.16 |
| 18     | 97.92      | 14.28 | 97.39      | 15.95 | 96.80      | 17.59 | 96.16      | 19.21 |
| 20     | 97.90      | 14.34 | 97.37      | 16.00 | 96.78      | 17.65 | 96.14      | 19.27 |
| 22     | 97.88      | 14.40 | 97.35      | 16.06 | 96.76      | 17.70 | 96.12      | 19.32 |
| 24     | 97.87      | 14.45 | 97.33      | 16.11 | 96.74      | 17.76 | 96.09      | 19.38 |
| 26     | 97.85      | 14.51 | 97.31      | 16.17 | 96.72      | 17.81 | 96.07      | 19.43 |
| 28     | 97.83      | 14.56 | 97.29      | 16.22 | 96.70      | 17.86 | 96.05      | 19.48 |
| 30     | 97.82      | 14.62 | 97.28      | 16.28 | 96.68      | 17.92 | 96.03      | 19.54 |
| 32     | 97.80      | 14.67 | 97.26      | 16.33 | 96.66      | 17.97 | 96.00      | 19.59 |
| 34     | 97.78      | 14.73 | 97.24      | 16.39 | 96.61      | 18.03 | 95.98      | 19.64 |
| 36     | 97.76      | 14.79 | 97.22      | 16.44 | 96.62      | 18.08 | 95.95      | 19.70 |
| 38     | 97.75      | 14.84 | 97.20      | 16.50 | 96.60      | 18.14 | 95.93      | 19.75 |
| 40     | 97.73      | 14.90 | 97.18      | 16.55 | 96.57      | 18.19 | 95.91      | 19.80 |
| 42     | 97.71      | 14.95 | 97.16      | 16.61 | 96.55      | 18.24 | 95.89      | 19.86 |
| 44     | 97.69      | 15.01 | 97.14      | 16.66 | 96.53      | 18.30 | 95.86      | 19.91 |
| 46     | 97.68      | 15.06 | 97.12      | 16.72 | 96.51      | 18.35 | 95.84      | 19.96 |
| 48     | 97.66      | 15.12 | 97.10      | 16.77 | 96.50      | 18.41 | 95.82      | 20.02 |
| 50     | 97.64      | 15.17 | 97.08      | 16.83 | 96.47      | 18.46 | 95.79      | 20.07 |
| 52     | 97.62      | 15.23 | 97.06      | 16.88 | 96.45      | 18.51 | 95.77      | 20.12 |
| 54     | 97.61      | 15.28 | 97.04      | 16.94 | 96.42      | 18.57 | 95.75      | 20.18 |
| 56     | 97.59      | 15.34 | 97.02      | 16.99 | 96.40      | 18.62 | 95.72      | 20.23 |
| 58     | 97.57      | 15.40 | 97.00      | 17.05 | 96.38      | 18.68 | 95.70      | 20.28 |
| 60     | 97.55      | 15.45 | 96.08      | 17.10 | 96.36      | 18.73 | 95.68      | 20.34 |
| c=0.75 | 0.74       | 0.11  | 0.74       | 0.12  | 0.74       | 0.14  | 0.73       | 0.15  |
| c=1.00 | 0.99       | 0.15  | 0.99       | 0.16  | 0.98       | 0.18  | 0.98       | 0.20  |
| c=1.25 | 1.23       | 0.18  | 1.23       | 0.21  | 1.23       | 0.23  | 1.22       | 0.25  |

「スタヂア」表

一一〇

「スタヂア」表

| 分<br>数 | 20°    |        | 21°    |        | 22°    |        | 23°    |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|        | 水<br>距 | 平<br>離 | 水<br>距 | 平<br>離 | 水<br>距 | 平<br>離 | 水<br>距 | 平<br>離 |
| 0      | 88.30  | 32.14  | 87.16  | 33.46  | 85.97  | 34.73  | 84.73  | 35.97  |
| 2      | 88.28  | 32.18  | 87.12  | 33.50  | 85.93  | 34.77  | 84.69  | 36.01  |
| 4      | 88.23  | 32.23  | 87.08  | 33.54  | 85.89  | 34.82  | 84.65  | 36.05  |
| 6      | 88.19  | 32.27  | 87.04  | 33.59  | 85.85  | 34.86  | 84.61  | 36.09  |
| 8      | 88.15  | 32.32  | 87.00  | 33.63  | 85.80  | 34.90  | 84.57  | 36.13  |
| 10     | 88.11  | 32.36  | 86.96  | 33.67  | 85.76  | 34.94  | 84.52  | 36.17  |
| 12     | 88.08  | 32.41  | 86.92  | 33.72  | 85.72  | 35.02  | 84.48  | 36.61  |
| 14     | 88.04  | 32.45  | 86.88  | 33.76  | 85.68  | 35.07  | 84.44  | 36.25  |
| 16     | 88.00  | 32.49  | 86.84  | 33.80  | 85.64  | 35.15  | 84.40  | 36.29  |
| 18     | 87.96  | 32.54  | 86.80  | 33.84  | 85.60  | 35.19  | 84.35  | 36.33  |
| 20     | 87.93  | 32.58  | 86.77  | 33.89  | 85.56  | 35.23  | 84.31  | 36.37  |
| 22     | 87.89  | 32.63  | 86.73  | 33.93  | 85.52  | 35.27  | 84.27  | 36.41  |
| 24     | 87.85  | 32.67  | 86.69  | 33.97  | 85.48  | 35.31  | 84.23  | 36.45  |
| 26     | 87.81  | 32.72  | 86.65  | 34.01  | 85.44  | 35.36  | 84.18  | 36.49  |
| 28     | 87.77  | 32.76  | 86.61  | 34.06  | 85.40  | 35.40  | 84.14  | 36.53  |
| 30     | 87.74  | 32.80  | 86.57  | 34.10  | 85.36  | 35.44  | 84.10  | 36.57  |
| 32     | 87.70  | 32.85  | 86.53  | 34.14  | 85.31  | 35.48  | 84.06  | 36.61  |
| 34     | 87.66  | 32.89  | 86.49  | 34.18  | 85.27  | 35.52  | 84.01  | 36.65  |
| 36     | 87.62  | 32.93  | 86.45  | 34.23  | 85.23  | 35.56  | 83.97  | 36.69  |
| 38     | 87.58  | 32.98  | 86.41  | 34.27  | 85.19  | 35.60  | 83.93  | 36.73  |
| 40     | 87.54  | 33.02  | 86.37  | 34.31  | 85.15  | 35.64  | 83.86  | 36.77  |
| 42     | 87.51  | 33.07  | 86.33  | 34.35  | 85.11  | 35.68  | 83.84  | 36.80  |
| 44     | 87.47  | 33.11  | 86.29  | 34.40  | 85.07  | 35.72  | 83.80  | 36.84  |
| 46     | 87.43  | 33.15  | 86.25  | 34.44  | 85.02  | 35.76  | 83.76  | 36.88  |
| 48     | 87.39  | 33.20  | 86.21  | 34.48  | 84.98  | 35.80  | 83.72  | 36.92  |
| 50     | 87.35  | 33.24  | 86.17  | 34.52  | 84.94  | 35.85  | 83.67  | 36.96  |
| 52     | 87.31  | 33.28  | 86.13  | 34.57  | 84.90  | 35.89  | 83.63  | 37.00  |
| 54     | 87.27  | 33.33  | 86.09  | 34.61  | 84.86  | 35.93  | 83.59  | 37.12  |
| 56     | 87.24  | 33.37  | 86.05  | 34.65  | 84.82  | 35.97  | 83.54  | 37.16  |
| 58     | 87.20  | 33.41  | 86.01  | 34.69  | 84.77  | 35.93  | 83.50  | 37.12  |
| 60     | 87.16  | 33.45  | 85.97  | 34.73  | 84.73  | 35.97  | 83.46  | 37.16  |
| C=0.75 | 0.70   | 0.26   | 0.70   | 0.27   | 0.69   | 0.29   | 0.69   | 0.30   |
| C=1.00 | 0.94   | 0.35   | 0.93   | 0.37   | 0.92   | 0.38   | 0.92   | 0.40   |
| C=1.25 | 1.17   | 0.44   | 0.16   | 0.46   | 1.15   | 0.48   | 1.15   | 0.50   |

「スタヂア」表

一一三

「スタヂア」表

| 分<br>数 | 16°    |        | 17°    |        | 18°    |        | 19°    |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|        | 水<br>距 | 平<br>離 | 水<br>距 | 平<br>離 | 水<br>距 | 平<br>離 | 水<br>距 | 平<br>離 |
| 0      | 92.40  | 26.50  | 91.45  | 27.96  | 90.45  | 29.39  | 89.40  | 30.78  |
| 2      | 92.37  | 26.55  | 91.42  | 28.01  | 90.42  | 29.44  | 89.36  | 30.83  |
| 4      | 92.34  | 26.59  | 91.39  | 28.06  | 90.38  | 29.48  | 89.33  | 30.87  |
| 6      | 92.31  | 26.64  | 91.35  | 28.10  | 90.35  | 29.53  | 89.29  | 30.92  |
| 8      | 92.28  | 26.69  | 91.32  | 28.15  | 90.31  | 29.58  | 89.26  | 30.97  |
| 10     | 92.25  | 26.74  | 91.29  | 28.20  | 90.28  | 29.62  | 89.22  | 31.01  |
| 12     | 92.22  | 26.79  | 91.26  | 28.25  | 90.24  | 29.67  | 89.18  | 31.06  |
| 14     | 92.19  | 26.84  | 91.22  | 28.30  | 90.21  | 29.72  | 89.15  | 31.10  |
| 16     | 92.15  | 26.89  | 91.19  | 28.34  | 90.18  | 29.76  | 89.11  | 31.15  |
| 18     | 92.12  | 26.94  | 91.16  | 28.39  | 90.14  | 29.81  | 89.08  | 31.19  |
| 20     | 92.09  | 26.99  | 91.12  | 28.44  | 90.11  | 29.86  | 89.04  | 31.24  |
| 22     | 92.06  | 27.04  | 91.09  | 28.49  | 90.07  | 29.90  | 89.00  | 31.28  |
| 24     | 92.03  | 27.09  | 91.06  | 28.54  | 90.04  | 29.95  | 88.96  | 31.33  |
| 26     | 92.00  | 27.13  | 91.02  | 28.58  | 90.00  | 30.00  | 88.93  | 31.38  |
| 28     | 91.97  | 27.18  | 90.99  | 28.63  | 89.97  | 30.04  | 88.89  | 31.42  |
| 30     | 91.93  | 27.23  | 90.96  | 28.68  | 89.93  | 30.09  | 88.86  | 31.47  |
| 32     | 91.90  | 27.28  | 90.92  | 28.73  | 89.90  | 30.14  | 88.82  | 31.51  |
| 34     | 91.87  | 27.33  | 90.89  | 28.77  | 89.86  | 30.19  | 88.78  | 31.56  |
| 36     | 91.84  | 27.38  | 90.89  | 28.82  | 89.83  | 30.23  | 88.75  | 31.60  |
| 38     | 91.81  | 27.43  | 90.82  | 28.87  | 89.79  | 30.28  | 88.71  | 31.65  |
| 40     | 91.77  | 27.48  | 90.79  | 28.92  | 89.76  | 30.32  | 88.67  | 31.69  |
| 42     | 91.74  | 27.52  | 90.76  | 28.96  | 89.72  | 30.37  | 88.64  | 31.74  |
| 44     | 91.71  | 27.57  | 90.72  | 29.01  | 89.69  | 30.41  | 88.60  | 31.78  |
| 46     | 91.68  | 27.62  | 90.69  | 29.06  | 89.65  | 30.46  | 88.56  | 31.83  |
| 48     | 91.65  | 27.67  | 90.66  | 29.11  | 89.61  | 30.51  | 88.53  | 31.87  |
| 50     | 91.61  | 27.72  | 90.62  | 29.15  | 89.58  | 30.55  | 88.49  | 31.92  |
| 52     | 91.58  | 27.77  | 90.59  | 29.20  | 89.54  | 30.60  | 88.45  | 31.96  |
| 54     | 91.55  | 27.81  | 90.55  | 29.25  | 89.51  | 30.65  | 88.41  | 32.01  |
| 56     | 91.52  | 27.86  | 90.52  | 29.30  | 89.47  | 30.69  | 88.38  | 32.05  |
| 58     | 91.48  | 27.91  | 90.48  | 29.34  | 89.44  | 30.74  | 88.34  | 32.09  |
| 60     | 91.45  | 27.96  | 90.45  | 29.39  | 89.40  | 30.78  | 88.30  | 32.14  |
| c=0.75 | 0.72   | 0.21   | 0.72   | 0.23   | 0.71   | 0.24   | 0.71   | 0.25   |
| c=1.00 | 0.86   | 0.28   | 0.95   | 0.30   | 0.95   | 0.32   | 0.94   | 0.33   |
| c=1.25 | 1.20   | 0.35   | 1.19   | 0.38   | 1.19   | 0.40   | 1.18   | 0.42   |

「スタヂア」表

一一二

「スタヂア」表

「スタヂア」表

| 分<br>数 | 28°    |        |   |   | 29°    |        |   |   | 30°    |        |   |   |
|--------|--------|--------|---|---|--------|--------|---|---|--------|--------|---|---|
|        | 水<br>距 | 平<br>離 | 差 | 高 | 水<br>距 | 平<br>離 | 差 | 高 | 水<br>距 | 平<br>離 | 差 | 高 |
| 0      | 77.96  | 41.45  |   |   | 76.50  | 42.40  |   |   | 75.00  | 43.30  |   |   |
| 2      | 77.91  | 41.48  |   |   | 76.45  | 42.43  |   |   | 74.95  | 43.33  |   |   |
| 4      | 77.86  | 41.52  |   |   | 76.40  | 42.46  |   |   | 74.90  | 43.36  |   |   |
| 6      | 77.81  | 41.55  |   |   | 76.35  | 42.49  |   |   | 74.85  | 43.39  |   |   |
| 8      | 77.77  | 41.58  |   |   | 76.30  | 42.53  |   |   | 74.80  | 43.42  |   |   |
| 10     | 77.72  | 41.61  |   |   | 76.25  | 42.56  |   |   | 74.75  | 43.45  |   |   |
| 12     | 77.67  | 41.65  |   |   | 76.20  | 42.59  |   |   | 74.70  | 43.47  |   |   |
| 14     | 77.62  | 41.68  |   |   | 76.15  | 42.62  |   |   | 74.65  | 43.50  |   |   |
| 16     | 77.57  | 41.71  |   |   | 76.10  | 42.65  |   |   | 74.60  | 43.53  |   |   |
| 18     | 77.52  | 41.74  |   |   | 76.05  | 42.68  |   |   | 74.55  | 43.56  |   |   |
| 20     | 77.48  | 41.77  |   |   | 76.00  | 42.71  |   |   | 74.49  | 43.59  |   |   |
| 22     | 77.42  | 41.81  |   |   | 75.95  | 42.74  |   |   | 74.44  | 43.62  |   |   |
| 24     | 77.38  | 41.84  |   |   | 75.90  | 42.77  |   |   | 74.39  | 43.65  |   |   |
| 26     | 77.33  | 41.87  |   |   | 75.85  | 42.80  |   |   | 74.34  | 43.67  |   |   |
| 28     | 77.28  | 41.90  |   |   | 75.80  | 42.83  |   |   | 74.29  | 43.70  |   |   |
| 30     | 77.23  | 41.93  |   |   | 75.75  | 42.86  |   |   | 74.24  | 43.73  |   |   |
| 32     | 77.18  | 41.97  |   |   | 75.70  | 42.89  |   |   | 74.19  | 43.76  |   |   |
| 34     | 77.13  | 42.00  |   |   | 75.65  | 42.92  |   |   | 74.14  | 43.79  |   |   |
| 36     | 77.09  | 42.03  |   |   | 75.60  | 42.95  |   |   | 74.09  | 43.82  |   |   |
| 38     | 77.04  | 42.06  |   |   | 75.55  | 42.98  |   |   | 74.04  | 43.84  |   |   |
| 40     | 76.99  | 42.09  |   |   | 75.50  | 43.01  |   |   | 73.99  | 43.87  |   |   |
| 42     | 76.94  | 42.12  |   |   | 75.45  | 43.04  |   |   | 73.93  | 43.90  |   |   |
| 44     | 76.89  | 42.15  |   |   | 75.40  | 43.07  |   |   | 73.88  | 43.93  |   |   |
| 46     | 76.84  | 42.19  |   |   | 75.35  | 43.10  |   |   | 73.83  | 43.95  |   |   |
| 48     | 76.79  | 42.22  |   |   | 75.30  | 43.13  |   |   | 73.78  | 43.98  |   |   |
| 50     | 76.74  | 42.25  |   |   | 75.25  | 43.16  |   |   | 73.73  | 44.01  |   |   |
| 52     | 76.69  | 42.28  |   |   | 75.20  | 43.18  |   |   | 73.68  | 44.04  |   |   |
| 54     | 76.64  | 42.31  |   |   | 75.15  | 43.21  |   |   | 73.63  | 44.07  |   |   |
| 56     | 76.59  | 42.34  |   |   | 75.10  | 43.24  |   |   | 73.58  | 44.09  |   |   |
| 58     | 76.55  | 42.37  |   |   | 75.05  | 43.27  |   |   | 73.52  | 44.12  |   |   |
| 60     | 76.50  | 42.40  |   |   | 75.00  | 43.30  |   |   | 73.47  | 44.15  |   |   |
| C=0.75 | 0.66   | 0.36   |   |   | 0.65   | 0.37   |   |   | 0.65   | 0.38   |   |   |
| C=1.00 | 0.88   | 0.48   |   |   | 0.87   | 0.49   |   |   | 0.86   | 0.51   |   |   |
| C=1.25 | 1.10   | 0.60   |   |   | 1.09   | 0.62   |   |   | 1.08   | 0.64   |   |   |

一一五

「スタヂア」表

「スタヂア」表

| 分<br>数 | 24°    |        |   |   | 25°    |        |   |   | 26°    |        |   |   | 27°    |        |   |   |
|--------|--------|--------|---|---|--------|--------|---|---|--------|--------|---|---|--------|--------|---|---|
|        | 水<br>距 | 平<br>離 | 差 | 高 | 水<br>距 | 平<br>離 | 差 | 高 | 水<br>距 | 平<br>離 | 差 | 高 | 水<br>距 | 平<br>離 | 差 | 高 |
| 0      | 83.46  | 37.16  |   |   | 82.14  | 38.60  |   |   | 80.78  | 39.40  |   |   | 79.39  | 40.45  |   |   |
| 2      | 83.41  | 37.20  |   |   | 82.09  | 38.64  |   |   | 80.74  | 39.44  |   |   | 79.34  | 40.49  |   |   |
| 4      | 83.37  | 37.23  |   |   | 82.05  | 38.68  |   |   | 80.69  | 39.47  |   |   | 79.30  | 40.52  |   |   |
| 6      | 83.33  | 37.27  |   |   | 82.01  | 38.71  |   |   | 80.65  | 39.51  |   |   | 79.25  | 40.55  |   |   |
| 8      | 83.28  | 37.31  |   |   | 81.96  | 38.75  |   |   | 80.60  | 39.54  |   |   | 79.20  | 40.59  |   |   |
| 10     | 83.24  | 37.35  |   |   | 81.92  | 38.79  |   |   | 80.55  | 39.58  |   |   | 79.15  | 40.62  |   |   |
| 12     | 83.20  | 37.39  |   |   | 81.87  | 38.83  |   |   | 80.51  | 39.61  |   |   | 79.11  | 40.66  |   |   |
| 14     | 83.15  | 37.43  |   |   | 81.83  | 38.86  |   |   | 80.46  | 39.65  |   |   | 79.06  | 40.69  |   |   |
| 16     | 83.11  | 37.47  |   |   | 81.78  | 38.90  |   |   | 80.41  | 39.69  |   |   | 79.01  | 40.72  |   |   |
| 18     | 83.07  | 37.51  |   |   | 81.74  | 38.94  |   |   | 80.37  | 39.72  |   |   | 78.96  | 40.76  |   |   |
| 20     | 83.02  | 37.54  |   |   | 81.69  | 38.97  |   |   | 80.32  | 39.76  |   |   | 78.92  | 40.79  |   |   |
| 22     | 82.98  | 37.58  |   |   | 81.65  | 39.01  |   |   | 80.28  | 39.79  |   |   | 78.87  | 40.82  |   |   |
| 24     | 82.93  | 37.62  |   |   | 81.60  | 39.05  |   |   | 80.23  | 39.83  |   |   | 78.82  | 40.86  |   |   |
| 26     | 82.89  | 37.66  |   |   | 81.56  | 39.08  |   |   | 80.18  | 39.86  |   |   | 78.77  | 40.89  |   |   |
| 28     | 82.85  | 37.70  |   |   | 81.51  | 39.12  |   |   | 80.14  | 39.90  |   |   | 78.73  | 40.92  |   |   |
| 30     | 82.80  | 37.74  |   |   | 81.47  | 39.15  |   |   | 80.09  | 39.93  |   |   | 78.68  | 40.96  |   |   |
| 32     | 82.76  | 37.77  |   |   | 81.42  | 39.19  |   |   | 80.04  | 39.97  |   |   | 78.63  | 40.99  |   |   |
| 34     | 82.72  | 37.81  |   |   | 81.38  | 39.22  |   |   | 80.00  | 40.00  |   |   | 78.58  | 41.02  |   |   |
| 36     | 82.67  | 37.85  |   |   | 81.33  | 39.25  |   |   | 79.95  | 40.04  |   |   | 78.54  | 41.06  |   |   |
| 38     | 82.63  | 37.89  |   |   | 81.28  | 39.29  |   |   | 79.90  | 40.07  |   |   | 78.49  | 41.09  |   |   |
| 40     | 82.58  | 37.93  |   |   | 81.24  | 39.32  |   |   | 79.86  | 40.11  |   |   | 78.44  | 41.12  |   |   |
| 42     | 82.54  | 37.96  |   |   | 81.19  | 39.35  |   |   | 79.81  | 40.14  |   |   | 78.39  | 41.16  |   |   |
| 44     | 82.49  | 38.00  |   |   | 81.15  | 39.38  |   |   | 79.76  | 40.18  |   |   | 78.34  | 41.19  |   |   |
| 46     | 82.45  | 38.04  |   |   | 81.10  | 39.41  |   |   | 79.72  | 40.21  |   |   | 78.30  | 41.22  |   |   |
| 48     | 82.41  | 38.08  |   |   | 81.06  | 39.44  |   |   | 79.67  | 40.24  |   |   | 78.25  | 41.26  |   |   |
| 50     | 82.36  | 38.11  |   |   | 81.01  | 39.47  |   |   | 79.62  | 40.28  |   |   | 78.20  | 41.29  |   |   |
| 52     | 82.32  | 38.15  |   |   | 80.97  | 39.50  |   |   | 79.58  | 40.31  |   |   | 78.15  | 41.32  |   |   |
| 54     | 82.27  | 38.19  |   |   | 80.92  | 39.53  |   |   | 79.53  | 40.35  |   |   | 78.10  | 41.35  |   |   |
| 56     | 82.23  | 38.23  |   |   | 80.87  | 39.56  |   |   | 79.48  | 40.38  |   |   | 78.06  | 41.39  |   |   |
| 58     | 82.18  | 38.26  |   |   | 80.83  | 39.59  |   |   | 79.44  | 40.42  |   |   | 78.01  | 41.42  |   |   |
| 60     | 82.14  | 38.30  |   |   | 80.78  | 39.62  |   |   | 79.39  | 40.45  |   |   | 77.96  | 41.45  |   |   |
| C=0.75 | 0.68   | 0.31   |   |   | 0.68   | 0.32   |   |   | 0.67   | 0.33   |   |   | 0.66   | 0.35   |   |   |
| C=1.00 | 0.91   | 0.41   |   |   | 0.90   | 0.43   |   |   | 0.89   | 0.45   |   |   | 0.89   | 0.46   |   |   |
| C=1.25 | 1.14   | 0.52   |   |   | 1.13   | 0.54   |   |   | 1.12   | 0.56   |   |   | 1.11   | 0.58   |   |   |

一一四



錄附  
土地異動願屆便覽

附錄 土地異動願届便覽

第一編 地租事務

第一章 土地異動

第一節 土地ノ種類

一 土地ニ官有地、民有地ノ區別アレトモ官有地ハ總テ地租及地方稅ヲ賦課セルモノニシテ國稅事務ニ殆ムト關係ナキヲ以テ茲ニ說明セス

一 民有地ニハ地租其ノ他ノ公課ヲ課スルモノト課セサルモノトアリ其ノ課スルモノヲ有租地ト謂ヒ課セサルモノヲ免租地ト稱ス

一 有 租 地

一 有租地ハ之ヲ區別シテ左ノ二類ト爲ス(地租條例第三條第一項)

第一類地 田、畑、宅地、塩田、鑛泉地

第二類地 池沼、山林、牧場、原野、雜種地

二 免 租 地

一 地租條例ニ於テ免租地ト定メタルモノ左ノ如シ(地租條例第四條)

(一) 國府縣郡市町村其ノ他勅令ヲ以テ指定スル公共團體カ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地但シ該土地カ借地ニシテ借料ヲ支拂フモノナルトキハ免租セス

(二) 府縣都市町村其ノ他勅令ヲ以テ指定スル公共團體カ公用又ハ公共ノ用ニ供スヘキモノト定メタル其ノ所有地但シ其ノ定メタルトキヨリ一箇年以内ニ公用又ハ公共ノ用ニ供セサルトキハ免租セス(公共團體ノ種類及八年勅令第  
一五九號)

勅令ノ指定ニ依ル公共團體ノ種類參照

(府縣組合、郡組合、水利組合、水利組合聯合、市町村組合、町村組合、市町村學校組合、町村學校組合、市町村内ノ區、學區、沖繩縣ノ區、區内ノ部、北海道地方費、北海道ノ區町村内ノ部、北海道土功組合トス)

(三) 府縣社地、鄉村社地、招魂社地 但シ該土地カ借地ニシテ借料ヲ支拂フモノナルトキハ免租セス

(四) 墳墓地

(五) 用惡水路、溜池、堤塘、井溝

(六) 鐵道用地、軌道用地、運河用地

(七) 保安林

(八) 公衆ノ用ニ供スル道路

前各項ノ土地ニハ府縣都市町村其ノ他ノ公共團體ハ租稅其他ノ公課ヲ課スルコトヲ得サルモノナレトモ所有者以外ノ者カ(一)又ハ(二)ノ土地ヲ使用收益スルトキハ其ノ使用者ニ對シ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルモ差支ナキモノトス

二 右以外ニ地租條例又ハ其ノ他ノ法令ニ依リ一定ノ期間地租ヲ免セラル、モノアルモ之等ハ條例ノ所謂免租地ニアラス詳細ハ第二節ニ於テ説明スヘシ

### 第一節 土地異動種別

#### 一 有租地 成

一 官有地ノ拂下、下渡又ハ免租地ノ使用廢止等ニ依リ從來地租ヲ課セサル土地ニシテ地租ヲ課スル土地ト爲リタルモノヲ有租地成ト謂フ

二 地番 官有地拂下、其ノ他ニ依リ新ニ地番ヲ付スヘキ土地ヲ生シタルトキハ其ノ地番ハ當該大字(小字毎ニ地番ヲ付シアル地方ハ小字)ノ最終番ヲ追ヒ其ノ次番ヲ付スルモノトス但シ最終番ヲ付スルカ爲ニ該地ト接續地トノ地番カ著シク隔絶シ取扱上不便ナル場合ハ土地分割ノ例ニ準シ接續地ノ地番ヲ付スルモ妨ケナシ又從來民有地ト通シタル番號ヲ付シアル土地ナルトキハ元番號ヲ以テ其ノ土地ノ地番トスルモノトス

三 地價 地租ヲ課セサル土地ヲ地租課スル土地ト爲シタルトキハ其ノ地ノ現況ニ依リ直ニ其ノ地價ヲ設定ス但シ開拓墾下年期許可申請ニ係ル土地ノ地價ハ現況ニ依ラス開拓前ノ土地ニ相當スル地價ヲ定ムルモノトス(地租條例第十一條第二項第十六條第四項)

四 地租 地價ヲ設定シタルトキハ其ノ設定後ニ開始スル納期分ヨリ地租ヲ徵收ス但シ其ノ納期ニ於テ前年分地租ヲ徵收スヘキ場合ニ於テハ其ノ納期分ノ地租ハ之ヲ徵收セス(地租條例第十五條第二項)

五 届 地租ヲ課セサル土地ヲ地租課スル土地ト爲シタルトキハ届出ツヘキモノナレトモ之ニ關シ豫メ政府ノ許可ヲ受ケ又ハ届出ヲ爲シタルモノニ付テハ更ニ届出ツルニ及ハサルモノトス(地租條例第十一條第一項)

左記ノ場合ニ於テハ土地所有者又ハ納稅義務者ハ三十日以内ニ稅務署長ニ届出ツルモノトス(地租條例施行規則第十三條)

(一) 用惡水路、溜池、堤塘、井溝、水道用地、鐵道用地、軌道用地、運河用地若ハ公衆ノ用ニ供スル道路ノ供用ヲ廢止シタルトキ

(二) 公用又ハ公共ノ用ニ供シ免租セラレタル土地ニシテ其ノ供用ヲ廢止シタルトキ(地租條例第四條第一項第一號該當)

(三) 公用又ハ公共ノ用ニ供スヘキモノト定メ免租セラレタル土地ニシテ一年以内ニ公用若ハ公共ノ用ニ供セサル

トキ(同上第二號)  
該當

二 免租地成

- 一 地租ヲ課スル土地ニシテ地租ヲ課セサル民有地ト爲リタルモノヲ免租地成ト謂フ
  - 二 地租 地租ヲ課スル土地ニシテ地租ヲ課セサル土地ト爲リタルトキハ稅務署長ニ於テ其ノ届出ヲ受ケタル後又ハ主管廳ノ通知ヲ受ケタル後ニ開始スル納期ヨリ地租ヲ免除ス(地租條例第十五條第一項)
  - 三 官地成 民有地ニシテ官有地トナリタルモノハ總テ免租地成ノ例ニ準シテ取扱フモノトス
  - 四 届 地租ヲ課スル土地ヲ地租ヲ課セサル土地ト爲シタルトキハ届出ツヘキモノナレトモ之ニ關シ豫メ政府ノ許可ヲ受ケ又ハ申告ヲ爲シタルモノニ付テハ更ニ届出ツルニ及ハサルモノトス(地租條例第十一條第一項)  
左記ノ場合ニ於テハ土地所有者又ハ納稅義務者ハ三十日以内ニ稅務署長ニ届出ツルモノトス(地租條例施行規則)
    - (一) 地租ヲ課スル土地ヲ用惡水路、溜池、堤塘、井溝、水道用地、鐵道用地、軌道用地、運河用地若ハ公衆ノ用ニ供スル道路ト爲シタルトキ
    - (二) 地租ヲ課スル土地ヲ公用若ハ公共ノ用ニ供シタルトキ(地租條例第四條第一項第一號該當)
    - (三) 地租ヲ課スル土地ヲ公用若ハ公共ノ用ニ供スヘキモノト定メタルトキ(同上第二號該當)
- 三 土地分割
- 一 一筆ノ土地ハ其ノ一部分左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ之ヲ分割スルモノトス(地租條例施行規則第二條)
    - (一) 別地目ト爲ルトキ
    - (二) 地租ヲ課スル土地ニシテ地租ヲ課セサル土地ト爲ルトキ
    - (三) 地租ヲ課セサル土地ニシテ地租ヲ課スル土地ト爲ルトキ
    - (四) 所有者ヲ異ニスルトキ

(五) 質權ノ目的トナルトキ

(六) 百年ヨリ長キ存續期間ノ定メアル地上權ノ目的ト爲ルトキ

(七) 行政區劃ヲ異ニスルトキ

- 二 土地臺帳中一筆ノ外書若ハ内書ト爲シアル墳墓地其ノ他別地目ト爲スヘキモノハ男動ノ時々分割スルモノトス
- 三 從來一筆中ノ一部分ニ對シ分割セシテ荒地免租年期又ハ繼年期等ヲ付與シ置キタルモノハ年期明ニ至リ免租繼年期又ハ低價年期ヲ申請スル場合ニ於テ分割スルモノトス
- 四 地番 一筆ノ土地ヲ分割シテ數筆ト爲シタルトキハ當初一筆タリシトキノ番號一、二、三、四等ノ符號ヲ付シテ各筆ノ番號ト爲スモノトス但シ本番ニ符號アル土地ヲ分割スルトキハ其一筆ニハ從來ノ符號ヲ存シ他ノ各筆ニハ本番最終ノ符號ヲ追ヒ順次符號ヲ付スルモノトス  
宅地ニシテ戶籍番號等ノ關係上元番ニ符號ヲ付スルヲ不便トスル場合ハ元番ヲ其ノ儘トシ其ノ他ニノミ前項ニ準シ符號ヲ付スルモ妨ナシ  
從來ノ地番ニシテ第一項ニ反スル符號即チ一番ノイ、一番ノロ又ハ二番ノ甲、二番ノ乙等ノ如キ符號ヲ付シアルモノハ爾後異動ノ時々之ヲ更正スルモノトス
- 五 反別 分割地ノ反別ハ其一方(二筆以上ニ分ツトキハ一筆ノミヲ殘シ其ノ他ノ各筆)ヲ丈量シ之ヲ臺帳反別ヨリ控除シ其ノ殘額ヲ一方ノ反別トスルモノトス但シ特殊ノ場合ニ於テ分割地ノ双方ヲ丈量シタル結果臺帳反別ト些少ノ差ヲ生シタルトキハ分割増減トシテ整理スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ測量圖ヲ添付届出ツルコトヲ要ス
- 六 地價 分割地ノ地價ヲ定ムルニハ(一)分割地各筆ノ地位同一ナルモノハ各筆ノ反別ニ元地價ヲ乘シ總反別(分割各筆ノ反別ヲ合セタルモノ、普通ノ場合ハ臺帳反別ニ同シ)ヲ以テ之ヲ除シ其ノ土地ノ地價トス(二)各筆ノ地位ニ優劣アルモノハ各其ノ地位相當ノ假地價ヲ計算シ之ニ依リ元地價ヲ按分スルモノトス(三)畦畔石塚等所得ヲ生セサル部分

ヲ有スル土地ハ之ヲ本地ニ量入スルモ地價ハ其ノ面積ヲ控除シタル面積ニ依リ按分スルモノトス  
 右何レノ場合ニ於テモ算出上一錢未満ノ端數ハ各筆毎ニ厘位ヲ四捨五入シテ錢位ニ止メ地價ニ對スル差額ハ適宜分配  
 シ増減差ヲ生セサル様計算スルモノトス但シ各筆ニ按分シタル結果錢位未満トナリタルモノハ何レモ切上々一錢ト爲  
 スヘキモノナルヲ以テ此ノ場合ニ於テハ元地價ヨリ増加スルモノトス(國庫出納金端數計  
 算法第一條第二條)  
 七 等級 分割シタル各筆ノ地位ニ優劣アリテ其ノ地價ヲ相當分配シタル結果從前ノ等級ニ適應セサルニ至リタル場合  
 ハ等級ヲ附セサルモノトス

八 届 土地ヲ分割セントスルトキハ土地所有者ヨリ稅務署長ニ届出ツルモノトス(地租條例施行規  
 則第十四條)  
 九 土地分割届ニハ分割スヘキ一方ノ土地ノ境界點ノ間數ヲ記載シタル地形圖ヲ添付スルモノトス但シ境界點カ屈曲等  
 ニ依リ明カニ知り得サルモノハ間數ノ記入ヲ要セス

四 土地合併

一 接續地ニシテ同一人ノ所有ニ係リ別筆ト爲シ置クノ必要ナキモノハ成ル可ク合併シテ一筆トスルヲ便宜トス  
 二 各種ノ年期ヲ有スル土地ト年期ヲ有セサル土地又ハ年期ノ同一ナラサル土地ハ合併スルコトヲ得ス  
 三 地番 數筆ノ土地ヲ合併シテ一筆ト爲ストキハ合併前ノ地番中首位ニアルモノヲ以テ該地ノ地番ト爲スモノトス但  
 シ宅地ニシテ戶籍番號等ノ關係上之レヲ不便トスル場合ハ合併ノ番號中便宜ノモノヲ合併地ノ地番ト爲スコトヲ得  
 前項首位ノ地番ニシテ從來一、二、三、四等ノ符號以外ノ符號ヲ有シアルトキハ之ヲ更正スルモノトス  
 四 反別 反別ハ丈量ヲ爲サスシテ合併前各筆ノ反別ヲ合計シ之ヲ合併地ノ反別ト爲スモノトス但シ外書畔反別等ハ  
 本地ニ算入シ之ヲ内書トシテ表示スルモノトス  
 五 地價 數筆ノ土地ヲ合併シテ一筆ト爲ストキハ各筆ノ地價ヲ合計シテ其ノ土地ノ地價ト爲スモノトス  
 六 等級 等級ノ異ナル土地ヲ合併シタルトキハ合併前ノ各等級ヲ併記シ置クモノトス

七 届 土地ヲ合併セントスルトキハ土地所有者ヨリ稅務署長ニ届出ツルモノトス(地租條例施行規  
 則第十四條)

五 地目、地類變換

一 第一類地中又ハ第二類地中ノ各地目ヲ變換スルモノヲ地目變換ト謂ヒ第一類地ヲ第二類地ニ變換スルモノヲ地類變  
 換ト謂フ(地租條例第三條  
 第二項、第三項)  
 二 地租 地目ヲ變換シ又ハ地類ヲ變換シタルトキハ直ニ地價ヲ修正ス但シ地價據置年期ノ許可ヲ受ケタルモノハ此限  
 ニ在ラス(地租條例第  
 十條第二項)  
 三 地租 地價修正ヲ爲シタルトキハ其ノ年ヨリ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收ス但シ其ノ年ニ係ル舊地目ニ對スル地租第  
 一期納期開始後地價修正ヲ爲シタルトキハ翌年分地租ヨリ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收ス(地租條例第  
 十四條)  
 四 届 地目ヲ變換シ又ハ地類ヲ變換シタルトキハ三十日以内ニ土地所有者又ハ納稅義務者ヨリ稅務署長ニ届出ツル  
 モノトス荒地免租年期及低價年期以外ノ年期アル土地ヲ變換シタルトキ亦同シ(地租條例施行  
 規則第十三條)但シ森林法其ノ他ニ依  
 リ許可ヲ受クヘキモノニ付テハ許可ノ出願ヲ以テ届出ト看做サル、ヲ以テ更ニ届出ツルニ及ハサルモノトス(地租條例  
 第十條)  
 五 届 地價ヲ修正スヘキ場合ニ於テハ土地所有者又ハ納稅義務者ハ土地ノ測量圖及實地ノ狀況ニ依リ近傍ノ類地ト  
 其ノ地方ヲ比較シ其ノ地價ヲ見積リタル書面ヲ稅務署長ニ提出スヘキモノトス以下地價ヲ定メ又ハ地價ヲ修正スヘキ  
 モノ皆同シ(同第十五條ノ二)

六 地目變換地價據置年期

一 地目ヲ變換シタルトキハ直ニ地價ヲ修正スヘキモノナルモ變換ノ爲メ開墾ニ等シキ勞費ヲ要スルモノハ一定ノ年期  
 間地價ヲ据置キ年期滿了ノ際地價ヲ修正スルモノトス之ヲ地價據置年期ト謂フ(地租條例第十  
 六條第六項)  
 二 年期 地價據置年期ハ四十年トス(同上)

地價据置年期ハ工事著手ノ年ヨリ起算スヘキモノトス

三 年期 地價据置年期明ニ至リ事業成功又ハ地味成熟ニ至ラサルモノニ對シテハ前後通シテ五十年ニ達スルマテ年期延長ノ許可ヲ受クルコトヲ得(明治三十四年法律第三十號)

四 年期 年中ニ於テ荒地免租年期若ハ低價年期ヲ許可セラレタルトキハ其ノ期間ハ地價据置年期中ニ算入セス(明治三十四年法律第三十一號)

五 拋棄 年期進行中地味成熟シタル場合ニ於テハ稅務署長ニ申請シテ殘年期ヲ拋棄スルコトヲ得

六 地目 組替 年期中地目變換シタルトキハ地價ヲ修正セスシテ地目ノミヲ組替フルモノトス(地租條例第十七條)

七 地價 前項ニ依リ地目ヲ組替ヘタル土地ニシテ年期中ニ於テ更ニ地類變換シ又ハ變換前ノ地目ト同一ノ地目ニ變換シタルトキ若ハ年期ヲ拋棄シタルトキハ直ニ地價ヲ修正スルモノトス(地租條例施行規則第四條)

八 地價 同上ノ地目組替地ニシテ變換前ノ地目ト異ナル地目ニ變換シタルトキハ地價ハ之ヲ修正セスシテ地目ノミヲ組替ヘ年期明ニ至リ地價ヲ修正スルモノトス(地租條例第十九條 施行規則第五條)

九 地租 年期中ハ現地價ニヨリ地租ヲ徵收スルモノトス

一〇 地租 年期中地目變換シタルトキハ其ノ年分ヨリ變換地目ニ依リ地租ヲ徵收ス但シ其ノ年ニ係ル舊地目ノ地租第一期納期開始後ニ届出アリタルトキハ翌年分地租ヨリ變換地目ニ依リ地租ヲ徵收スルモノトス(地租條例第十條 第七條第一項)

一一 地租 前項變換地目ニ依リ徵租スヘキ場合ニ於テ新舊地目ノ稅率カ同一ナルトキハ舊地目ニ對スル地租額ヲ新地目ノ稅率ヲ以テ除シ之ヲ新地目ニ對スル地價トシ修正地價ニ依リ徵租スルニ至ルマテ其ノ地價ニ依リ地租ヲ徵收スルモノトス(地租條例第十七條第二項 施行規則第五條第二項)

一二 地租 地價修正ヲ爲シタルトキハ其ノ年ヨリ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收ス但シ其ノ年ニ係ル舊地目(地目ヲ組替ヘタルモノハ其ノ地目)ニ對スル地租第一期納期開始後地價ヲ修正シタルトキハ翌年分地租ヨリ修正地價ニ依リ地租

ヲ徵收ス(地租條例第十四條)

一三 申請 地價据置年期ハ工事若干前ニ稅務署長ニ申請スルモノトス又地價据置年期延長ノ許可ヲ受ケントスルモノハ年期滿了後六十日以内ニ申請スルモノトス(地租條例施行規則第十一條)

一四 屆 地價据置年期明トナリタルトキハ土地ノ所有者又ハ納稅義務者ハ年期滿了後六十日以内ニ稅務署長ニ届出ツルモノトス(同第十五條)

七 開 墾

一 第二類地ニ勞費ヲ加ヘ第一類地ト爲スモノヲ開墾ト謂フ(地租條例第三條第四項)

二 普通 開墾地ハ開墾著手ノ年ヨリ二十一年目ニ至リ地價ヲ修正ス(開墾著手後二十一年日マテノ期間ハ年期ト云フニアラトス)但シ大正八年五月三十一日迄ニ開墾著手シタルモノハ舊規定ニ依リ開墾著手後十年目ニ地價ヲ修正スルモノトス(地租條例第十條第六項)

三 開墾 十年以内ニ成功シ能ハサル開墾ヲ爲サントスルトキハ蹶下年期ノ許可ヲ受クヘシ蹶下年期ハ四十年トス(第十六條第三項)

四 開墾 蹶下年期ハ開墾著手ノ年ヨリ起算スヘキモノトス

五 年期 蹶下年期明ニ至リ事業成功又ハ地味成熟セサルトキハ更ニ前後通シテ五十年ニ達スルマテ年期延長ノ許可ヲ受クルコトヲ得(明治三十四年法律第三十號)

六 年期 普通開墾年期又ハ蹶下年期中ノ土地ニシテ荒地免租年期又ハ低價年期ヲ許可セラレタルトキハ其ノ期間ハ開墾年期中ニ算入セス(明治三十四年法律第三十一號)

七 年期 蹶下年期中地味成熟シタル場合ニ於テハ稅務署長ニ申請シ殘年期ヲ拋棄スルコトヲ得

八 年期 普通開墾年期中又ハ蹶下年期中ニ於テ地目變換シタルトキハ開墾ハ廢止シタルモノトス(地租條例施行規則第三條)

八 地目 普開墾通年期中又ハ墾下年期中ニ於テ開墾成功シタルトキハ地價ヲ修正セシテ地目ノミヲ組替フルモノトス(地租條例第十七條)

九 地目 前項ニ依リ地目ヲ組替ヘタル土地ヲ更ニ地目變換シタルトキハ地價ヲ修正セシテ地目ノミヲ組替フルモノトス(地租條例施行規則第五條)

一〇 地價 普通開墾ハ開墾着手ノ年ヨリ二十一年目ニ至リ其ノ成功ノ部分ニ對シテ地價ヲ修正シ二十一年目ニ成功セサル部分ハ其ノ後成功ノ部分アル毎ニ地價ヲ修正スルモノトス(地租條例第十六條第二項施行規則第八條)

一一 地價 地類變換後五年以内ニ開墾シタルモノニ在リテハ其ノ成功ノ部分ニ對シ直ニ其ノ地價ヲ修正スルモノトス(地租條例第十六條第二項但書)

一二 地價 開墾下年期中ハ年明ノトキ地價ヲ修正シ若シ年期中テ拋棄シタルトキハ直ニ地價ヲ修正シ但シ開墾着手後未タ廿一年ニ達セサルモノヲ拋棄シタルトキハ普通開墾ノ取扱ヲナシ廿一年目ニ於テ地價ヲ修正スルモノトス(地租條例第十九條)

一三 地價 普通開墾年期中又ハ開墾下年期中ニ於テ開墾成功シタルカ爲メ地目ヲ組替ヘタル土地ニシテ其ノ年明滿了前地類變換シタルトキハ直ニ其ノ地價ヲ修正ス(地租條例施行規則第九條)

一四 地租 開墾年期中ハ現地價ニ依リ地租ヲ徵收ス(地租條例第十六條第三項但書)

一五 地租 普通開墾年期中又ハ墾下年期中ニ於テ成功シタル土地及其ノ成功シタル後ニ於テ更ニ地目變換シタル土地ニ付テハ其ノ年分ヨリ新地目ニ依リ地租ヲ徵收ス但シ其ノ年ニ係ル舊地目ニ對スル地租第一期納期開始後届出アリタルトキハ翌年分地租ヨリ新地目ニ依リ地租ヲ徵收ス(地租條例第十條第七項)

一六 地租 前項ニ依リ組替地目ニ依リ地租ヲ徵收スヘキ場合ニ於テ新舊地目ノ稅率カ同一ナラサルトキハ舊地目ニ對スル地租額ヲ新地目ノ稅率ヲ以テ除シ之ヲ新地目ニ對スル地價トシ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收スルニ至ル迄其ノ地價ニ依リ地租ヲ徵收ス(地租條例第十七條第二項施行規則第五條第二項)

一七 地租 地價修正ヲナシタルトキハ其ノ年分ヨリ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收ス但シ其ノ年ニ係ル舊地目(地目ヲ組替ヘタルモノハ其ノ地目)ニ對スル地租第一期納期開始後地價ヲ修正シタルトキハ翌年分ヨリ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收ス(地租條例第十四條)

一八 申請 開墾下年期中ハ工事著手前ニ稅務署長ニ申請スルモノトス又開墾下年期中延長ノ許可ヲ受ケントスルモノハ年明滿了後六十日以内ニ申請スルコトヲ要ス(地租條例施行規則第十一條第十三條)

一九 届 左記ノ場合ニ於テ土地所有者又ハ納稅義務者ヨリ三十日以内ニ稅務署長ニ届出ツルモノトス(地租條例施行規則第十三條)

(一) 開墾ニ著手シタルトキ但シ森林法ニ依リ許可ヲ受ケタルモノハ届出ヲ要セス(地租條例施行規則第十條)

(二) 開墾成功シタルトキ但シ年期中ニ於ケル成功及成功ノ部分アル毎ニ其ノ時々地價修正ヲ爲スヘキ土地ノ成功ヲ含ム

(三) 開墾ヲ廢止シタルトキ

(四) 開墾ノ目的ヲ變更シタルトキ

二〇 届 開墾下年期中明トナリタルトキハ土地所有者又ハ納稅義務者ハ年明滿了後六十日以内ニ稅務署長ニ届出ツヘシ(地租條例施行規則第十五條)

二一 開墾 著手ノトキ届出ヲ爲サスシテ開墾成功シタルモノハ直ニ地價ヲ修正シ發見ノ日ヨリ三年間湖リ地租増差額ヲ追徵セラルルモノトス

八 開 拓 地

一 官有地ヲ開拓シ之ヲ拂下民有ニ歸セシ土地ヲ開拓地ト謂フ(地租條例第十條第六項)

二 年期 開拓地ニハ地味成熟マテノ期間ヲ見積リ二十年ノ墾下年期ヲ付與セラルル年期明ニ至リ尙地味成熟ニ至ラサルトキハ前後通シテ三十年ニ達スルマテ年期延長ノ許可ヲ受クルコトヲ得(同上及明治三十四年法律第三十號)

- 三 年期中荒地免租年期又ハ低價年期ヲ許可セラレタルトキハ其ノ期間ハ繰下年期中ニ算入セス(明治三十四年法律第三十一號)
- 四 年期中事業成功又ハ地味成熟シタル場合ニ於テハ稅務署長ニ申請シ殘年期ヲ拋棄スルコトヲ得
- 五 地番 開拓地ノ地番ハ有租地成ノ例ニ準シテ定ムルモノトス
- 六 地目 地目ハ開拓セル第一類地ノ地目ヲ付スルモノトス
- 七 地目 年期中ニ地目變換シタルトキハ地價ハ修正セスシテ地目ノミヲ組替フルモノトス(地租條例施行規則第五條第一項)
- 八 地價 開拓地ハ其ノ開拓前ノ土地ニ相當ノ地價ヲ設定シ置キ年期明ニ至リ更ニ其ノ地價ヲ修正スルモノトス(地租條例施行規則第四項)
- 九 地價 年期中ニ於テ地類變換ヲ爲シタルトキ又ハ年期ヲ拋棄シタルトキハ直ニ地價ヲ修正ス(地租條例施行規則第四條)
- 一〇 地價 開拓地ニシテ繰下年期ヲ請ハサルトキハ現地目ニ依リ直ニ地價ヲ設定スルモノトス(同第六條)
- 一一 地租 開拓年期中ハ開拓前ノ土地ニ相當ト認メ設定シタル地價ニ依リ地租ヲ徵收スルモノトス
- 一二 地租 年期中地目變換シタルトキハ其ノ年分ヨリ變換地目ニ依リ地租ヲ徵收ス但シ舊地目ニ對スル其ノ年分地租第一期納期開始後届出アリタルトキハ翌年分ヨリ變換地目ニ依リ地租ヲ徵收ス(地租條例施行規則第五條第一項)
- 一三 地租 前項變換地目ニ依リ地租ヲ徵收スヘキ場合ニ於テ新舊地目ノ稅率カ同一ナラサルトキハ舊地目ニ對スル地租額ヲ新地目ノ稅率ヲ以テ除シ之ヲ新地目ニ對スル地價トシ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收スルニ至ル迄其ノ地價ニ依リ地租ヲ徵收ス(同第二項)
- 一四 地租 八後段及九ニ依リ地價ヲ修正シタル土地ハ其ノ年分ヨリ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收ス但シ其ノ年ニ係ル地租第一期ノ納期開始後地價ヲ修正シタルトキハ翌年分地租ヨリ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收ス
- 一五 地租 八前段及一〇ニ依リ地價ヲ設定シタル土地ハ其ノ設定後ニ開始スル納期分ヨリ地租ヲ徵收ス但シ其ノ納期ニ於テ前年分地租ヲ徵收スヘキ場合ニ於テハ其ノ納期分ノ地租ハ之ヲ徵收セス(地租條例第十五條第二項)

- 一六 申請 開拓年期ノ許可ヲ受ケントスル者ハ民有ニ歸セシ後、年期延長ヲ請ハントスル者ハ年期滿了後何レモ六十日以内ニ稅務署長ニ申請スルモノトス(地租條例施行規則第十條第一項、第十二條)
- 一七 届 開拓繰下年期明トナリタルトキハ土地ノ所有者又ハ納稅義務者ハ年期滿了後六十日以内ニ稅務署長ニ届出ツルモノトス(同第十五條)

九 新 開 地

- 一 官有ノ水面ヲ埋立テ又ハ干拓シテ民有ニ歸セル土地ヲ新開地ト謂フ(地租條例第十條第五項)
- 二 年期 新開地ニハ事業ノ狀況ニ依リ地味成熟マテノ期間ヲ見積リ六十年ノ免租年期ヲ許可セラル年期明ニ至リ尙事業成功又ハ地味成熟セサルモノハ更ニ前後通シテ七十年ニ達スルマテノ年期延長ノ許可ヲ受クルコトヲ得(同上及明治三十四年法律第三十號)
- 三 年期 年期中ニ於テ荒地免租年期ノ許可ヲ受ケタルトキハ其ノ期間ハ新開免租年期中ニ算入セス(明治三十四年法律第三十號)
- 四 年期 年期中地味成熟シタル場合ニ於テハ稅務署長ニ申請シ殘年期ヲ拋棄スルコトヲ得
- 五 地番 地番ハ有租地成ノ例ニ準シテ定ムルモノトス
- 六 地價 新開地ハ免租年期中ハ地價ヲ定メス年期明ニ至リ又ハ年期ヲ拋棄シタルトキ地價ヲ設定スルモノトス(地租條例第九條)
- 七 地價 新開地ニシテ免租年期ヲ請ハサルトキハ現況ニ依リ直ニ地價ヲ設定ス(地租條例施行規則第六條)
- 八 地租 地價ヲ設定シタルトキハ其ノ設定後ニ開始スル納期分ヨリ地租ヲ徵收ス但シ其ノ納期ニ於テ前年分地租ヲ徵收スヘキ場合ニ於テハ其ノ納期分ノ地租ハ之ヲ徵收セス(地租條例第十五條第二項、第三項)
- 九 申請 新開地免租年期ヲ請ハントスルモノハ民有ニ歸セシ後、年期延長ヲ請ハントスル者ハ年期滿了ノ後何レモ六十日以内ニ稅務署長ニ申請スルモノトス(地租條例施行規則第十一條第二項、第十二條)



一〇 届 新開地免租年期明トナリタルトキハ土地ノ所有者又ハ納稅義務者ハ年期満了後六十日以内ニ稅務署長ニ届出ツルモノトス(同第十五條)

一〇 荒地免租年期、低價年期

- 一 第一類地タルト第二類地タルトヲ問ハス山崩、川缺、押堀、石砂入、川成、海成、湖水成等ノ如キ天災ニ罹リ其ノ地形ヲ變シタルモノヲ荒地ト謂フ(地租條例第三條)
- 二 荒地免租年期 荒地ハ其ノ被害ノ年ヨリ十五年以内免租年期ヲ許可ス(地租條例第二項)
- 三 再荒 荒地ニシテ免租年期中再ヒ荒地トナリタル土地ノ取扱ハ新ニ荒地トナリタルモノニ同シ再荒ノ爲メ免租年期ヲ許可セラレタルトキハ前ノ年期ハ消滅ス(地租條例施行規則第九條)
- 四 復舊 荒地免租年期明ニ至リタルトキハ原地價ニ復ス但シ改租以前ノ荒地ニシテ無地價ノ土地ハ年期明ノトキ地價ヲ設定ス(地租條例第二十條)
- 五 繼年期 荒地免租年期明ニ至リ尙荒地ノ形狀ヲ存スルモノハ更ニ十五年以内免租年期ヲ定ム之ヲ荒地免租繼年期ト謂フ繼年期明ニ至リタルトキノ處分ハ前項ニ同シ(地租條例第二十三條)
- 六 繼年期 (川海、湖水成) 前項ノ繼年期ハ川成、海成、湖水成ノ荒地ニ付テハ二十年以内トス其ノ年期明ニ至リ原地目ニ復セス他ノ地目ニモ變セサルモノハ川、海、湖即チ官地ニ歸スルモノトス(地租條例第二十四條)
- 七 低價 荒地免租年期明又ハ繼年期明ニ至リ元地價ニ復シ難キモノハ十五年以内ノ期間ニ於テ其ノ狀況ニ依リ地價七割以下ヲ低減スルコトヲ得之ヲ低價年期地ト謂フ低價年期明ニ至リタルトキハ原地價ニ復ス但シ原地價ニ復シ難キモノハ其ノ狀況ニ依リ地價ヲ修正ス(地租條例第二十一條)

八 變換 荒地免租年期、同繼年期又ハ低價年期中ニ於テ土地ノ形狀ヲ變更シ原地目ト異ナル土地トナルモ變換又ハ開墾ト看做サス年期明ニ至リ其ノ地目ニ對シ現況ニ依リ地價ヲ修正ス之ヲ變換起返ト謂フ(地租條例第二十二條)

九 拋棄 荒地免租年期、同繼年期及低價年期中復舊シタル場合ニ於テハ稅務署長ニ申請シテ殘年期ヲ拋棄スルコトヲ得

一〇 地租 荒地免租年期ヲ許可シタルトキハ稅務署ニ於テ申請ヲ收受シタル後ニ開始スル納期分ヨリ地租ヲ免除ス

(地租條例第十五條)

- 一 地租 荒地免租年期復舊ノ土地ハ其ノ年分ヨリ地租ヲ徵收シ年期拋棄ニ係ル復舊ノ土地ハ年期拋棄以後ニ開始スル納期分ヨリ地租ヲ徵收ス但シ年期拋棄以後ニ開始スル納期ニ於テ前年分地租ヲ徵收スヘキ場合ニ於テハ其ノ納期分ノ地租ハ之ヲ徵收セス(地租條例第十五條)
- 二 地租 荒地免租年期明又ハ同繼年期明ニ至リ變換起返ノ爲メ地價修正シタルモノ及改租以前ノ荒地ニシテ年期明ニ至リ地價ヲ設定シタルモノハ地價設定又ハ修正ノ後ニ開始スル納期分ヨリ地租ヲ徵收ス但シ其ノ納期ニ於テ前年分地租ヲ徵收スヘキ場合ニ於テハ其ノ納期分ノ地租ハ之ヲ徵收セス(地租條例第十五條)
- 三 地租 低價年期ヲ許可シタルトキハ稅務署ニ於テ申請ヲ收受シタル後ニ開始スル納期分ヨリ地租ヲ徵收ス但シ其ノ納期ニ於テ前年分地租ヲ徵收スヘキ場合ニ於テハ其ノ納期分ノ地租ハ之ヲ徵收セス(同上)
- 四 地租 低價年期明ニ依リ地價修正ヲ爲シタルモノハ其ノ年分ヨリ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收ス但シ其ノ年ニ係ル地租第一期納期開始後地價修正ヲ爲シタルモノハ翌年分地租ヨリ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收ス(地租條例第十四條)
- 五 申請 荒地免租年期ノ許可ヲ受ケントスル者ハ稅務署長ニ申請スルモノトス申請ニ付テハ別ニ期間ナキモ地租ハ申請書收受ノ時ヨリ免除セラレルモノナルヲ以テ被害後可成速ニ申請スルヲ利益トス(地租條例施行規則第十一條)
- 一六 申請 荒地免租繼年期又ハ低價年期ノ許可ヲ受ケントスル者ハ年期満了後六十日以内ニ稅務署長ニ申請スルモノ

トス(第十二條)

一七 屆 左ノ場合ニ於テハ土地所有者又ハ納稅義務者ハ六十日以内ニ稅務署長ニ届出ツヘシ(同第十五條)

- (一) 荒地免租年期明、同繼年期明又ハ低價年期明ニ至リ他ノ地目ニ變シタルトキ
- (二) 荒地免租繼年期明ニ至リ川、海、湖ニ歸シタルトキ
- (三) 低價年期明ニ至リ原地價ニ復シ難キトキ

一一 造林地及砂防地

- 一 森林法施行以前ヨリ荒廢ニ屬シタル森林ニ付キ新ニ造林シタルトキ若ハ原野、山岳又ハ荒蕪地ニ新ニ造林シタルトキハ其造林シタル部分ニ限り地租ノ免除ヲ受クルコトヲ得(森林法第十二條)
- 二 造林地免租年期ハ造林ヲ爲シタル年ヨリ三十年以内ニシテ造林ノ難易、植栽樹種、地味ノ良否、交通ノ便否等ヲ斟酌シテ概略左ノ標準ニ依ルモノトス(森林法第十二條及明治四十一年農商務省訓令第四號)
  - (一) 喬林ヲ仕立ツル目的ヲ以テ植樹シタルモノハ十五ヶ年以上三十ヶ年以内
  - (二) 中林ヲ仕立ツル目的ヲ以テ植樹シタルモノハ十ヶ年以上二十ヶ年以内
  - (三) 矮林ヲ仕立ツル目的ヲ以テ植樹シタルモノハ十ヶ年以内
  - (四) 前各號ノ外利用ヲ目的トセサル植樹ニアリテハ三十ヶ年以内
- 三 造林地免租年期 一筆ノ造林地ニ數種ノ植樹ヲ爲シタル場合ノ造林地免租年期ハ左ノ區分ニ依ルモノトス
  - (一) 一林種中ニ在リテハ樹種別ニ年期ヲ異ニセサルコト
  - (二) 林種ヲ異ニシ林種別ニ年期ヲ異ナラシムル必要アル場合ハ年期ノ異ナル毎ニ分筆スルコト但シ林種別ニ年期區分ヲ必要トセサルトキハ林種毎ニ算出シテ之ヲ平均シタル年期ト爲スコト
- 四 土地臺帳ノ地目カ田畑又ハ宅地ナルモ森林法施行以前ヨリ荒蕪地ニ委セラレタルカ或ハ原野ノ状態ヲ爲セシ土地ニ

造林地免租年期ヲ許可スル場合ハ先ツ第二類地ニ地類變換ノ取扱ヲ爲スモノトス

- 五 地租 造林地免租年期ヲ許可シタルトキハ稅務署ニ於テ申請ヲ收受シタル以後ノ納期分ヨリ地租ヲ免除ス
- 六 申請 造林地免租年期ノ許可ヲ受ケントスル者ハ稅務署長ニ申請スルモノトス(明治四十一年大藏省令第一號)
- 七 砂防法ニ依リ一定ノ行爲ヲ禁止又ハ制限セラレタル土地ニ對シテハ地租ノ免除又ハ低減ヲ受クルコトヲ得(砂防法第十一條及明治三十二年勅令第三七四號第一條)
- 八 免租期間 砂防法ニ依ル地租免除又ハ輕減ノ期間ハ免除又ハ輕減ノ申請ヲ稅務署ニ於テ收受シタル日以後ニ開始スヘキ納期分ヨリ免除ニ付テハ一定ノ行爲ノ禁止又ハ制限解除ニ因リ地價設定シタル日輕減ニ付テハ一定ノ行爲又ハ制限解除ノ日以前ニ開始シタル納期分マテトス(明治三十二年勅令第三七四號第三條)
- 九 申請 砂防法ニ依リ地租ノ免除又ハ輕減ヲ受ケントスルモノハ一定ノ行爲ヲ禁止シ又ハ制限セラレタル日ヨリ三十日以内ニ稅務署長ニ申請スルモノトス(明治三十二年勅令第三七四號第四條)
- 一〇 砂防法ニ依リ輕減セラレタル地租額ハ之ニ對スル地價額ヲ算出シ明治三十七年法律第十二號第二條ノ地價合計額ニ加除シ計算スルモノトス

一一 誤謬訂正

- 一 土地臺帳又ハ地圖ノ記載事項ニ誤謬アルコトヲ發見シ之ヲ訂正セントスルトキハ證憑ヲ添ヘ稅務署長ニ申請シテ許可ヲ受クルモノトス
- 證憑トナルヘキモノ左ノ如シ
  - (一) 公證又ハ登記ヲ經タルモノニ係ルトキハ其ノ書類
  - (二) 公證又ハ登記ヲ經サルモノナルトキハ戶籍謄本又ハ抄本(氏名ハ住所ノ誤謬ニ關シ)
  - (三) 其ノ他誤謬ノ事實ヲ確認シ得ヘキ書類

二 反別ニ於テモ丈量上ノ差ヲ生スルハ已ムヲ得サルコトナルヲ以テ臺帳面ト僅少ノ差ニ過キサルモノハ誤謬ト認メ難キニ依リ特別ノ事情アルモノノ外概略左ノ標準以上ノモノニ付テノ訂正ノ手續ヲ爲サシムルモノトス

宅地、鑛泉地 百分ノ五  
其他ノ第一類地 百分ノ十  
第二類地 百分ノ二十

三 反別訂正ヲ申請スルトキハ隣地各地主ニ於テ境界ニ付キ異議ナキコトノ證明ヲ要スルモノトス

四 地圖ノ誤謬ニシテ境界線ニ關係アルモノハ關係地主連署申請シ若シ御料地國有地等ナルトキハ主管廳ノ證明ヲ要ス

五 反別誤謬ノ訂正ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ土地ノ地價額カ反別ノ比例ヲ以テ算出シタルモノナルトキハ地價モ之ニ伴ヒ誤謬トナリタルモノナルヲ以テ同時ニ其ノ地價ヲ更正スルモノトス

六 事實部落有林野ニシテ私人名義ノモノ又ハ個人有林野ニシテ部落有名義トナリ居ルモノニシテ未登記ノ土地ハ其ノ誤謬ヲ確認シ得ヘキ書類ヲ具シ土地臺帳ノ訂正ヲ出願スルモノトス但シ既登記ノ土地ハ先ツ登記ノ抹消ヲ爲シタル上本文ノ手續ヲ爲スモノトス

一三 土地臺帳面住所氏名ノ異動

一 土地臺帳記載ノ所有者買取主又ハ地上權者ノ住所氏名ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ時々之ヲ稅務署長ニ届出ツルモノトス(土地臺帳施行細則第二條)  
前項届出ノ際ハ戸籍ノ謄本又ハ抄本若ハ改名ノ指令等ヲ添付スルモノトス

一四 耕地整理

一 耕地整理施行又ハ耕地整理組合設立ノ認可アリタルトキハ整理施行者ハ工事ニ着手スル以前ニ現形圖ヲ添ヘ左記ノ事項ヲ稅務署長ニ申告スルモノトス其ノ變更ヲ生シタルトキ亦同シ(耕地整理法施行規則第十條)

(一) 整理施行地ノ屬スル郡、市町村並土地ノ字、番號及水面ノ位置、面積

(二) 整理施行若ハ整理組合設立又ハ整理施行地區變更認可ノ年月日

(三) 工事施行後ニ於ケル土地ノ筆數及面積ノ地目別合計ノ豫定

(四) 耕地整理法第十五條第一號第二號ノ土地アルトキハ耕地整理法施行規則第五條ニ依リ定メタル假地價

(五) 工事ノ着手及完了ノ豫定期

二 耕地整理區域内ニ一筆ノ一部ヲ編入シタル土地アルトキハ前項ノ申告ト共ニ分筆ノ手續ヲ爲スモノトス(同第十條第二項)

三 工事ニ着手シ又ハ工事完了シタルトキハ整理施行者ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ稅務署長ニ届出ツルモノトス(同第十條第一項)

四 規約ヲ以テ整理施行區域ヲ數區ニ分チタル場合ニ於テハ各區毎ニ第二號第三號ノ手續ヲ爲スモノトス(同第十條第二項)

五 整理法第十四條及第十五條第一號但書、第二號ノ規定ニ依リ地價ノ修正又ハ設定ヲ要スル土地ニ付テハ整理施行者ハ從前ノ土地ノ字、番號、地目、面積及修正又ハ設定地價ノ見積額ヲ記シタル書面並從前ノ土地及工事施行後ニ於ケル土地各筆ノ區域ヲ表示シタル圖面ヲ作り工事完了ノ届出ト共ニ所轄稅務署長ニ提出スヘキモノトス但シ地價ノ見積ニ付テハ評議員ヲ置ク組合ニアリテハ評議員會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス(同第十二條第二項)

六 整理法第十五條第一號ノ提出ニ依リ地價ノ修正又ハ設定シタル場合ニ於テ工事完了前事業ノ廢止又ハ耕地整理組合ノ解散ノ爲工事ノ利益ヲ受クルコト能ハサル土地ニ付テハ廢止又ハ解散ノ時ヨリ地價ノ修正又ハ設定ナカリシモノト看做スモノトス地區ノ變更ニ依リ地區外ニ除斥セラレタル土地亦同シ(同第十條第五項)

七 整理法第十四條ノ場合ニ於テ修正地價總額ガ原地價總額ヨリ減少スルトキハ修正地價總額ヲ以テ現地價總額ト爲スモノトス

八 整理地區ニ編入シタル土地中外書免租地タル墓地等ニシテ工事完了ノトキ地租ヲ課スヘキ土地トナルモ整理法第十四條第四項ニ依リ地價ヲ設定セサルモノトス

- 九 整理法第十五條第二號ハ工事完了ノトキ現ニ荒地免租年期又ハ低價年期ヲ有スルモノニ限り適用スヘキモノナルヲ以テ工事完了前ニ年期滿了シタルモノハ地租條例ニ依リ相當處理スルモノトス
- 一〇 工事完了ノトキ荒地免租年期又ハ低價年期ヲ有スル土地ニシテ地價修正當時民有ノ免租地トナリタルモノハ雜種地ノ地目ヲ附シテ地價ヲ修正スルモノトス
- 一一 整理法第十四條ノ二ニ該當スル土地ニ對シテハ地價ノ配賦ヲ爲サス年期明ニ至リ地價ヲ設定スルモノトス(耕地整理法第十四條ノ二)
- 一二 整理地區内ノ民有土地總面積(民有ノ第一、二類地ノ合計面積)ノ五分ノ一以上ニ當ル土地ニ付開墾又ハ地目變換(開墾ノ五分ノ一又ハ地目變換ノ五分)シタル場合ニ於テハ開墾シタル土地ニ付テハ工事著手ノ年ヨリ四十年變換シタル土地ニ付テハ工事完了ノ年ヨリ六年ノ耕地整理地價據置年期ヲ許可セラル又開墾シタル土地ニシテ年期明ニ至リ工事完了迄又ハ地味成熟セサルハ更ニ工事完了迄又ハ十年以内ノ年期延長ヲ許可セラルヘシ(耕地整理法第十四條)但シ地目變換ヲ爲シタル場合ニ於テ修正地價ニ依リ算出シタル地租額カ現地價ニ依リ算出シタル地租額ヨリ少キハ地價據置年期ヲ附與セサルモノトス(同條第ニ項)
- 一三 前項ノ場合ニ於テ開墾ニ等シキ勞費ヲ要スル地目變換ハ開墾ト同一ノ取扱ヲ受クルモノトス(同上)
- 一四 耕地整理ノ施行ニ依リ其ノ地區内ニ於ケル國有ノ森林、原野若ハ荒蕪地ヲ開拓シテ(國有林野法若ハ官有地取扱規則ニ依ルモノ)第一類地ト爲シタルトキ又ハ國有ノ水面ヲ埋立又ハ干拓シテ民有地ト爲シタルトキハ埋立地又ハ干拓地ニ付テハ六十年、其ノ他ノ土地ニ付テハ二十年ノ耕地整理新開免租年期ヲ許可セラル又年期明ニ至リ地味成熟セサルトキハ更ニ十年以内ノ年期延長ノ許可ヲ受クルコトヲ得(同第十四條ノ二)
- 一五 耕地整理地價據置年期又ハ耕地整理新開免租年期ノ許可ヲ受ケントスル者ハ工事完了ノ届出ヲ爲シタル後三十日以内ニ稅務署長ニ申請スルモノトス此ノ場合ニ於テハ整理施行者ハ代リテ其ノ申請ヲ爲スコトヲ得(施行規則第十五條ノ二)
- 一六 前項年期延長ノ許可ヲ受ケントスル者ハ年期滿了後六十日以内ニ稅務署長ニ申請スルモノトス(同上)

一七 整理施行中ノ地租ハ其ノ整理地區ノ全部ニ付キ土地臺帳ノ整理ヲ了スルマテ從前ノ地域、地目及地價ニ依リ之ヲ徵收ス(耕地整理法第十三條第四項)

一八 換地處分ニ關スル認可ノ告示アリタルトキハ整理施行者ハ地價配當案ニ地方長官ノ認可書謄本、換地説明書及整理確定圖ヲ添付シ所轄稅務署長ニ差出シ地價ノ配賦ヲ受クルモノトス地價ノ配賦方法ハ耕地整理法ノ定ムル所複雜ニシテ簡單ニ説明シ難キモ例ヲ以テ之ヲ示セハ左ノ如シ(施行規則第十六條)

(第一表) 一 整理施行前ノ地目、面積、地價、地租、筆數

| 地目  | 面積     | 地價        | 地租     | 筆數 |
|-----|--------|-----------|--------|----|
| 田   | 1,700  | 1,700,000 | 17,000 | 10 |
| 畑   | 1,000  | 1,000,000 | 10,000 | 10 |
| 宅地  | 500    | 100,000   | 5,000  | 5  |
| 山林  | 1,000  | 1,500,000 | 0,200  | 3  |
| 計   | 3,200  | 3,100,000 | 33,000 | 28 |
| 國道  | 1,000  | -         | -      | 1  |
| 有溝渠 | 1,000  | -         | -      | 1  |
| 地計  | 4,000  | -         | -      | 1  |
| 合計  | 11,200 | 4,100,000 | 46,000 | 36 |

- 一 整理施行ニ依リ別ニ地價ヲ修正スヘキ異動ヲ爲ササルモノハ其ノ従前ノ地價ヲ採用スルモノトス
  - 二 整理法第十四條第一項該當ノ土地ハ修正地價ト原地價總額トノ差額ノ平均額ヲ五分ノ一ヲ超過スル面積ニ乗シタル額ヲ原地價總額ニ加ヘタルモノニ依リ同法第十五條第一、第二號ノ該當地ハ修正額ニ依リ掲上スルモノトス但シ第十四條第一項ノ場合ニ於テ成功地目ノ稅率ニ差違アルトキハ地租ノ平均額ヲ現在地租額ニ加算スルモノトス
  - 三 整理法第十五條第一號第二號ノ修正又ハ設定シタル地價ヲ採用スルモノトス
  - 四 整理法第十四條第四項ノ土地ヲ算入シ同法第十四條ノ二該當地ヲ除外スルモノトス
  - 五 宅地々價修正第二十條ニ依リ地價ノ修正ヲ爲ササルモノハ同法第二十二條第一項第二號ニ依リ更正シタル地價ニ依ルモノトス但シ舊整理法ニ依ルモノニシテ組合ニ變更セサルモノハ同條ノ更正地價ヲ以テセス原地價ニ依ルモノトス
  - 六 整理法第十三條第一項ニヨリ配賦スヘキ場合ハ地租ノ調理ヲ要セス以下各表亦同シ同條第二項ニ依リ配賦スヘキ場合ハ第四、五、六、七表ノ地價ノ調理ヲ要セス
  - 七 地租ハ租率ヲ同フスル土地ノ現地價合計額ニ依リ算出スルモノトス(國庫出納金端數計算法摘要以下第(四、五、六表ノ租額算出ノ場合同斷))
  - 八 畦畔ハ内外書トモ便宜上ナキモノトシテ例示セリ以下皆同シ
- 二 整理施行後ノ地目、面積、筆數

| 田 | 地 | 目 | 面 | 積      | 筆 | 數  |
|---|---|---|---|--------|---|----|
|   |   |   |   | 二、五〇〇〇 |   | 二五 |

| 合 | 國有地 |   |   | 宅 | 畑      | 計  |
|---|-----|---|---|---|--------|----|
|   | 道   | 溝 | 計 |   |        |    |
| 計 | 路   | 渠 | 計 | 地 |        |    |
|   |     |   |   |   | 八〇〇    | 八  |
|   |     |   |   |   | 三〇〇〇   | 五  |
|   |     |   |   |   | 二、三〇〇〇 | 三八 |
|   |     |   |   |   | 四、一〇〇〇 | 三八 |

三 整理施行前後ニ於ケル耕地整理法第十一條第一項第二項ノ土地比較

| 施行前ニ於ケル面積合計 | 施行後ニ於ケル面積合計 | 差 | 引 | 増 | 面 | 積     |
|-------------|-------------|---|---|---|---|-------|
| 三、〇〇〇       | 五、〇〇〇       |   |   |   |   | 二、〇〇〇 |

四 整理法第十三條但書ニ依ル整理施行地ノ現地價ノ平均額

| 施行後ノ民有面積 | 現地價合計  | 現地租合計  | 地價反    | 地歩當 | 租    |
|----------|--------|--------|--------|-----|------|
| 三、八〇〇    | 八〇、五〇〇 | 三三、〇〇〇 | 二一、〇〇〇 |     | 八、五〇 |

備考

一 工事完了當時ニ於ケル民有地積(法第十一條第一項)ニ法第十一條第二項ニ該當スル土地ノ面積ヲ加ヘ同條第一項

- ニ該當スル土地ノ面積ヲ控除シタルモノヲ掲クルモノトス
- 二 法第十三條第二項ニ依リ地租ヲ以テ配賦スル場合ハ第一項ニ準シ現地價ニ依リ算出シタル地租額ヨリ其ノ平均額ヲ面積ノ差額ニ乗シタル額ヲ控除シ配賦地租ノ合計額ヲ定ムルモノトス
- 五 整理法第十一條ノ土地ノ差引増加面積ニ對スル地價地租

| 増加面積 | 反歩 |        | 當算  |   | 出地     |   | 額租    |
|------|----|--------|-----|---|--------|---|-------|
|      | 地  | 價      | 地   | 租 | 地      | 價 |       |
| 1000 |    | 21,090 | 840 |   | 41,140 |   | 1,260 |

六 整理法第十三條第一項但書ノ平均地價、地租ヲ控除シタル配賦スヘキ地價地租

| 地 | 價       | 地 | 租       |
|---|---------|---|---------|
|   | 757,310 |   | 310,200 |

- 七 每筆ニ現地價ヲ按分シテ配賦スヘキモノナルモ配賦率ヲ求メ之ニ依リ地價配賦ヲ爲スヲ便宜トス
- 八 換地每筆ニ對シ前項ノ配賦率ヲ適用シ地價ヲ算出スルモノトス

一 反歩當配賦率ヲ以テ地價ヲ算出スレハ左ノ如シ

| 字  | 地番 | 地目 | 等位 | 面積   | 評定價格    | 地價配賦ノ例 | 地租配賦ノ例 | 同上換算地價 | 備考 |
|----|----|----|----|------|---------|--------|--------|--------|----|
| 何々 | 一田 |    | 一  | 1100 | 140,000 | 21,700 | 1,710  | 38,000 |    |
|    | 二田 |    | 一  | 700  | 108,000 | 24,910 | 998    | 33,170 |    |
|    | 三田 |    | 一  | 1500 | 335,000 | 53,380 | 2,238  | 47,510 |    |

|  |     |  |   |      |         |        |       |        |  |
|--|-----|--|---|------|---------|--------|-------|--------|--|
|  | 四田  |  | 一 | 500  | 75,000  | 17,790 | 723   | 15,840 |  |
|  | 五田  |  | 一 | 1100 | 135,000 | 39,140 | 1,568 | 34,840 |  |
|  | 六宅地 |  | 一 | 600  | 60,000  | 14,130 | 570   | 33,800 |  |
|  | 七宅地 |  | 一 | 400  | 40,000  | 9,490  | 380   | 15,200 |  |
|  | 八畑  |  | 一 | 500  | 40,000  | 9,490  | 380   | 8,440  |  |
|  | 九畑  |  | 一 | 1000 | 100,000 | 18,980 | 760   | 16,880 |  |
|  | 一〇畑 |  | 一 | 1500 | 110,000 | 28,470 | 1,120 | 25,350 |  |
|  | 一一田 |  | 二 | 700  | 70,000  | 16,610 | 665   | 14,790 |  |
|  | 一二田 |  | 二 | 800  | 80,000  | 18,980 | 760   | 16,880 |  |
|  | 一三田 |  | 二 | 800  | 80,000  | 18,980 | 760   | 16,880 |  |
|  | 一四田 |  | 二 | 1100 | 110,000 | 28,470 | 1,120 | 25,350 |  |
|  | 一五田 |  | 二 | 1500 | 150,000 | 39,140 | 1,568 | 34,840 |  |
|  | 一六田 |  | 二 | 1000 | 100,000 | 24,910 | 998   | 22,110 |  |
|  | 一七畑 |  | 二 | 800  | 40,000  | 9,490  | 380   | 8,440  |  |
|  | 一八畑 |  | 二 | 1300 | 65,000  | 15,410 | 618   | 13,730 |  |
|  | 一九畑 |  | 二 | 900  | 45,000  | 10,760 | 428   | 9,510  |  |



| 計         | 田        | 田         | 田       | 畑       | 畑       | 宅地      | 宅地       |
|-----------|----------|-----------|---------|---------|---------|---------|----------|
| 一         | 一        | 二         | 三       | 一       | 二       | 一       | 二        |
| 三、六〇〇〇    | 五〇〇〇     | 一、〇〇〇     | 一、〇〇〇   | 三、〇〇〇   | 五、〇〇〇   | 一、〇〇〇   | 一、〇〇〇    |
| 一         | 一、九〇、〇〇〇 | 一〇〇、〇〇〇   | 七〇、〇〇〇  | 八〇、〇〇〇  | 五〇、〇〇〇  | 八〇、〇〇〇  | 一〇〇、〇〇〇  |
| 三、一〇〇、〇〇〇 | 七五、〇〇〇   | 一、〇〇〇、〇〇〇 | 三〇〇、〇〇〇 | 二二〇、〇〇〇 | 二五〇、〇〇〇 | 一〇〇、〇〇〇 | 一、〇〇、〇〇〇 |
| 一         | 三五、五九〇   | 三、七五〇     | 一六、六六〇  | 一八、九八〇  | 一一、八六〇  | 二、七三〇   | 一八、九八〇   |
| 一         | 一、四三五    | 九五〇       | 六六五     | 七六〇     | 四七五     | 九五〇     | 七六〇      |

備考

一 配賦スヘキ總地價又ハ總地租ニ各地目等位毎ノ換地一反歩當ノ評定價格ヲ乘シ換地ノ評定總價格ヲ以テ之ヲ除シ一反歩當ノ配賦率ヲ算出スルモノトス

二 地價ハ厘位ヲ四捨五入シテ錢位ニ地租ハ毛位ヲ四捨五入シテ厘位ニ止ムルモノトス

(二) 評定價格十圓當配賦率算出方法

換地ノ評定總價格ヲ以テ配賦スヘキ總地價又ハ總地租ヲ除シ評定價格十圓當配賦率ヲ算出スルモノトス

一九 地價配賦了シタルトキハ其地價ニ依リ地租ヲ徵收スヘキモノナレトモ耕地整理法第十四條及第十五條ノ開墾變換、其他地租ノ免除又ハ輕減ニ關スル各種ノ年期ヲ有スル土地ニシテ工事完了ノトキニ於テ尙年期ヲ經過セサルモノアルトキハ從前ノ地租ト修正地租トノ差額ノ利益若ハ負擔又ハ地租ノ免除ヲ受クヘキモノナルヲ以テ事業關係者ハ協

議ノ上其ノ利益、負擔又ハ免除ヲ受クヘキ土地及金額ヲ定メ協議一致シタルコトヲ證スル書面ヲ添へ地價配賦ヲ受ケタル後遲滞ナク稅務署長ニ届出ツルモノトス但シ協議一致セサルトキハ稅務署長ニ於テ決定スルモノナルヲ以テ協議一致セサルコトヲ證スル書面ヲ添付シテ其ノ旨届出ツヘキモノトス利益又ハ負擔ヲ受クヘキ金額ノ計算例左ノ如シ

(耕地整理法第十六條 施行規則第十七條)

(第二表) 一 負擔又ハ利益ヲ受クヘキ金額ノ計算

| 種目   | 原  |    | 地  |        | 正     |       | 摘要               |
|------|----|----|----|--------|-------|-------|------------------|
|      | 地目 | 地價 | 地租 | 地價     | 地租    |       |                  |
| 開拓   | 山林 | 八〇 | 一〇 | 三三、〇〇〇 | 一、三二〇 | 一、三二〇 | 大正九年著手<br>大正九年マテ |
| 開拓   | 畑  | 八〇 | 一〇 | 一一、〇〇〇 | 五五〇   | 五五〇   | 大正八年マテ<br>大正九年ヨリ |
| 開拓   | 畑  | 八〇 | 一〇 | 二、三〇〇  | 一、三二〇 | 一、三二〇 | 大正七年マテ<br>大正七年マテ |
| 荒地免租 | 、  | 、  | 、  | 、      | 、     | 、     | 、                |
| 、    | 、  | 、  | 、  | 、      | 、     | 、     | 、                |
| 、    | 、  | 、  | 、  | 、      | 、     | 、     | 、                |

備考

一 地租ハ年期ノ異ナル毎租率ヲ同フスル地價ノ合計ニ依リ算出シ國庫出納金端數計算法ヲ適用スルモノトス

二 利益(又ハ負擔)ヲ受クヘキ土地及其ノ金額ノ定メ方

| 摘要   | 字 | 地番 | 地目 | 反別   | 配賦地價    | 利益ヲ受クヘキ金額 | 同上ニ對スル地價 | 期      | 間 |
|------|---|----|----|------|---------|-----------|----------|--------|---|
| 元開墾地 | 何 | 二四 | 田  | 一〇〇  | 二八、四七〇  | 八九〇       | 一、七〇     | 大正九年マテ |   |
| 同    | 、 | 二九 | 田  | 一〇〇〇 | 一、六、三二〇 | 五五〇       | 一、一〇〇    | 同      |   |



|      |   |   |   |      |        |     |        |        |
|------|---|---|---|------|--------|-----|--------|--------|
| 元開拓地 | 、 | 三 | 畑 | 1100 | 15,110 | 500 | 11,000 | 大正八年マテ |
| 元荒地  | 、 | 二 | 田 | 400  | 13,180 | 400 | 8,880  | 大正七年マテ |
| 同    | 、 | 一 | 田 | 1000 | 13,700 | 910 | 10,110 | 同      |

二〇 耕地整理ノ爲メニスル開墾、地目變換其他ノ區劃形狀ノ變更又ハ道路、堤塘、溝渠、溜池等ノ變更廢置ニ關スル届又ハ地價修正等ニ就テハ地租條例ニ於ケル普通ノ方法ヲ適用セサルモノニシテ何レモ前各號以外ニ特別ノ取扱方アルモ市町村ニ直接關係ナク且煩雜ナルヲ以テ之ヲ略ス詳細ハ耕地整理法ヲ参照スルモノトス

一五 災害地々租免除

一 府縣ノ全部又ハ一部ニ亘ル災害又ハ天候不順ニ因リ收穫皆無ニ歸シタル田畑ノ地租ハ其ノ年分ニ限り之ヲ免除ス  
(災害地租免)  
(除法第一條)

二 地目變換若ハ開墾成功ノ届出アリタル土地又ハ耕地整理工完了シ地價配賦ノ申出アリタル土地ニシテ其ノ成功地目カ田畑ナルトキハ土地臺帳面ノ地目如何ニ拘ラス免除ス(第二條)

三 耕地整理ノ地區内ノ土地ニシテ前項ニ該當スルモノ、免租額ハ左ノ方法ニ依リ計算スルモノトス (災害地租免除)  
(法施行方第三條)

イ 換地ノ全部ニ被害アリタルトキハ原地ノ現在地租全額

ロ 換地ノ一部ニ被害アリタルトキハ換地ノ地價ヲ被害部分ノ面積ト其ノ他ノ面積トニ按分シテ被害部分ニ相當スル地價ヲ見積リ其ノ見積リ地價ト換地ノ全部ニ配賦スヘキ地價トノ割合ニ依リ原地ノ現在地價ニ對シ算出シタル金額

四 排地整理未成功地區内ニ於ケル收穫皆無地ハ左ノ通取扱フモノトス

現ニ土地臺帳ニ掲ケアル土地ノ地目カ田又ハ畑ニシテ現在ノ狀況ニ在ル地目カ田若ハ畑ナルモノニ限り免租スルコト但シ被害當時ノ土地カ數地目ノ狀況ニ在ルモノ即チ元ノ一筆ノ土地カ田、畑、道路トナリタルトキハ其ノ内田畑ノ現況ニ在ル面積カ土地臺帳所得額ノ十分ノ七以上ニ在ルトキニ限り一筆ノ地租全部ヲ免除スルコト

五 前各項ニ依リ免除ヲ受ケムトスル者ハ被害現狀ノ存スル間ニ於テ其ノ事實ヲ證明シテ稅務署長ニ申請スルモノトス  
(第一條)

六 免除ノ申請ヲ爲ストキハ收穫皆無ノ事實ヲ證明スルニ足ルヘキ作毛ノ存置ヲ爲スコトヲ要ス但シ豫メ稅務署長ノ承認ヲ受ケタルモノニ付テハ此ノ限りニ在ラス(第二號)

七 免除申請地ノ被害調査中ハ地租ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得(災害地租免)  
(除法第三條)

八 免除セラレタル地租ハ總テノ法律ニ於ケル納稅資格中ヨリ控除セサルモノトス(第四條)

九 被害ノ年中ニ於テ數次所有權移轉アリタル土地ニ對スル免租ハ申請者ニ對シ處分ノ指令ヲ爲シ下戻金アルトキハ事實納稅シタル者ニ還付スルモノトス

一六 其ノ他

納稅管理人

一 地租ノ納稅義務者其ノ土地所在ノ市町村内ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ地租ニ關スル事務ヲ處理セシムル爲其ノ市町村内ニ住所ヲ有スル者ヲ納稅管理人ト定メ連署ヲ以テ其ノ市町村長ニ届出ツルモノトス(地租條例施行規則第十六條)

罰則其ノ他

二 收稅官吏ハ土地ノ檢査ヲ爲シ又ハ納稅義務者若ハ土地所有者ニ對シ必要ノ事項ヲ尋問スルヲ得(地租條例第二十四條ノ二)

三 土地ヲ欺隱シ地租ヲ遁脱スルモノハ四圓以上四十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處シ現地目ニ依リ地價ヲ定メ發見ノ日ヨ

- リ三年間溯リ其ノ地租ヲ追徴ス(同第二十五條)
- 四 地租ヲ課セサル土地ヲ地租ヲ課スル土地トナシ之レカ届ヲ爲サ、ルモノハ三圓以上三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處シ且現地目ニ依リ地價ヲ定メ發見ノ日ヨリ三年間溯リ其ノ地租ヲ追徴ス(同第二十六條)
- 五 地目變換、地類變換、開墾等ノ届ヲ爲サ、ルモノハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處シ且開墾ノ届ヲ爲サ、ルモノハ現地目ニ依リ地價ヲ定メ發見ノ日ヨリ三年間溯リ其ノ地租ヲ追徴ス(同第二十七條)
- 六 借地人又ハ小作人カ地租條例ニ關スル所犯アルトキハ地主ヲ罰シ若地主カ其ノ情ヲ知ラサルトキハ借地人又ハ小作人ヲ罰ス但シ追徴スヘキ地租ハ所有主ヨリ之ヲ徴收ス(同第二十八條)
- 七 地租條例ニ違犯シタルモノ自首スルトキハ其ノ罰金科料ヲ免ス(同第二十九條)
- 土地臺帳謄本
- 八 土地臺帳謄本ヲ請求セムトスルモノハ其ノ請求書ニ土地一筆ニ付キ手数料金五錢ノ割合ヲ以テ收入印紙ヲ貼付シ稅務署長ニ申請スルモノトス但シ手数料ニ相當スル收入印紙ヲ提出シ口頭ヲ以テ請求ヲ爲スコトヲ得(土地臺帳規則第四條及施行細則第三條第一項)
- 九 土地臺帳謄本ハ郵便ヲ以テ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ返信料ニ相當スル郵便切手ヲ添付スルコトヲ要ス(施行細則第三條第三項)
- 一〇 國有地、御料地ノ拂下、讓與、下渡ニ係ルモノニシテ未登記ノモノニ付テハ土地臺帳謄本ヲ下付セサルモノトス(同第三條第二項)
- 一一 新開地ハ前項ニ該當セサルモノナルヲ以テ未登記ノモノト雖モ土地臺帳謄本ヲ下付スヘキモノトス

### 第三節 土地ノ丈量

- 一 地價ヲ定メ又ハ地價ヲ修正スルトキハ地盤ヲ丈量シテ反別又ハ坪數ヲ定ムルモノトス(地租條例第六條)
- 二 段別又ハ坪數計算ノ方法左ノ如シ(同第五條)
  - (一) 曲尺ヲ用ヒ六尺ヲ間ト爲シ方一間ヲ以テ歩ト爲シ三十歩ヲ畝ト爲シ十畝ヲ段トシ十段ヲ町ト爲ス但シ宅地、鑛泉地ハ方一間ヲ以テ坪ト爲シ坪ノ十分ノ一ヲ合ト爲シ合ノ十分ノ一ヲ勾ト爲ス
  - (二) 間數ハ一間ノ十分ノ一(六寸)ヲ分ト爲シ分ノ十分ノ一(六分)ヲ厘ト爲ス而シテ測量ノ際ニ於テハ宅地、鑛泉地ハ厘未滿ヲ切捨テ厘ニ止メ其他ノ土地ニ在リテハ五厘ニ止メ五厘ニ滿タサル端數及五厘ヲ超過スル端數ハ切捨ツルモノトス
  - (三) 境界線ヨリ水平面ニ測量シ畦畔小逕等ノ類ハ之ヲ本地ニ量入スルモノトス
  - (四) 畦畔小逕等所得ヲ生セサル部分ハ便宜ノ方法ヲ以テ長サ幅等ヲ測量シ其ノ反別ヲ計算スルモノトス
  - (五) 面積計算ニ際シテハ積算上宅地、鑛泉地ハ勾未滿其ノ他ノ土地ハ歩未滿ヲ切捨ツルモノトス但シ一筆ニシテ總面積未滿ノ土地ハ勾位マテ計算スルモノトス
- 三 土地臺帳中從來一筆ノ外書トナシアル畦畔ハ異動ノ時々本地ニ量入スルモノトス
- 四 土地ノ丈量ハ測板式測量方法ニ依ルヲ可トス但シ本便覽ハ事務整理ノ參考タラムコトヲ目的トスルカ故ニ測量ノ技術ニ關スル事項ハ之ヲ省略シタルモ熟練スルニアラサレハ誤謬ニ陥リ易キヲ以テ能ク之ヲ研究シテ正確ヲ期スヘキモノトス

### 第四節 地價設定及修正

- 一 地租條例ニ於テ地價ト稱スルハ土地臺帳ニ掲ケタル價格ヲ謂フ(地租條例第一條第三項)

- 二 從來地價ヲ有セサル土地ニ對シ新ニ地價ヲ定ムルヲ地價設定ト謂ヒ變換開墾其ノ他ニ依リ從來ノ地價ヲ變更スルモノヲ地價ノ修正ト稱ス
- 三 地價ハ如何ナル場合ニ修正シ又ハ設定スヘキモノナルカハ各異動種目ニ於テ記載シタルヲ以テ以下地價ヲ修正シ又ハ設定スヘキ方法ヲ説明スルモノトス
- 四 地價設定又ハ修正ヲ爲サムトスルトキハ近傍ニ於ケル同一地目ノ土地ニシテ其ノ土地ト狀況同一ナルモノヲ選ミ之ヲ比準地トシ其ノ比準地ト同一ノ割合ヲ以テ其ノ地ノ地價ヲ算出スルモノトス  
(比準地ヲ得難キトキハ土地ノ所得ヲ審査シテ定ムルモノナレトモ茲ニハ説明ヲ省略ス)
- 五 比準地ハ左ノ各項ヲ比較シテ之ヲ選定スルモノトス
  - (一) 耕地ハ地味ノ肥瘠、耕耘ノ難易、水利運輸等ノ便否類似セルモノニシテ成ルヘク改租ノ際地價ヲ定メタルモノ
  - (二) 宅地ハ地理ノ便否、商業ノ繁閑、需給ノ關係、賃賃價格ノ類似セルモノニシテ成ルヘク宅地地價修正法第三條第一項但書ノ制限ヲ受ケサルモノ
  - (三) 其ノ他ノ土地ハ前二項ニ準シテ狀況ノ類似セルモノ
- 六 比準地ノ割合ニ依リ地價ヲ算出スル方法左ノ如シ
  - (一) 比準地ノ屬スル等級ノ反(町)金(宅地ハ百坪當地價以下同シ)ヲ其ノ土地ノ反別又ハ坪數ニ乘ス
  - (二) 比準地ノ地價カ其ノ等級ノ反(町)金ヲ以テ算出シタルモノニアラサルトキハ比準地ノ地價ニ異動地ノ反別又ハ坪數ヲ乘シ比準地ノ反別又ハ坪數ヲ以テ之ヲ除ス
  - (三) 前二項ニ依リ算出シタル結果壹錢未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ之ヲ切捨錢位ニ止ムルモノトス但シ地價ノ全額カ壹錢未滿トナルトキハ切上ケテ壹錢ト爲スモノトス
- 七 畦畔石塚等所得ヲ生セサル部分アル土地ノ地價ヲ算出スル場合ニ於テ比準スヘキ土地ノ畦畔カ地價ヲ見積リアラサルトキハ其ノ土地ノ畦畔モ地價ヲ見積ラサルモノトス

### 第五節 登録稅

- 一 土地臺帳ニ左ノ事項ヲ登録スルトキハ土地所有者ハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムルモノトス(登録稅法第五條)
  - 一 新規登録
    - 二 地價ノ設定
      - 三 地價ノ修正
        - 四 開墾
          - 五 開墾蹊下年期附與
            - 六 地價据置年期付與
              - 七 新開免租年期延長
                - 八 蹊下年期、地價据置年期ノ延長
                  - 九 低價年期ノ付與
                    - 十 地租條例第二十二條ノ地價ノ修正
                      - 十一 地價ノ復舊
                        - 二 地價未設定ノ土地(官有地ヲ拂下ケ直チニ保安林トナシタルカ如キ場合)ハ近傍類地ノ地價ニ比準シテ假地價ヲ設ケ其ノ假地價ニ依リ登録稅ヲ徵收ス(同上)
                        - 三 無届開墾成功ノ場合ハ原地ニ對スル第五條第四號ノ登録稅ト開墾成功ニ對スル第五條第三號ノ登録稅ヲ徵收ス
                        - 四 無地價荒地ノ地價設定ハ第五條第二號ノ登録稅ヲ徵收ス

五 登録税ハ申請届書ニ印紙ヲ貼付シテ之ヲ納ムヘキモノトス但シ登録税額五百圓以上ナルトキハ稅務署ニ申出テ現金ヲ以テ納ムルコトヲ得(登録税法施行規則)

六 土地異動書類ニ印紙ヲ貼付シテ提出セサルモノ又ハ書類ノ提出ヲ要セサルモノニ就テハ稅務署ヨリ稅額ヲ定メ相當印紙ヲ提出スヘキ旨ノ通知ヲ發シ其ノ期限迄ニ提出セサルモノニ對シテハ納稅告知書ヲ發シ現金ヲ以テ徵收スルモノトス(同)

トス(第四條、第五條)

納稅告知書ヲ發シタルモノニシテ納期マテニ納稅セサルモノハ滯納處分ヲ爲スモノトス

### 第六節 地租ニ關スル申請、届書調理例

一 土地ニ關シ申請、届出ツヘキモノノ左ノ如シ

(第一章第二節ニ記載シアル事項ヲ一覽表ト爲シ様式ノ目錄ニ代ヘタルモノナルヲ以テ詳細ハ第二節ヲ参照スルコト)

| 番樣式 | 申請、届名   | 申請、届出義務者     | 期           | 限     |
|-----|---------|--------------|-------------|-------|
| 一   | 有租地 成 届 | 土地所有者又ハ納稅義務者 | 有租地トナリタル時ヨリ | 三十日以内 |
| 二   | 免租地 成 届 | 同            | 免租地トナリタル時ヨリ | 三十日以内 |
| 三   | 土地 分割 届 | 土地所有者        | 分割セントスル時々   | 三十日以内 |
| 四   | 土地 合併 届 | 同            | 併合セントスル時々   | 三十日以内 |
| 五   | 地目 變換 届 | 土地所有者又ハ納稅義務者 | 變換シタル時ヨリ    | 三十日以内 |
| 五   | 地類 變換 届 | 同            | 同           | 三十日以内 |

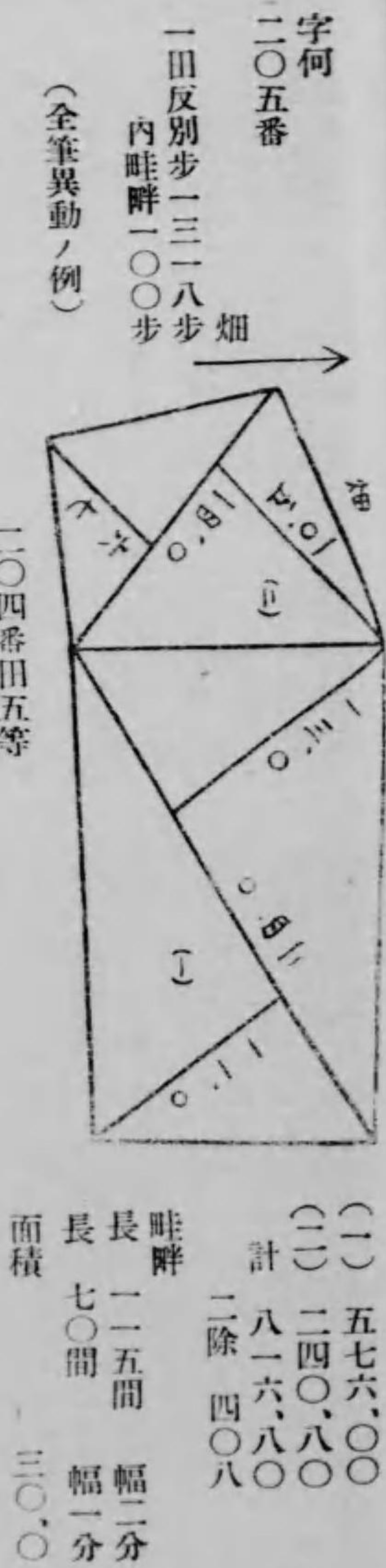
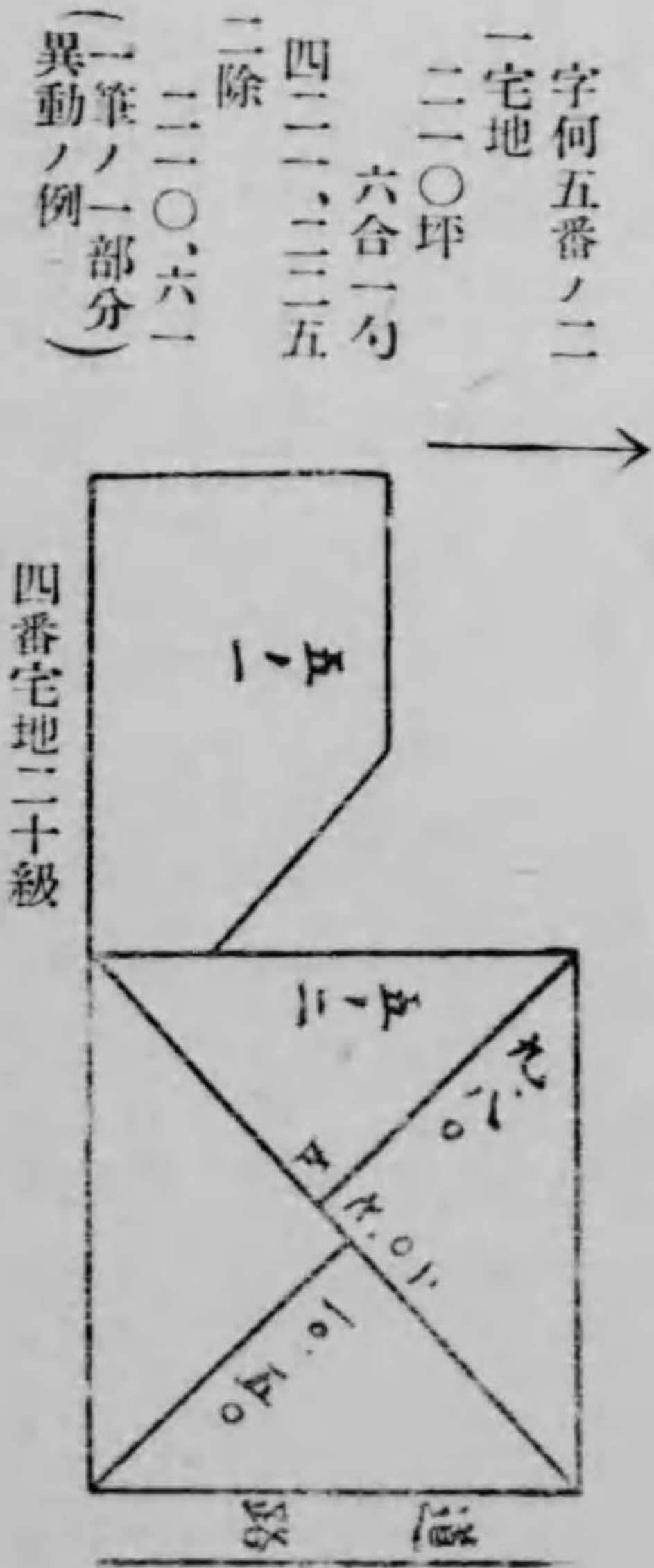
|    |             |   |               |       |
|----|-------------|---|---------------|-------|
| 六  | 地目變換地價措置年期願 | 同 | 其時々           |       |
| 七  | 同 年期延長願     | 同 | 年期滿了後         | 六十日以内 |
| 八  | 開墾 届        | 同 | 着手シタル時ヨリ      | 三十日以内 |
| 八  | 開墾 下年期明 届   | 同 | 年期明ハ年期滿了後     | 六十日以内 |
| 八  | 開墾 下年期明 届   | 同 | 同             | 六十日以内 |
| 九  | 開墾 成功 届     | 同 | 開墾成功ハ成功シタル時ヨリ | 三十日以内 |
| 十  | 無届開墾 成功 届   | 同 | 其時々           |       |
| 十一 | 開墾 廢止 届     | 同 | 廢止ノ時ヨリ        | 三十日以内 |
| 十二 | 開墾目的變更 届    | 同 | 變更ノ時ヨリ        | 三十日以内 |
| 六  | 開墾 下年期願     | 同 | 其時々           |       |
| 七  | 同 年期延長願     | 同 | 年期滿了後         | 六十日以内 |
| 十三 | 開拓 下年期願     | 同 | 民有二歸シタル時ヨリ    | 六十日以内 |
| 七  | 同 年期延長願     | 同 | 年期滿了後         | 六十日以内 |
| 十四 | 新開免租 年期願    | 同 | 民有二歸シタル時ヨリ    | 六十日以内 |
| 七  | 同 年期延長願     | 同 | 年期滿了後         | 六十日以内 |
| 十五 | 荒地免租 年期願    | 同 | 其時々           |       |
| 十六 | 再荒免租 年期願    | 同 | 同上            |       |

|     |                |              |                |       |
|-----|----------------|--------------|----------------|-------|
| 十七  | 荒地免租繼年期願       | 土地所有者又ハ納稅義務者 | 年期滿了後          | 六十日以内 |
| 十八  | 荒地免租年期明變換起返屆   | 同            | 年期滿了後          | 六十日以内 |
| 十八  | 荒地免租年期明無地價分起返屆 | 同            | 同              | 六十日以内 |
| 十九  | 川、海、湖、成、屆      | 同            | 同              | 六十日以内 |
| 二十  | 低價年期願          | 同            | 同              | 六十日以内 |
| 十八  | 低價年期明變換起返屆     | 同            | 同              | 六十日以内 |
| 十八  | 原地價ニ復セザル低價年期明屆 | 同            | 同              | 六十日以内 |
| 十五  | 造林地免租年期願       | 同            | 其時々々           | 六十日以内 |
| 二十一 | 砂防地地租免除願       | 同            | 禁止又ハ制限セラレタル時ヨリ | 三十日以内 |
| 二十二 | 同 地租輕減願        | 同            | 同              | 三十日以内 |
| 二十三 | 反別誤謬訂正願        | 土地所有者        | 其時々々           |       |
| 二十四 | 地圖誤謬訂正願        | 土地所有者        | 同 上            |       |
| 二十五 | 土地臺帳住所氏名誤謬訂正願  | 土地所有者又ハ納稅義務者 | 同 上            |       |
| 二十六 | 同 異動 屆         | 同            | 同 上            |       |
| 二十七 | 耕地整理 屆         | 整理施行者        | 同 上            |       |
| 二十八 | 耕地整理工事着手(完了屆)  | 同            | 同 上            |       |

|     |                      |               |               |       |
|-----|----------------------|---------------|---------------|-------|
| 六   | 耕地整理地價据置年期願          | 土地所有者又ハ整理施行者  | 工事完了ノ届出ヲ爲シタル後 | 三十日以内 |
| 七   | 耕地整理地價据置年期延長願        | 土地所有者         | 年期滿了後         | 六十日以内 |
| 十四  | 耕地整理新開免租年期願          | 土地所有者又ハ整理施行者  | 工事完了ノ届出ヲ爲シタル後 | 三十日以内 |
| 七   | 耕地整理新開免租年期延長願        | 土地所有者         | 年期滿了後         | 六十日以内 |
| 二十九 | 耕地整理竣功地價配賦申請         | 同             | 同 上           |       |
| 三十  | 耕地整理法ニ於ケル地租ノ利益(負擔額)屆 | 同             | 同 上           |       |
| 三十一 | 災害地地租免除申請            | 土地所有者又ハ納稅義務者  | 被害現狀ノ存スル間     |       |
| 三十二 | 納稅管理 人 屆             | 納稅義務者         | 其時々々          |       |
| 三十三 | 土地臺帳謄本下付申請           | 申請人申請時期等ノ制限ナシ |               |       |

- 二 申請屆ニシテ地價ヲ修正シ又ハ設定スヘキモノナルトキハ近傍類地ニ比準シ其ノ地價ヲ見積リ尙別紙様式ノ測量圖ヲ添付スルモノトス
- 三 分割届ニハ別紙様式ノ地形圖ヲ添付スヘシ但シ反別ノ増減アル場合ハ測量圖ヲ添付スルモノトス
- 四 土地異動ニシテ登録稅ヲ要スルモノハ申請書ニ收入印紙ヲ貼付シテ提出スルモノトス  
登録稅率ハ各様式ニ記載シアル如クニシテ算出一錢未満ノ端數ハ總テ一錢ト計算スルモノトス
- 五 數人共有ニ係ル土地ノ申請届ハ共有者連署スルモノトス
- 六 法人又ハ無能力者ノ申請届ニ在リテハ代表者又ハ法定代理人署名スルモノトス
- 七 社寺ノ所有ニ係ル申請届ニハ社司、住職ノ外檀家又ハ信徒總代三名以上連署スルモノトス但シ土地臺帳記名者ノ異

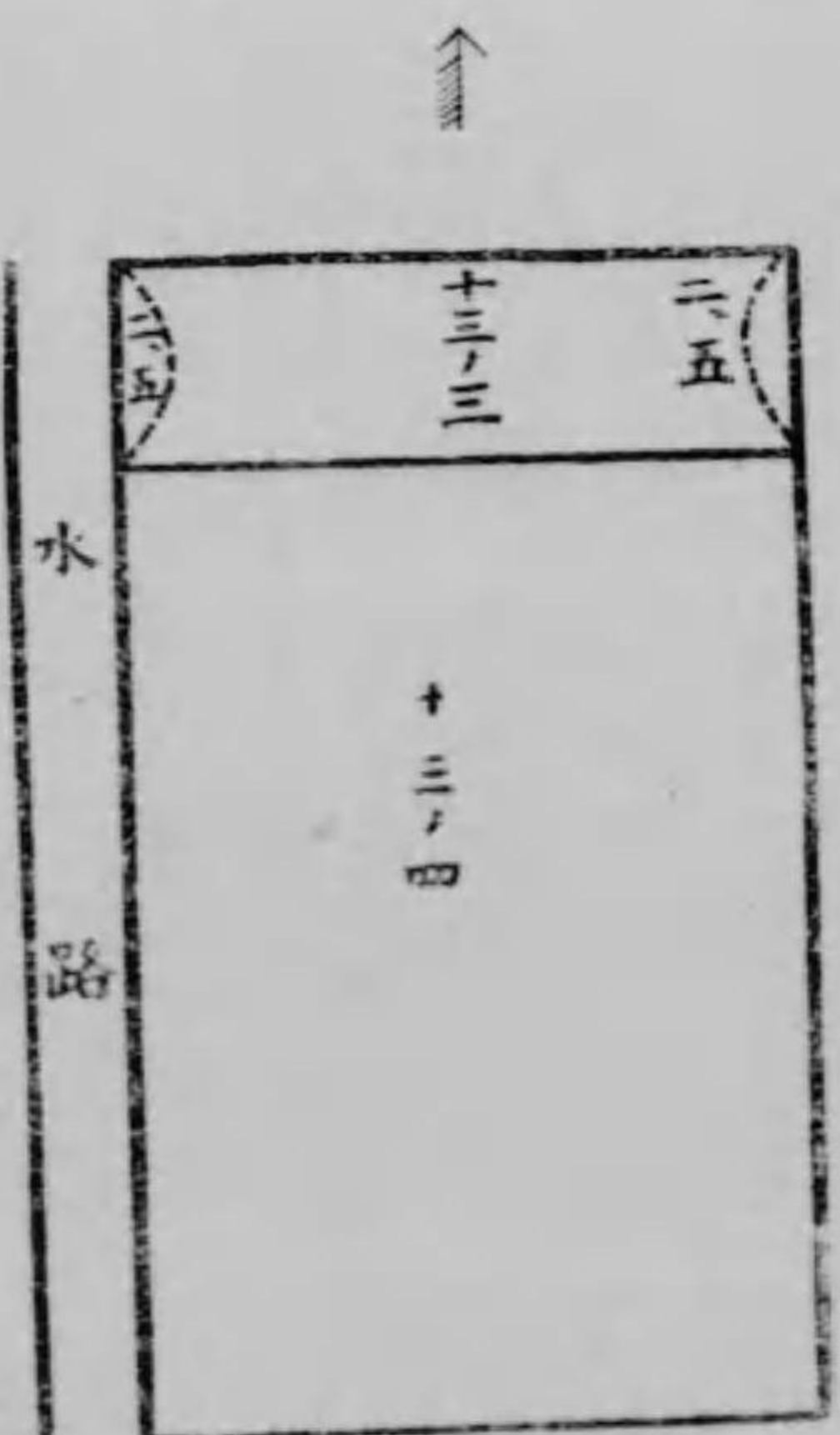
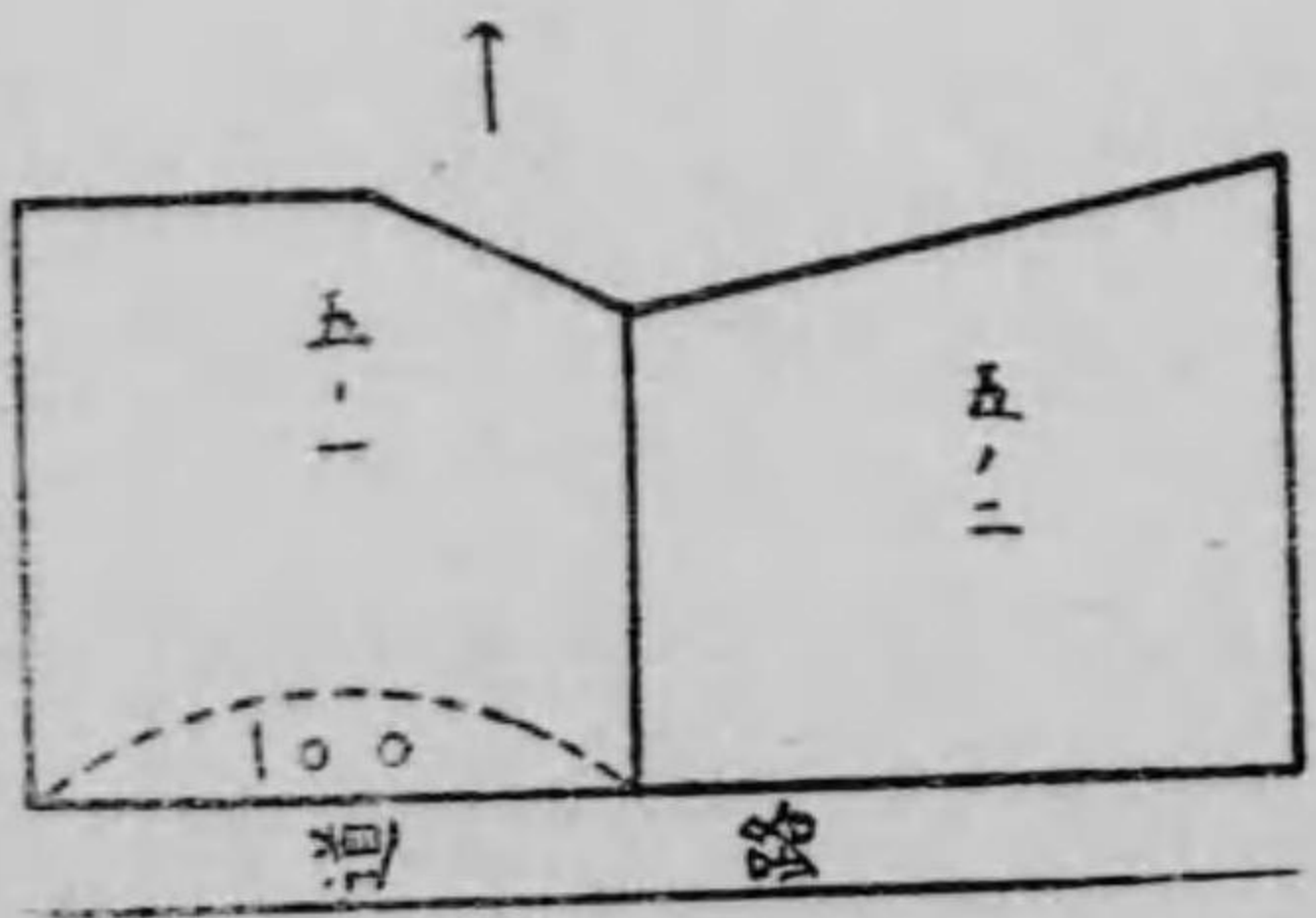
- 動ニ係ルトキハ本寺法類ノ連署及管長ノ添書ヲ要ス
  - 八 土地所在地ト申請届者ノ住所ヲ異ニスルトキハ氏名ノ傍ニ住所ヲ記載スルモノトス
  - 九 所有者又ハ納稅義務者死亡失踪シタルモノニシテ相續人ヨリ申請届出ツル場合ハ「何某相續人」ト肩書スルモノトス
  - 一〇 様式ノ地主トアル所ニハ土地所有者又ハ納稅義務者ノ氏名ヲ記載スヘキモノニシテ所有者以外ノモノニアリテハ「質權者」又ハ「地上權者」ト肩書スルモノトス
  - 一一 宅地ニ在リテハ様式ノ反別欄ニ坪數ヲ記載シ反(町)金欄ニハ百坪當地價金ヲ記入スルモノトス
  - 一二 期限ノ定メアルモノハ其ノ期限内ニ書類ヲ提出セサルトキハ免租其ノ他ノ特典ヲ受クルコトヲ得サルニ至リ或ハ無届トシテ制裁ヲ受クヘキモノナルヲ以テ必ス其ノ期限ヲ誤ラサル様注意スルモノトス
  - 一三 申請届ハ總テ半紙判ヲ用ヒ上部ニ約二寸ノ餘白ヲ存スルヲ便トス
  - 一四 地租ノ納期ノ異ナル土地ハ可成連記セサルモノトス
- 地目變換(何々)測量圖



分割地形圖

字何五番

字何十三番ノ三



備考

一 分割スヘキ一方ノ土地ノ境界點ノ間數ヲ記載スルモノトス但シ境界點カ屈曲等ニ依リ明カナル場合ハ之レカ記入ヲ要セス

第一號

大正何年何月何日

何 稅務署長 殿

登錄稅干  
分ノ十

有 稅 地 成 屆

(測量圖添付)

何郡(市)町(村)大字何

地 主 氏 名 外 何 名

約餘  
二寸  
以下全

| 字(地割) | 地 番 | 地 目  | 反 別 | 地 價 | 等 級 | 摘 要                  | 登 錄 稅 | 地 主  |
|-------|-----|------|-----|-----|-----|----------------------|-------|------|
| 何     | 三   | 學校敷地 | 畑   | 二九八 | 八   | 同字三十五番ニ比<br>準反別二十三歩増 | 三〇    | 氏 名印 |
| 何     | 五ノ二 | 道路   | 内畦畔 | 一〇  | 五   | 同字二十一番ニ比<br>準反別十歩増   | 三〇    | 氏 名印 |

右地價設定相成度候也

第二號

大正何年何月何日

何 稅務署長 殿

免 租 地 成 屆

何郡(市)町(村)大字何

地 主 氏 名 外 何 名

| 字(地割) | 地 番  | 地 目 | 反 別 | 地 價 | 免 租 地 目 | 摘 要                | 登 錄 稅 | 地 主                |
|-------|------|-----|-----|-----|---------|--------------------|-------|--------------------|
| 何     | 五ノ二  | 畑   | 内畦畔 | 〇九五 | 道路      | 何 事 年 着 何 手 月 氏 名印 |       | 何町(村)持<br>町(村)長氏名印 |
| 何     | 一三ノ四 | 田   | 内畦畔 | 一〇  | 學校敷地    | 何 年 何 月 用 氏 名印     |       |                    |

右免租相成度候也

備考

一 借地ナルトキハ無料借地ナル旨ヲ摘要欄ニ記載スルモノトス

第三號

大正何年何月何日

何 稅 務 署 長 殿

土 地 分 割 届

(地形圖添付)

何郡(市)町(村)大字何

地 主 氏 名 外 何 名

| 字(地割) | 地 番  | 地 目 | 反 別                | 地 價  | 等 級 | 摘 要     | 地 主   |
|-------|------|-----|--------------------|------|-----|---------|-------|
| 何     | 五    | 畑   | 〇四〇                | 一一七〇 | 三   |         | 氏 名 印 |
|       | 五ノ一  |     | 〇四六                | 四八〇〇 | 三   |         |       |
|       | 五ノ二  |     | 〇四三                | 六三〇〇 | 三   |         |       |
| 何     | 一三ノ三 | 外畦畔 | 一〇〇〇<br>〇〇〇<br>〇〇〇 | 三三〇〇 |     |         | 氏 名 印 |
|       | 一三ノ三 | 内畦畔 | 〇一〇〇               | 二八〇〇 | 三   |         |       |
|       | 一三ノ四 | 同   | 〇九二五<br>一五         | 三七六〇 | 二   | 反別二十五分増 |       |

右 墨 書 ノ 通 分 割 候 也

備 考

- 一 左記事項ハ摘要欄内ニ記載スルモノトス
- (一) 宅地ノ分割ニシテ現地番ヲ存スルノ必要アルモノハ其ノ理由
- (二) 分割地ニ優劣アル爲地價ニ差等ヲ付シタルトキハ其ノ地價計算ノ方法
- (三) 分割ヲ必要トスル事由

第四號

大正年何月何日

何 稅 務 署 長 殿

土 地 合 併 届

何郡(市)町(村)大字何

地 主 氏 名 外 何 名

| 字(地割) | 地 番 | 地 目 | 反 別  | 地 價   | 等 級   | 摘 要    | 地 主   |
|-------|-----|-----|------|-------|-------|--------|-------|
| 何     | 一   | 同   | 〇    | 二二〇〇  | 二     |        |       |
|       | 一   | 同   | 〇    | 一〇五〇〇 | 二     |        |       |
|       | 一   | 同   | 〇    | 二二〇〇  | 二     |        |       |
|       | 六   |     | 一五七  | 三二〇〇  | 二     |        | 氏 名 印 |
| 何     | 五   | 田   | 一〇〇〇 | 一〇〇〇〇 | 一     |        |       |
|       | 五   | 同   | 〇〇一  | 一〇〇〇〇 | 一     |        |       |
|       | 五   | 同   | 〇〇一  | 一〇〇〇〇 | 一     |        |       |
|       | 五   | 内畦畔 | 一〇一〇 | 五九〇〇  | 二、三、併 | 反別一畝歩増 | 氏 名 印 |

右 墨 書 ノ 通 合 併 候 也

備 考

- 一 宅地ノ合併ニシテ首位以外ノ地番ヲ存スル必要アルモノハ其事由ヲ摘要欄ニ記載スルモノトス



第五號

大正何年何月何日

地主 氏名外何名

何 務署長殿

登錄稅  
千分ノ十

地目(地類)變換屆

(測量圖添付)

何郡(市)町(村)大字何

| 字(地番) | 地割  | 地目 | 反別   | 地價   | 等級     | 摘                      | 要 | 登錄稅 | 地主  |
|-------|-----|----|------|------|--------|------------------------|---|-----|-----|
| 何     | 内   | 畑  | 1113 | 1510 | 三      |                        |   |     |     |
|       | 5ノ2 | 畑  | 1000 | 815  |        |                        |   |     |     |
|       | 5ノ1 | 畑  | 0527 | 729  | 三      | 同字四番ニ比準坪數<br>六合一勾増     |   | 600 | 氏名印 |
| 何     |     | 宅地 | 110  | 318  | 10,000 |                        |   |     |     |
|       |     | 畑  | 115  | 1518 | 五      |                        |   |     |     |
|       |     | 田  | 148  | 450  | 三,000  | 同字二〇四番ニ比準<br>反別一畝二十三歩増 |   | 400 | 氏名印 |

右墨書ノ通地目(地類)變換候也

第六號

大正何年何月何日

地主 氏名外何名

何 務署長殿

登錄稅  
千分ノ十

地目變換地價据置(開墾下、耕地整理地價据置)年期願

何郡(市)町(村)大字何

| 字(地割) | 地番 | 地目 | 反別   | 地價   | 目的地目 | 年期           | 登錄稅 | 地主  |
|-------|----|----|------|------|------|--------------|-----|-----|
| 何     | 三五 | 畑  | 0525 | 1630 | 田    | 何年工事着手<br>何年 | 170 | 氏名印 |
| 同     | 三六 | 同  | 0805 | 3860 | 同    | 同            | 300 | 氏名印 |
| 同     | 三〇 | 同  | 0118 | 1000 | 同    | 同            | 100 | 氏名印 |

右ノ通年期付與相成度候也

備考

- 一 耕地整理地價据置年期願ハ登錄稅ヲ要セス又同年期願ニハ登錄稅關ヲ摘要關トシ開墾ハ工事著手ノ年月地目變換  
ハ工事完了ノ年月ヲ記載スルモノトス

第七號

大正何年何月何日

何稅務署長殿

地主 氏名外何名

四八

登錄稅  
千分ノ十

開墾下年期、開拓下年期、新開  
免租年期、耕地整理地價据置年期、延長願  
耕地整理新開免租年期

何郡(市)町(村)大字何

| 字(地割) | 地番 | 地目 | 反 | 別    | 地 | 價     | 元年期 | 延長年期 | 登錄稅 | 地 | 主  |
|-------|----|----|---|------|---|-------|-----|------|-----|---|----|
| 何     | 三  | 田  |   | 〇五二五 |   | 一六三〇  | 自何年 | 自何年  | 二〇  | 氏 | 名印 |
| 同     | 三  | 同  |   | 〇八〇五 |   | 三六〇〇  | 同   | 同    | 三〇  | 氏 | 名印 |
| 同     | 三  | 同  |   | 〇三二八 |   | 一〇〇〇〇 | 同   | 同    | 二〇  | 氏 | 名印 |

右之通年期延長相成度候也

備考

一 耕地整理地價据置年期及耕地整理新開免租年期ノ延長願ハ登錄稅ヲ要セス

第八號

大正何年何月何日

地主 氏名外何名

登錄稅  
千分ノ十

何稅務署長殿  
開墾 屆

何郡(市)町(村)大字何

| 字(地割) | 地番 | 地目 | 反 | 別    | 地 | 價   | 開墾目的 | 着手ノ時 | 登錄稅 | 地 | 主  |
|-------|----|----|---|------|---|-----|------|------|-----|---|----|
| 何     | 三  | 山林 |   | 五六二五 |   | 八〇〇 | 畑    | 何年何月 | 二〇  | 氏 | 名印 |
| 何     | 三  | 原野 |   | 一〇五〇 |   | 五〇〇 | 田    | 同    | 二〇  | 氏 | 名印 |
| 何     | 三  | 田  |   | 五〇一八 |   | 五〇〇 | 同    | 同    | 二〇  | 氏 | 名印 |

右開墾着手候也

四九

第九號

大正何年何月何日

地主 氏名外何名

何 稅務署長殿

登錄稅  
千分ノ十

開墾成功屆  
開墾下年期開屆  
開拓下年期明屆  
地目變換地價据置年期明屆

(測量圖添付)

何郡(市)町(村)大字何

| 字(地割) | 地番 | 地目 | 反別  | 地價  | 等級 | 摘                     | 要      | 登錄稅   | 地主  |
|-------|----|----|-----|-----|----|-----------------------|--------|-------|-----|
| 何     | 三  | 原野 |     | 五〇八 |    |                       | 大正何年着手 |       |     |
| 何     | 三  | 田  | 内畦畔 | 五〇〇 | 三  | 字何五十一番二比準<br>反別二畝十二步増 |        | 一、四〇〇 | 氏名印 |
| 何     | 二  | 草原 |     | 四〇九 |    | 大正何年着手                |        |       |     |
| 内     | 三  | 原野 |     | 四〇九 |    |                       |        |       |     |
| 何     | 二  | 烟  |     | 四〇九 | 八  | 同字二十八番二比準             |        | 五〇    | 氏名印 |
| 何     | 二  | 原野 |     | 四〇九 |    |                       |        |       |     |
| 何     | 二  | 草原 |     | 四〇九 |    |                       |        |       |     |
| 何     | 二  | 原野 |     | 四〇九 |    |                       |        |       |     |
| 何     | 二  | 原野 |     | 四〇九 |    |                       |        |       |     |
| 何     | 二  | 原野 |     | 四〇九 |    |                       |        |       |     |
| 何     | 二  | 原野 |     | 四〇九 |    |                       |        |       |     |

右墨書ノ通成功候也

第十號

大正何年何月何日

地主 氏名外何名

何 稅務署長殿

登錄稅  
開墾千分ノ十  
修正千分ノ十

無屆開墾成功屆(測量圖添付)

何郡(市)町(村)大字何

| 字(地割) | 地番 | 地目 | 反別 | 地價     | 等級 | 摘                  | 要 | 登錄稅 | 地主  |
|-------|----|----|----|--------|----|--------------------|---|-----|-----|
| 何     | 三  | 山林 |    | 六〇     |    | 大正何年着手             |   | 一〇  | 氏名印 |
| 何     | 三  | 原野 |    | 一〇、二〇〇 | 三  | 同字何年着手<br>反別五畝十二步増 |   | 六〇  | 氏名印 |
| 何     | 三  | 原野 |    | 一〇、二〇〇 | 三  | 同字何年着手             |   | 一〇  |     |
| 何     | 三  | 原野 |    | 一〇、二〇〇 | 三  | 同字何年着手             |   | 一〇  |     |
| 何     | 三  | 原野 |    | 一〇、二〇〇 | 三  | 同字何年着手             |   | 一〇  |     |
| 何     | 三  | 原野 |    | 一〇、二〇〇 | 三  | 同字何年着手             |   | 一〇  |     |
| 何     | 三  | 原野 |    | 一〇、二〇〇 | 三  | 同字何年着手             |   | 一〇  |     |
| 何     | 三  | 原野 |    | 一〇、二〇〇 | 三  | 同字何年着手             |   | 一〇  |     |
| 何     | 三  | 原野 |    | 一〇、二〇〇 | 三  | 同字何年着手             |   | 一〇  |     |
| 何     | 三  | 原野 |    | 一〇、二〇〇 | 三  | 同字何年着手             |   | 一〇  |     |

右無屆開墾成功候ニ付地價修正相成度候也

第十一號

大正何年何月何日

何稅務署長殿  
開墾廢止屆

地主 氏名外何名

| 字(地割) | 地番  | 地目 | 反別   | 地價  | 開墾着手ノ時 | 地主  |
|-------|-----|----|------|-----|--------|-----|
| 何     | 三山  | 山林 | 二五二五 | 四〇〇 | 何年何月   | 氏名印 |
| 何     | 三山  | 山林 | 五六三  | 八九〇 | 同      | 氏名印 |
| 同     | 三原野 |    | 〇七一五 | 二〇〇 | 同      | 人印  |

右開墾廢止候也

何郡(市)町(村)大字何

第十二號

大正何年何月何日

何稅務署長殿  
開墾目的變更屆

地主 氏名外何名

| 字(地割) | 地番  | 地目 | 反別   | 當初ノ目的 | 變更目的 | 開墾着手ノ時 | 地主  |
|-------|-----|----|------|-------|------|--------|-----|
| 何     | 三山  | 山林 | 五六五  | 畑     | 宅地   | 何年     | 氏名印 |
| 同     | 三原野 |    | 一〇二〇 | 田     | 畑    | 何年     | 氏名印 |
| 同     | 三原野 |    | 五〇八  | 田     | 畑    | 何年     | 氏名印 |

右開墾ノ目的變更候也

何郡(市)町(村)大字何

第十三號

大正何年何月何日

地主 氏名外何名

登錄稅  
千分ノ廿

何稅務署長殿  
開拓蹠下半年期願

何郡(市)町(村)大字何

| 字(地割) | 地番 | 地目    | 反別   | 地價    | 等級 | 反町金   | 摘要       | 年期   | 登錄稅 | 地主  |
|-------|----|-------|------|-------|----|-------|----------|------|-----|-----|
| 何     | 三六 | 草山    | 三五〇〇 |       |    |       | 大正何年何月何日 |      |     |     |
|       |    | (林△山) | 三五〇〇 | 四三〇   | 五  | 一、五〇〇 | 同字三十番ニ比準 | 自一何年 | 壹〇  | 氏名印 |
| 同     | 三九 | 草山    | 七〇〇〇 |       |    |       | 同上       |      |     |     |
|       |    | (林△山) | 七〇〇〇 | 一〇五〇〇 | 五  | 一、五〇〇 | 同上       |      | 三〇  | 氏名印 |

右墨書ノ通年期付與相成度候也

第十四號

大正何年何月何日

地主 氏名外何名

登錄稅  
千分ノ廿

何稅務署長殿

新開免租年期(耕地整理新開免租年期)願

何郡(市)町(村)大字何

| 字(地割) | 地番 | 地目  | 反別     | 假地價  | 摘要                  | 日的地目 | 年期   | 登錄稅 | 地主  |
|-------|----|-----|--------|------|---------------------|------|------|-----|-----|
| 何     | 五八 | 新開地 | 一五七六一五 | 三三六〇 | 大正何年何月何日埋立(干拓)民有(千) | 田    | 自一何年 | 四六〇 | 氏名印 |
|       |    |     | 三三六〇   | 三三六〇 | 反町金何種               | 田    | 同上   | 壹〇  | 氏名印 |
| 何     | 五七 | 同   | 三六四七   | 三三六〇 |                     | 田    | 同上   | 壹〇  | 氏名印 |
|       |    |     | 三六四七   | 三三六〇 |                     | 田    | 同上   | 壹〇  | 氏名印 |

右之通免租年期付與相成度候也

備考

一 耕地整理新開免租年期願ハ摘要欄ニ「何年何月何日埋立(干拓)民有」ト記載スルモノトス又同年期願ニハ假地價及登錄稅ヲ要セス

第十五號

大正何年何月何日

何 稅務署長 殿

荒地(造林地)免租年期願

地主 氏名外何名

何郡(市)町(村)大字何

| 字(地割) | 地番  | 地目 | 反別 | 地價   | 摘要                 | 年期         | 地主  |
|-------|-----|----|----|------|--------------------|------------|-----|
| 何     | 三七二 | 畑  |    | 〇七一九 | 大正何年何月何日<br>何川洪水川成 | 自何年<br>至何年 | 氏名印 |
| 同     | 三七三 | 同  |    | 三九五〇 | 同<br>石砂入           | 自何年<br>至何年 | 氏名印 |
| 同     | 三九五 | 同  |    | 二八〇〇 | 同<br>川欠            | 自何年<br>至何年 | 氏名印 |

右ノ通免租年期付與相成度候也

備考

造林地ノ場合ニ於テハ摘要欄ニ植樹ノ時及其ノ種類ヲ記入スルモノトス

第十六號

大正何年何月何日

何 稅務署長 殿

再荒地租年期願

地主 氏名外何名

何郡(市)町(村)大字何

| 字(地割) | 地番  | 地目 | 反別 | 地價   | 元年期        | 再荒年期       | 摘要     | 地主  |
|-------|-----|----|----|------|------------|------------|--------|-----|
| 何     | 三七二 | 畑  |    | 二六八〇 | 自何年<br>至何年 | 自何年<br>至何年 | 何川洪水川欠 | 氏名印 |
| 同     | 三七三 | 同  |    | 三九五〇 | 同          | 同          | 同      | 氏名印 |
| 同     | 三九五 | 同  |    | 二八〇〇 | 同<br>川欠免租  | 同          | 同      | 氏名印 |

右之通免租年期付與相成度候也

第十七號

大正何年何月何日

何稅務署長殿  
荒地免租繼年期願

地主 氏名外何名

何郡(市)町(村)大字何

| 字(地割) | 地番 | 地目 | 反別 | 地價   | 元    | 年 | 期    | 繼年期   | 地 | 主  |
|-------|----|----|----|------|------|---|------|-------|---|----|
| 何     | 三二 | 畑  |    | 〇七元  | 二六〇〇 | 自 | 何年   | 石砂入免租 | 自 | 何年 |
| 同     | 三三 | 同  |    | 一五〇〇 | 三三〇〇 | 同 | 何年   | 繼年期   | 同 | 氏  |
| 同     | 三五 | 同  |    | 一八〇元 | 二〇〇〇 | 同 | 川欠免租 |       | 同 | 氏  |

右之通免租繼年期付與相成度候也

第十八號

大正何年何月何日

何稅務署長殿

地主 氏名外何名

登錄稅  
千分ノ一

荒地免租年期明變換起返屆

荒地免租年期明變換起返屆  
低價年期明變換起返屆  
復セサル低價年期明變換起返屆

(測量圖)  
添量付

何郡(市)町(村)大字何

| 字(地割) | 地番   | 地目 | 反別 | 地價    | 元 | 年 | 期 | 繼年期 | 地 | 主 |
|-------|------|----|----|-------|---|---|---|-----|---|---|
| 何     | 三五   | 田  |    | 五七六   |   |   |   |     |   |   |
|       | 内    |    |    |       |   |   |   |     |   |   |
|       | 三五ノ二 | 田  |    | 三〇〇〇  |   |   |   |     |   |   |
|       | 三五ノ一 | 田  |    | 三七一〇  |   |   |   |     |   |   |
|       | 同    | 田  |    | 一四〇五  |   |   |   |     |   |   |
|       | 同    | 畑  |    | 一三六〇  |   |   |   |     |   |   |
|       | 同    | 同  |    | 一三六〇  |   |   |   |     |   |   |
|       | 同    | 同  |    | 一〇五〇〇 |   |   |   |     |   |   |
|       | 同    | 同  |    | 一〇五〇〇 |   |   |   |     |   |   |
|       | 同    | 同  |    | 一〇五〇〇 |   |   |   |     |   |   |

右墨書ノ通地價修正相成度候也

第十九號

大正何年何月何日

何稅務署長殿  
川(海)(湖)成屆

何郡(市)町(村)大字何

地主 氏名外何名

六〇

| 字(地割) | 地番 | 地目 | 反別 | 地別   | 地價    | 低減地價 | 摘       | 要          | 登錄稅 | 地 | 主  |
|-------|----|----|----|------|-------|------|---------|------------|-----|---|----|
| 何     | 三五 | 畑  |    | 一八〇九 | 二六〇〇  | 八二〇  | 自何年何月何日 | 何免租年何年何月何日 | 二〇  | 氏 | 名印 |
| 同     | 三六 | 畑  |    | 〇九五  | 一四五四〇 | 同    |         |            | 三〇  | 氏 | 名印 |
| 同     | 三六 | 田  |    | 一一〇〇 | 三五八六〇 | 同    |         |            | 二〇  | 氏 | 名印 |

右之通川(海)(湖)ニ歸シ候也

第二十號

大正何年何月何日

何稅務署長殿  
登錄稅  
低價年期願  
千分ノ一

何郡(市)町(村)大字何

地主 氏名外何名

| 字(地割) | 地番 | 地目 | 反別 | 地別   | 地價    | 低減地價  | 摘       | 要          | 登錄稅 | 地 | 主  |
|-------|----|----|----|------|-------|-------|---------|------------|-----|---|----|
| 何     | 三七 | 畑  |    | 〇七一九 | 二六八〇  | 八二〇   | 自何年何月何日 | 何免租年何年何月何日 | 二〇  | 氏 | 名印 |
| 同     | 三七 | 同  |    | 一五〇〇 | 三三三〇  | 一六〇七〇 | 同       |            | 三〇  | 氏 | 名印 |
| 同     | 三五 | 同  |    | 〇〇九  | 一一一〇〇 | 六三三〇  | 同       | 五割低價       | 二〇  | 氏 | 名印 |

右之通年期付與相成度候也



第二十一號

大正何年何月何日

何稅務署長殿

砂防地々租免除願

地主 氏名外何名

何郡(市)町(村)大字何

| 字(地割) | 地番 | 地目 | 反 | 別地 | 價   | 摘    | 要          | 地 | 主  |
|-------|----|----|---|----|-----|------|------------|---|----|
| 何     | 三五 | 畑  |   |    | 一八五 | 三〇〇〇 | 大正何年何月何日指定 | 氏 | 名印 |
| 何     | 三六 | 畑  |   |    | 〇九五 | 同    |            | 氏 | 名印 |

右免租相成度候也

第二十二號

大正何年何月何日

何稅務署長殿

砂防地々租輕減願

地主 氏名外何名

何郡(市)町(村)大字何

| 字(地割) | 地番 | 地目 | 反 | 別地 | 價   | 租   | 減スヘキ租 | 摘  | 要          | 地 | 主  |
|-------|----|----|---|----|-----|-----|-------|----|------------|---|----|
| 何     | 五〇 | 畑  |   |    | 六三〇 | 三〇〇 |       | 〇〇 | 大正何年何月何日指定 | 氏 | 名印 |
| 何     | 五〇 | 同  |   |    | 〇一五 | 同   |       | 〇〇 | 同          | 氏 | 名印 |

右之通地租輕減相成度候也

第二十三號

大正何年何月何日

何稅務署長殿

反別誤謬訂正願 (測量圖添付)

何郡(市)町(村)大字何

地主氏名印

| 字(地割) | 地番地目 | 反別 | 地別   | 價    |   | 摘             | 要 |
|-------|------|----|------|------|---|---------------|---|
|       |      |    |      | 反    | 級 |               |   |
| 何     | 一五田  |    | 〇七五  | 二五〇〇 | 三 |               |   |
| 何     | 〇山林  |    | 二五八〇 | 六〇〇〇 | 三 | 明治何年丈量誤謬 (何々) |   |
|       |      |    | 三三三  | 〇〇〇〇 | 三 |               |   |
|       |      |    | 三六二八 | 九四〇〇 | 二 | 同上 (何々)       |   |

右誤謬發見候ニ付墨書ノ通り訂正相成度候也

右ノ土地ニ對スル境界ニ付キ異議無之候也

隣地主氏名印  
同 氏名印

第二十四號

大正何年何月何日

何稅務署長殿

地圖誤謬訂正願

何郡(市)町(村)大字何

地主氏名外何名

| 字(地割) | 地番地目 | 摘           | 要 | 地 | 主  |
|-------|------|-------------|---|---|----|
| 何     | 一田   | 何々ノ際何々ニ依リ誤謬 |   | 氏 | 名印 |
| 同     | 二同   |             |   | 氏 | 名印 |
| 同     | 三同   |             |   | 氏 | 名印 |

右之土地ニ對スル字限地圖ハ別紙甲圖ノ通相成居候處實地ハ乙圖ノ通ニ付御訂正相成度候也

右ノ土地ニ對スル境界ニ付キ異議無之候也

隣地主氏名印

甲圖(誤謬圖) 乙圖(訂正圖)ヲ添付スルモノトス

第二十五號

大正何年何月何日

何 稅務署長 殿

土地臺帳住所(氏名)誤謬訂正願(戶籍謄本添付)

地主 氏名 印

六六

誤謬ノ住所(氏名)

何 々

訂正ノ住所(氏名)

何 々

誤謬ノ原因

何 々

|   |   |   |      |    |       |   |   |      |    |   |   |   |
|---|---|---|------|----|-------|---|---|------|----|---|---|---|
| 同 | 同 | 何 | 郡市町村 | 大字 | 字(地割) | 地 | 番 | 郡市町村 | 大字 | 字 | 地 | 番 |
| 同 | 同 | 何 | 何    | 何  | 何     |   | 三 | 何    | 何  | 何 |   | 三 |
| 同 | 同 | 同 |      |    |       |   | 三 | 同    | 同  | 同 |   | 三 |
| 同 | 同 | 同 |      |    |       |   | 三 | 同    | 同  | 同 |   | 三 |

右誤謬訂正相成度候也

第二十六號

大正何年何月何日

何 稅務署長 殿

土地臺帳住所(氏名)異動届(戶籍謄本添付)

地主 氏名 印

舊住所(舊氏名)

何 々

轉住所(改名)

何 々

|   |   |   |      |    |       |   |   |      |    |       |   |   |
|---|---|---|------|----|-------|---|---|------|----|-------|---|---|
| 同 | 同 | 何 | 郡市町村 | 大字 | 字(地割) | 地 | 番 | 郡市町村 | 大字 | 字(地割) | 地 | 番 |
| 同 | 同 | 何 | 何    | 何  | 何     |   | 三 | 何    | 何  | 何     |   | 三 |
| 同 | 同 | 同 |      |    |       |   | 三 | 同    | 同  | 同     |   | 三 |
| 同 | 同 | 同 |      |    |       |   | 三 | 同    | 同  | 同     |   | 三 |

右住所(氏名)異動候也

六七

第二十七號

大正何年何月何日

何郡(市)町(村)何耕地整理組合長

氏名 印

何 稅 務 署 長 殿

耕 地 整 理 屆 (現形圖添付)

何郡(市)町(村)大字何

大正何年何月何日

大正何年何月何日

大正何年何月何日

- 一 整理施行(耕地整理組合設立)(設計變更)認可月日
- 二 工事着手豫定月日
- 三 工事完了豫定月日
- 四 耕地整理地左記ノ通

- 何郡(市)町(村)大字何
- 大正何年何月何日
- 大正何年何月何日
- 大正何年何月何日

| 字(地割) | 地番 | 地目 | 反 | 別地  | 價     | 字(地割) | 地番 | 地目 | 反 | 別地   | 價    |
|-------|----|----|---|-----|-------|-------|----|----|---|------|------|
| 何     | 二  | 田  |   | 〇五八 | 一六八五〇 | 何     | 一五 | 田  |   | 一一五  | 四〇〇〇 |
| 同     | 三  | 同  |   | 一一六 | 三五八四〇 | 同     | 一九 | 畑  |   | 〇八〇六 | 一七三〇 |
| 同     | 三  | 同  |   | 〇七三 | 二三六八〇 | 同     | 二〇 | 同  |   | 〇三二  | 七二四〇 |
| 同     | 四  | 同  |   | 〇五八 | 一七九二〇 | 同     | 三三 | 田  |   | 〇六七  | 三〇八〇 |
| 同     | 三  | 田  |   | 一五三 | 四三三〇  | 同     | 三五 | 畑  |   | 〇四二  | 九八七〇 |
| 同     | 三  | 畑  |   | 〇五八 | 一七六〇  |       |    |    |   |      |      |

| 同 | 同 | 三 | 田 | 〇三四 | 二九六〇 | 合計 | 畑 | 田 | 五筆 | 八筆 | 三二四 | 六七三 | 二七六五〇 | 六六七八〇 |
|---|---|---|---|-----|------|----|---|---|----|----|-----|-----|-------|-------|
| 同 | 同 | 三 | 田 | 〇三四 | 二九六〇 | 合計 | 畑 | 田 | 五筆 | 八筆 | 三二四 | 六七三 | 二七六五〇 | 六六七八〇 |

五 工事施行後ニ於ケル土地ノ豫定筆數及面積

田反別 筆數 面積  
 畑反別 筆數 面積  
 何反別 筆數 面積

右ノ通整理施行ノ認可ヲ得候也

備考

- 一 規約ヲ以テ整理施行地區ヲ數區ニ分チタル場合ハ各區毎ニ届出ツルモノトス
- 二 假地價ヲ附シタルモノアルトキハ其ノ假地價ヲモ記載スルモノトス
- 三 湖海ヲ埋立若ハ干拓スルモノアルトキハ其ノ水面ノ位置及面積ヲ記載スルモノトス